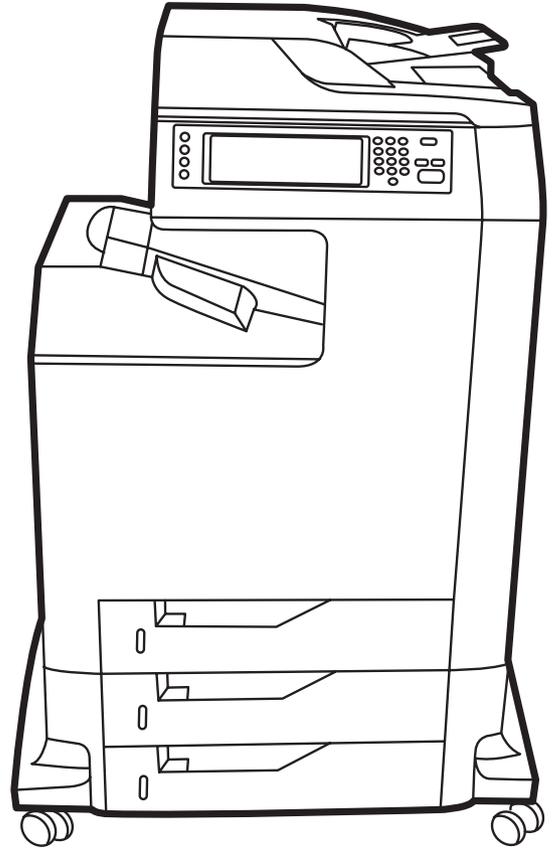


HP Color LaserJet CM4730 MFP

ユーザー ガイド



HP Color LaserJet CM4730 MFP

ユーザーズ ガイド



著作権およびライセンス

© 2007 Copyright Hewlett-Packard Development Company, L.P.

事前の書面による許可なく複製、改変、変換することは、著作権法で許可されていない限り禁じられています。

本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。

HP の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品またはサービスに付属の明示的な保証条項で規定されます。本文書のいかなる部分も、追加の保証を構成するとは見なされません。HP は、本文書に含まれる技術的または表記上の誤記や欠落について、一切の責任を負わないものとします。

パーツ番号: CB480-90958

Edition 1, 04/2007

商標表示

Adobe®、Acrobat®、および PostScript® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Corel® は、Corel Corporation または Corel Corporation Limited の商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国登録商標です。

Microsoft®、Windows®、および Windows NT® は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

PANTONE®*

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

ENERGY STAR® および ENERGY STAR ロゴ® は、米国環境保護庁の米国登録商標です。



目次

1 製品の基本情報

製品比較	2
HP Color LaserJet CM4730 MFP	2
HP Color LaserJet CM4730f MFP	2
HP Color LaserJet CM4730fsk MFP	3
HP Color LaserJet CM4730fm MFP	3
製品機能	5
各部の名称	9
前面図	9
背面図	10
インタフェースポート	11
シリアル番号とモデル番号の位置	11

2 コントロールパネル

コントロールパネルの使用	14
コントロールパネルのレイアウト	14
[ホーム]画面	15
タッチスクリーンのボタン	16
コントロールパネルのヘルプシステム	16
[管理]メニューの操作	17
[情報]メニュー	18
デフォルトジョブオプションメニュー	20
原稿のデフォルトオプション	20
イメージ調整	21
デフォルトコピーオプション	22
デフォルトファックスオプション	23
デフォルト電子メールオプション	24
デフォルトでフォルダに送信するオプション	25
デフォルト印刷オプション	26
[時刻/スケジュールリング]メニュー	27
[管理]メニュー	29
[初期セットアップ]メニュー	31
ネットワークおよびI/O	31
ファックスセットアップ	40
電子メールセットアップ	43
[送信設定]メニュー	43
デバイス動作メニュー	44
印刷品質メニュー	49
トラブルシューティングメニュー	51

[リセット] メニュー	55
サービス メニュー	56

3 Windows 用ソフトウェア

サポートされる Windows のバージョン	58
印刷システム ソフトウェアのインストール	59
Windows 印刷システム ソフトウェアのインストール (USB またはパラレル経由の直 接続の場合)	59
Windows 印刷システム ソフトウェアのインストール (ネットワークの場合)	59
ネットワーク上での Windows 共有の使用	60
パラレルまたは USB ケーブルを接続した後、ソフトウェアをインストール	60
対応プリンタ ドライバ	62
Windows 用ソフトウェアの削除	63
正しいプリンタ ドライバの選択	64
ユニバーサル プリンタ ドライバ	64
ドライバの自動設定	64
自動設定	65
印刷設定の優先度	66
プリンタ ドライバを開く	67

4 Macintosh 用ソフトウェア

Macintosh コンピュータ用ソフトウェア	70
Macintosh オペレーティング システムからのソフトウェアの削除	71

5 他のオペレーティング システムで使用するソフトウェア

HP Web Jetadmin	74
UNIX	75

6 接続

パラレル接続	78
USB 接続	79
AUX 接続	80
ネットワークの設定	81
TCP/IPv4 パラメータの設定	81
IP アドレスの変更	81
サブネット マスクの設定	82
デフォルト ゲートウェイの設定	82
TCP/IPv6 パラメータの設定	83
ネットワーク プロトコルの無効化 (オプション)	83
IPX/SPX の無効化	83
AppleTalk の無効化	84
DLC/LLC の無効化	84
HP Jetdirect EIO プリント サーバー	84
ネットワーク ユーティリティ	85
HP Web Jetadmin	85
内蔵 Web サーバ	85
HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア)	86
その他のコンポーネントおよびユーティリティ	86

7 用紙と印刷メディア

用紙および印刷メディアの使用について	88
サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ	89
カスタム用紙サイズ	91
特殊な用紙または印刷メディアに関するガイドライン	92
用紙と印刷メディアのセット	93
トレイ 1 のセット	93
トレイ 2、3、または 4 のセット	94
標準サイズのメディアをトレイ 2、3、または 4 にセットする	94
検出できない標準サイズのメディアをトレイ 2、3、および 4 にセットする	96
カスタム サイズのメディアをトレイ 2 にセットする	97
トレイの設定	99
用紙をセットするときにトレイを設定する	99
印刷ジョブの設定に適合するようにトレイを設定する	99
[サプライ品のステータス] メニューを使用してトレイを設定する	100
自動メディア タイプ感知 (自動感知モード)	100
トレイ 1 の感知	100
トレイ 2 ~ 4 の感知	101
ソース、タイプ、またはサイズ別にメディアを選択する	101
ソース	101
タイプとサイズ	101
排紙ビンの選択	103
標準排紙ビン	103
3 ビン メールボックス排紙ビン	103
排紙先の選択	104
3 ビン メールボックスの設定	104
Windows の 3 ビン メールボックスを認識するようにプリンタ ドライバを設定する	104
Macintosh の 3 ビン メールボックスを認識するようにプリンタドライバを設定する	105
コントロールパネルで 3 ビン メールボックスの動作モードを選択する	105
プリンタ ドライバの 3 ビン メールボックスの動作モードを選択する	105
プリンタ ドライバ (Mac OS X) の動作モードを選択する	106

8 製品機能の使用

エコノミー設定	108
スリープとスリープ復帰	108
ジョブ保存機能	109
ジョブ保存機能にアクセスする	109
試し刷り後の保留機能の使用	109
試し刷り後に保留ジョブの作成	109
試し刷り後に保留ジョブの残りの部数を印刷する	110
試し刷り後に保留ジョブの削除	110
パーソナル ジョブ機能の使用	111
パーソナル ジョブの作成	111
パーソナル ジョブの印刷	111

パーソナル ジョブの削除	111
クイック コピー機能の使用	112
クイック コピー ジョブの作成	112
クイック コピー ジョブの部数を追加して印刷する	112
クイック コピー ジョブの削除	112
保存ジョブ機能の使用	114
コピー ジョブの保存	114
印刷ジョブの保存	114
保存したジョブの印刷	114
保存ジョブの削除	115

9 印刷タスク

メディアのタイプとトレイのセット	118
Windows のプリンタ ドライバ機能	119
印刷機能のショートカットの作成および使用 (Windows)	119
カスタム用紙サイズの設定	119
別の用紙および印刷表紙の使用	120
最初のページの白紙印刷	120
透かしの使用	120
文書サイズの変更	121
1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Windows)	121
用紙の両面印刷	122
自動両面印刷	122
コントロール パネルで自動両面印刷を有効または無効にする	123
プリンタ ドライバで自動両面印刷を有効または無効にする	124
Windows プリンタ ドライバで自動両面印刷を有効または無効にする	124
両面印刷のレイアウト オプション	124
両面印刷ジョブの綴じ込みオプション	125
ブックレットの印刷	125
手動両面印刷	125
両面印刷のレイアウト オプション	125
ブックレットの作成	126
ステイプル留めオプションの設定	126
プリンタ ドライバでステイプラを選択する	126
オプションのステイプラ スタッカを認識するためのプリンタ ドライバの設定	127
カラー オプションの設定	127
[サービス] タブの使用	128
[HP Digital Imaging オプション] ダイアログ ボックスの使用	128
Macintosh のプリンタ ドライバ機能	129
印刷機能のショートカットの作成および使用 (Macintosh)	129
文書のサイズ変更またはカスタム用紙サイズへの印刷	129
表紙の印刷	129
透かしの使用	130
1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Macintosh)	130
用紙の両面印刷	131
自動両面印刷	131
コントロール パネルで自動両面印刷を有効または無効にする	132

Macintosh プリンタ ドライバで自動両面印刷を有効または無効にする	133
両面印刷のレイアウト オプション	133
両面印刷ジョブの綴じ込みオプション	134
手動両面印刷	134
ステイプル留めオプションの設定	134
プリンタ ドライバでステイプラを選択する	134
オプションのステイプラ/スタッカを認識するためのプリンタ ドライバの設定	135
カラー オプションの設定	135
[サービス] メニューの使用	135
用紙をステイプルで留める	136
コントロール パネルでの印刷ジョブのステイプラ設定	136
コントロール パネルでのすべてのコピー ジョブのステイプラ設定	136
コントロール パネルでの 1 つのコピー ジョブのステイプラ設定	137
ステイプル カートリッジが空になった場合のプリンタの停止または続行を設定する	137
ステイプルのセット	137
印刷ジョブのキャンセル	140
コントロール パネルからの現在の印刷ジョブの取り消し	140
ソフトウェア プログラムから現在の印刷ジョブの取り消し	140

10 カラーの使用

HP ImageREt 3600	142
カラーの使用制限	143
カラー印刷の制限	143
カラー コピーの制限	143
用紙の選択	144
カラー オプション	145
sRGB	146
4 色での印刷 (CMYK)	147
CMYK インク セット エミュレーション (PostScript のみ)	148
カラー マッチング	149
PANTONE® カラー マッチング	149
色見本のカラー マッチング	149
カラー サンプルの印刷	150
Windows コンピュータでのプリンタのカラー オプションの管理	151
グレースケールでの印刷	151
Windows でのカラー オプションの設定	151
RGB カラー (色域)	152
色の自動または手動の調整	152
手動カラー オプション	152
Macintosh コンピュータでのプリンタのカラー オプションの管理	154
グレースケールでの印刷	154
Macintosh でのカラー オプションの設定	154
手動カラー オプション	154
ハーフトーン オプション	155
グレー中間色	155
RGB カラー	155

輪郭コントロール	156
----------------	-----

11 コピー

コピー画面の使用	158
デフォルトのコピー オプションの設定	159
基本的なコピー方法	160
スキャナ ガラスからのコピー	160
文書フィーダからのコピー	160
コピー設定の調整	161
両面文書のコピー	162
両面文書の手動コピー	162
両面文書の自動コピー	162
混合サイズの原稿のコピー	164
コピーのソート設定の変更	165
写真や本のコピー	166
ジョブ作成を使用したコピー ジョブの結合	167
コピー ジョブのキャンセル	168

12 スキャンして電子メールに送信

電子メールの設定	170
対応プロトコル	170
電子メール サーバーの設定	170
[電子メール送信] 画面の使用	172
基本的な電子メール機能の使用	173
文書のセット	173
文書の送信	173
文書の送信	173
自動入力機能の使用	174
アドレス帳の使用	175
受信者リストの作成	175
ローカルのアドレス帳の使用	175
ローカルのアドレス帳に電子メール アドレスを追加する	176
ローカルのアドレス帳から電子メール アドレスを削除する	176
現在のジョブの電子メール設定を変更	177
フォルダにスキャン	178
ワークフローの排紙先にスキャン	179

13 ファックス

アナログ ファックス	182
ファックス アクセサリを電話線に接続する	182
ファックス機能を設定および使用する	183
デジタル ファックス	184

14 MFP の管理

情報ページ	186
内蔵 Web サーバ	188
内蔵 Web サーバーを開く	188
情報 タブ	189

設定 タブ	189
デジタル送信タブ	190
ネットワーキング タブ	190
その他のリンク	191
HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア)	192
対応オペレーティング システム	192
HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を開く	192
HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) のセクション	192
HP Web Jetadmin ソフトウェア	195
Macintosh 用 HP Printer ユーティリティ	196
HP Printer ユーティリティ を開く	196
クリーニング ページの印刷	196
設定ページの印刷	196
サプライ品のステータスの表示	197
サプライ品のオンライン注文およびその他のサポート機能の使用	197
プリンタへのファイルのアップロード	197
ファームウェアのアップデート	198
両面印刷 (2 面印刷) モードの起動	198
プリンタのストレージ デバイスのロックまたはロック解除	198
保存ジョブの保存または印刷	199
トレイの設定	199
ネットワーク設定の変更	199
内蔵 Web サーバーを開く	200
電子メール警告の設定	200
セキュリティ機能	201
内蔵 Web サーバーの保護	201
Foreign Interface Harness (FIH)	201
要件	201
FIH の使用	201
FIH ポータルの有効化	202
FIH ポータルの無効化	202
Secure Disk Erase	202
影響を受けるデータ	203
セキュア ディスク消去へのアクセス	203
補足情報	203
DSS 認証	203
コントロール パネル メニューのロック	204
リアルタイム クロックの設定	205
日付形式の設定	205
日付の設定	205
時刻形式の設定	205
時刻の設定	205
警告の設定	207
ファームウェアのアップグレード	208
現在のファームウェア バージョンの確認	208
HP Web サイトからの新しいファームウェアのダウンロード	208
新しいファームウェアの MFP への転送	208
FTP を使用してブラウザからファームウェアをアップロードする	208
FTP を使用してネットワーク接続でファームウェアをアップグレードする	209

HP Web Jetadmin を使用してファームウェアをアップグレードする	210
MS-DOS コマンドを使用してファームウェアをアップグレードする	210
HP Jetdirect ファームウェアの使用	211
メモリの管理	212
サプライ品の管理	213
HP プリント カートリッジ	213
HP 以外のプリント カートリッジ	213
プリント カートリッジの認証	213
カスタマ ケア センタ	213
プリント カートリッジの保管	214
プリント カートリッジの寿命	214
プリント カートリッジの寿命の確認	214
MFP のコントロール パネルでの確認	214
内蔵 Web サーバーでの確認	214
HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) での確認	214
HP Web Jetadmin での確認	215

15 保守

サプライ品交換	218
サプライ品の場所	218
サプライ品交換のガイドライン	218
サプライ品の交換予定時期	219
プリント カートリッジの交換	219
MFP のクリーニング	220
MFP の外側のクリーニング	220
タッチスクリーンのクリーニング	220
スキャナのガラス面のクリーニング	220
ADF 給紙システムのクリーニング	221
ADF 送出システムのクリーニング	221
ADF ローラーのクリーニング	222
マイラー ストリップのクリーニング	225
自動文書フィーダ (ADF) 保守キット	227
スキャナの校正	228

16 問題の解決

一般的な問題の解決	230
トラブルシューティングのチェックリスト	230
MFP の問題の特定	232
コントロール パネルのメッセージのタイプ	233
コントロール パネルのメッセージ	234
紙詰まり	249
紙詰まりの解除	250
紙詰まりの解決 (右側のカバー)	251
紙詰まりの解消 (トレイ 1)	256
紙詰まりの解消 (トレイ 2、3、4)	256
紙詰まりの解決 (ステイプラ/スタッカ)	259
ステイプル詰まりの解消	260
紙詰まりの解決 (3 ビン メールボックス)	261

紙詰まりの解決 (排紙アクセサリ ブリッジ)	264
紙詰まりの解決 (ADF)	265
メディアの取り扱いに関する問題	267
プリンタが複数枚の用紙を給紙する	267
間違ったページサイズが給紙される	267
間違ったトレイから給紙される	268
メディアが自動的に給紙されない	268
メディアがトレイ 2、3、4 から給紙されない	268
OHP フィルムまたは光沢紙が給紙されない	269
封筒の紙詰まり、または封筒が MFP に給紙されない	269
印刷出力がめくれている、またはしわが寄っている	270
両面印刷しないか、または正しく両面印刷しない	270
3 ビン メールボックスとステイプラ/スタッカのアクセサリ ランプについて	271
フォーマッタのランプについて	272
HP Jetdirect LED	272
電源確認 LED	273
印刷品質とコピー品質に関する問題の解消	274
メディアに関連する印刷品質の問題	274
カラー印刷の問題	274
カラー印刷の問題	274
シェードの問題	275
色の欠落	275
カートリッジの問題	275
色補正の問題	275
OHP フィルムの欠陥	276
環境に関連する印刷品質の問題	276
紙詰まりに関連する印刷品質の問題	276
印刷品質トラブルの解決ページ	277
印刷品質のトラブルシューティング ツール	277
不良イメージの例	277
水平方向の線	277
色の位置ずれ	279
垂直方向の線	280
一定間隔で現れる不良	281
すべての色でかすれが生じる	282
特定の色でかすれが生じる	283
指紋とメディアの凹凸	284
トナーが落ちやすい	285
トナーのにじみ	286
空白の領域	287
メディアの破損	288
斑点やトナーの飛散	289
歪み	290
ページに何も印刷されない	291
水平方向の線	292
ページの歪み	293
垂直方向の線	294
イメージの移動	295
予期しないイメージ	296
MFP の校正	296

連続した欠陥の定規	296
ファックスの問題の対策	298
電子メールの問題の対策	299
SMTP ゲートウェイ アドレスの検証	299
LDAP ゲートウェイ アドレスの検証	299
排紙アクセサリに関するトラブルの解決	300
ネットワーク接続に関するトラブルの解決	301
ネットワーク印刷に関するトラブルの解決	301
ネットワークの通信状態の検証	302
Macintosh に関する一般的なトラブルの解決	303

付録 A サプライ品とアクセサリ

部品、アクセサリ、サプライ品の注文	308
HP から直接注文する	308
サービス代理店またはサポート代理店から注文する	308
内蔵 Web サーバーを通して直接注文する	308
オプションの排紙デバイス	309
排紙アクセサリ ブリッジ	309
3 ビン メールボックス	309
ステイプラ/スタッカ	310
パーツ番号	311
アクセサリ	311
プリント カートリッジ	311
保守キット	311
交換可能なユニット	312
メモリ	312
ケーブルおよびインタフェース	312

付録 B サービスおよびサポート

Hewlett-Packard 社製品限定保証	313
カスタマ自己修理の保証サービス	315
HP カスタマ ケア	316
プリント カートリッジおよびイメージ ドラムの限定保証書	318
Color LaserJet イメージ フューザ キットおよびイメージ トランスファー キットの限定保証書条 項	319
利用可能なサポートおよびサービス	320
HP 社保守契約	321
オンサイト サービス契約	321
優先オンサイト サービス	321
翌日オンサイト サービス	321
週間 (ボリューム) オンサイト サービス	321

付録 C MFP の仕様

物理仕様	324
電氣的仕様	325
稼動音仕様	326
環境仕様	327

付録 D 規制に関する情報

FCC 規定への準拠	330
適合宣言	331
製品の環境適合化プログラム	332
環境の保護	332
オゾン放出	332
消費電力	332
トナーの消費	332
用紙の使用	332
プラスチック	332
HP LaserJet 用サプライ品	332
回収およびリサイクル手順	333
米国およびプエルトリコ	333
複数のカートリッジの回収 (2 ~ 8 個の場合)	333
1 個のカートリッジの回収	333
発送	333
米国以外の回収	333
用紙	334
材料に関する規制	334
EU (欧州連合) が定める一般家庭の使用済み機器の廃棄	334
化学物質安全データシート (MSDS)	335
詳細について	335
揮発性の証明	336
メモリのタイプ	336
揮発性メモリ	336
不揮発性メモリ	336
ハードディスク ドライブ メモリ	336
安全規定	337
レーザー製品の安全性	337
Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格)	337
VCCI 規格 (日本)	337
電源コード規格 (日本)	337
EMI 規格 (韓国)	337
EMI 規格 (台湾)	337
一般的な電気通信に関する宣言	338
レーザーに関する声明 (フィンランド)	339

付録 E メモリとプリント サーバー カードの増設

メモリとフォントの増設	342
DDR メモリ DIMM の装着	342
フラッシュ メモリ カードの装着	346
メモリの有効化	350
メモリを Windows 98/Me に認識させる	350
メモリを Windows 2000/XP に認識させる	351
HP Jetdirect/EIO プリント サーバー カードの装着	352

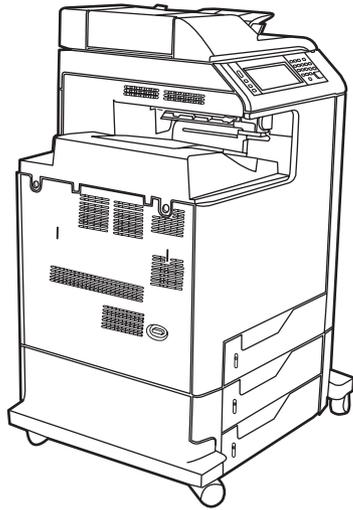
索引	355
----------	-----

1 製品の基本情報

- [製品比較](#)
- [製品機能](#)
- [各部の名称](#)

製品比較

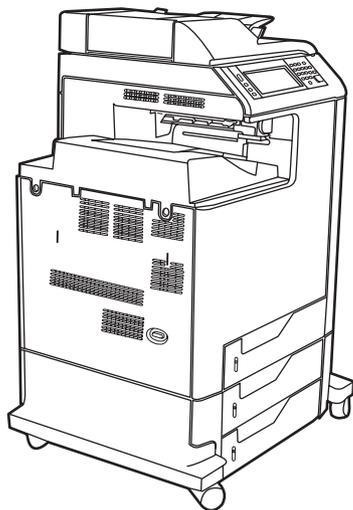
HP Color LaserJet CM4730 MFP



HP Color LaserJet CM4730 MFP は基本モデルです。次の付属品が標準で含まれています。

- 100 枚多目的給紙トレイ (トレイ 1)
- 500 枚給紙トレイ 3 個
- 最大 50 ページ収納可能な自動文書フィーダ (ADF)
- 10/100Base-TX ネットワーク接続用 HP Jetdirect 内蔵プリント サーバー
- 256MB のランダム アクセス メモリ (RAM)
- 両面印刷ユニット
- ハードディスク

HP Color LaserJet CM4730f MFP



HP Color LaserJet CM4730f MFP は基本モデルと同じ機能に加え、アナログ ファックス アクセサリを装備しています。

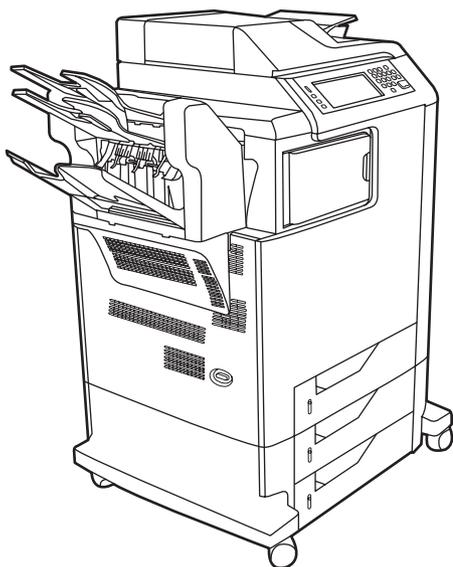
HP Color LaserJet CM4730fsk MFP



HP Color LaserJet CM4730fsk MFP には基本モデルと同じ機能に加え、次の付属品が含まれています。

- アナログ ファックス アクセサリ
- 排紙アクセサリ ブリッジ
- ステイプラ/スタッカ アクセサリ

HP Color LaserJet CM4730fm MFP



HP Color LaserJet CM4730fm MFP には基本モデルと同じ機能に加え、次の付属品が含まれています。

- アナログ ファックス アクセサリ
- 排紙アクセサリ ブリッジ
- 3 ビン メールボックス アクセサリ

製品機能

機能

- 両面コピー (両面印刷)
- カラー デジタル送信
- カラー アクセス制御
- ネットワーク印刷

速度とスループット

- レターサイズ of 用紙 of コピーおよび印刷の場合、31 ページ/分 (ppm)、A4 サイズ of 用紙 of コピーおよび印刷の場合、30ppm
- スキャナ原稿台ガラスを使用した場合、25% ~ 400% の拡大縮小が可能
- ADF を使用した場合、25% ~ 200% の拡大縮小が可能
- 最初のページを印刷するまでの時間は 10 秒未満
- Transmit Once, Raster Image Processing (RIP) ONCE テクノロジー
- 推奨される最大印刷量 85,000 ページ/月
- 533MHz (メガヘルツ) マイクロプロセッサ

解像度

- 600dpi、Resolution Enhancement テクノロジー (REt) 採用
- この製品は、HP FastRes および HP Resolution Enhancement テクノロジー (REt) を装備しており、最高エンジン速度で 1200 x 1200 の有効 dpi を提供します。

メモリ

- 256MB の RAM (Random-Access Memory)。業界標準の 100 ピン DDR DIMM を使用して 512MB まで拡張可能
- MEt (Memory Enhancement technology) により自動的にデータを圧縮し、RAM をより効率的に使用

ユーザー インターフェイス

- HP Easy Select Control Panel
- 内蔵 Web サーバーからサポートおよびサプライ品の注文にアクセス可能 (ネットワーク接続対応製品の場合)
- HP Easy Printer Care ソフトウェア (Web ベースのステータスおよびトラブルシューティング ツール)
- インターネット対応のサプライ品注文機能 (HP Easy Printer Care ソフトウェアを使用)

言語とフォント

- HP Printer Command Language (PCL) 6
- HP PCL 5
- プリンタ管理言語
- XHTML
- スケーラブル TrueType フォント 80 書体
- HP PostScript® 3 エミュレーション (PS)

コピーおよび送信

- テキスト、グラフィックス、テキストとグラフィックスの混在フォーマット用のモード
- ジョブ割り込み機能 (コピー セットの区切りで割り込み)
- 1 枚に複数ページ印刷
- 操作ガイド アニメーション (紙詰まり解除の場合など)
- スキャンして電子メールに送信
 - 電子メールおよびファックス用のローカル アドレス帳
 - LDAP アドレス
- フォルダに送信
- 自動両面スキャン

プリント カートリッジ (4)

- トナー適用範囲 5% で印刷する場合は 12,000 ページまで印刷可能
- 振る必要のないカートリッジ設計
- HP 純正プリント カートリッジ検出
- 自動トナー テープ リムーバー

用紙処理

- **給紙**
 - **トレイ 1 (多目的トレイ)** : 普通紙、OHP フィルム、ラベル、封筒対応の汎用トレイ。普通紙 100 枚、封筒 20 枚まで収納。
 - **トレイ 2、3、4** : 500 枚給紙トレイ。これらのトレイは、リーガルまでの標準用紙サイズを自動検出し、カスタム サイズの用紙も収納可能。
 - **ADF (自動文書フィーダ)** : 普通紙最大 50 枚まで収納可能。

- **両面印刷および両面コピー**：両面印刷および両面コピー (用紙の両面に印刷) が可能。
- **ADF 両面スキャン**：ADF には両面文書をスキャンするための自動両面印刷ユニットがあります。
- **排紙**
 - **標準排紙ビン**：標準の排紙ビンは、MFP の左側にあります。このビンには普通紙を最大 500 枚収納できます。
 - **ADF 排紙ビン**：ADF 排紙ビンは ADF 給紙トレイの下にあります。このビンには最大 50 枚の用紙を収納でき、ビンがいっぱいになると、MFP は自動的に停止します。
 - **オプションのステイプラ/スタッカ (CM4730fm MFP での標準仕様)**：ステイプラ/スタッカは、最大 30 枚までホッチキス止めが可能で、最大 500 枚収納。
 - **オプションの 3 ビン メールボックス (CM4730fsk MFP での標準仕様)**：1 つのビンは最大 500 枚、2 つのビンはそれぞれ最大 100 枚で、合計 700 枚まで収納可能。

接続

- IEEE 1284C 準拠パラレル接続
- Foreign Interface Harness (FIH) connection (AUX) による他のデバイスとの接続
- 内蔵 HP Jetdirect プリント サーバー用の LAN (Local area network) コネクタ (RJ-45)
- オプションのアナログ ファックス カード (CM4730f、CM4730fm、および CM4730fsk MFP モデルでの標準仕様)
- オプションの HP Digital Sending Software (DSS)
- オプションの拡張 I/O (EIO) カード
- USB 2.0
- ACC ポート (USB ホスト機能を備えたアクセサリ ポート)
- アクセサリ ポート (サードパーティ製デバイスの接続用)

環境重視

- スリープ設定による省電力 (ENERGY STAR® ガイドライン、バージョン 1.0 適合)。

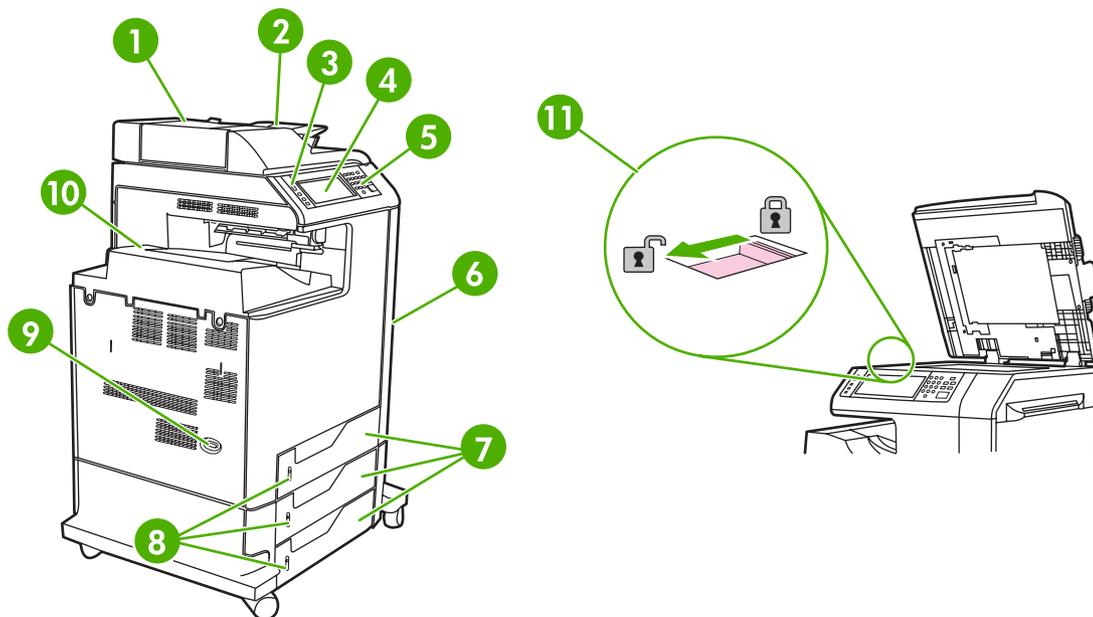
セキュリティ機能

- FIH
- セキュア ディスク消去モード
- セキュリティ ロック
- ジョブの保持
- DSS 認証
- Windows ユーザー認証
- LDAP 認証

- グループ PIN 認証 (グループ 1 およびグループ 2)
- ユーザー PIN 認証

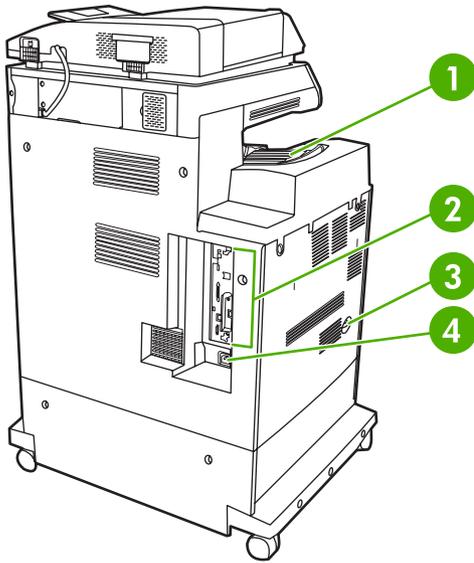
各部の名称

前面図



1	ADF 上部カバー
2	コピー/スキャン/ファックス原稿用の自動ドキュメントフィーダ (ADF) 給紙トレイ
3	コントロールパネルのステータスランプ
4	タッチスクリーン機能を備えたコントロールパネルディスプレイ
5	コントロールパネルキーパッド
6	右側カバー (プリントカートリッジや他の消耗品へのアクセスを提供)
7	トレイ 2、3、および 4
8	用紙レベル表示
9	オン/オフスイッチ
10	排紙ビン
11	スキャナロック

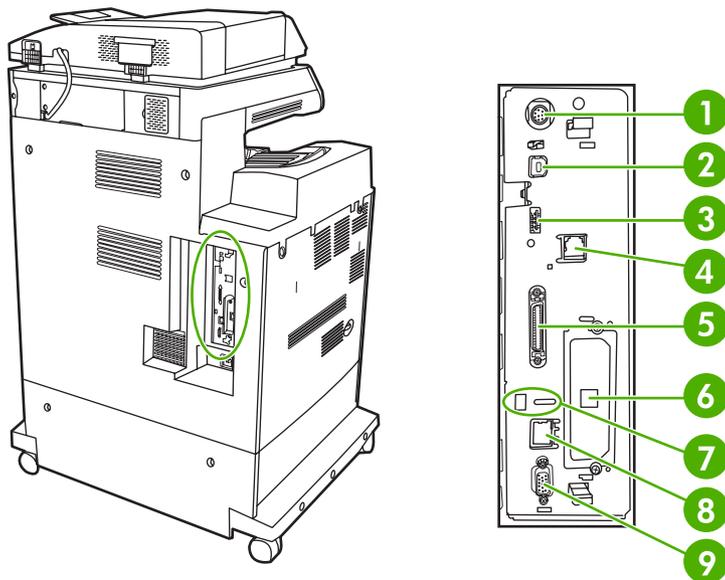
背面図



1	排紙ビン
2	インターフェイスポート
3	オン/オフスイッチ
4	電源接続

インタフェースポート

MFPには、コンピュータやネットワークに接続するためのポートが5つあります。これらのポートはMFPの背面の左隅にあります。

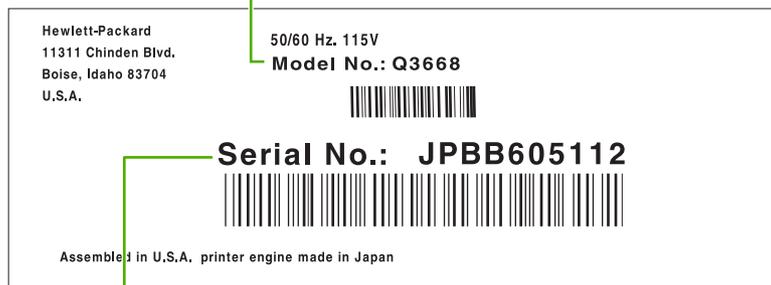


1	Foreign Interface Harness (FIH)
2	USB 2.0
3	ACC (アクセサリポートではホストUSBプロトコルを使用します)
4	ファックス接続 (オプションのアナログファックスアクセサリの接続用)
5	パラレルポート
6	EIO インタフェース拡張スロット
7	Kensington ロック用アクセスポート
8	ネットワーク接続 (内蔵 HP Jetdirect プリントサーバー)
9	AUX ポート

シリアル番号とモデル番号の位置

モデル番号とシリアル番号は、プリンタ背面のIDラベルに記載されています。シリアル番号には、生産国/地域、プリンタのバージョン、製品コード、およびプリンタの製造番号に関する情報が含まれています。

model (product) number



serial number

図 1-1 サンプル モデルおよびシリアル番号ラベル

モデル名	モデル番号
HP Color LaserJet CM4730 MFP	CB480A
HP Color LaserJet CM4730f MFP	CB481A
HP Color LaserJet CM4730fsk MFP	CB482A
HP Color LaserJet CM4730fm MFP	CB483A

2 コントロールパネル

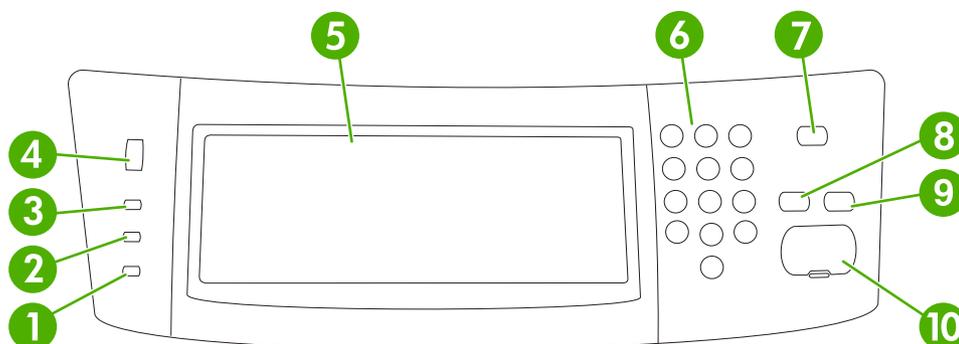
- [コントロールパネルの使用](#)
- [\[管理\]メニューの操作](#)
- [\[情報\]メニュー](#)
- [デフォルトジョブオプションメニュー](#)
- [\[時刻/スケジューリング\]メニュー](#)
- [\[管理\]メニュー](#)
- [\[初期セットアップ\]メニュー](#)
- [デバイス動作メニュー](#)
- [印刷品質メニュー](#)
- [トラブルシューティングメニュー](#)
- [\[リセット\]メニュー](#)
- [サービスメニュー](#)

コントロールパネルの使用

コントロールパネルには、すべてのデバイス機能にアクセスできるVGAタッチスクリーンがあります。ボタンと数値キーパッドを使用して、ジョブとデバイスのステータスを制御します。LEDは全体のデバイスステータスを示します。

コントロールパネルのレイアウト

コントロールパネルには、タッチスクリーンのディスプレイ、ジョブ制御ボタン、数値キーパッド、3つの発光ダイオード(LED)のステータスランプが表示されます。



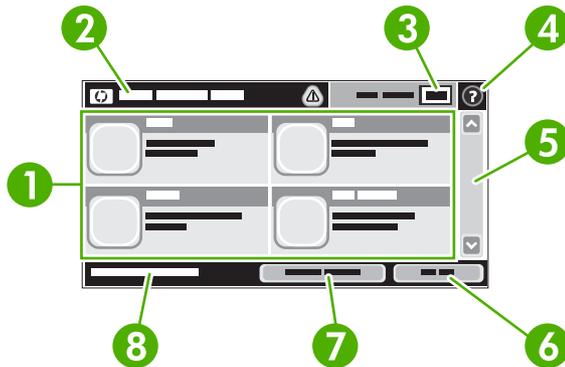
1	[注意] ランプ	[注意] ランプは、ユーザー操作が必要な状況であることを示します。たとえば、用紙トレイが空の場合やタッチスクリーンにエラーメッセージが表示される場合です。
2	[データ] ランプ	[データ] ランプは、デバイスがデータを受信中であることを示します。
3	[印刷可] ランプ	[印刷可] ランプは、ジョブの処理を開始する準備が整っていることを示します。
4	輝度調整ダイヤル	タッチスクリーンの輝度を調整するには、このダイヤルを回します。
5	タッチスクリーン グラフィック ディスプレイ	このタッチスクリーンを使用して、デバイス機能を開いてセットアップします。
6	数字キーパッド	必要なコピー部数やその他の数値を入力できます。
7	[スリープ] ボタン	デバイスが長期間操作されなかった場合、自動的にスリープモードに移行します。デバイスをスリープモードにする場合、またはスリープモードから復帰する場合、 [スリープ] ボタンを押します。
8	[リセット] ボタン	ジョブ設定を工場出荷時のデフォルト値またはユーザー定義のデフォルト値にリセットします。
9	[停止] ボタン	アクティブなジョブを停止します。停止中に、コントロールパネルには停止したジョブのオプションが表示されます(たとえば、印刷ジョブの処理中に [停止] ボタンを押すと、コントロールパネルにその印刷ジョブをキャンセルするか再開するかを確認するメッセージが表示されます)。
10	[スタート] ボタン	コピージョブやデジタル送信を開始したり、中断したジョブを継続したりします。

[ホーム] 画面

[ホーム] 画面からデバイス機能にアクセスできます。また、デバイスの現在のステータスが表示されます。



注記 デバイスの設定によって、[ホーム] 画面に表示される機能は変わります。



1	機能	システム管理者の設定方法によって、ここに表示される項目は変わります。たとえば次の項目が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">コピーファックス電子メールセカンダリ電子メールネットワーク フォルダジョブ保存ワークフローサプライ品のステータス管理
2	デバイスのステータス行	ステータス行には、全体的なデバイスのステータスに関する情報が表示されます。現在のステータスに応じて、さまざまなボタンが表示されます。ステータス行に表示できるボタンの説明については、「 タッチスクリーンのボタン 」を参照してください。
3	コピー数	コピー数のボックスには、デバイスに設定された作成コピー数が表示されます。
4	[ヘルプ] ボタン	[ヘルプ] ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプ システムが表示されます。
5	スクロール バー	使用できる機能リストをすべて確認するには、スクロール バーの上矢印または下矢印にタッチします。
6	サインアウト	制限付きの機能にアクセスするためにデバイスにサイン インしている場合、サインアウトするには、 [サインアウト] にタッチします。サインアウトすると、すべてのオプションがデフォルト設定に戻ります。
7	ネットワーク アドレス	ネットワーク接続に関する情報を検索するには、 [ネットワーク アドレス] にタッチします。
8	日付と時刻	現在の日付と時刻がここに表示されます。システム管理者は、日時の表示に使用する書式(12 時間形式または 24 時間形式など)を選択できます。

タッチスクリーンのボタン

タッチスクリーンのステータス行には、デバイスのステータスに関する情報が表示されます。ここにはさまざまなボタンが表示されます。次の表で各ボタンを説明します。

	[ホーム] ボタン。 [ホーム] ボタンにタッチすると、どの画面からでも [ホーム] 画面に戻ります。
	スタート ボタン。 使用している機能の動作を開始するには、スタート ボタンにタッチします。
	注記 このボタン名は機能ごとに変ります。たとえば、 コピー 機能では、ボタン名が [コピー開始] になります。
	[停止] ボタン。 印刷ジョブまたはファックス ジョブを処理している場合、[スタート] ボタンではなく [停止] ボタンが表示されます。現在のジョブを中断するには、[停止] にタッチします。ジョブをキャンセルするか再開するかの確認メッセージが表示されます。
	[エラー] ボタン。 [エラー] ボタンは、処理を続行する前に注意が必要なエラーが発生したときに表示されます。[エラー] ボタンにタッチすると、エラーを説明するメッセージが表示されます。メッセージには問題を解決する指示も記載されます。
	[警告] ボタン。 デバイスに問題が発生していても、処理が続行できるときに [警告] ボタンが表示されます。[警告] ボタンにタッチすると、問題を説明するメッセージが表示されます。メッセージには問題を解決する指示も記載されます。
	[ヘルプ] ボタン。 [ヘルプ] ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプ システムが表示されます。詳細については、「 コントロールパネルのヘルプ システム 」を参照してください。

コントロールパネルのヘルプ システム

このデバイスには、各画面の使用方法を説明した内蔵のヘルプ システムがあります。ヘルプ システムを開くには、画面の右上隅にある [ヘルプ] ボタン (🔍) を押します。

一部の画面では、[ヘルプ] にタッチすると、特定のトピックを検索できるグローバル メニューが表示されることがあります。メニューのボタンにタッチして、メニュー構造を参照できます。

個々のジョブの設定が含まれた画面では、[ヘルプ] にタッチすると、その画面のオプションについて説明するトピックが表示されます。

エラーまたは警告が通知された場合、[エラー] ボタン (❗) または [警告] (⚠️) ボタンにタッチすると、問題を説明するメッセージが表示されます。また、問題を解決するための指示が記載されている場合もあります。

[管理] メニューの操作

[ホーム] 画面の [管理] をタッチしてメニュー構造を開きます。この機能を表示するには、[ホーム] 画面の下部にスクロールが必要な場合があります。

管理メニューには、いくつかのサブメニューがあり、画面の左側に表示されます。メニュー名にタッチすると、メニュー構造が展開されます。メニュー名の横にあるプラス記号 (+) は、サブメニューがあることを示します。前のレベルに戻るには、[戻る] にタッチします。

[管理] メニューを終了するには、画面の左上隅にある [ホーム] ボタン (🏠) にタッチします。

メニューで使用できる各機能については、デバイスのヘルプで説明しています。ヘルプは、タッチスクリーンの右側にあるメニューの多くに使用できます。また、グローバルヘルプシステムを開くには、画面の右上隅にある [ヘルプ] ボタン (🔍) にタッチします。

以下の表に、[管理] メニューの下にある各メニューの全体構造を示します。

[情報] メニュー

[管理] > [情報]

このメニューを使用して、デバイス内に保存されている情報ページとレポートを印刷します。

表 2-1 [情報] メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明	
設定/ステータス ページ	管理メニュー マップ		印刷	管理メニューの基本構造と現在の管理設定を示します。	
	設定/ステータス ページ		印刷	現在のデバイスの設定を示す一連の設定ページです。	
	サプライ品ステータス ページ		印刷	カートリッジ、保守キット、およびスティابلなどのサプライ品のステータスを示します。	
	使用状況ページ		印刷	各用紙タイプとサイズに印刷したページ数に関する情報を示します。	
	ファイル ディレクトリ		印刷	このデバイスに装着された大容量記憶装置 (フラッシュドライブ、メモリ カード、ハードディスクなど) の情報を含むディレクトリ ページです。	
	カラー使用状況ジョブ ログ		印刷	ジョブごとのカラーの使用状況に関する情報を含むディレクトリ ページです。ページの内容には、ユーザー名、アプリケーション名、およびモノクロ ページ数とカラー ページ数が含まれます。	
ファックス レポート	ファックス使用状況 ログ		印刷	このデバイスから送受信されたファックスのリストを含むページです。	
	ファックス コール レポート	ファックス コール レポート	印刷	最後に送信または受信したファックスに関する詳細レポートです。	
		レポート上のサムネイル	はい いいえ (デフォルト)	レポートにファックスの最初のページのサムネイルを含めるかどうかを指定します。	
		レポート印刷時間	自動印刷しない ファックス ジョブ後に印刷 ファックス送信ジョブ後に印刷 ファックス エラー後に印刷 (デフォルト) 送信エラー後にのみ印刷 受信エラー後にのみ印刷		
	請求書コード レポート		印刷	送信ファックスに使用された請求書コードのリストです。このレポートには、各コードに請求された送信ファックスの数が示されます。	
	ブロックされたファックス リスト		印刷	このデバイスに送信されるファックスをブロックする電話番号のリストです。	
	短縮ダイヤル リスト		印刷	このデバイスに設定されている短縮ダイヤルを示します。	

表 2-1 [情報] メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
サンプル ページ/フォント	デモンストレーション ページ		印刷	この MFP で可能な最高の印刷品質を表示するデモンストレーション ページです。
	RGB サンプル		印刷	さまざまな RGB 値のカラー サンプルの印刷結果です。サンプルは色合わせのガイドとして使用できます。
	CMYK サンプル		印刷	さまざまな CMYK 値のカラー サンプルの印刷結果です。サンプルは色合わせのガイドとして使用できます。
	PCL フォント リスト		印刷	現在デバイスで使用できる PCL (printer control language) フォントのリストを印刷します。
	PS フォント リスト		印刷	現在このデバイスで使用できる PostScript (PS) フォントのリストです。

デフォルト ジョブ オプション メニュー

管理 > デフォルト ジョブ オプション

このメニューを使用して、各機能のデフォルト オプションを指定します。これらのメニューは、ユーザーがジョブの作成時に別のオプションを指定していない場合に使用されます。

デフォルト ジョブ オプション メニューには、以下のサブメニューが含まれます。

- [原稿のデフォルト オプション](#)
- [イメージ調整](#)
- [デフォルト コピー オプション](#)
- [デフォルト ファックス オプション](#)
- [デフォルト 電子メール オプション](#)
- [デフォルトでフォルダに送信するオプション](#)
- [デフォルト印刷オプション](#)

原稿のデフォルト オプション

管理 > デフォルト ジョブ オプション > 原稿のデフォルト オプション

表 2-2 [原稿のデフォルト オプション] メニュー

メニュー項目	値	説明
用紙サイズ	リストから用紙サイズを選択します。	原稿のコピーやスキャンに最もよく使用する用紙サイズを選択します。
印刷面の選択	1 2	原稿のコピーまたはスキャン時に、印刷面を片面と両面のどちらにするかを選択します。
方向	縦 横	原稿のコピーやスキャンに最もよく使用する用紙の向きを選択します。短辺を上に向けてセットする場合は [縦] を選択し、長辺を上に向けてセットする場合は [横] を選択します。
テキスト/画像の最適化	手動調整 テキスト 印刷された写真 写真	テキスト、画像、または両方が混在する場合など、原稿のタイプに応じて出力を最適化します。 [手動調整] を選択した場合、もっとも頻繁に使用されるテキストと画像の混合を指定してください。

イメージ調整

管理 > デフォルト ジョブ オプション > イメージ調整

表 2-3 [イメージ調整] メニュー

メニュー項目	値	説明
濃さ	値を選択します。	出力の濃度 (暗さ) のレベルを選択します。
背景のクリーンアップ	範囲内で値を調整します。	[背景の消去] 設定を大きくすると、背景からぼやけたイメージが削除されたり、薄い背景色が削除されたりします。
鮮明度	範囲内で値を調整します。	[鮮明度] 設定を調整して、イメージを明確にしたり、和らげたりします。

デフォルト コピー オプション

管理 > デフォルト ジョブ オプション > デフォルト コピー オプション

表 2-4 デフォルト コピー オプション メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
コピー部数		部数を入力します。出荷時のデフォルト設定は 1 です。	コピー ジョブのデフォルトの部数を設定します。
印刷面の選択		1 2	コピーのデフォルトの印刷面を片面にするか両面にするかを設定します。
カラー/黒		カラー (デフォルト) 黒	デフォルトのコピー モードをカラーにするかモノクロにするかを選択します。
自動的に余白を含む		オフ (デフォルト) オン	この機能は、スキャン時に自動的にイメージサイズを縮小して余白が含まれるようにします。
ステイプル/ソート	ステイプル	なし (デフォルト) 左に 1 箇所、斜め	部数のセットのステイプル留めおよびソートのオプションを設定します。
	ソート	オフ オン (デフォルト)	[ソート] を選択した場合、最初から最後まで 1 部ずつコピーしてから、2 部目のコピーを開始します。それ以外の場合、1 ページ目を全部数分印刷してから、2 ページ目を印刷します。以下同じように印刷を行います。
排紙ビン		<Binname>	コピー用のデフォルトの排紙ビンを選択します。
最小マージン		標準 (推奨) (デフォルト) 最小マージン出力	原稿が用紙の端近くに印刷されている場合、[最小マージン] 機能を使用して、用紙の端にシャドウが印刷されるのを防ぐことができます。この機能を [縮小/拡大] 機能と併用すれば、ページ全体を確実にコピーできます。

デフォルト ファックス オプション

管理 > デフォルト ジョブ オプション > デフォルト ファックス オプション

表 2-5 [ファックス送信設定] メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
解像度		標準画質 (100x200dpi) (デフォルト)	送信される文書の解像度を設定します。イメージの解像度が高くなると、dpi の数値が高くなり、表示がより精細になります。イメージの解像度が低くなると、dpi の数値が低くなり、表示はあまり精細ではありませんが、ファイル サイズは小さくなります。
		高画質 (200x200dpi)	
		最高画質 (300x300dpi)	
ファックス ヘッダ		プリペンド (デフォルト) (デフォルト)	ページのファックス ヘッダの位置を選択します。
		オーバーレイ	[プリペンド] を選択すると、ファックス ヘッダがファックスの内容の上に印刷され、ファックスの内容はページの下方へ移動します。[オーバーレイ] を選択すると、ファックス ヘッダがファックスの内容の最上部の上に重ねて印刷され、ファックスの内容はページの下方へ移動しません。このオプションを使用すると、1 ページのファックスが 2 ページに分割されるのを防ぐことができます。

表 2-6 [ファックス受信] メニュー

メニュー項目	値	説明
ファックスの転送	ファックス転送	受信したファックスを別のファックス デバイスに転送するには、[ファックス転送] と [カスタム] を選択します。これを選択したら、他のファックス デバイスの番号を [ファックス転送番号] フィールドに入力します。初めてこのメニュー項目を選択すると、PIN を設定するよう指示されます。このメニューを使用するたびに、PIN を入力します。これは、[ファックス印刷] メニューのアクセスに使用するものと同じ PIN です。
	PIN を変更	
受信ファックスのスタンプ	有効	このデバイスが受信するファックスの各ページに、日付、時刻、送信者の電話番号、およびページ番号を追加します。
	無効 (デフォルト)	
用紙の大きさに合わせる	有効 (デフォルト)	レターサイズまたは A4 サイズよりも大きいファックスを縮小して、レターサイズまたは A4 サイズのページに合わせるできます。この機能が [無効] に設定されている場合、レターサイズまたは A4 サイズよりも大きいファックスは複数のページにまたがって印刷されます。
	無効	
ファックス用紙トレイ	トレイ リストから選択します。	受信ファックスに使用する用紙のサイズとタイプがセットされたトレイを選択します。
排紙ピン	<Binname>	必要に応じて、ファックスに使用するデフォルトの排紙ピンを選択します。

デフォルト電子メール オプション

管理 > デフォルト ジョブ オプション > デフォルト電子メール オプション

メニュー項目	値	説明
文書ファイル タイプ	PDF (デフォルト) JPEG TIFF M-TIFF	電子メールのためのファイル形式を選択します。
出力品質	高 (大きなファイル) 中 (デフォルト) 低 (小さなファイル)	高品質の出力を選択すると、出力ファイル サイズが増えます。
解像度	300 dpi 200 dpi 150 dpi (デフォルト) 75 dpi	解像度を選択します。ファイル サイズを小さくするには、設定値を低くします。
カラー/黒	カラー スキャン (デフォルト) モノクロ スキャン	電子メールをモノクロまたはカラーのどちらにするかを指定します。
TIFF バージョン	TIFF 6.0 (デフォルト) TIFF (Post 6.0)	スキャンしたファイルの保存に使用する TIFF バージョンを指定します。

デフォルトでフォルダに送信するオプション

管理 > デフォルト ジョブ オプション > デフォルトでフォルダに送信するオプション

メニュー項目	値	説明
カラー/黒	カラー スキャン モノクロ スキャン (デフォルト)	ファイルをモノクロとカラーのどちらにするかを指定します。
文書ファイル タイプ	PDF (デフォルト) M-TIFF TIFF JPEG	ファイルのファイル形式を選択します。
TIFF バージョン	TIFF 6.0 (デフォルト) TIFF (Post 6.0)	スキャンしたファイルの保存に使用する TIFF バージョンを指定します。
出力品質	高 (大きなファイル) 中 (デフォルト) 低 (小さなファイル)	高品質の出力を選択すると、出力ファイル サイズが増えます。
解像度	75 dpi 150 dpi (デフォルト) 200 dpi 300 dpi	解像度を選択します。ファイル サイズを小さくするには、設定値を低くします。

デフォルト印刷オプション

管理 > デフォルト ジョブ オプション > デフォルト印刷オプション

表 2-7 デフォルト印刷オプション メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ジョブの印刷部数		値を入力します。	印刷ジョブのデフォルトのコピー部数を設定します。
デフォルト用紙サイズ		(対応サイズのリスト)	用紙サイズを選択します。
デフォルト カスタム用紙 サイズ	計測単位	ミリメートル インチ	印刷ジョブの用紙サイズとして [カスタム] が選択されたときに使用されるデフォルトの用紙サイズを設定します。
	X 寸法		[デフォルト カスタム用紙サイズ] の幅の測定値を設定します。
	Y 寸法		[デフォルト カスタム用紙サイズ] の高さの測定値を設定します。
排紙ピン		<binname>	印刷ジョブのデフォルトの排紙ピンを選択します。オプション トレイが取り付けられている場合、排紙ピン オプションは異なります。
印刷面		片面 両面	デフォルトの印刷ジョブを片面にするか両面にするかを選択します。
両面フォーマット		製本スタイル 綴じ込みスタイル	この機能を使用して、両面印刷ジョブのデフォルトスタイルを設定します。[製本スタイル] を選択した場合、ページの裏面の配置が表面と同じになります。このオプションは、左綴じで製本される印刷ジョブ用です。[綴じ込みスタイル] を選択すると、裏面のページが上下逆さまに印刷されます。このオプションは、上綴じで製本される印刷ジョブ用です。

[時刻/スケジュールリング] メニュー

管理 > 時刻/スケジュールリング

このメニューを使用して、時刻の設定オプションと、スリープモードへの移行と復帰の設定オプションを指定します。



注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-8 時刻/スケジュールリング メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
日付/時刻	日付形式		YYYY/MMM/DD (デフォルト)	この機能を使用して現在の日付と時刻を設定し、送信ファックスのタイムスタンプに使用する日付形式と時刻形式を設定します。
			MMM/DD/YYYY	
			DD/MMM/YYYY	
	日付	月		
		日		
		年		
時刻形式			12 時間 (AM/PM) (デフォルト)	
			24 時間	
時刻	時刻	時間		
		分		
		午前		
		午後		
スリープ遅延			1 分	この機能を使用して、スリープモードに入る前にデバイスが無操作状態にある時間を選択します。
			20 分	
			30 分 (デフォルト)	
			45 分	
			1 時間 (60 分)	
			90 分	
			2 時間制	
		4 時間制		
スリープ復帰時刻	月曜日		オフ (デフォルト)	[カスタム] を選択して、月曜日から日曜日までのスリープ復帰時刻を設定します。このスケジュールに合わせてスリープモードが終了します。スリープのスケジュールを使用すると、デバイスを使用するための電力と準備時間を節約できるため、ウォームアップが完了するまで待つ必要はなくなります。
	火曜日		カスタム	
	水曜日			
	木曜日			
	金曜日			

表 2-8 時刻/スケジュールリングメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
	土曜日			
	日曜日			
ファックス印刷	ファックス印刷モード		全受信ファックスを保存	プライベート ファックスのセキュリティが心配な場合、印刷スケジュールを作成して自動的に印刷するのではなく、この機能を使用してファックスを保存します。
			全受信ファックスを印刷 (デフォルト)	
			ファックス印刷スケジュールの使用	ファックスの印刷スケジュールの場合、ファックスを印刷する日時を選択するメッセージが表示されます。
	PIN を変更			ファックスの印刷に必要な PIN 番号を変更するには、[PIN を変更] を選択します。

[管理] メニュー

管理 > 管理

このメニューを使用して、グローバル デバイス管理オプションをセットアップします。



注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-9 管理 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明	
保存されたジョブ管理	クイック コピー ジョブ保存制限	保存する最大ジョブ数を選択します。	デバイスに保存されているジョブの表示と管理を行うには、このメニューを使用します。	
	クイック コピー ジョブ保留タイムアウト	オフ 1 時間 4 時間 1 日 1 週		
	スリープ モード	無効 スリープ遅延を使用 (デフォルト)	デバイスのスリープ モード設定をカスタマイズするには、この機能を使用します。 [時刻/スケジューリング] メニューで指定した遅延時間後に、スリープ モードに移行するようにデバイスを設定するには、[スリープ遅延を使用] を選択します。	
	サプライ品を管理	サプライ品の交換	残量少で停止	このメニューは、プリント カートリッジ、フューザーキット、またはトランスファー キットの残量が少なくなった場合の MFP の動作を設定します。[残量少で停止] を選択すると、サプライ品の残量が低下したときに印刷を停止します。[空で停止] を選択すると、カラー プリント カートリッジが空になるまで MFP が印刷を続行できます。[空を無視] を選択すると、カラー プリント カートリッジが空になっても印刷が続行されます。コントロール パネルには、空を無視して動作が継続されていることと、カラー サプライを交換する必要があることを示す警告が表示されます。
			空で停止 (デフォルト)	
空を無視				
	サプライ品残量低下/注文しきい値	範囲内の値を選択します。	このメニューを使用して、サプライ品を発注するしきい値の変更など、サプライ品の管理タスクを実行します。	
	カラー サプライ品がなくなりました	黒を自動継続 停止	このメニューは、カラー サプライが空になったときの MFP の動作を設定します。[黒を自動継続] を選択すると、MFP は黒トナーのみ使用して印刷を続行します。	

表 2-9 管理メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
カラーの使用制限	カラー印刷の使用	カラー有効 (デフォルト) 権限がある場合はカラーを使用 カラーを無効にする	この項目を使用して、管理者がカラー印刷を無効にし、または制限することができます。[権限がある場合はカラーを使用] 設定を使用するには、内蔵 Web サーバー、HP Easy Printer Care、または Web Jetadmin でユーザー権限およびアプリケーション権限、またはそのいずれかを設定します。
	カラー コピーの使用	カラー有効 (デフォルト) カラーを無効にする	この項目を使用して、管理者がカラー コピーを無効にし、または制限することができます。
カラー/黒混合		自動 (デフォルト) ほぼカラー ページ ほぼ黒ページ	<p>この項目は、パフォーマンスを最大限に高め、プリントカートリッジの寿命を最長化するために、エンジンをカラー モードからモノクロ モードに切り替える方法を制御します。</p> <p>MFP を出荷時のデフォルト設定にリセットするには、[自動] を選択します。</p> <p>通常の印刷ジョブが、ページ全面のカラー印刷の場合は、[ほぼカラー ページ] を選択します。</p> <p>通常の印刷ジョブが、モノクロ ジョブ、またはカラーとモノクロ ジョブの組み合わせの場合は、[ほぼ黒ページ] を選択します。</p>

[初期セットアップ] メニュー

管理 > 初期セットアップ

[初期セットアップ] メニューには次のサブメニューがあります。

- [ネットワークおよび I/O] メニュー
- [ファイアウォール セットアップ] メニュー
- [電子メール セットアップ] メニュー



注記 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

ネットワークおよび I/O

管理 > 初期セットアップ > ネットワークおよび I/O

表 2-10 ネットワークおよび I/O

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
I/O タイムアウト		範囲内の値を選択します。出荷時のデフォルト設定は、15 秒です。	I/O タイムアウトとは、印刷ジョブが失敗するまでの経過時間を指します。デバイスが印刷ジョブのために受信しているデータの流が中断された場合、デバイスはここで設定した時間まで待機し、それ以上待ってもデータが来ない場合は、ジョブが失敗したものとしてレポートします。
パラレル入力	高速	いいえ はい (デフォルト)	パラレルポートでホストと通信するときの速度を設定する場合は、[高速] 設定を使用します。
	高度な機能	有効 (デフォルト) 無効	双方向のパラレル通信を有効または無効にするには、[高度な機能] 設定を使用します。
内蔵 Jetdirect	オプション リストについては「表 2-11 Jetdirect のメニュー」を参照してください。		
EIO <X> Jetdirect			



注記 EIO アクセサリを取り付けた場合にのみこの項目が表示されます。

表 2-11 Jetdirect のメニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
TCP/IP	有効		オフ: TCP/IP プロトコルを無効にします。 オン (デフォルト) TCP/IP プロトコルを有効にします。
		ホスト名	英数字で最大 32 文字。デバイスの識別に使用されます。この名前は HP Jetdirect の設定ページに表示されます。デフォルトのホスト名は NPIxxxxxx です。この xxxxxx は LAN ハードウェア (MAC) アドレスの下 6 桁です。
	IPV4 設定	設定方法	TCP/IPv4 パラメータを HP Jetdirect プリントサーバに設定する方法を指定します。

表 2-11 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			<p>Bootp : BootP サーバから自動設定する場合は、BootP (Bootstrap Protocol) を使用します。</p> <p>DHCP : DHCPv4 サーバから自動設定する場合は、DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) を使用します。この項目を使用し、DHCP リースが存在する場合、[DHCP の解放] メニューと [DHCP の更新] メニューを使用して DHCP リース オプションを設定できます。</p> <p>自動 IP : 自動リンク - ローカル IPv4 アドレスを使用します。169.254.x.x という形式のアドレスが自動的に割り当てられます。</p> <p>手動 : TCP/IPv4 パラメータを設定するには、[手動設定] メニューを使用します。</p>
		デフォルトの IP	<p>強制的な TCP/IP の再設定時に、プリントサーバがネットワークから IP アドレスを取得できない場合のデフォルトの IP アドレスを指定します (たとえば、手動で BootP または DHCP を使用する設定にした場合)。</p> <p>自動 IP : リンク - ローカル IP アドレス 169.254.x.x が設定されます。</p> <p>旧 : 以前の HP Jetdirect デバイスに合わせて、アドレス 192.0.0.192 が設定されます。</p>
		DHCP の解放	<p>[設定方法] が [DHCP] に設定され、プリントサーバの DHCP リースが存在する場合、このメニューが表示されます。</p> <p>いいえ (デフォルト) : 現在の DHCP リースが保存されます。</p> <p>はい : 現在の DHCP リースとリースされた IP アドレスが解放されます。</p>
		DHCP の更新	<p>[設定方法] が [DHCP] に設定され、プリントサーバの DHCP リースが存在する場合、このメニューが表示されます。</p> <p>いいえ (デフォルト) : プrint サーバからは DHCP リースの更新は要求されません。</p> <p>はい : プrint サーバから、現在の DHCP リースの更新が要求されます。</p>
		手動設定	<p>([設定方法] が [手動] に設定されている場合のみ使用できます) プリンタのコントロールパネルからパラメータを直接設定します。</p> <p>IP アドレス : プリンタ固有の IP アドレス (n.n.n.n)。この n の値は 0 ~ 255 です。</p> <p>サブネットマスク : プリンタのサブネットマスク (m.m.m.m)。この m の値は 0 ~ 255 です。</p> <p>Syslog サーバー : syslog メッセージの受信と記録に使用される syslog サーバの IP アドレス。</p> <p>デフォルトゲートウェイ : 他のネットワークとの通信に使用されるゲートウェイまたはルータの IP アドレス。</p>

表 2-11 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			アイドル タイムアウト : TCP プリント データ接続がアイドルになってから閉じられるまでの期間 (秒)。デフォルトは 270 秒。0 を指定するとタイムアウトしなくなります。
		プライマリ DNS	プライマリ DNS サーバの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。
		セカンダリ DNS	セカンダリ DNS サーバの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。
	IPv6 設定	有効	プリント サーバで IPv6 操作を有効または無効にするには、この項目を使用します。 オフ (デフォルト) : IPv6 が無効になります。 オン : IPv6 が有効になります。
		アドレス	手動設定 : このメニューを使用して、プリント サーバの IPv6 アドレスを手動で設定します。 有効 : 手動の設定を有効にするには、この項目を選択して、[オン] を選択します。手動の設定を無効にするには、[オフ] を選択します。 アドレス : 32 桁の 16 進数の IPv6 ノード アドレス (コロンありの 16 進構文を使用します) を入力するには、この項目を使用します。
		DHCPv6 ポリシー	指定されたルーター : プリント サーバが使用するステートフルな自動設定方法は、ルーターで決定されます。ルーターは、プリント サーバが DHCPv6 サーバからアドレス、設定情報、またはその両方のいずれを取得するかを指定します。 ルーターが使用できません : ルーターが使用できない場合、プリント サーバは DHCPv6 サーバからステートフル設定を取得する必要があります。 常時 : ルーターが使用できるかどうかにかかわらず、プリント サーバは DHCPv6 サーバからステートフル設定を常に取得します。
		プライマリ DNS	プリント サーバが使用するプライマリ DNS サーバの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。
		セカンダリ DNS	プリント サーバが使用するセカンダリ DNS サーバの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。

表 2-11 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	プロキシ サーバー		<p>デバイスの内蔵アプリケーションから使用するプロキシサーバを指定します。通常、プリントサーバはインターネット アクセスするネットワーク クライアントが使用します。プリントサーバには Web ページがキャッシュされ、クライアントに対して、ある程度のインターネット セキュリティを提供しています。</p> <p>プリントサーバを指定するには、IPv4 アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。名前の長さは 255 オクテットまでです。</p> <p>ネットワークによっては、利用している Independent Service Provider (ISP) にプロキシサーバのアドレスを問い合わせる必要があります。</p>
	プロキシ サーバーのポート		<p>クライアントのプリントサーバが使用するポート番号を入力します。このポート番号は、ネットワーク上のプロキシ処理用に予約するポートです。値は 0 ~ 65535 です。</p>
IPX/SPX	有効		<p>オフ: IPX/SPX プロトコルを無効にします。</p> <p>オン (デフォルト): IPX/SPX プロトコルを有効にします。</p>
	フレーム タイプ		<p>ネットワークのフレーム タイプ設定を選択します。</p> <p>自動: フレーム タイプに自動的に設定し、最初に検出されたフレーム タイプに制限します。</p> <p>EN_8023、EN_II、EN_8022、および EN_SNAP: Ethernet ネットワークのフレーム タイプ選択。</p>
APPLETALK	有効		<p>オフ: AppleTalk プロトコルを無効にします。</p> <p>オン (デフォルト): AppleTalk プロトコルを有効にします。</p>
DLC/LLC	有効		<p>オフ: DLC/LLC プロトコルを無効にします。</p> <p>オン (デフォルト): DLC/LLC プロトコルを有効にします。</p>

表 2-11 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
セキュリティ	セキュリティ ページの印刷		<p>はい (デフォルト) : HP Jetdirect プリント サーバーの現在のセキュリティ設定が記載されたページを印刷します。</p> <p>いいえ : セキュリティ設定ページは印刷されません。</p>
	安全な WEB		<p>設定の管理に、内蔵 Web サーバが HTTPS (セキュア HTTP) のみを使用する通信を受け入れるか、HTTP と HTTPS の両方を受け入れるかを指定します。</p> <p>HTTPS が必要 : 安全で暗号化された通信のためには、HTTPS アクセスのみを受け入れます。プリント サーバは保護されたサイトと表示されます。</p> <p>HTTP/HTTPS オプション : HTTP または HTTPS を使用したアクセスが許可されます。</p>
	ファイアウォール		<p>プリント サーバー上にファイアウォールを指定します。</p> <p>維持 : ファイアウォールのステータスは、現在の設定と同じままです。</p> <p>無効 : プリント サーバー上のファイアウォール機能は無効になります。</p>
	セキュリティのリセット		<p>プリント サーバの現在のセキュリティ設定を保存するか、工場出荷時の設定にリセットするかを設定します。</p> <p>いいえ* : 現在のセキュリティ設定が維持されます。</p> <p>はい : セキュリティ設定は出荷時のデフォルト設定にリセットされます。</p>
診断	内部テスト		<p>複数のテストを使って、ネットワーク ハードウェアや TCP/IP ネットワーク接続の問題を診断します。</p> <p>内部テストを使用すると、ネットワーク エラーがデバイスの内部か外部かを特定するときに役立ちます。内部テストを使用して、プリント サーバのハードウェアと通信経路を確認します。テストを選択して有効にし、実行時間を設定した後は、[実行] を選択してテストを開始します。</p> <p>実行時間によっては、デバイスの電源を切るか、エラーが発生して診断ページが印刷されるまで、選択したテストは継続的に実行されます。</p>
		LAN HW テスト	<p> 注意 この内部テストを実行すると、TCP/IP 設定は消去されます。</p> <p>このテストによって、内部ループバック テストが実行されます。内部ループバック テストでは、内部ネットワーク ハードウェア上でのみパケットが送受信されます。ネットワークで外部の伝送はありません。</p> <p>このテストを使用するには、[はい] を選択します。このテストを使用しない場合は [いいえ] を選択します。</p>
		HTTP テスト	<p>このテストでは、定義済みページをデバイスから取得して HTTP の操作が確認され、内蔵 Web サーバがテストされます。</p>

表 2-11 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			このテストを使用するには、 [はい] を選択します。このテストを使用しない場合は [いいえ] を選択します。
		SNMP テスト	このテストでは、デバイス上の定義済み SNMP オブジェクトにアクセスすることで、SNMP 通信の操作が確認されます。
		データ経路テスト	このテストを使用するには、 [はい] を選択します。このテストを使用しない場合は [いいえ] を選択します。 このテストを使用すると、HP PostScript Level 3 エミュレーション デバイスに関するデータ経路と破損の問題を特定するときに役立ちます。定義済み PS ファイルがデバイスに送信されますが、テストはペーパーレスになり、印刷は実行されません。
		すべてのテストを選択	このテストを使用するには、 [はい] を選択します。このテストを使用しない場合は [いいえ] を選択します。 使用できる内部テストをすべて選択するには、この項目を使用します。 すべてのテストを選択するには、 [はい] を選択します。個々のテストを選択するには、 [いいえ] を選択します。
		実行時間 [時]	内部テストを実行する期間 (時間単位) を指定するには、この項目を使用します。1 ~ 60 時間の値を選択できます。ゼロ (0) を選択すると、エラーが発生するかデバイスの電源を切るまで、テストは永続的に実行されます。 HTTP、SNMP、データ経路の各テストの結果データは、テストの完了後に印刷されます。
		実行	いいえ* : 選択したテストを開始しません。 はい : 選択したテストを開始します。

表 2-11 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	Ping テスト		このテストは、ネットワーク通信を確認するときに使用されます。このテストで、リンクレベルのパケットがリモート ネットワーク ホストに送信され、適切な応答が待機されます。Ping テストを実行するには、次の項目を設定します。
		排紙先タイプ	対象デバイスが IPv4 または IPv6 ノードかを指定します。
		送信先 IP4	IPV4 : IPv4 アドレスを入力します。
		送信先 IP6	IPV6 : IPv6 アドレスを入力します。
		パケット サイズ	リモート ホストに送信する各パケットのサイズをバイト単位で指定します。最小値は 64 (デフォルト)、最大値は 2048 です。
		タイムアウト	リモート ホストからの応答を待機する期間を秒単位で指定します。デフォルトは 1 で最大値は 100 です。
		ページ カウント	このテストで送信する Ping テスト パケット数を指定します。1 ~ 100 時間の値を選択します。テストを継続的に実行するように設定するには、0 を選択します。
		結果の印刷	Ping テストが継続的な操作として設定されなかった場合、テスト結果を印刷できます。結果を印刷するには、[はい] を選択します。[いいえ] (デフォルト) を選択すると、結果は印刷されません。
		実行	Ping テストを開始するかどうかを指定します。Ping テストを実行するには [はい] を選択し、実行しない場合は [いいえ] を選択します。

表 2-11 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	Ping の結果		Ping テストのステータスと結果をコントロールパネルのディスプレイで表示するには、この項目を使用します。次の項目を選択できます。
		送信したパケット	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモートホストに送信されたパケット数 (0 ~ 65535) を表示します。
		受信したパケット	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモートホストから受信したパケット数 (0 ~ 65535) を表示します。
		消失率	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモートホストから応答がなかった Ping テストパケット送信の割合を表示します。
		RTT 最小	パケットの伝送と応答について、検出された RoundTrip-Time (RTT) の最小値 (0 ~ 4096 ミリ秒) を表示します。
		RTT 最大	パケットの伝送と応答について、検出された RoundTrip-Time (RTT) の最大値 (0 ~ 4096 ミリ秒) を表示します。
		RTT 平均	パケットの伝送と応答について、RoundTrip-Time (RTT) の平均値 (0 ~ 4096 ミリ秒) を表示します。
		Ping が進行中	Ping テストが進行中かどうかを表示します。[はい] はテストが進行中であることを示し、[いいえ] はテストが完了したか実行されていないことを示します。
		更新	Ping テスト結果を表示すると、この項目は最新の Ping テストデータに更新されます。データを更新するにははい、既存のデータを保守するにはいいえを選択します。ただし、メニューがタイムアウトするか、手動でメインメニューに戻すと、自動的に更新されます。
リンク速度			<p>プリントサーバのリンク速度と通信モードはネットワークに合わせる必要があります。使用できる設定は、デバイスとインストール済みプリントサーバによって変わります。次のリンク設定のいずれかを選択します。</p> <p> 注意 リンク設定を変更する場合、プリントサーバとネットワークデバイスのネットワーク設定が失われる可能性があります。</p> <p>自動 (デフォルト) プリントサーバは、自動ネゴシエーション機能を使用して、許可されている中で最高のリンク速度と通信モードで設定します。自動ネゴシエーションが失敗すると、検出されたハブ/スイッチポートの検出済みリンク速度に応じて、100TX HALF または 10TX HALF が設定されます (1000T 半二重の選択には対応していません)。</p> <p>10T ハーフ : 10 Mbps、半二重操作。</p> <p>10T フル : 10 Mbps、全二重操作。</p> <p>100TX ハーフ : 100 Mbps、半二重操作。</p> <p>100TX フル : 100 Mbps、全二重操作。</p>

表 2-11 Jetdirect のメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			100TX 自動 : 自動ネゴシエーションの最高リンク速度を 100 Mbps に制限します。
			1000TX フル : 1000 Mbps、全二重操作。
プロトコル設定の印刷			次のプロトコルの設定を参照するには、この項目を使用します。IPX/SPX、Novell NetWare、AppleTalk、DLC/LLC。

ファックス セットアップ

管理 > 初期セットアップ > ファイアウォール セットアップ

表 2-12 ファイアウォール セットアップ メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
必要な設定	国/地域		(表示される国/地域)	ファックスの送信に関して法的に必要な設定を行います。
	日付/時刻			
	ファックス ヘッダ情報	電話番号 会社名		
PC ファックス送信			無効 有効 (デフォルト)	この機能を使用して、PC ファックス送信 を有効または無効にします。ファックス送信ドライバをインストールしている場合は、PC ファックス送信 を使用して、コンピュータからデバイスを通じてファックスを送信することができます。

表 2-12 ファイアウォール セットアップ メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ファックス送信設定	ファックス ダイアル 音量		オフ	この機能を使用して、デバイスがファックス番号をダイヤルするときのトーンの音量を設定します。
			低 (デフォルト)	
			高	
	エラー修正モード		有効 (デフォルト) 無効	エラー修正モードが有効で、ファックス送信時にエラーが発生した場合、エラーが発生した部分をもう一度デバイスで送受信します。
	JBIG 圧縮		有効 (デフォルト) 無効	JBIG 圧縮を使用すると、ファックスの送信時間が短縮されるため、通話費用を抑えることができます。ただし、JBIG 圧縮を使用すると、古いファックス機との間に互換性の問題が起きる場合があります。この問題が発生する場合は、JBIG 圧縮をオフにします。
	最大ボーレート		リストから値を選択 します。デフォルト 値は 33.6K です。	ファックス受信の最大ボー レートを設 するには、この機能を使用します。こ れは、ファックスの問題のトラブルシュー ティング用の診断ツールとして使用でき ます。
	TCF T.30 遅延タイマ		デフォルト (デフォ ルト) カスタム	この設定はデフォルト値のままにし、HP テクニカル サポートの技術者から指示 された場合にのみ変更してください。こ の設定に関連する調整手順は、このガ イドで取り扱われる内容の範囲外で す。
	TCF 延長		デフォルト (デフォ ルト) カスタム	この設定はデフォルト値のままにし、HP テクニカル サポートの技術者から指示 された場合にのみ変更してください。こ の設定に関連する調整手順は、このガ イドで取り扱われる内容の範囲外で す。
	ダイヤル モード		トーン (デフォルト) パルス	トーン ダイアルまたはパルス ダイアル のどちらを使用するかを選択します。
	通話中の場合のリ ダイヤル		範囲は 0 ~ 9 です。 出荷時のデフォルト 設定は 3 回です。	回線が使用中の場合に、リダイヤルを 試行する回数を入力します。
	無応答時のリダイ アル回数		なし (デフォルト) 1 回のみ 2 回	この機能を使用して、受信者のファク ス番号が応答しない場合のダイヤル試 行回数を指定します。
				 注記 [2 回] は、米国とカナダ以外 の地域で使用できます。

表 2-12 ファイアウォール セットアップ メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
	リダイヤル間隔		範囲は 1 ~ 5 分です。出荷時のデフォルト設定は 5 分です。	この機能を使用して、受信者の番号が通話中や応答しないときのダイヤル試行の回数を指定します。
	ダイヤル トーンを検出		有効 無効 (デフォルト)	この機能を使用して、ファックスを送信する前に、デバイスがダイヤル トーンを確認するかどうかを指定します。
	ダイヤル プレフィックス		オフ (デフォルト) カスタム	この機能を使用して、デバイスからファックスを送信するときにダイヤルする必要があるプレフィックス番号を指定します。
	請求書コード		オフ (デフォルト) カスタム	請求書コードを有効にすると、送信ファックスに請求書コードの入力を指示するメッセージが表示されます。 範囲は 1 ~ 16 桁です。デフォルトの設定は 1 桁です。
ファックス受信設定	応答するまでの呼び出し回数		範囲は地域によって変わります。出荷時のデフォルト設定は 2 回です。	この機能を使用して、ファックス モデムが応答するまでに鳴らす呼び出し音の回数を指定します。
	呼び出し間隔		デフォルト (デフォルト) カスタム	この設定は、一部の PBX (構内交換機) で呼び出し信号を調整する必要がある場合に使用します。この設定は、HP テクニカル サポートの技術者から指示された場合にのみ変更してください。
	呼び出し回数		デフォルト (デフォルト) カスタム	この設定はデフォルト値のままにし、HP テクニカル サポートの技術者から指示された場合にのみ変更してください。この設定に関連する調整手順は、このガイドで取り扱われる内容の範囲外です。
	呼び出し音量		オフ 低 (デフォルト) 高	ファックスの呼び出し音量を設定します。
	ブロックするファックス番号	ブロック番号を追加	追加するファックス番号を入力します。	この機能を使用して、ブロックするファックス リストに電話番号を追加または削除します。ブロックするファックス リストには、30 までの番号を含めることができます。デバイスは、ブロックするファックス番号を受信すると、その受信ファックスを削除します。また、ブロックしたファックスをジョブアカウント情報と一緒にアクティビティログに記録します。
		ブロックされた番号を削除	削除するファックス番号を選択します。	
		ブロックされた番号をすべてクリア	いいえ (デフォルト) はい	

電子メール セットアップ

管理 > 初期セットアップ > 電子メール セットアップ

このメニューを使用して、電子メール機能を有効にし、基本的な電子メール設定を行います。



注記 詳細な電子メール設定を行うには、内蔵 Web サーバを使用します。詳細については、「[内蔵 Web サーバ](#)」を参照してください。

表 2-13 電子メール セットアップ メニュー

メニュー項目	値	説明
アドレス確認	オン (デフォルト) オフ	このオプションを使用すると、電子メール アドレスを入力したときに電子メール アドレスの構文がチェックされます。有効な電子メール アドレスには、「@」記号と「.」が必要です。
送信ゲートウェイの検出		デバイスが電子メールの送信に使用できる SMTP ゲートウェイのネットワークを検索します。
SMTP ゲートウェイ	値を入力します。	デバイスから電子メールを送信するときに使用される SMTP ゲートウェイの IP アドレスを指定します。
送信ゲートウェイのテスト		SMTP ゲートウェイが機能するかどうかを確認するために、構成された SMTP ゲートウェイをテストします。

[送信設定] メニュー

管理 > 初期セットアップ > 送信設定

表 2-14 [送信設定] メニュー

メニュー項目	値	説明
MFP の複製	値を入力します (IP アドレス)。	デバイス間でローカルの送信設定をコピーします。
新規 DSS への転送を許可	オフ オン (デフォルト)	この機能を使用すると、ある HP Digital Sending Software (DSS) サーバーから別のサーバーへデバイスの転送が可能になります。 HP DSS は、ファックス送信、電子メール送信、スキャン済み文書のネットワーク フォルダへの送信など、デジタル送信タスクを処理するソフトウェア パッケージです。
デジタル送信サービスの使用を許可	オフ オン (デフォルト)	この機能を使用すると、HP DSS サーバと共に使用するデバイスを設定できます。
ファックス番号の確認	無効 (デフォルト) 有効	ファックス番号の確認が有効に設定されている場合、正しく入力されているかどうかを確認するために、ファックス番号を 2 回入力するよう要求されます。

デバイス動作メニュー

管理 > デバイス動作

表 2-15 デバイス動作 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
言語			リストから言語を選択します。	コントロールパネルのメッセージを別の言語で表示したい場合に選択します。新しい言語を選択すると、キーボードの配列も変わる場合があります。
キー打鍵音			オン (デフォルト) オフ	この機能を使用して、画面にタッチしたり、コントロールパネルのボタンを押すときに音を出すかどうかを指定したりします。
アイドル状態のタイムアウト			10 ~ 300 秒の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は 60 秒です。	コントロールパネルで何らかの操作を行い、そのまま放置したときにデバイスがデフォルト設定にリセットされるまでのタイムアウト時間を指定します。
警告/エラー動作	クリア可能な警告		オン ジョブ (デフォルト)	コントロールパネルに解除可能な警告が表示される時間を設定します。
	継続可能なイベント		自動継続 (10 秒) (デフォルト) [OK] をタッチして続行	デバイスで特定のエラーが起きた場合のデバイスの動作を設定します。
	紙詰まりの除去		自動 (デフォルト) オフ オン	デバイスが紙詰まり中に処理されなかったページを処理する方法を設定します。

表 2-15 デバイス動作メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
トレイの設定	要求されたトレイを使用		優先 (デフォルト)	ジョブが特定の給紙トレイを指定した場合に、デバイスがジョブを処理する方法を制御します。
			最初	
	手差しプロンプト		常時 (デフォルト)	ジョブのタイプまたはサイズが指定したトレイと一致しなかったときに、デバイスがそれに代わって汎用トレイから給紙する場合、どのように指示を表示するかを指定します。
			セットしてから使用	
	PS はメディアに従う		有効 (デフォルト)	PostScript (PS) または HP の用紙処理モデルのどちらかを選択します。
		無効		
	別のトレイを使用		有効 (デフォルト)	指定したトレイが空の場合に、別のトレイを選択するようにコントロールパネルに指示を表示するかどうかを指定します。
	無効			
サイズ/タイププロンプト		ディスプレイ (デフォルト)	トレイが開いたり、閉じたりするごとにトレイ設定メッセージを表示するかどうかを制御します。	
	非表示			
空白ページを両面印刷		自動 (デフォルト)	デバイスが両面印刷ジョブを処理する方法を制御します。	
	はい			
イメージの回転			標準 (デフォルト)	[イメージの回転] オプションにより、フィニッシャが取り付けられているかどうかにかかわらず、給紙トレイに同じ方向で用紙をセットできます。 フィニッシャが取り付けられている他のデバイスのセット方向と一致させる場合は、[標準] を選択します。 別のセット方向を使用する場合は、[代替] を選択します (旧製品で使用されている印刷済み用紙の場合はこのほうが適しているかもしれません)。
			代替	
ステイブラ/スタッカ	ステイブル		なし	オプションのステイブラ/スタッカを取り付けている場合、この機能を使用して、デバイスのステイブル特性を設定します。
			1	
	ステイブルが空になりました		継続 (デフォルト)	
			停止	
MBM-3 設定	動作モード		機能セパレータ メールボックス スタッカ	オプションの 3 ピン メールボックス アクセサリを設定します。

表 2-15 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
通常のコピー動作	事前スキャン		有効 (デフォルト)	即時スキャンをオンにします。[事前スキャン]を有効にすると、原稿のページはディスクにスキャンされ、デバイスが使用可能になるまで保持されます。
			無効	
	自動印刷中断		有効	この機能を有効にすると、複数部の印刷を設定されたプライベート ジョブがコピー ジョブによって中断される可能性があります。 コピー ジョブは、印刷ジョブの 1 部の終了時に、プリント キューに挿入されます。コピー ジョブが完了すると、印刷ジョブの残りの部数について印刷が続行されます。
			無効 (デフォルト)	
	コピー中断		有効	この機能を有効にすると、現在印刷中のコピー ジョブは、新しいコピー ジョブが開始されるときに中断される可能性があります。現在のジョブを中断することを確認するメッセージが表示されます。
			無効 (デフォルト)	
	初期コピー速度		早期ウォーム アップ なし (デフォルト)	
			早期ウォーム アップ	
	代替レターヘッドモード		いいえ (デフォルト)	
			はい	

表 2-15 デバイス動作メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
通常の印刷動作	A4/レター置き換え		いいえ	この機能を有効にすると、印刷ジョブは A4 のジョブを送信したときに A4 サイズの用紙がデバイスにセットされていない場合、レターサイズの用紙に印刷します (またはレターサイズの用紙を送信したときにレターサイズの用紙がセットされていない場合、A4 の用紙に印刷します)。このオプションでは、タブロイド版の代わりに A3 の用紙に印刷したり、A3 の用紙の代わりにタブロイド版の用紙に印刷することもできます。
			はい (デフォルト)	
手差し			有効	この機能を有効にすると、ユーザーはコントロールパネルからジョブの用紙ソースとして手差しを選択できます。
			無効 (デフォルト)	
Courier フォント			標準 (デフォルト)	使用する Courier フォントのバージョンを選択します。
			濃い	
ワイド A4			有効	A4 サイズの用紙の印刷できる範囲を変更します。このオプションを有効にした場合、A4 用紙の 1 行に 10 ピッチの文字を 80 文字印刷できます。
			無効 (デフォルト)	
PS エラーの印刷			有効	デバイスで PostScript (PS) エラーが発生したときに、PS エラー ページを印刷するかどうかを選択します。
			無効 (デフォルト)	
PDF エラーの印刷			有効	デバイスで PDF エラーが発生したときに、PDF エラー ページを印刷するかどうかを選択します。
			無効 (デフォルト)	
パーソナリティ			自動 (デフォルト)	デバイスが使用するプリンタ言語を選択します。 通常は、プリンタ言語を変更しないでください。この設定をある言語に変更しても、特別なソフトウェア コマンドをデバイスに送信しない限り、デバイスは自動的に 1 つの言語から別の言語に切り替えることはありません。
			PCL	
			PDF	
			PS	

表 2-15 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
	PCL	用紙の行数	5 ~ 128 行の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は 60 行です。	PCL とは、Hewlett-Packard がプリンタ機能にアクセスするために開発したプリンタ コマンドのセットです。
		方向	縦 (デフォルト) 横	印刷ジョブに最もよく使用する用紙の向きを選択します。短辺を上に向けてセットする場合は [縦] を選択し、長辺を上に向けてセットする場合は [横] を選択します。
		フォント ソース	リストから言語を選択します。	ユーザーソフト デフォルト フォントのフォント ソースを選択します。
		フォント番号	フォント番号を入力します。範囲は 0 ~ 999 です。出荷時のデフォルト設定は 0 です。	[フォント ソース] メニュー項目で指定されたソースを使用するユーザーソフト デフォルト フォントのフォント番号を指定します。デバイスは、各フォントに番号を割り当て、PCL フォントリストに表示します ([管理] メニューから利用可能)。
		フォント ピッチ	0.44 ~ 99.99 の範囲の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は、10.00 です。	[フォント ソース] と [フォント番号] でアウトライン フォントが指定されている場合、この機能を使用して、デフォルトのピッチを選択します (固定間隔フォントの場合)。
		フォント ポイントサイズ	4.00 ~ 999.75 の範囲の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は、12.00 です。	[フォント ソース] と [フォント番号] でアウトライン フォントが指定されている場合、この機能を使用して、デフォルトのポイントサイズを選択します (プロポーショナルフォントの場合)。
		シンボルセット	PC-8 (デフォルト) (50 種類の記号設定から選択)	利用可能な複数のシンボル セットのどれか 1 つを、コントロール パネルから選択します。シンボル セットは、これらすべての文字を 1 つのフォントにまとめたものです。
		LF に CR を追加	いいえ (デフォルト) はい	下位互換の PCL ジョブ (ジョブコントロールのない純粋なテキスト) に使用される改行 (LF) に、キャリッジリターン (CR) を追加するかどうかを設定します。
		空白ページを省略	いいえ (デフォルト) はい	このオプションは、独自の PCL を作成するユーザーのためのオプションです。たとえば、フォーム フィールドを余分に追加して空白ページを印刷させることができます。[はい] が選択されると、ページが空白の場合、改ページは無視されます。
		メディア ソース マッピング	標準 (デフォルト) クラシック	デバイス ドライバを使用していない場合や、ソフトウェア プログラムにトレイ選択オプションがない場合に、給紙トレイを番号で選択して管理します。

印刷品質メニュー

管理 > 印刷品質

表 2-16 印刷品質 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
カラー調節	ハイライト	シアン濃度. マゼンタ濃度. イエロー濃度. 黒濃度 [+5] ~ [-5]。デフォルトは [0] です。	印刷ページのハイライトの暗さまたは明るさを調整します。値を小さくすると印刷ページのハイライトが明るくなり、値を大きくすると印刷ページのハイライトが暗くなります。
	中間トーン	シアン濃度. マゼンタ濃度. イエロー濃度. 黒濃度 [+5] ~ [-5]。デフォルトは [0] です。	印刷ページの中間トーンの暗さまたは明るさを調整します。値を小さくすると印刷ページの中間トーンが明るくなり、値を大きくすると印刷ページの中間トーンが暗くなります。
	シャドウ	シアン濃度. マゼンタ濃度. イエロー濃度. 黒濃度 [+5] ~ [-5]。デフォルトは [0] です。	印刷ページのシャドウの暗さまたは明るさを調整します。値を小さくすると印刷ページのシャドウが明るくなり、値を大きくすると印刷ページのシャドウが暗くなります。
設定の登録	テスト ページ	印刷	画像がページの下、左右に対して中央に位置するように余白を調整します。表面に印刷される画像と裏面に印刷される画像の位置を合わせるように調整することもできます。 登録を設定する場合、テスト ページを印刷します。
	ソース	すべてのトレイ トレイ <X> :<コンテンツ> (トレイを選択)	[設定の登録] ページを印刷するためのソース給紙トレイを選択します。
	トレイ <X> の調整	XまたはY軸に沿って -20 ~ 20 の範囲で位置を調整します。0 がデフォルトです。	各トレイの位置を調整します。 イメージを作成する場合、シートが上から下へデバイスに送られてくると、デバイスはページを横方向にスキャンします。 スキャンの方向は、X として表されます。X1 は、両面ページの表面のスキャン方向です。X2 は、両面ページの裏面のスキャン方向です。給紙の方向は Y で表されます。
プリントモード	<用紙タイプ>		用紙タイプに関連するモードを設定します。
自動感知モード	トレイ 1 自動感知	フル感知 (デフォルト) 拡張感知 OHP フィルムのみ	[拡張感知] を選択した場合、デバイスは普通紙、OHP フィルム、光沢紙、および耐久紙を認識します。[OHP フィルムのみ] を選択した場合、デバイスは OHP フィルムおよび OHP 以外のフィルム タイプのみ認識します。
	トレイ 2 ~ 4 感知中	拡張感知 OHP フィルムのみ (デフォルト)	[拡張感知] を選択した場合、デバイスは普通紙、OHP フィルム、光沢紙、および耐久紙を認識します。[OHP フィルムのみ] を選択した場合、デバイスは OHP フィルムおよび OHP 以外のフィルム タイプのみ認識します。

表 2-16 印刷品質 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
最適化	CACO3		用紙が高価な国/地域では、用紙にこの添加剤を加えて製造コストを低減します。この添加剤は用紙をほこりっぽくし、印刷品質に影響を及ぼします。
	背景 1		
	背景 2		
	見当		
	長い用紙		
	定義済みの回転		
	再転写		
	トレイ 1		
	ベルト接触部		
	最適化モードの復元		
カラー REt		有効 (デフォルト)	斜めの線、曲線、輪郭をなめらかに表現できるレゾリューション エンハンスメント テクノロジ (REt) 設定を有効または無効にします。
		無効	
校正/クリーニング	自動クリーニング	有効	自動クリーニングをオンにすると、ページ数が [クリーニング間隔] に設定されている値に達した時点で、デバイスがクリーニング ページを印刷します。
		無効 (デフォルト)	
	クリーニング間隔	1000 (デフォルト)	クリーニング ページを印刷する間隔を設定します。間隔は、印刷したページ数によって決まります。
		2000	
		5000	
		10000	
		20000	
	自動クリーニング サイズ	レター	クリーニング ページに使用する用紙のサイズを選択します。
A4			
クリーニング ページの処理	プロセス	この機能を使用して、フューザー内の加圧ローラーから余分なトナーを落とすためのクリーニング ページを作成し、処理します。このプロセスには、最大 2.5 分かかります。	
クイック校正	校正	MFP の部分校正を実行します。	
完全校正	校正	MFP の完全校正を実行します。	

トラブルシューティングメニュー

管理 > トラブルシューティング



注記 [トラブルシューティング]メニューの下にあるメニュー項目の多くは、高度なトラブルシューティングを目的としています。

表 2-17 トラブルシューティングメニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
イベントログ			印刷	このログは、コントロールパネルディスプレイのイベントコードと対応するエンジンサイクルを示します。
スキャナの校正			校正	この機能を使用して、ADF およびフラットベッドスキャン用のスキャナイメージシステム(キャリッジヘッド)のオフセットを補正します。 スキャナがスキャン対象文書の目的の部分を正しくキャプチャしない場合には、スキャナの校正が必要になることがあります。
印刷品質のトラブルの解決			印刷	印刷品質の問題の解決に役立つさまざまな診断ページを印刷します。
ファックス T.30 トレース	T.30 レポートの印刷			ファックス T.30 トレース レポートを印刷または設定します。T.30 は、ファックス機間のハンドシェイク、プロトコル、およびエラー修正を規定する規格です。
	レポート印刷時間		自動印刷しない(デフォルト)	
			ファックス ジョブ後に印刷	
			ファックス送信ジョブ後に印刷	
			ファックス エラー後に印刷	
			送信エラー後にのみ印刷	
			受信エラー後にのみ印刷	
ファックス送信信号損失			値は 0 ~ 30 です。デフォルト値は 0 です。	電話回線信号の損失に対して補正する損失レベルを設定します。ファックスが操作不能になる場合があるため、HP のサービス担当者から要求された場合以外は、この設定を変更しないでください。
ファックス V.34			標準(デフォルト) オフ	ファックス エラーが何度も発生した場合や電話回線の状況により必要な場合に V.34 変調を無効にします。
ファックス スピーカモード			標準(デフォルト) 診断	この機能は、技術者がファックス変調音を聞いてファックスの問題を検討および診断するのに使用します。
用紙経路センター				用紙経路センサーのテストを開始します。
診断ページ			印刷	カラー見本および EP パラメータ テーブルを含む診断ページを印刷します。

表 2-17 トラブルシューティングメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
カートリッジのチェックを無効にする				この項目を使用して特別のテストモードに入ります。このモードでは、カートリッジ (または、カートリッジとドラムのカラーペア) を取り外して、特定のカラーが問題の原因であるかどうかを判定できます。このモードでは、消耗品に関連するすべてのエラーが無視されます。
用紙経路テスト	テスト ページ		印刷	用紙処理機能をテストするテストページを作成します。特定の用紙経路をテストするために、テストに使用する用紙経路を定義します。
	ソース		すべてのトレイ トレイ 1 トレイ 2 (適用できる場合、追加のトレイが表示されます。)	テストページをすべてのトレイから印刷するか、特定のトレイから印刷するかを指定します。
	排紙先		すべての排紙ビン スタッカ ビン 標準の排紙トレイ	テストページの排紙オプションを選択します。すべての排紙ビンにテストページを送信するか、特定のビンにテストページを送信します。
	両面印刷		オフ (デフォルト) オン	両面印刷ユニットをテストに含めるかどうかを選択します。
	部数		範囲:2-30、デフォルト=2	テストの一部として、指定したソースから印刷するページ数を選択します。

表 2-17 トラブルシューティング メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明	
用紙経路のテストを終了中	ステイブル	仕上げオプション	利用可能なオプションのリストから選択します。	フィニッシャの用紙処理機能をテストします。 テストするオプションを選択します。	
		メディア サイズ	レター リーガル A4 エグゼクティブ (JIS) 8.5 x 13	テストで使用する用紙サイズを選択します。	
		用紙の種類	タイプのリストから選択します。	テストで使用する用紙タイプを選択します。	
		部数	範囲:2-30、デフォルト=2	テストで使用するコピー部数を選択します。	
		両面印刷	オフ オン	両面印刷ユニットをテストで使用するかどうかを選択します。	
		テスト ページ	印刷	テストで使用するテスト ページを印刷します。	
	スタッカ	メディア サイズ	レター リーガル A4 エグゼクティブ (JIS) 8.5 x 13	スタッカのテストで使用するオプションを選択します。	
			用紙の種類	タイプのリストから選択します。	[用紙経路のテストを終了中] で使用するメディア タイプを選択します。
			部数	1 10 50 100 500	[用紙経路のテストを終了中] で使用するコピー部数を選択します。
		両面印刷	オフ オン	[用紙経路のテストを終了中] で両面印刷ユニットを使用するかどうかを選択します。	
		テスト ページ	印刷	[用紙経路のテストを終了中] で使用するテスト ページを印刷します。	
		手動センサー テスト 1			
手動センサー テスト 2				この項目は、用紙経路センサーが正常に動作しているかどうかを判定するためのテストを実行します。	

表 2-17 トラブルシューティングメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
コンポーネントテスト				各コンポーネントでテストを実行して、騒音や漏洩電流などの問題を特定します。テストを開始するには、いずれかのコンポーネントを選択します。テストは、[繰り返し]オプションで指定された回数だけ繰り返し実行されます。テスト中にデバイスからコンポーネントを取り外すように求められる場合があります。テストを中断するには、[停止] ボタンを押します。
印刷/停止テスト			0 ~ 60,000 ミリ秒の値を指定します。デフォルトは 0 です。	印刷サイクル中にデバイスを停止させて、プロセスのどの部分で画質が低下するかを確認して問題を特定します。テストを実行するには、停止時間を指定します。デバイスに送信される次のジョブは、プロセスで指定されている時間に停止されます。
カラーバンドテスト	テスト ページ		印刷	高電圧電源のアーカ放電を判定するのに役立つページを印刷します。
	部数			カラー バンド テスト用に印刷するコピー部数を指定します。
スキャナテスト				サービス技術者が、このメニュー項目を使用してデバイス スキャナの潜在的問題を診断できます。
コントロール パネル	LED			コントロール パネルのコンポーネントが正常に機能していることを確認します。
	ディスプレイ			
	ボタン			
	タッチスクリーン			

[リセット] メニュー

管理 > リセット

表 2-18 [リセット] メニュー

メニュー項目	値	説明
ローカルのアドレス帳をクリア	クリア	この機能を使用して、デバイスに保存されているアドレス帳からすべてのアドレスを消去します。
ファックス使用状況ログをクリア	はい いいえ (デフォルト)	この機能を使用して、ファックス使用状況ログからすべてのイベントを消去します。
出荷時の通信設定に戻す	復元	このオプションを使用して、伝送信号の損失、V34、最大ボーレート、スピーカーモードなどの設定を出荷時のデフォルト設定に復元します。
出荷時の設定に戻す	復元	この機能を使用して、すべてのデバイス設定を出荷時のデフォルトに戻します。
文書フィーダのメッセージをクリア	クリア	この機能を使用して、 文書フィーダキットを注文してください と 文書フィーダキットを交換してください という警告メッセージをクリアします。
サプライ品のリセット	新規文書フィーダキット (はい/いいえ)	新しい文書フィーダキットを取り付けたことをデバイスに通知します。

サービス メニュー

管理 > サービス

サービス メニューはロックされており、アクセスするには PIN を入力する必要があります。このメニューは、正規サービス担当者が使用することを前提にしています。

3 Windows 用ソフトウェア

- サポートされる Windows のバージョン
- 印刷システム ソフトウェアのインストール
- 対応プリンタ ドライバ
- Windows 用ソフトウェアの削除
- 正しいプリンタ ドライバの選択
- 印刷設定の優先度
- プリンタ ドライバを開く

サポートされる Windows のバージョン

ソフトウェア	Windows 2000 ^R /XP ^R /Server 2003 ^R /Vista TM
Windows Installer	x
PCL 5 ドライバ ソフトウェア ¹	x
PCL 6 ドライバ ソフトウェア (黒のみ)	x
PCL 6 ドライバ ソフトウェア	x
PostScript エミュレーション	x
HP Easy Printer Care ¹	x
HP Web Jetadmin ¹	x
ユニバーサル プリンタ ドライバ	x

¹ World Wide Web 上でのみ入手可能です。

オプションとして、次の拡張機能を提供する HP Digital Sending Software も購入できます。

- LAN ファックス
- インターネット ファックス
- Windows ファックス
- OCR でのワークフロー
- Novell 環境との互換性 (認証、フォルダ アクセスなど)
- ユーザー認証

HP Digital Sending Software および無料の試用版の詳細については、<http://www.hp.com/go/digitalsending> を参照してください。

印刷システム ソフトウェアのインストール

MFP には、Windows および Macintosh オペレーティング システム対応のプリンタ ドライバとインストール ソフトウェアを格納した CD が付属しています。印刷システム ソフトウェアをインストールすると、MFP の機能をフル活用できます。

CD-ROM ドライブへのアクセス権限がない場合は、インターネット経由で <http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> から印刷システム ソフトウェアをダウンロードします。

Windows 印刷システム ソフトウェアのインストール (USB またはパラレル経由の直接接続の場合)

このセクションでは、次の Microsoft オペレーティング システムに対応した印刷システム ソフトウェアのインストール方法について説明します。

- Windows 2000
- Windows Server 2003
- Windows XP
- Windows Vista



注記 指示があるまで、パラレルまたは USB ケーブルを接続しないでください。ソフトウェアをインストールする前にパラレルまたは USB ケーブルが接続されていた場合、58 ページの「[パラレルまたは USB ケーブルを接続した後、ソフトウェアをインストール](#)」を参照してください。

1. 開いているまたは実行されているソフトウェア プログラムをすべて終了します。
2. CD-ROM ドライブに MFP CD を挿入します。[よろこ] 画面が表示されない場合は、次の手順に従ってください。
 - [スタート] メニューで、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 - 「X:\setup」と入力します (X は、CD-ROM ドライブのドライブ文字です)。
 - [OK] をクリックします。
3. プロンプトが表示されたら、[インストール] をクリックし、画面の指示に従います。
4. インストールが完了したら、[完了] をクリックします。コンピュータの再起動が必要な場合があります。
5. テスト ページを印刷するか、任意のソフトウェア プログラムから 1 ページだけ印刷して、ソフトウェアが正常にインストールされたことを確認します。

インストールに失敗した場合は、ソフトウェアをインストールし直してください。再インストールに失敗した場合、MFP CD に収録されているインストール ノートと Readme ファイルを確認するか、<http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> にアクセスしてヘルプまたは詳細情報を参照してください。

Windows 印刷システム ソフトウェアのインストール (ネットワークの場合)

MFP CD のソフトウェアは、Microsoft ネットワーク インストールに対応しています。他のオペレーティング システムのネットワーク インストールに関する詳細は、<http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> を参照してください。

HP Jetdirect 内蔵プリント サーバーは、10/100 Base-TX 対応のネットワーク ポートを装備しています。別のタイプのネットワーク ポートを備えた HP Jetdirect プrint サーバーを必要とされる場合は、<http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> を参照してください。

インストーラは、Novell サーバー上での MFP のインストールまたは MFP オブジェクトの作成には対応していません。Novell サーバー上で MFP のインストールおよび MFP オブジェクトの作成を行うには、HP ユーティリティ (HP Web Jetadmin など) または Novell ユーティリティ (NWAdmin など) を使用してください。

Windows 2000、Windows Server 2003、Windows XP、または Windows Vista にソフトウェアをインストールするには、管理者権限を持っている必要があります。

1. インストールの前に、設定ページを印刷します (182 ページの「[情報ページ](#)」を参照してください)。最後のページで、MFP の IP アドレスを見つけます。このアドレスは、ネットワーク インストールを行うために必要になります。
2. 必要のないソフトウェア プログラムをすべて終了します。
3. CD-ROM ドライブに MFP CD を挿入します。[ようこそ] 画面が表示されない場合は、次の手順に従ってください。
 - **[スタート]** メニューで、**[ファイル名を指定して実行]** をクリックします。
 - 「X:\setup」と入力します (X は、CD-ROM ドライブのドライブ文字です)。
 - **[OK]** をクリックします。
4. プロンプトが表示されたら、**[インストール]** をクリックし、画面の指示に従います。インストールが完了したら、**[完了]** をクリックします。コンピュータの再起動が必要な場合があります。
5. テスト ページを印刷するか、任意のソフトウェア プログラムから 1 ページだけ印刷して、ソフトウェアが正常にインストールされたことを確認します。インストールに失敗した場合は、ソフトウェアをインストールし直してください。再インストールに失敗した場合、MFP CD に収録されているインストール ノートと Readme ファイル、または MFP ボックスに同梱のパンフレットを確認するか、<http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> を参照してください。

ネットワーク上での Windows 共有の使用

コンピュータから MFP に直接印刷する場合は、ネットワーク上で MFP を共有することにより、他のネットワーク ユーザーが MFP に印刷できるようになります。Windows 共有を有効にするには、Microsoft Windows のマニュアルを参照してください。その後、MFP を共有するすべてのコンピュータ上に MFP ソフトウェアをインストールします。

パラレルまたは USB ケーブルを接続した後、ソフトウェアをインストール

Windows コンピュータにパラレルまたは USB ケーブルが既に接続されている場合は、コンピュータの電源を入れたときに、**[新しいハードウェアが見つかりました]** ダイアログ ボックスが表示されます。

1. **[新しいハードウェアが見つかりました]** ダイアログ ボックスで、**[デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)]** をクリックします。
2. **[ドライバ ファイルの特定]** 画面で、**[場所を指定]** チェック ボックスを選択します。他のすべてのチェック ボックスを選択解除し、**[次へ]** をクリックします。
3. ルート ディレクトリのドライブ文字を入力します。たとえば、「X:\」と入力します (「X」は、CD-ROM ドライブのルート ディレクトリのドライブ文字です)。

4. **[次へ]** をクリックします。
5. 画面の指示に従ってください。
6. インストールが完了したら、**[完了]** をクリックします。
7. 言語を選択し、画面の指示に従います。
8. テスト ページを印刷するか、任意のソフトウェア プログラムから 1 ページだけ印刷して、ソフトウェアが正常にインストールされたことを確認します。

インストールに失敗した場合は、ソフトウェアをインストールし直してください。再インストールに失敗した場合、MFP CD に収録されているインストールノートと Readme ファイル、または MFP ボックスに同梱のパンフレットを確認するか、<http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> を参照してください。

対応プリンタ ドライバ

オペレーティング システム	PCL 5	PCL 6	PS Level 3 エミュレーション
Windows	✓	✓	✓
Mac OS X V10.2 以降			✓
Linux ¹			✓

¹ Linux の場合は、www.hp.com/go/linuxprinting から PostScript Level 3 エミュレーション ドライバをダウンロードしてください。

プリンタ ドライバには、一般的な印刷タスクの操作手順と、プリンタ ドライバ内のボタン、チェックボックス、およびドロップダウン リストに関するオンライン ヘルプが含まれています。

Windows 用ソフトウェアの削除

1. Windows の [スタート] メニューをクリックし、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックします。
2. [プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。
3. 削除するソフトウェアをクリックします。
4. [削除] をクリックします。
5. 画面の指示に従って、アンインストールを完了します。

正しいプリンタ ドライバの選択

プリンタ ドライバは、デバイスの機能にアクセスできるようにしたり、コンピュータがプリンタ言語を使用して MFP と通信できるようにしたりします。

- **HP PCL 5 ドライバ。**一般的なオフィスの Windows 環境でのモノクロおよびカラー印刷向けです。以前の PCL バージョンまたは以前の LaserJet プリンタと下位互換性があります。サードパーティ/カスタム ソリューション (フォーム、フォント、SAP プログラム) または混在環境 (UNIX、Linux、メインフレーム) に最適です。
- **HP PCL 6 ドライバ。**すべての Windows 環境での印刷向けです。全体的に最善のパフォーマンス、印刷品質に加え、ほとんどのユーザーに対するプリンタ機能のサポートを提供します。Windows GDI (Graphic Device Interface) に合わせて開発されており、Windows 環境で最善のパフォーマンスを実現します。PCL 5 ベースのサードパーティおよびカスタム ソリューションとは完全な互換性がない場合があります。HP PCL 6 ドライバのモノクロ (黒のみ) 版もご利用いただけます。
- **HP PostScript ドライバ。**Adobe アプリケーションなどグラフィックスを多用するアプリケーションの印刷向けです。PS レベル 3 の必要条件および PS フォントのサポートに最適です。Adobe アプリケーションを使用するときのパフォーマンスは、PCL 6 を若干上回ります。

プリンタ ドライバでは、オンライン ヘルプを利用できます。オンライン ヘルプには、一般的な印刷タスクの手順のほか、ドライバに含まれるボタン、チェックボックス、ドロップダウン リストについての説明が記載されています。

ユニバーサル プリンタ ドライバ

Windows 用 HP ユニバーサル プリンタ ドライバシリーズには、シングル ドライバの HP PostScript Level 3 エミュレーションおよび HP PCL 5 バージョンが用意されています。シングル ドライバを使用すると、ほぼすべての HP デバイスにアクセスでき、システム管理者にデバイスをさらに効率的に管理するためのツールも用意されます。ユニバーサル プリンタ ドライバは、デバイスに同梱の CD の Optional Software セクションに収録されています。詳細については、www.hp.com/go/universalprintdriver を参照してください。

ドライバの自動設定

HP LaserJet PCL 5、PCL 6、および Windows 2000、Windows XP、Windows Vista 用 PS レベル 3 エミュレーション ドライバにはインストール時のデバイス アクセサリ自動検出およびドライバ設定機能が装備されています。[自動構成] によってサポートされているアクセサリは両面印刷ユニット、オプション用紙トレイおよび DIMM (Dual Inline Memory Module) などです。

自動設定

インストール時のデバイスの設定を変更した場合、ドライバを自動的に新しい設定に更新できます。ドライバを更新するには、[プロパティ] ダイアログ ボックス (64 ページの「[プリンタ ドライバを開く](#)」を参照) の [デバイス設定] タブで、ドロップダウン ボックスから [今すぐ更新] オプションを選択します。

印刷設定の優先度

印刷設定の変更は、変更が行われた場所によって優先度が決まります。



注記 コマンドおよびダイアログ ボックスの名前は、ソフトウェア プログラムによって異なる場合があります。

- **[ページ設定] ダイアログ ボックス**： ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスで変更された設定は、他のどの場所でも変更された設定よりも優先されます。
- **[印刷] ダイアログ ボックス**： ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[印刷]**、**[ページ設定]**、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで変更された設定は優先度が低いため、**[ページ設定]** ダイアログ ボックスで変更した設定より優先されることはありません。
- **[プリンタのプロパティ] ダイアログ ボックス (プリンタ ドライバ)**： **[印刷]** ダイアログ ボックスの **[プロパティ]** をクリックすると、プリンタ ドライバが開きます。**[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで変更された設定は、印刷を行うソフトウェアの他の場所でも変更された設定に置き換えられます。
- **プリンタ ドライバのデフォルト設定**： プリンタ ドライバのデフォルト設定は、**[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで設定が**変更されない限り**、すべての印刷ジョブで使用されます。
- **プリンタのコントロール パネルの設定**： プリンタのコントロール パネルで変更した設定は、他の場所で行った変更よりも優先度が低くなります。

プリンタ ドライバを開く

オペレーティングシステム	すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェアプログラムが終了するまで有効)	すべての印刷ジョブの設定を変更するには	デバイスの構成設定を変更するには
Windows 2000、XP、Server 2003、および Vista	<ol style="list-style-type: none">1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。2. ドライバを選択し、[プロパティ] または [基本設定] をクリックします。 <p>手順は変わることがあり、共通ではありません。</p>	<ol style="list-style-type: none">1. [スタート]、[設定] の順にクリックし、[プリンタ] (Windows 2000 の場合)、[プリンタと Fax] (Windows XP Professional および Server 2003 の場合) または [プリンタとその他のハードウェア] (Windows XP Home の場合) をクリックします。 <p>Windows Vista の場合、[スタート]、[コントロールパネル] の順にクリックして、次に [プリンタ] をクリックします。2. ドライバアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。</p>	<ol style="list-style-type: none">1. [スタート]、[設定] の順にクリックし、[プリンタ] (Windows 2000 の場合)、[プリンタと Fax] (Windows XP Professional および Server 2003 の場合) または [プリンタとその他のハードウェア] (Windows XP Home の場合) をクリックします。 <p>Windows Vista の場合、[スタート]、[コントロールパネル] の順にクリックして、次に [プリンタ] をクリックします。2. ドライバアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。3. [デバイスの設定] タブをクリックします。</p>
Mac OS X V10.2.8、V10.3、V10.4 以降	<ol style="list-style-type: none">1. [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。2. さまざまなポップアップメニューで設定を変更します。	<ol style="list-style-type: none">1. [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。2. さまざまなポップアップメニューで設定を変更します。3. [プリセット] ポップアップメニューで [別名で保存] をクリックし、プリセットの名前を入力します。 <p>これらの設定が [プリセット] メニューに追加されます。新しい設定を使用するには、プログラムを起動して印刷するたびに、保存したプリセットオプションを選択する必要があります。</p>	<ol style="list-style-type: none">1. Finder の [移動] メニューで、[アプリケーション] をクリックします。2. [ユーティリティ] を開き、[プリントセンター] (Mac OS X V10.2 の場合) または [プリンタ設定ユーティリティ] (Mac OS X V10.3 または Mac OS X V10.4 の場合) を開きます。3. 印刷キューをクリックします。4. [プリンタ] メニューから [情報を見る] をクリックします。5. [インストール可能なオプション] メニューをクリックします。



注記 Classic モードでは構成設定を変更できない場合があります。

4 Macintosh 用ソフトウェア

- [Macintosh コンピュータ用ソフトウェア](#)
- [Macintosh オペレーティング システムからのソフトウェアの削除](#)

Macintosh コンピュータ用ソフトウェア

HP インストーラでは、PostScript® プリンタ記述 (PPD) ファイル、プリンタ ダイアログ機能拡張 (PDE)、および Macintosh コンピュータで使用する HP Printer ユーティリティが利用できます。

ネットワーク接続については、内蔵 Web サーバ (EWS) を使用してデバイスを設定してください。[内蔵 Web サーバ](#)を参照してください。

印刷システム ソフトウェアには次のコンポーネントが含まれています。

- **[PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイル]**

PPD は Apple PostScript プリンタ ドライバと組み合わせることで、デバイス機能にアクセスできます。コンピュータに付属の Apple PostScript プリンタ ドライバを使用してください。

- **[HP Printer ユーティリティ]**

HP Printer ユーティリティを使用して、プリンタ ドライバでは使用できないデバイス機能を設定します。

- デバイスの名前。
- ネットワーク上のゾーンへのデバイスの割り当て
- デバイスへの IP の割り当て
- ファイルおよびフォントのダウンロード
- デバイスの IP または AppleTalk 印刷機能の設定

HP Printer ユーティリティは、プリンタでユニバーサル シリアル バス (USB) ケーブルを使用している場合、またはデバイスが TCP/IP ベースのネットワークに接続されている場合に使用できます。詳細については、[Macintosh 用 HP Printer ユーティリティ](#)を参照してください。



注記 HP Printer ユーティリティは、Mac OSX V10.2 以降に対応しています。

Macintosh オペレーティング システムからのソフトウェアの削除

Macintosh コンピュータからソフトウェアを削除するには、PPD ファイルをゴミ箱にドラッグします。

5 他のオペレーティング システムで使用するソフトウェア

- [HP Web Jetadmin](#)
- [UNIX](#)

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin を使用して、イントラネット内の HP Jetdirect 接続プリンタを管理します。HP Web Jetadmin は、ブラウザベースの管理ツールです。以下のシステムにインストールできます。

- Fedora Core Linux および SuSE Linux
- Windows 2000 Professional、Windows 2000 Server、および Windows 2000 Advanced Server
- Windows Server 2003
- Windows XP Professional

ホスト サーバーにインストールすれば、クライアントは Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer 5.5 および 6.0、Netscape Navigator 7.0 など) を使用して、HP Web Jetadmin にアクセスできます。

HP Web Jetadmin の特徴は次のとおりです。

- ユーザー インターフェイスはタスクごとに分かれており、表示方法も設定できるので、ネットワーク管理者の仕事が低減できるようにデザインされています。
- ユーザー プロファイルをカスタマイズすることにより、ネットワーク管理者は表示または使用する機能のみを含めることができます。
- ハードウェア障害、サプライ品の残量低下、およびその他の MFP の問題が電子メールにより即時通知されます。
- 標準 Web ブラウザを使用して、どこからでもインストールと管理を行うことができます。
- 高度な自動検出機能により、ネットワーク上の周辺機器が検出されます。各プリンタを手動でデータベースに入力する必要はありません。
- 簡単にエンタープライズ管理パッケージへ統合できます。
- IP アドレス、カラー機能、およびモデル名などのパラメータに基づいて周辺機器をすばやく検出できます。
- ナビゲーションが容易な仮想オフィス マップを使用して、簡単に周辺機器を論理グループに整理できます。
- 複数のプリンタを同時に管理し、設定します。

HP Web Jetadmin の最新のバージョンをダウンロードし、サポートされるホスト システムの最新のリストを表示するには、HP カスタマ ケア オンライン <http://www.hp.com/go/webjetadmin> にアクセスしてください。

UNIX

HP Jetdirect Printer Installer for UNIX は、HP-UX および Solaris ネットワーク用の簡単なプリンタ インストール ユーティリティです。このユーティリティは HP カスタマ ケア オンライン http://www.hp.com/support/net_printing からダウンロードすることができます。



注記 UNIX (HP-UX、Sun Solaris) 用のモデル別のスクリプトのサンプルは <http://www.hp.com/go/unixmodelscripts> で入手できます。Linux ネットワーク用のモデル別のスクリプトのサンプルは <http://linuxprinting.org> で入手できます。

6 接続

- [パラレル接続](#)
- [USB 接続](#)
- [AUX 接続](#)
- [ネットワークの設定](#)
- [ネットワーク ユーティリティ](#)

パラレル接続

C コネクタ付きの双方向パラレル ケーブル (IEEE-1284C 準拠) で MFP とコンピュータを接続することによって、パラレル接続を確立します。ケーブルは、最大 10m (30 フィート) の長さのものを使用することができます。

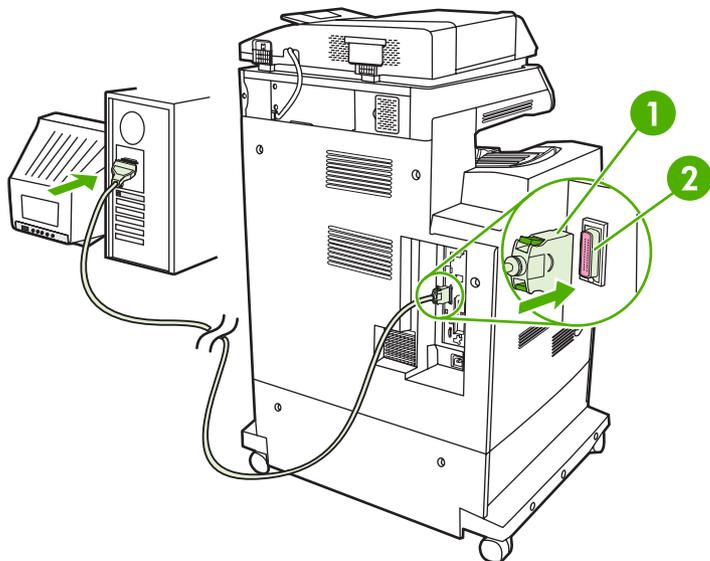


図 6-1 パラレル ポート接続

1	C コネクタ
2	パラレル ポート



注記 双方向パラレル インターフェイスの拡張機能を使用するには、最新のプリンタ ドライバがインストールされている必要があります。

出荷時の設定では、MFP 上でのパラレル ポートと 1 つまたは複数のネットワーク接続間の自動切り替えに対応しています。

USB 接続

この MFP は、USB 2.0 デバイスおよびホスト USB 接続をサポートしています。USB ポートは MFP の背面にあります。長さが 2m (6.56 フィート) 以内の A to B タイプの USB ケーブルを使用してください。

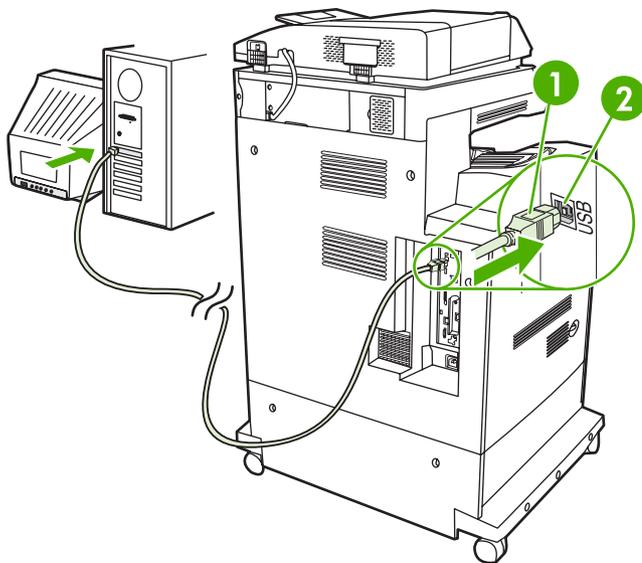


図 6-2 USB 接続

1	USB コネクタ
2	USB ポート

AUX 接続

この MFP は、用紙処理給紙デバイスのための AUX 接続をサポートしています。ポートは MFP の背面にあります。



注記 このコネクタは、3 ビン メールボックスまたはステイプラ/スタッカ アクセサリには使用できません。

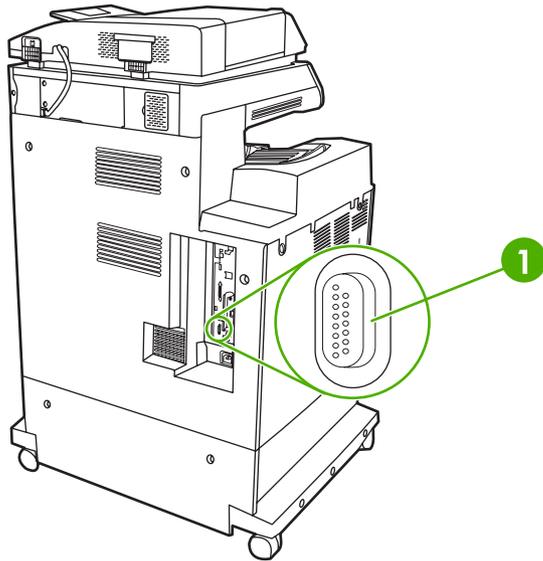


図 6-3 AUX 接続

1 | AUX 接続ポート (Jetlink)

ネットワークの設定

場合によっては、デバイスのネットワーク パラメータを設定する必要があります。パラメータは次の場所で設定できます。

- インストール ソフトウェア
- デバイスのコントロール パネル
- 内蔵 Web サーバー
- 管理用ソフトウェア (HP Web Jetadmin または HP LaserJet Utility for Macintosh)



注記 内蔵 Web サーバーの使い方の詳細については、「[内蔵 Web サーバ](#)」を参照してください。

サポートされているネットワークとネットワーク設定ツールの詳細については、『*HP Jetdirect プリント サーバー管理者用ガイド*』を参照してください。このガイドは、HP Jetdirect プリント サーバーが搭載のプリンタに付属しています。

ここでは、ネットワーク パラメータの設定方法について説明します。

- [TCP/IPv4 パラメータの設定](#)
- [TCP/IPv6 パラメータの設定](#)
- [ネットワーク プロトコルの無効化 \(オプション\)](#)
- [HP Jetdirect EIO プリント サーバー](#)

TCP/IPv4 パラメータの設定

ネットワークで DHCP、BOOTP、RARP などによる自動 IP アドレス指定が行われない場合は、ネットワーク経由で印刷するために、次のパラメータを手動で入力しなければならない場合があります。

- IP アドレス (4 バイト)
- サブネット マスク (4 バイト)
- デフォルト ゲートウェイ (4 バイト)

IP アドレスの変更

デバイスの現在の IP アドレスを確認するには、コントロール パネルのホーム画面で [\[ネットワーク アドレス\]](#) を選択します。

次の手順で IP アドレスを手動で変更します。

1. スクロールして [\[管理\]](#) を選択します。
2. スクロールして [\[初期セットアップ\]](#) を選択します。
3. [\[ネットワークおよび I/O\]](#) を選択します。
4. [\[内蔵 Jetdirect\]](#) を選択します。
5. [\[TCP/IP\]](#) を選択します。

6. [IPV4 設定] を選択します。
7. [設定方法] を選択します。
8. [手動] を選択します。
9. [保存] を選択します。
10. [手動設定] を選択します。
11. [IP アドレス] を選択します。
12. [IP アドレス] テキスト ボックスを選択します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、IP アドレスを入力します。
14. [OK] を選択します。
15. [保存] を選択します。

サブネット マスクの設定

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。
5. [TCP/IP] を選択します。
6. [IPV4 設定] を選択します。
7. [設定方法] を選択します。
8. [手動] を選択します。
9. [保存] を選択します。
10. [手動設定] を選択します。
11. [サブネット マスク] を選択します。
12. [サブネット マスク] テキスト ボックスを選択します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、サブネット マスクを入力します。
14. [OK] を選択します。
15. [保存] を選択します。

デフォルト ゲートウェイの設定

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。

5. [TCP/IP] を選択します。
6. [IPv4 設定] を選択します。
7. [設定方法] を選択します。
8. [手動] を選択します。
9. [保存] を選択します。
10. [手動設定] を選択します。
11. [デフォルト ゲートウェイ] を選択します。
12. [デフォルト ゲートウェイ] テキスト ボックスを選択します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、デフォルト ゲートウェイを入力します。
14. [OK] を選択します。
15. [保存] を選択します。

TCP/IPv6 パラメータの設定

TCP/IPv6 ネットワーク用にデバイスを設定する方法については、『*HP Jetdirect Print Server Administrator's Guide*』を参照してください。

ネットワーク プロトコルの無効化 (オプション)

工場出荷時の設定では、使用可能なすべてのネットワーク プロトコルが有効になっています。使用しないプロトコルを無効にすると、次のようなメリットがあります。

- デバイスによって発生するネットワーク トラフィックが減少する。
- 許可されないユーザーがプリンタで印刷することを防止する。
- 直接関係のある情報だけが構成ページに記載される。
- プリンタのコントロール パネルにプロトコル固有のエラー メッセージと警告メッセージが表示される。

IPX/SPX の無効化



注記 IPX/SPX 経由でプリンタに印刷する Windows ベースのシステムでは、このプロトコルを無効にしないでください。

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。
5. [IPX/SPX] を選択します。
6. [有効] を選択します。

7. [オフ] を選択します。
8. [保存] を選択します。

AppleTalk の無効化

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。
5. [APPLETALK] を選択します。
6. [有効] を選択します。
7. [オフ] を選択します。
8. [保存] を選択します。

DLC/LLC の無効化

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。
5. [DLC/LLC] を選択します。
6. [有効] を選択します。
7. [オフ] を選択します。
8. [保存] を選択します。

HP Jetdirect EIO プリント サーバー

HP Jetdirect プリント サーバー (ネットワーク カード) は EIO スロットに取り付けることができます。サポートされるネットワーク機能は、プリント サーバーのモデルにより異なります。利用できる HP Jetdirect EIO プリント サーバー モデルについては、<http://www.hp.com/go/jetdirect> を参照してください。



注記 コントロールパネル、プリンタのインストールソフトウェア、または HP Web Jetadmin を使用してカードを構成します。詳細については、HP Jetdirect プリント サーバーのマニュアルを参照してください。

ネットワーク ユーティリティ

デバイスには、ネットワーク上のデバイスを簡単に監視および管理できるユーティリティが付属しています。

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin は、イントラネット内の HP Jetdirect 接続プリンタ用のブラウザ ベースの管理ツールで、ネットワーク管理者のコンピュータにのみインストールされます。

最新版の HP Web Jetadmin をダウンロードしたり、対応ホストシステムの最新のリストを参照したりするには、www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスしてください。

ホスト サーバにインストールされると、Windows クライアントはサポートされている Web ブラウザ (Microsoft® Internet Explorer 4.x または Netscape Navigator 4.x 以降など) を使用し、HP Web Jetadmin ホストに移動して、HP Web Jetadmin にアクセスできます。

内蔵 Web サーバ

デバイスには、デバイスおよびネットワークのアクティビティに関する情報にアクセスできる内蔵 Web サーバが装備されています。この情報は、Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator、Apple Safari、Firefox などの Web ブラウザで表示されます。

内蔵 Web サーバはデバイスに組み込まれています。ネットワーク サーバにはロードされません。

内蔵 Web サーバが提供するインターフェースは、ネットワークに接続されている任意のコンピュータから標準の Web ブラウザを使用してそれにアクセスできます。特別なソフトウェアがインストールまたは設定されることはありませんが、サポートされている Web ブラウザがコンピュータにインストールされている必要があります。内蔵 Web サーバにアクセスするには、ブラウザのアドレス行にデバイスの IP アドレスを入力します (IP アドレスを確認するには、設定ページを印刷します。設定ページの印刷方法については、「[情報ページ](#)」を参照してください)。

内蔵 Web サーバの機能の詳しい説明については、「[内蔵 Web サーバ](#)」を参照してください。

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア)

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア)は、以下の作業に使用できるプログラムです。

- ネットワーク上のデバイスの検出、および各デバイスのステータスのチェック
- 同時に複数のプリンタに対する、デバイスおよびサプライ品警告の設定と表示
- サプライ品のオンライン購入
- HP のオンライン トラブルシューティングおよび保守ツールの使用

Windows が搭載されたコンピュータまたはネットワークにデバイスが直接接続されている場合に HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を使用できます。Macintosh はサポートされていません。HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) をダウンロードするには、www.hp.com/go/easyprintercare にアクセスしてください。

その他のコンポーネントおよびユーティリティ

Windows	Macintosh OS
<ul style="list-style-type: none">● ソフトウェア インストーラ - 印刷システムのインストーラを自動化します。● オンライン Web 登録	<ul style="list-style-type: none">● HP Printer ユーティリティ : デバイス設定の変更、ステータスの表示、Mac からのプリンタのイベント通知のセットアップなどを行います。このユーティリティは、Mac OS X V10.2 以降に対応しています。

7 用紙と印刷メディア

- [用紙および印刷メディアの使用について](#)
- [サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ](#)
- [カスタム用紙サイズ](#)
- [特殊な用紙または印刷メディアに関するガイドライン](#)
- [用紙と印刷メディアのセット](#)
- [トレイの設定](#)
- [排紙ビンの選択](#)

用紙および印刷メディアの使用について

本製品は、本ユーザーガイドのガイドラインに従う場合に限り、さまざまな用紙や印刷メディアをサポートしています。本ガイドラインに従って用紙または印刷メディアを使用しないと、次のような問題が発生する場合があります。

- 印刷画質が低い
- 紙詰まりの回数が増える
- 耐用期間が経過する前に製品が損耗し、修理が必要になる

最良の印刷結果が得られるよう、レーザーJet またはマルチユース用に製造された HP ブランドの用紙および印刷メディアのみを使用してください。インクJet プリンタ用に製造された用紙または印刷メディアは使用しないでください。HP では、他のブランドのメディアの画質を制御できないため、使用を推奨できません。

用紙が本ユーザーガイドの全ガイドラインに適合していたとしても、十分な印刷結果が得られない場合があります。これは、不適切な操作、耐用温度または湿度レベル外での使用など、HP が管理できない環境下で使用したことが原因であると考えられます。



注意 HP の規格に適合しない用紙または印刷メディアを使用した場合、本製品に問題が発生し、修理が必要になる場合があります。このような条件下で発生した修理は、HP の保証またはサービス契約の適用外となります。

サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ

この製品は多くの用紙サイズをサポートし、さまざまなメディアに対応しています。



注記 最良の印刷結果を得るために、印刷前に、適切な用紙のサイズとタイプをプリントドライバで選択します。

表 7-1 サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ

サイズ	寸法	トレイ 1、メールボックス、スタッカ	トレイ 2、3、4	ステイプラ
レター	216 x 279mm	✓	✓	✓
リーガル	216 x 356mm	✓	✓	✓
A4	210 x 297mm	✓	✓	✓
エグゼクティブ	184 x 267mm	✓	✓	✓
エグゼクティブ (JIS)	216 x 330mm			✓
A3	297 x 420mm			
A5	148 x 210mm			
A6	105 x 148mm			
ステートメント	140 x 216mm	✓		
11 x 17	279 x 432mm			
12 x 18	305 x 457mm			
B4 (ISO)	250 x 353mm			
B4 (JIS)	257 x 364mm			
RA3	305 x 430mm			
B5 (JIS)	182 x 257mm	✓	✓	
B5 (ISO)	176 x 250mm			
8k	270 x 390mm			
16k	197 x 273mm	✓		

表 7-2 サポートされる封筒およびはがき

サイズ	寸法	トレイ 1、メールボックス、スタッカ	トレイ 2、3、4	ステイプラ
封筒 #10	105 x 241mm	✓		
封筒 DL	110 x 220mm	✓		
封筒 C5	162 x 229mm	✓		
封筒 B5	176 x 250mm	✓		

表 7-2 サポートされる封筒およびはがき (続き)

サイズ	寸法	トレイ 1、メールボックス、スタッカ	トレイ 2、3、4	ステイブラ
封筒 Monarch	98 x 191mm	✓		
はがき	100 x 148mm	✓		
倍サイズはがき	148 x 200mm	✓		
はがき (US)	88.9 x 139.7mm	✓		
はがき (ヨーロッパ)	105 x 148mm	✓		

カスタム用紙サイズ

本製品はさまざまなカスタム用紙サイズをサポートしています。サポートされているカスタム サイズとは、本製品のガイドラインに記載されている最小サイズから最大サイズ以内のサイズを示します。このサイズは、サポートされている用紙サイズの表には記載されていません。サポートされているカスタム サイズを使用する場合は、プリンタ ドライバでカスタム サイズを指定し、カスタム サイズをサポートしているトレイに給紙します。

特殊な用紙または印刷メディアに関するガイドライン

本製品は特殊なメディアでの印刷をサポートしています。十分な印刷結果が得られるよう、次のガイドラインに従ってください。特殊な用紙または印刷メディアを使用する場合は、最良の印刷結果が得られるよう、必ずプリンタ ドライバでその種類とサイズを指定するようにしてください。



注意 HP LaserJet では、乾燥したトナーの粒子をきわめて正確な点として用紙に付着させるためにフューザを使用します。HP レーザー用紙は、このような高温状態に耐えられるように製造されています。この技術の使用を目的として製造されていないインクジェット用紙を使用すると、プリンタに障害が発生する場合があります。

メディアの種類	推奨	禁止
封筒	<ul style="list-style-type: none">封筒を平らな状態で保管。開口部が端まである封筒を使用。レーザー プリンタでの使用が保証されている接着シールを使用。	<ul style="list-style-type: none">しわ、きざみ、接着部分、または損傷がある封筒を使用。留め金、スナップ、窓、またはコーティング加工済みの内張りがある封筒を使用。離型紙剥離タイプの接着剤などの合成素材を使用。
ラベル	<ul style="list-style-type: none">裏張りが露出していないラベルのみを使用。平らになるラベルを使用。ラベルのシート全体のみを使用。	<ul style="list-style-type: none">しわ、気泡、または損傷のあるラベルを使用。ラベルのシートの一部を使用。
透明紙	<ul style="list-style-type: none">レーザー プリンタでの使用が保証されている透明紙のみを使用。透明紙を製品から除去した後、平面上に置く。	<ul style="list-style-type: none">レーザー プリンタでの使用が保証されていない透明印刷メディアを使用。
レターヘッドまたは事前印刷用紙	<ul style="list-style-type: none">レーザー プリンタでの使用が保証されているレターヘッドまたは用紙のみを使用。	<ul style="list-style-type: none">浮き彫りまたは金属加工が施されたレターヘッドを使用。
厚紙	<ul style="list-style-type: none">レーザー プリンタでの使用が保証され、本製品の重量規格に適合する厚紙のみを使用。	<ul style="list-style-type: none">本製品での使用が許可されている HP レーザー紙を使用せず、本製品の推奨メディア規格より重い用紙を使用。
光沢紙またはコート紙	<ul style="list-style-type: none">レーザー プリンタでの使用が保証されている光沢紙またはコート紙のみを使用。	<ul style="list-style-type: none">インクジェット製品での使用を目的として製造された光沢紙またはコート紙を使用。

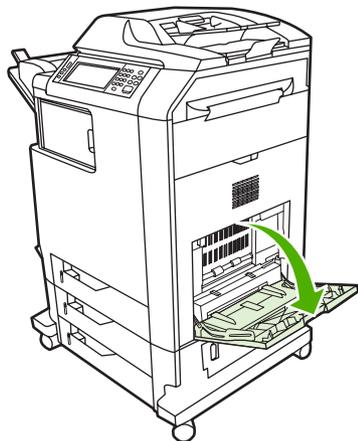
用紙と印刷メディアのセット

複数のトレイに異なるメディアをセットしておき、コントロールパネルを使用して、これらのメディアをサイズ別またはタイプ別に指定して使用できます。

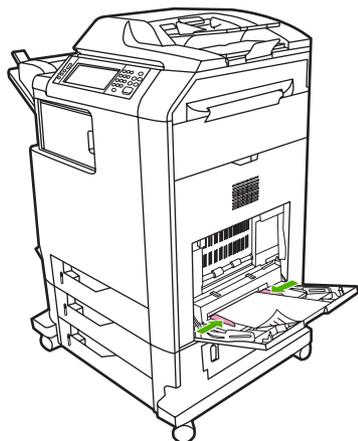
トレイ 1 のセット

△ 注意 紙詰まりを防ぐために、印刷中にトレイ 1 にメディアを追加したり、メディアを取り出したりしないでください。

1. トレイ 1 を開きます。



2. サイドガイドを希望する幅に設定します。
3. 印刷面を下向きにし、メディアの上端または切手を張らない側を自分の方に向けて、トレイにメディアをセットします。
4. 用紙がガイドのタブの下部に収まり、用紙レベルインジケータを越えていないことを確認します。
5. サイドガイドを調整して、メディアが曲がらない程度に軽く接触するようにします。



使用するソフトウェアが封筒を自動的に設定しない場合は、ソフトウェアプログラムまたはプリンタドライバで印刷の向きを【横】に指定します。以下のガイドラインを使用して、市販の #10 または DL 封筒の差出人と宛先アドレスのマージンを設定します。

アドレスタイプ	左マージン	上マージン
差出人	15mm	15mm
宛先	102mm	51mm

その他のサイズの封筒の場合は、マージンの設定を適切に調整します。

トレイ 2、3、または 4 のセット

トレイ 2、3、および 4 は、それぞれ普通紙または 50.8mm ラベルの用紙を最大 500 枚までセットできます。トレイ 2 は、別の 500 枚給紙トレイの上にセットできます。

標準サイズのメディアをトレイ 2、3、または 4 にセットする

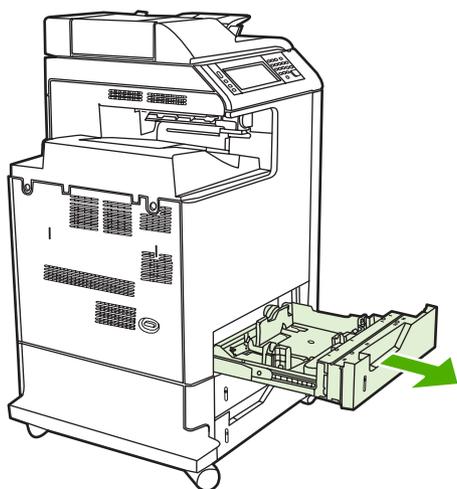
MFP は、500 枚給紙トレイ内にある以下の標準サイズのメディアを自動的に感知します。レター、リーガル、エグゼクティブ、A4、A5、および B5 (JIS)。

以下の検出できない標準サイズのメディアはトレイ内にマークされていませんが、各トレイの **[サイズ]** メニューにはリストされています。8.5 x 13、エグゼクティブ (JIS)、倍サイズはがき (日本)、およびカスタム。

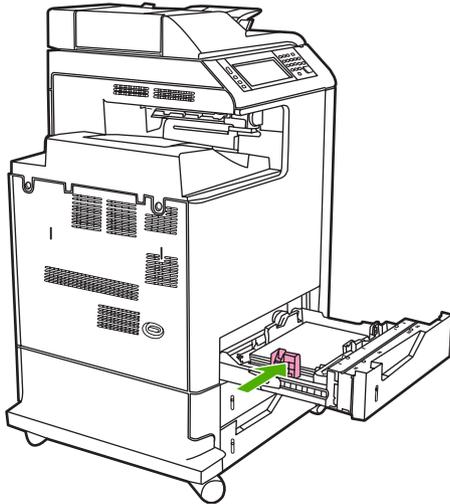


注意 厚紙、封筒、厚手または超厚手の用紙、あるいはサポートされないサイズのメディアを 500 枚給紙トレイから印刷しないでください。これらのメディアタイプはトレイ 1 からのみ印刷してください。給紙トレイに用紙を入れすぎたり、使用中に開いたりしないでください。MFP 内の紙詰まりの原因となります。

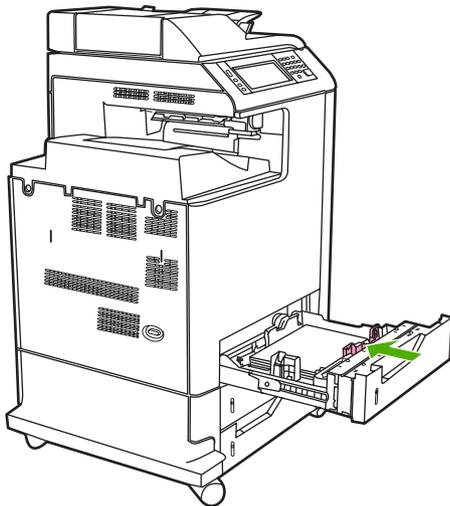
1. MFP からトレイを引き出します。



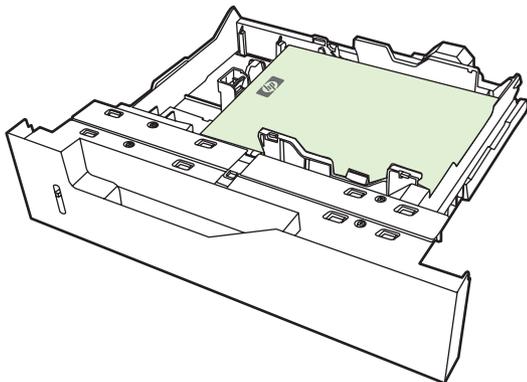
2. 後部の用紙長ガイドを調整します（ガイド調整ラッチを押し込み、使用メディア長に合わせてトレイ後部をスライドさせます）。



3. 用紙幅ガイドを、使用メディアのサイズまでスライドさせて広げます。



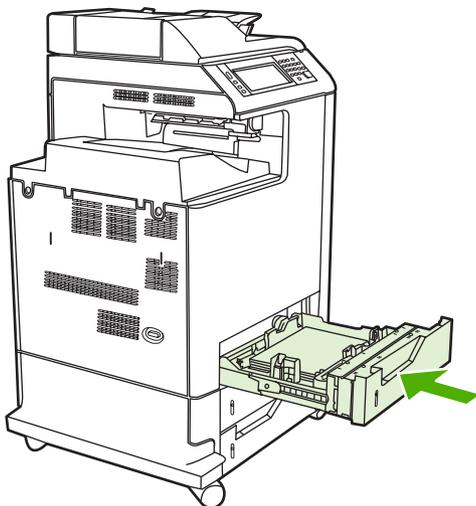
4. トレイにメディアを上向きにセットします。



注記 最良の印刷を行うために、用紙束を分割しないで全部をトレイに給紙してください。用紙束を分割するとマルチフィードの問題を引き起こす可能性があります。用紙トレイに収容できる枚数は変わります。たとえば、75g/m² 用紙を使用する場合、トレイは 500 枚の用紙束を完全にセットできます。メディアが厚手の場合、トレイに用紙束の全部をセットできない場合があります。トレイに用紙を入れすぎないでください。

注記 トレイが正しく調整されていない場合、エラーメッセージが表示されるか、メディアが紙詰まりする場合があります。

5. トレイを MFP に装着します。MFP のコントロールパネルに、トレイのメディア タイプとサイズが表示されます。設定が正しくない場合、コントロールパネルの **[OK]** を押します。設定が正しい場合、**[終了]** を押します。



検出できない標準サイズのメディアをトレイ 2、3、および 4 にセットする

以下の検出できない標準サイズのメディアは、500 枚給紙トレイでサポートされます。

- エグゼクティブ (JIS)
- 8.5 x 13

- 倍サイズはがき (日本)
- 16K

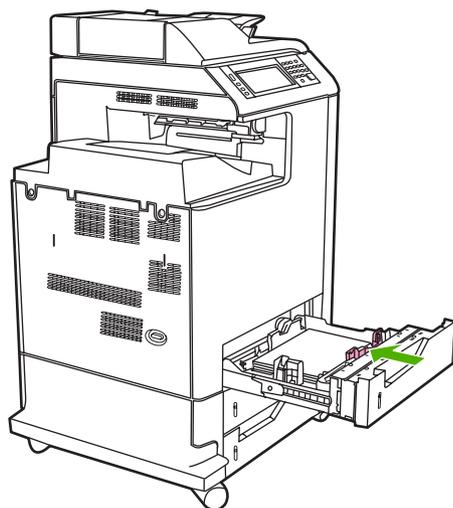


注意 厚紙、封筒、厚手または超厚手の用紙、あるいはサポートされないサイズのメディアを 500 枚給紙トレイから印刷しないでください。これらのメディアタイプはトレイ 1 から印刷してください。給紙トレイに用紙を入れすぎたり、使用中に開いたりしないでください。紙詰まりの原因となります。

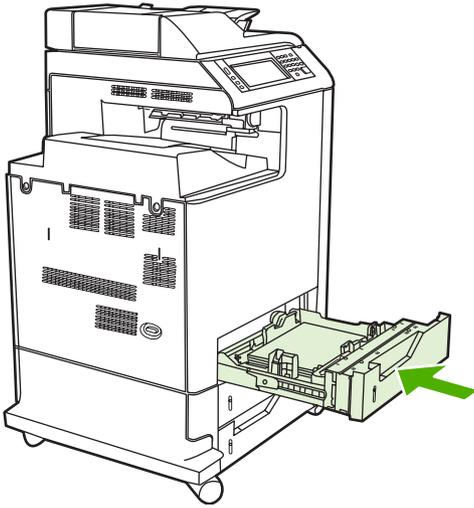
カスタムサイズのメディアをトレイ 2 にセットする

カスタムメディアを使用するには、コントロールパネルのサイズの設定を **[カスタム]** に変更し、単位、X 寸法、および Y 寸法を設定します。詳細については、「[印刷ジョブの設定に適合するようにトレイを設定する](#)」を参照してください。

1. トレイを MFP からスライドさせて、開きます。
2. 「検出できないメディア (標準サイズ) をトレイ 2、3、または 4 にセットする」セクションの手順 2 ~ 4 の説明に従って、印刷メディアのセットを続けます。次に、このセクションの手順 3 に進みます。



3. トレイを MFP に装着します。MFP のコントロール パネルに、トレイのメディア タイプとサイズの設定が表示されます。特定のカスタム寸法を指定する場合、またはタイプが正しくない場合は、MFP からサイズまたはタイプの変更が求められたときに [OK] を押します。



4. 設定が正しい場合、[終了] を押します。

トレイの設定

以下の場合に、MFP はトレイの用紙タイプとサイズの設定を求めるメッセージを自動的に表示します。

- トレイに用紙をセットしたとき
- プリンタ ドライバまたはソフトウェア プログラムを使用して、印刷ジョブのために特定のトレイまたはメディア タイプを指定した場合で、そのトレイの設定が印刷ジョブの設定に適合していない場合

コントロール パネルに次のメッセージが表示されます。[トレイ <X> [タイプ] [サイズ]。サイズまたはタイプを変更するには、[変更] を押します。確定するには、[OK] を押します。]



注記 トレイ 1 から印刷する場合で、トレイ 1 が [任意のサイズ] と [任意のタイプ] 用に設定されている場合、設定を求めるメッセージは表示されません。

注記 いままで別の HP LaserJet プリンタ モデルを使用していた場合は、通常トレイ 1 をファースト モードまたはカセット モードに設定して使用していたことがあるかもしれません。HP Color LaserJet CM4730 MFP シリーズでは、トレイ 1 のサイズとタイプを [任意のサイズ] に設定することがファースト モードに相当します。トレイ 1 のサイズとタイプを [任意のサイズ] 以外に設定することがカセット モードに相当します。

用紙をセットするときにトレイを設定する

1. トレイに用紙をセットします。トレイ 2、3、または 4 を使用している場合は、トレイを閉じます。
2. トレイ設定メッセージが表示されます。
3. [OK] を押して検出されたサイズを受け入れるか、[変更] を押して別の用紙サイズを選択します。
4. トレイの設定を変更する場合は、サイズを選択します。



注記 MFP は、トレイ 2、3、および 4 のほとんどのメディア サイズを自動的に検出します。

5. トレイの設定を変更する場合は、用紙タイプを選択します。
6. [終了] を選択します。

印刷ジョブの設定に適合するようにトレイを設定する

1. ソフトウェア プログラムで、ソース トレイ、用紙サイズ、および用紙タイプを指定します。
2. MFP にジョブを送信します。

トレイの設定が必要な場合は、[トレイ X: をセットします] メッセージが表示されます。
3. ハイライトされたサイズが正しくない場合、[X ミリメートル] を押します。数字キーパッドを使用して、X と Y の寸法を設定します。
4. ハイライトされた用紙タイプが正しくない場合、[用紙処理] を押して、用紙タイプを選択します。

5. [OK] を選択します。
6. [終了] を選択します。

[サプライ品のステータス] メニューを使用してトレイを設定する

設定を求めるメッセージが表示されない場合でも、トレイの用紙タイプとサイズを設定することができます。

1. スクロールして [サプライ品のステータス] を選択します。
2. 希望するトレイを選択します。
3. [変更] を選択します。
4. サイズとタイプを選択します。カスタム タイプを選択する場合は、数字キーパッドを使用して X 寸法と Y 寸法を設定し、[OK] を選択します。
5. [OK] を選択します。
6. 再度 [OK] を選択します。

自動メディア タイプ感知 (自動感知モード)

自動メディア タイプ感知センサーは、トレイが [任意のタイプ] に設定されている場合にのみ機能します。トレイをボンド紙や光沢紙などの別のタイプに設定すると、そのトレイのメディア センサーは無効になります。

HP Color LaserJet CM4730 シリーズ プリンタは、メディアを以下のカテゴリのいずれかに自動的に分類できます。

- 標準
- OHP フィルム
- 光沢紙
- 超厚手光沢
- 光沢フィルム
- 厚手
- 軽い用紙

トレイ 1 の感知

フル感知 (デフォルト)

- プリンタが各ページで停止して、メディア タイプを感知します。これは、単一印刷ジョブで混合メディアを使用する場合のベスト モードです。

拡張感知

- プリンタが印刷ジョブを開始するたびに、最初のページで停止してタイプを感知します。
- プリンタは 2 ページ以降のすべてのページが最初のページと同じメディア タイプであるとみなします。
- これは 2 番目に高速のモードであり、同じメディア タイプの用紙を使用する場合に適しています。

OHP フィルム

- プリンタは感知するページで停止しませんが、OHP フィルム (OHP フィルム モード) と用紙 (標準モード) を識別します。
- これは、最高速モードであり、標準モードで大量印刷する場合に適しています。

トレイ 2 ~ 4 の感知

拡張感知

- プリンタは、各用紙トレイから給紙された最初の 5 ページ目で停止し、タイプを感知して、5 ページまでの結果を平均します。
- プリンタをオフにするか、スリープ モードに移行するか、またはトレイが開かれるまで、プリンタは 6 ページ以降のすべてのページが同じメディア タイプであるとみなします。

OHP フィルムのみ (デフォルト)

- プリンタは感知するページで停止しませんが、OHP フィルム (OHP フィルム モード) と用紙 (標準モード) を識別します。
- これは、最高速モードであり、標準モードで大量印刷する場合に適しています。

ソース、タイプ、またはサイズ別にメディアを選択する

Microsoft Windows オペレーティング システムでは、3 種類の設定が、印刷ジョブの送信時にプリンタ ドライバがメディアを引き出す方法に影響します。大部分のソフトウェア プログラムで、ソース、タイプ、および サイズの設定が [ページ設定]、[印刷]、または [印刷のプロパティ] ダイアログ ボックスに表示されます。これらの設定を変更しない限り、MFP はデフォルト設定を使用して自動的にトレイを選択します。

ソース

ソース別に印刷するには、用紙を引き出す特定のトレイを選択します。このトレイにどのようなタイプまたはサイズの用紙をセットした場合でも、MFP はこのトレイから印刷しようとします。印刷ジョブに適合しないタイプまたはサイズに設定されたトレイを選択した場合、MFP は自動的印刷を行いません。代わりに、そのトレイに、印刷ジョブに適したタイプまたはサイズの印刷メディアがセットされるまで待機します。トレイがセットされると、MFP は印刷を開始します。

タイプとサイズ

タイプまたはサイズ別に印刷するということは、正しいタイプとサイズのメディアをセットしたトレイからメディアを引き出すように MFP に指示することを意味します。ソースではなくタイプによるメディアを選択することは、トレイをロックすることに相当し、特殊なメディアが偶発的に使用されてしまうことを防止できます。たとえば、トレイがレターヘッド用に設定されているときに普通紙を選択した場合、MFP はそのトレイからレターヘッドを引き出しません。代わりに、普通紙がセットさ

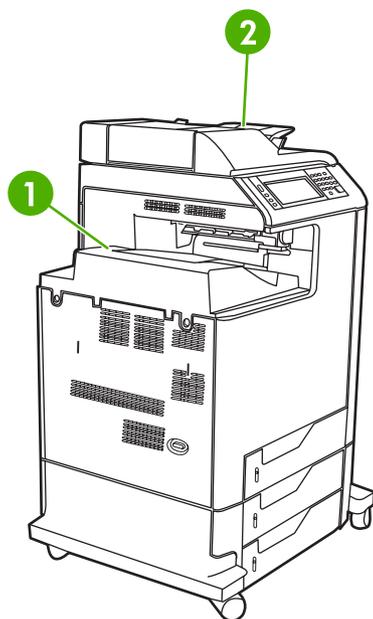
れたトレイから用紙を引き出し、MFP のコントロール パネルには普通紙が設定されます。タイプとサイズ別にメディアを選択すると、厚手の用紙、光沢紙、および OHP フィルムの印刷品質が大幅に向上します。間違った設定を使用すると、印刷品質が低下する場合があります。ラベルや OHP フィルムなどの特殊な印刷メディアの場合は、必ずタイプ別に印刷してください。封筒はサイズ別に印刷してください (可能な場合)。

- タイプまたはサイズ別に印刷するには、**[ページ設定]** ダイアログ ボックス、**[印刷]** ダイアログ ボックス、または **[印刷のプロパティ]** ダイアログ ボックスからタイプまたはサイズを選択します (どのダイアログ ボックスを使用するかは、ソフトウェア プログラムにより異なる場合があります)。
- 特定のタイプまたはサイズのメディアで頻繁に印刷する場合は、適切なトレイをそのタイプまたはサイズに設定しておきます。このように設定されていれば、ジョブの印刷時にそのタイプまたはサイズを選択すると、MFP はそのタイプまたはサイズ用に設定されているトレイから用紙を引き出します。

排紙ビンの選択

標準排紙ビン

MFP には、ADF 排紙ビンと印刷ページの標準排紙ビンがあります。



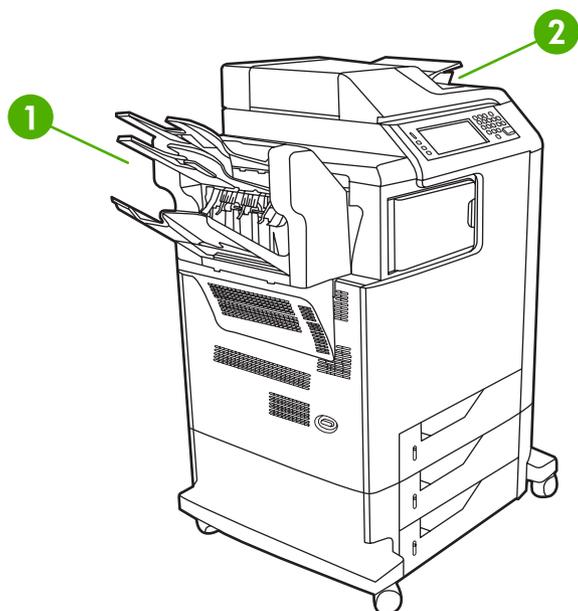
1	標準排紙ビン
2	ADF 排紙ビン (コピー原稿用)

ADF を使用して文書をスキャンまたはコピーする場合は、原稿が自動的に ADF 排紙ビンに送られます。スキャナのガラスからコピーする場合は、標準排紙ビン、ステイプラ/スタッカの排紙ビン、または 3 ビン メールボックスに送られます。

コンピュータから MFP に印刷ジョブを送信する場合は、標準排紙ビン、ステイプラ/スタッカの排紙ビン、または 3 ビン メールボックスに排紙されます。

3 ビン メールボックス排紙ビン

3 ビン メールボックスを使用する場合は、3 つの排紙ビンを使用できます。これらのビンを個別のメールボックスとして使用するよう設定したり、1 つの排紙ビンとして使用するよう組み合わせたりできます。



1	3 ビン メールボックスの排紙ビン
2	ADF 排紙ビン (コピー原稿用)

上部の 2 つのビンには、それぞれ最大 100 枚までの用紙を置くことができます。ビンが一杯になると、センサーが MFP を停止します。ビンを空にするかメディアを減らせば、MFP が再び動作します。

下部のビンには最大 500 枚までの用紙を置くことができます。

排紙先の選択

可能な場合、プログラムまたはドライバを使用して排紙先 (ビン) を選択します。選択する場所と方法は、ご使用のプログラムまたはドライバによって異なります。プログラムまたはドライバで排紙先を選択できない場合は、MFP のコントロールパネルでデフォルトの排紙先を設定してください。

1. スクロールして **[管理]** を選択します。
2. **[デフォルト ジョブ オプション]** を選択します。
3. **[デフォルト コピー オプション]** または **[デフォルト印刷オプション]** を選択します。
4. **[排紙ビン]** を選択します。
5. 希望する排紙ビンを選択します。

3 ビン メールボックスの設定

Windows の 3 ビン メールボックスを認識するようにプリンタ ドライバを設定する

1. **[プリンタ]** フォルダを開きます。
2. **[HP Color LaserJet CM4730 MFP]** を選択します。
3. **[ファイル]** メニューで、**[プロパティ]** をクリックします。

4. **[デバイスの設定]** タブを選択します。
5. 以下のいずれかの方法を使用して、ステイブラ/スタッカを選択します。
 - 下にスクロールして **[自動設定]** を選択し、**[今すぐ更新]** を選択して **[適用]** をクリックします。
 - 下にスクロールして **[アクセサリ排紙ビン]** を選択し、**[HP 500 シート ステイブラ/スタッカ]** または **[HP 700 シート 3 ビン メールボックス]** を選択して **[適用]** をクリックします。

Macintosh の 3 ビン メールボックスを認識するようにプリンタ ドライバを設定する

1. **[Printer Center (プリンタ センター)]** ユーティリティを開きます。
2. **[HP Color LaserJet CM4730]** を選択します。
3. **[ファイル]** メニューで、**[情報を見る (コマンド、i)]** をクリックします。
4. **[インストール可能オプション]** タブを選択します。
5. スクロールして **[Accessory Output Bin (アクセサリ排紙ビン)]** を選択し、**[HP 500 シート 500 ステイブラ/スタッカ]** または **[HP 700 シート 3 ビン メールボックス]** を選択します。
6. **[変更の適用]** をクリックします。

コントロール パネルで 3 ビン メールボックスの動作モードを選択する

1. スクロールして **[管理]** を選択します。
2. **[デバイス動作]** を選択します。
3. **[MBM-3 設定]** を選択します。
4. **[動作モード]** を選択します。
5. 使用する動作モードを選択します。

プリンタ ドライバの 3 ビン メールボックスの動作モードを選択する

1. **[スタート]** ボタンをクリックし、**[設定]** をポイントとして、**[プリンタ]** (Windows 2000 の場合) または **[プリンタと FAX]** (Windows XP の場合) をクリックします。
2. HP 製品のアイコンを右クリックし、**[プロパティ]** または **[印刷設定]** をクリックします。
3. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。
4. 以下の操作のいずれかを実行します。

自動設定の場合、**[インストール可能オプション]** で、**[自動設定]** リスト内の **[今すぐ更新]** をクリックします。

または

手動設定の場合、**[インストール可能オプション]** で、**[アクセサリ排紙ビン]** リスト内の該当する動作モードを選択します。

5. **[OK]** をクリックして、設定を保存します。

プリンタ ドライバ (Mac OS X) の動作モードを選択する

1. [Apple] メニューで、[システム環境設定] をクリックします。
2. [システム環境設定] ボックスで、[プリントとファックス] をクリックします。
3. [プリンタの設定] をクリックします。[プリンタリスト] が表示されます。
4. HP 製品を選択し、[プリンタ] メニューから [情報を見る] をクリックします。
5. [インストール可能オプション] パネルを選択します。
6. [アクセサリ排紙ビン] リストで、[HP 3 ビンメールボックス] を選択します。
7. [メールボックス モード] リストで、該当する動作モードを選択し、[変更の適用] をクリックします。

8 製品機能の使用

- [エコノミー設定](#)
- [ジョブ保存機能](#)

エコノミー設定

スリープとスリープ復帰

スリープ遅延の設定

スリープ遅延機能を使用して、MFP がスリープモードになるまでのアイドル時間を設定します。デフォルト設定は 45 分間です。

1. スクロールして **[管理]** を選択します。
2. **[時刻/スケジュールリング]** を選択します。
3. **[スリープ遅延]** を選択します。
4. 目的のスリープ遅延設定を選択します。

スリープ復帰時刻を設定します。

スリープ復帰時刻機能を使用すると、MFP のスリープ復帰時刻を曜日ごとに設定できます。

1. スクロールして **[管理]** を選択します。
2. **[時刻/スケジュールリング]** を選択します。
3. **[スリープ復帰時刻]** を選択します。
4. スリープ復帰時刻を指定する曜日を選択します。
5. **[カスタム]** を選択します。
6. **[保存]** を選択します。
7. 該当するオプションを選択して、適切な時、分、および午前/午後の設定を指定します。
8. 毎日同じ時刻に MFP をスリープから復帰させる場合は、**[すべての日に適用]**画面で、**[はい]** を選択します。曜日ごとに時刻を設定する場合は、**[いいえ]** を選択し、各曜日について手順を繰り返します。

ジョブ保存機能

印刷ジョブに次のようなジョブ保存機能を使用できます。

- **試し刷り後のジョブ保留。**すばやく簡単にジョブを 1 部試し刷りし、その後で必要な部数を印刷できます。
- **パーソナル ジョブ：**デバイスにプライベート ジョブを送信した場合、PIN を入力するまでジョブは印刷されません。
- **クイック コピー ジョブ。**ジョブを必要な部数だけ印刷して、ジョブのコピーをプリンタのハードディスクに保存できます。ジョブを保存すれば、後で追加の部数を印刷できます。
- **保存ジョブ。**人員記録ファイル、タイム シート、カレンダーなどのジョブをプリンタに保存すれば、他の人がいつでも印刷できます。保存ジョブを PIN で保護することもできます。

コンピュータからジョブ保存機能を使用するには、このセクションの手順に従ってください。作成するジョブ タイプに該当するセクションを参照してください。



注意 プリンタの電源を切ると、クイック コピー、試し刷り後の保留ジョブ、およびパーソナル ジョブのすべてが削除されます。

ジョブ保存機能にアクセスする

Windows の場合

1. [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。
2. [プロパティ] をクリックし、[ジョブ保存] タブをクリックします。
3. 使用するジョブ保存モードを選択します。

Macintosh の場合

新しいドライバの場合、[印刷] ダイアログ ボックスのプルダウン メニューで [ジョブ保存] を選択します。古いドライバの場合、[プリンタ固有のオプション] を選択します。

試し刷り後の保留機能の使用

試し刷り後の保留機能を使用して、すばやく簡単にジョブを 1 部試し刷りして、その後で必要な部数を印刷できます。

ジョブを永久に保存し、空き容量が必要になった場合でも削除されないようにするには、ドライバで [保存ジョブ] オプションを選択します。

試し刷り後に保留ジョブの作成



注意 新しい試し刷り後に保留ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古い試し刷り後に保留ジョブから削除されます。ジョブを永久的に保存して、容量が足りなくなったときに削除されないようにするには、ドライバで [試し刷り後に保留] オプションではなく [保存ジョブ] オプションを選択します。

ドライバの [試し刷り後に保留] オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。

試し刷りとしてジョブが 1 部印刷されます。

試し刷り後に保留ジョブの残りの部数を印刷する

ハードディスクに保存されているジョブの残りの部数を印刷するには、デバイスのコントロールパネルで以下の手順で操作します。

1. ホーム画面の [ジョブ保存] にタッチします。
2. [取得] タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 印刷する部数を変更するには、[部数] フィールドにタッチします。 [保存ジョブの取得] (🔍) にタッチすると、文書が印刷されます。

試し刷り後に保留ジョブの削除

試し刷り後に保留ジョブを送信すると、古い試し刷り後に保留ジョブは自動的に削除されます。

1. ホーム画面の [ジョブ保存] にタッチします。
2. [取得] タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. [削除] にタッチします。
6. [はい] にタッチします。

パーソナル ジョブ機能の使用

パーソナル印刷機能を使用すると、ジョブを解放するまで印刷できないように指定できます。まず、プリンタ ドライバで PIN を入力して、4桁の PIN を設定します。PIN は、印刷ジョブの一部としてデバイスに送信されます。印刷ジョブをプリンタに送信した後は、PIN を使用しなければジョブを印刷できません。

パーソナル ジョブの作成

ジョブをパーソナルに指定するには、ドライバで **[パーソナル ジョブ]** オプションを選択し、ユーザー名およびジョブ名を入力し、次に 4桁の PIN を **[プライベート ジョブにする]** フィールドに入力します。デバイスのコントロール パネルでこの PIN を入力するまで、ジョブは印刷されません。

パーソナル ジョブの印刷

ジョブをデバイスに送信してから、コントロール パネルでパーソナル ジョブを印刷できます。

1. ホーム画面の **[ジョブ保存]** にタッチします。
2. **[取得]** タブにタッチします。
3. パーソナル ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷するパーソナル ジョブまでスクロールしてタッチします。



注記 パーソナル ジョブの横には  (ロック記号) が表示されます。

5. **[PIN]** フィールドにタッチします。
6. 数字キーパッドで PIN を入力し、**[OK]** にタッチします。
7. 印刷する部数を変更するには、**[部数]** フィールドにタッチします。
8. **[保存ジョブの取得]** () にタッチすると、文書が印刷されます。

パーソナル ジョブの削除

パーソナル ジョブの印刷が完了すると、デバイスのハード ディスクから自動的に削除されます。プライベート ジョブを印刷しないで削除するには、次の手順で操作します。

1. ホーム画面の **[ジョブ保存]** にタッチします。
2. **[取得]** タブにタッチします。
3. パーソナル ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除するパーソナル ジョブまでスクロールしてタッチします。



注記 パーソナル ジョブの横には  (ロック記号) が表示されます。

5. **[PIN]** フィールドにタッチします。
6. 数字キーパッドで PIN を入力し、**[OK]** にタッチします。
7. **[削除]** にタッチします。

クイック コピー機能の使用

クイック コピー機能を使用して、ジョブを必要な部数だけ印刷して、コピーをプリンタのハード ディスクに保存できます。後でジョブの追加の部数を印刷することができます。この機能はプリンタ ドライバで無効にできます。

デフォルトでは、異なるクイック コピー ジョブを 32 までプリンタに保存できます。コントロール パネルでデフォルト値を変更できます。「[\[管理\] メニューの操作](#)」を参照してください。

クイック コピー ジョブの作成



注意 新しいクイック コピー ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古いクイック コピー ジョブから削除されます。ジョブを永久的に保存して、容量が足りなくなったときに削除されないようにするには、ドライバで **[クイック コピー]** オプションではなく **[ジョブ保存]** オプションを選択します。

ドライバの **[クイック コピー]** オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。

印刷するジョブをデバイスに送信すると、ドライバに設定した部数が印刷されます。デバイスのコントロール パネルで多数のクイック コピーを印刷する方法については、「[クイック コピー ジョブの部数を追加して印刷する](#)」を参照してください。

クイック コピー ジョブの部数を追加して印刷する

ここでは、デバイスのハード ディスクに保存されているジョブをコントロール パネルで部数を追加して印刷する方法について説明します。

1. ホーム画面の **[ジョブ保存]** にタッチします。
2. **[取得]** タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 印刷する部数を変更するには、**[部数]** フィールドにタッチします。
6. **[保存ジョブの取得]** (📄) にタッチすると、文書が印刷されます。

クイック コピー ジョブの削除

不要なクイック コピー ジョブはデバイスのコントロール パネルで削除します。新しいクイック コピー ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古いクイック コピー ジョブから自動的に削除されます。



注記 保存されたクイック コピー ジョブは、コントロール パネルまたは HP Web Jetadmin で削除できます。

1. ホーム画面の **[ジョブ保存]** にタッチします。
2. **[取得]** タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除するジョブまでスクロールしてタッチします。

5. [削除] にタッチします。
6. [はい] にタッチします。

保存ジョブ機能の使用

印刷ジョブを印刷しないで、プリンタのハードディスクに保存できます。プリンタのコントロールパネルからいつでもこのジョブを印刷できます。たとえば、他のユーザーが必要なときに印刷できるように、人員記録ファイル、カレンダー、タイムシート、または会計ファイルをダウンロードできます。

後で印刷できるように、プリンタのコントロールパネルで保存コピージョブを作成することもできます。

コピージョブの保存

1. 文書を下向きにしてスキャナガラス面にセットするか、上向きにしてADFにセットします。
2. [ホーム]画面の[ジョブ保存]にタッチします。
3. [作成]タブにタッチします。
4. 次のいずれかの方法で、保存したジョブ名を指定します。
 - リストから既存フォルダを選択します。[新規ジョブ]にタッチし、ジョブ名を入力します。
 - 画面の右側にある既存の[フォルダ名]: または[ジョブ名]: の下にあるボックスにタッチし、テキストを編集します。
5. プライベート保存ジョブには名前の横にロックアイコンが表示されます。このジョブの取得にはPINを指定する必要があります。ジョブをプライベートにするには、[ジョブをプライベートにする]を選択し、ジョブのPINコードを入力します。[OK]にタッチします。
6. 他のジョブ保存オプションの表示と変更を行うには、[その他のオプション]にタッチします。
7. すべてのオプションを設定し終わったら、画面の左上隅にある[保存ジョブの作成] (ⓧ) にタッチし、文書のスキャンとジョブの保存を行います。ジョブは削除するまでデバイスに保存されるため、後で必要に応じて追加部数を印刷できます。

ジョブの印刷方法については、「[保存したジョブの印刷](#)」を参照してください。

印刷ジョブの保存

ドライバの[保存ジョブ]オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。デバイスのコントロールパネルで印刷を指示するまでジョブは印刷されません。「[保存したジョブの印刷](#)」を参照してください。

保存したジョブの印刷

コントロールパネルで、デバイスのハードディスクに保存されているジョブを印刷できます。

1. [ホーム]画面の[ジョブ保存]をタッチします。
2. [取得]タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷する保存ジョブまでスクロールしてタッチします。
5. [保存ジョブの取得] (ⓧ) にタッチすると、文書が印刷されます。

6. 印刷する部数を変更するには、[部数] フィールドにタッチします。
7. [保存ジョブの取得] (🔒) にタッチすると、文書が印刷されます。

横に 🔒 (ロック記号) が表示されているファイルを印刷するには、PIN が必要です。「[パーソナルジョブ機能の使用](#)」を参照してください。

保存ジョブの削除

デバイスのハードディスクに保存したジョブは、コントロールパネルで削除できます。

1. ホーム画面の [ジョブ保存] にタッチします。
2. [取得] タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除する保存ジョブまでスクロールしてタッチします。
5. [削除] にタッチします。
6. [はい] にタッチします。

横に 🔒 (ロック記号) が表示されているファイルを削除するには、PIN が必要です。「[パーソナルジョブ機能の使用](#)」を参照してください。

9 印刷タスク

- [メディアのタイプとトレイのセット](#)
- [Windows のプリンタ ドライバ機能](#)
- [Macintosh のプリンタ ドライバ機能](#)
- [用紙をステイプルで留める](#)
- [印刷ジョブのキャンセル](#)

メディアのタイプとトレイのセット

最小メディア寸法は、76 x 127mm です。

最大メディア寸法は、216 x 356mm です。

表 9-1 トレイ 1 のメディア情報

メディアタイプ	メディア仕様	メディア数量	ドライバ設定	用紙の向き	排紙
用紙と厚紙 (標準サイズ)	範囲 : 60g/m ² ボンド~ 220g/m ² ボンド	最大積み重ね高さ : 10mm 75g/m ² ボンド紙 100 枚に相当	普通紙または指定なし	N/A	
封筒	60g/m ² ボンド~ 90g/m ² ボンド未満	最大 20 枚	封筒	短辺を先にして、 封筒のふたを上向きにセット	
ラベル紙	最大厚さ 0.23mm	最大積み重ね高さ : 10mm	ラベル紙	印刷面を上向きにセット	
OHP フィルム	最小厚さ 0.13mm	最大積み重ね高さ : 10mm	OHP フィルム	印刷面を上向きにセット	
厚手	厚さ 0.13mm	最大積み重ね高さ : 10mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット	
光沢紙	範囲 : 75g/m ² ボンド~ 220g/m ² ボンド	最大積み重ね高さ : 10mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット	

表 9-2 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 のメディア情報

メディアタイプ	メディア仕様	メディア数量	ドライバ設定	用紙の向き	排紙
用紙と厚紙 (標準サイズ)	範囲 : 60g/m ² ボンド~ 120g/m ² ボンド	75g/m ² ボンド紙 530 枚に相当	普通紙または指定なし	N/A	
ラベル紙	最大厚さ 0.13mm	最大積み重ね高さ : 56mm	ラベル紙	印刷面を上向きにセット	
OHP フィルム	最小厚さ 0.13mm	最大積み重ね高さ : 56mm	OHP フィルム	印刷面を上向きにセット	
厚手	厚さ 0.13mm	最大積み重ね高さ : 56mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット	
光沢紙	範囲 : 75g/m ² ボンド~ 120g/m ² ボンド	最大積み重ね高さ : 56mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット	

Windows のプリンタ ドライバ機能

印刷機能のショートカットの作成および使用 (Windows)

印刷機能のショートカットを使用して現在のドライバの設定を保存すると、同じ設定を再利用できます。ショートカットは、ほとんどのプリンタ ドライバのタブで利用可能です。最高 25 個の印刷機能のショートカットを保存できます。

印刷機能のショートカットの作成

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. 使用する印刷設定を選択します。 **[別名で保存]** をクリックします。
4. **[印刷機能のショートカット]** ボックスに、ショートカットの名前を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。

印刷機能のショートカットの使用

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[印刷機能のショートカット]** ボックスから使用するショートカットを選択します。
4. **[OK]** をクリックします。



注記 プリンタドライバのデフォルト設定を使用するには、**[出荷時のデフォルト]** を選択します。

カスタム用紙サイズの設定

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[用紙/品質]** タブで、**[カスタム]** をクリックします。
4. **[ユーザー定義用紙サイズ]** ウィンドウで、ユーザー定義用紙サイズの名前を入力します。
5. 用紙サイズの長さを入力します。入力したサイズが小さすぎたり大きすぎたりする場合は、使用可能な最小または最大サイズに自動的に調整されます。
6. 必要に応じて、単位を変更するボタンをクリックし、ミリメートルまたはインチを選択します。
7. **[保存]** をクリックします。
8. **[OK]** をクリックします。保存した名前が用紙サイズ リストに表示されるようになります。

別の用紙および印刷表紙の使用

印刷ジョブで最初のページのみを他のページとは異なる用紙に印刷するには、次の手順に従います。

1. ソフトウェアプログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[例外ページ]** リスト ボックスで、**[異なる用紙にページを印刷]** をクリックします。
5. **[設定]** をクリックします。
6. 特定のページを別の用紙に印刷する設定を選択します。**[追加]** をクリックします。
7. **[OK]** をクリックして、**[用紙/品質]** タブに戻ります。
8. **[OK]** をクリックします。



注記 1つの印刷ジョブのすべてのページに対して同じ用紙サイズを選択する必要があります。

最初のページの白紙印刷

1. ソフトウェアプログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
4. **[特殊ページ]** リストボックスで **[表紙]** をクリックします。
5. **[設定]** をクリックします。
6. 空白または印刷済み表紙の追加に使用する設定を選択します。**[追加]** をクリックします。
7. **[OK]** をクリックして、**[用紙/品質]** タブに戻ります。
8. **[OK]** をクリックします。

透かしの使用

透かしとは、文書の各ページの背景に「社外秘」などのように印刷される情報です。

1. ソフトウェアプログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[効果]** タブで、**[透かし印刷]** ドロップダウン リストをクリックします。
4. 使用する透かしをクリックします。新規の透かしを作成するには、**[編集]** をクリックします。
5. 透かしの文書の最初のページにのみ表示する場合は、**[最初のページのみ]** をクリックします。
6. **[OK]** をクリックします。

透かしの削除するには、**[透かし印刷]** ドロップダウン リストで **[(なし)]** をクリックします。

文書サイズの変更

文書のサイズを変更するオプションでは、元のサイズに対するパーセンテージを指定して、文書を縮小または拡大します。印刷サイズの変更にかかわらず、異なるサイズ用の紙に文書を印刷するように選択することもできます。

文書サイズの縮小または拡大

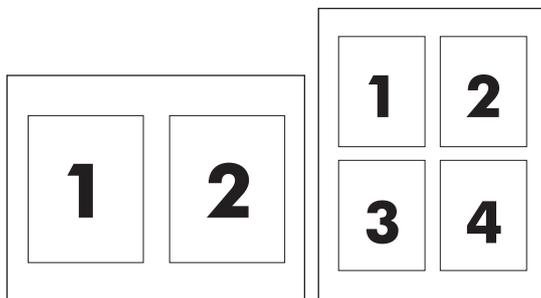
1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[効果]** タブで、**[拡大縮小率]** の横に、文書の縮小率または拡大率を入力します。
スクロールバーを操作してパーセンテージを調整することもできます。
4. **[OK]** をクリックします。

異なるサイズの用紙への文書の印刷

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[効果]** タブで **[文書を印刷する用紙]** をクリックします。
4. 印刷に使用する用紙サイズを選択します。
5. 文書のサイズを変更せずに、用紙サイズに収まるように印刷するには、**[用紙に合わせて調節]** オプションの **選択を解除** します。
6. **[OK]** をクリックします。

1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Windows)

1 枚の用紙に複数のページを印刷できます。



1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[レイアウト]** タブをクリックします。
4. **[文書オプション]** のセクションで、1 枚の用紙に印刷するページ数 (1、2、4、6、9、または 16) を選択します。

5. ページ数が 1 より大きい場合は、必要に応じて [ページ境界線] および [ページの順序] オプションを選択します。
 - 印刷の向きを変更する必要がある場合は、[縦] または [横] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。これで、選択したページ数を 1 枚の用紙に印刷するように設定されました。

用紙の両面印刷

自動両面印刷

ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで、両面印刷オプションを指定します。このオプションが見つからない場合は、次の情報を使用して、両面印刷オプションを利用できるようにします。

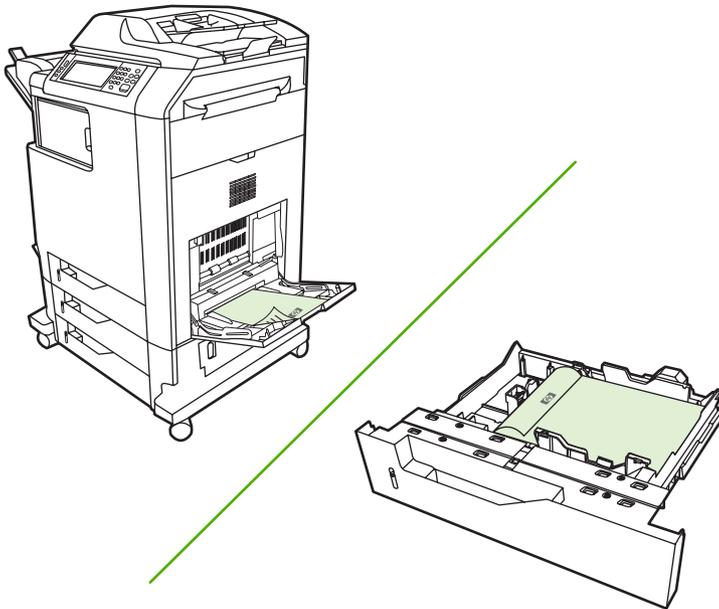
- プリンタ ドライバで自動と手動の両面印刷オプションを表示するように設定されていることを確認します。設定を変更または確認するには、[スタート] ボタンをクリックし、[設定] を選択し、[プリンタと FAX] をクリックします。プリンタを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。[デバイスの設定] タブで、両面印刷ユニットが取り付けられていることが表示されており、[手動両面印刷を許可する] オプションが有効になっていることを確認します。
- 両面印刷オプションが表示されたら、プリンタ ドライバソフトウェアで印刷の向きや綴じ込み方向などの適切な設定を選択します。
- 次のメディア タイプでは、自動両面印刷はサポートされません。

- OHP フィルム
- 封筒
- ラベル紙
- 厚手、超厚手、厚紙、および HP 耐久紙

自動両面印刷の用紙の最大重量は、120g/m² ボンドです。

- 自動両面印刷は、次のメディア サイズにのみ対応しています。
 - レター
 - リーガル
 - B5
 - エグゼクティブ
 - 8.5 x 13
 - A4
- 手動両面印刷は、すべてのメディア サイズと他のメディア タイプにも対応します。ただし、OHP フィルム、封筒、ラベルには対応していません。
- 自動および手動両方の両面印刷が有効になっている場合、選択されたサイズとタイプに両面印刷ユニットが対応していれば、自動的に両面印刷が行われます。それ以外の場合は、手動両面印刷が有効になります。

- 高品質を得るためには、両面印刷には粗い、厚手の用紙を使用しないでください。
- レターヘッドやフォームといった特殊メディアを使用するときは、トレイ 2、3、または 4 でメディアを下向きにし、ロゴが左側になるようにセットします。特殊メディアはトレイ 1 で下向きにし、ロゴが MFP に最後に給紙されるようにセットします。



コントロールパネルで自動両面印刷を有効または無効にする

ソフトウェアプログラムで両面印刷の設定を調整できない場合は、コントロールパネルで調整します。出荷時のデフォルト設定は、**[片面]**です。



注意 ラベルに印刷するときは、両面印刷を使用しないでください。重大な損傷を引き起こすことがあります。



注記 MFP のコントロールパネルで行った両面印刷設定の変更は、すべての印刷ジョブに影響します。両面印刷の設定変更は、可能な限り、ソフトウェアプログラムまたはプリンタドライバから行ってください。

注記 プリンタドライバで行った変更は、MFP のコントロールパネルで行った変更よりも常に優先されます。

1. スクロールして **[管理]** を選択します。
2. **[デフォルト ジョブ オプション]** を選択します。
3. **[デフォルト印刷オプション]** を選択します。
4. **[印刷面]** を選択します。
5. **[両面]** を選択します。
6. **[保存]** を選択します。

プリンタ ドライバで自動両面印刷を有効または無効にする



注意 ラベルに印刷するときは、両面印刷を使用しないでください。重大な損傷を引き起こすことがあります。



注記 プリンタ ドライバでは、使用する印刷メディアのタイプに両面印刷アクセサリが対応していない場合のみ、**[両面に印刷 (手動)]** を使用できます。

Windows プリンタ ドライバで自動両面印刷を有効または無効にする

1. 印刷ジョブを実行するのに十分な量の用紙を、いずれかのトレイに挿入します。

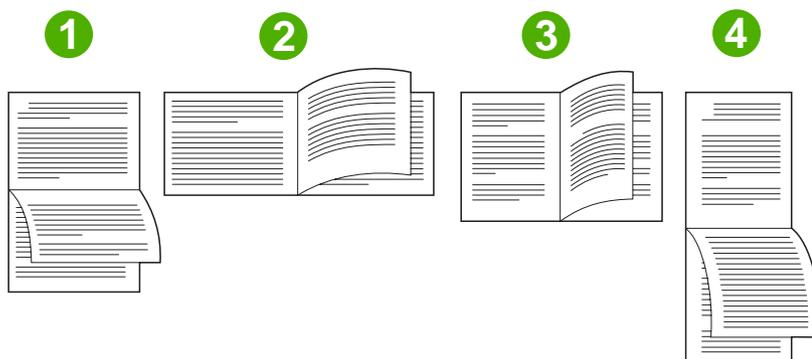


注意 105g/m² (28lb ボンド) より重い用紙をセットしないでください。MFP の紙詰まりを引き起こすことがあります。

2. プリンタ ドライバを起動します。
3. **[仕上げ]** タブで、**[両面に印刷]** をクリックします。
4. **[OK]** をクリックします。

両面印刷のレイアウト オプション

両面印刷の方向には、次の 4 つのオプションがあります。オプション 1 または 4 を選択するには、プリンタ ドライバで **[上綴じ]** を選択します。



1. 長辺綴じ、横向き

経理、データ処理、表計算プログラムでよく使用されるレイアウトです。1 ページごとに上下が逆に印刷されます。見開きのページは、上から下に向かって読みます。

2. 短辺綴じ、横向き

各印刷イメージは、表が上向きになっています。開いたページは、左側のページの上から下へ、次に右側のページの上から下へ読み込まれます。

3. 長辺綴じ、縦向き

デフォルト設定。最も一般的に使用されるレイアウトです。各印刷イメージは表が上向きになっています。開いたページは、最初のページの上から下へ、次に 2 番目のページの上から下へ読み込まれます。

4. 短辺綴じ、縦向き

クリップボードでよく使用されるレイアウトです。1 ページごとに上下が逆に印刷されます。見開きのページは、上から下に向かって読みます。

両面印刷ジョブの綴じ込みオプション

両面文書を印刷する前に、プリンタ ドライバを使用して綴じ込みを選択します。長辺またはブック綴じ込みは、従来から製本で使用されているレイアウトです。短辺またはタブレット綴じ込みは、代表的なカレンダー綴じ込みです。



注記 デフォルトの綴じ込み設定では、ページが縦長の向きに設定されているときに長辺が綴じ込まれます。短辺綴じ込みに変更するには、**[Flip Pages Up]** チェックボックスをオンにします。

ブックレットの印刷

プリンタ ドライバの一部のバージョンには、ブックレット印刷の設定があります。レター、リーガル、A4 の用紙サイズで、左または右側の綴じ込みを選択します。Windows 2000 および XP では、すべての用紙サイズのブックレット印刷をサポートしています。

手動両面印刷

サポートされていないサイズまたは重さの用紙 (たとえば、120g/m² よりも重いか、きわめて薄い用紙) に両面印刷する場合は、最初の面に印刷後、手動で再び MFP に用紙を挿入する必要があります。



注意 ラベルに印刷するときは、両面印刷を使用しないでください。重大な損傷を引き起こすことがあります。

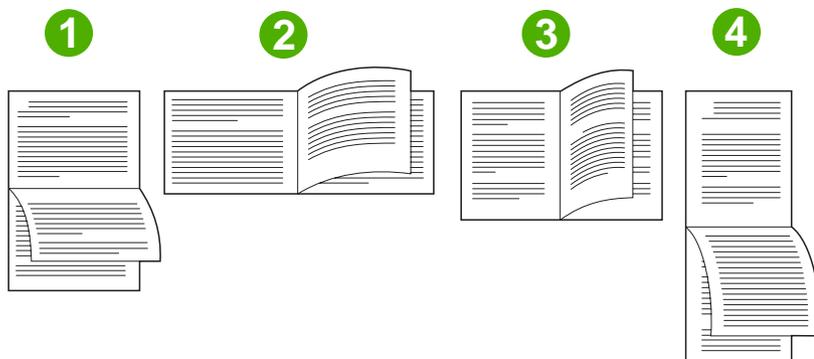
1. Windows の **[スタート]** ボタンをクリックし、**[設定]** をポイントし、**[プリンタと FAX]** をクリックします。
2. プリンタを右クリックし、**[プロパティ]** をクリックします。
3. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。
4. **[手動両面印刷を許可する]** を選択します。
5. 適切なサイズとタイプを選択します。
6. **[仕上げ]** タブで、**[両面に印刷]** または **[両面に印刷 (手動)]** をクリックします。
7. デフォルトの綴じ込みオプションでは、縦のレイアウトで長辺を綴じ込みます。この設定を変更するには、**[仕上げ]** タブで **[上綴じ]** チェック ボックスをオンにします。
8. **[OK]** をクリックします。**[両面に印刷]** 指示が表示されます。指示に従って、文書の印刷を完了します。



注記 用紙の総数がトレイ 1 の手動両面印刷ジョブ用の容量を超える場合は、上から 100 枚を給紙し、**[メニュー]** を押します。プロンプトが表示されたら、次の 100 枚を給紙し、**[メニュー]** を押します。排紙用紙のすべての用紙がトレイ 1 にセットされるまで、必要なだけ繰り返します。

両面印刷のレイアウト オプション

両面印刷の向きには、次の 4 つのオプションがあります。オプション 1 または 4 は、プリンタ ドライバで **[上綴じ]** がオンの場合のみ選択できます。



1. 長辺綴じ、横向き	1 ページごとに上下が逆に印刷されます。見開きのページは、上から下に向かって読みます。
2. 短辺綴じ、横向き	各ページは同じ向きで印刷されます。見開きのページは、上から下に向かって読みます。
3. 長辺綴じ、縦向き	デフォルト設定で、最も一般的に使用されるレイアウトです。各ページは同じ向きで印刷されます。見開きのページは、上から下に向かって読みます。
4. 短辺綴じ、縦向き	1 ページごとに上下が逆に印刷されます。見開きのページは、上から下に向かって読みます。

ブックレットの作成

1 枚の用紙に 2 ページをコピーし、用紙を中央で折り曲げてブックレットを作成できます。ページは自動的に正しい順序で配置されます。たとえば、原稿が 8 ページある場合、ページ 1 とページ 8 が同じ用紙に印刷されます。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[仕上げ]** タブをクリックします。
4. **[両面に印刷]** を選択します。
5. **[ブックレット レイアウト]** のドロップダウン ボックスで、**[左綴じ]** または **[右綴じ]** を選択します。**[用紙あたりのページ数]** の設定が、自動的に 2 ページに変更されます。
6. **[OK]** をクリックします。

ステイプル留めオプションの設定

プリンタ ドライバでステイプラを選択する

1. **[スタート]** をクリックし、**[設定]** をポイントし、**[プリンタ]** (Windows 2000 の場合) または **[プリンタと FAX]** (Windows XP および Vista の場合) をクリックします。
2. HP 製品のアイコンを右クリックし、**[プロパティ]** または **[印刷設定]** をクリックします。

3. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。
4. **[排紙]** タブで **[ステイプル]** の下のドロップダウン リストをクリックし、**[1 箇所]** をクリックします。

オプションのステイプラ スタッカを認識するためのプリンタ ドライバの設定

1. **[プリンタ]** フォルダを開きます。
2. **[HP Color LaserJet CM4730 MFP]** を選択します。
3. **[ファイル]** メニューで、**[プロパティ]** をクリックします。
4. **[デバイスの設定]** タブを選択します。
5. 次のいずれかの方法で、ステイプラ/スタッカを選択します。

[自動設定] までスクロールして、**[今すぐ更新]** を選択し、**[適用]** をクリックします。

または

[アクセサリ排紙ビン] までスクロールして、**[HP 500 シート ステイプラ/スタッカ]** または **[HP 3 ビン メールボックス メールボックス モード]** または **[HP 3 ビン メールボックス スタッカ モード]** または **[HP 3 ビン メールボックス機能セパレータ]** を選択し、**[適用]** をクリックします。

カラー オプションの設定

[カラー] タブの各オプションは、ソフトウェア プログラムから色をどのように解釈して印刷するかを制御します。カラー オプションには、**[自動]** と **[手動]** があります。詳細については、[Windows コンピュータでのプリンタのカラー オプションの管理](#)を参照してください。

- **[自動]** は、テキスト、グラフィックス、写真に使用するカラーとハーフトーンを最適化できます。**自動** には、カラー マネジメント システムをサポートするプログラムとオペレーティング システムに適用される追加のカラー オプションがあります。この設定は、カラー印刷の文書にお勧めします。
- **[手動]** は、テキスト、グラフィックス、写真のカラーとハーフトーンのモードを手動で調整できます。PCL ドライバを使用している場合は、RGB データを調整できます。PS ドライバを使用している場合は、RGB または CMYK データを調整できます。

カラー オプションを設定するには

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[カラー]** タブをクリックします。
4. **[カラーオプション]** 領域で、使用するオプションを選択します。
5. **[手動]** を選択した場合は、**[設定]** をクリックして **[カラー設定]** ダイアログ ボックスを開きます。テキスト、グラフィックス、写真の設定を個別に調整します。また、一般的な印刷設定も調整できます。**[OK]** をクリックします。
6. **[色域]** 領域で、使用する **[RGB カラー]** オプションを選択します。
7. **[OK]** をクリックします。

[サービス] タブの使用

製品がネットワークに接続されている場合は、[サービス] タブを使用して、製品およびサプライ品のステータス情報を取得します。[デバイスおよびサプライ品アイコン]をクリックして、HP 内蔵 Web サーバの [デバイス ステータス] ページを開きます。このページには、製品の最新のステータス、各サプライ品の残り寿命のパーセンテージおよびサプライ品の注文についての情報が表示されます。詳細については、「[内蔵 Web サーバ](#)」を参照してください。

デバイスのさまざまなサポート Web サイトに進むには、[インターネット サービス] エリアで、リストからオプションを選択します。[Go!] をクリックします。

[HP Digital Imaging オプション] ダイアログ ボックスの使用

[HP Digital Imaging オプション] を使用して、品質のよい写真と画像を印刷します。



注記 [HP Digital Imaging オプション] は、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、および Vista で利用できます。

次のオプションを [HP Digital Imaging オプション] ダイアログ ボックスで使用できます。

- **[コントラスト調整]**：色あせた写真の色とコントラストを向上させます。**[自動]** を指定すると、写真の調整が必要な部分が明るくなります。
- **[デジタルフラッシュ]**：細部まで鮮明に表現するように、写真の暗い部分の露出を調整します。**[自動]** を指定すると、明るさと暗さのバランスが調整されます。
- **[SmartFocus]**：インターネットからダウンロードした画像など、低解像度の画像の品質と鮮明度を高めます。**[オン]** を指定すると、画像の細部が鮮明になるように調整されます。
- **[鮮明度]**：画像の鮮明度を好みに合わせて調整します。**[自動]** を指定すると、画像の鮮明度が自動的に調整されます。
- **[スムージング]**：画像を滑らかにします。**[自動]** を指定すると、画像をスムーズにする度合いをプリンタ ソフトウェアが設定します。

[HP Digital Imaging オプション] ダイアログ ボックスの表示

1. プリンタのプロパティ ダイアログ ボックスを開きます。
2. [用紙/品質] タブをクリックし、[HP Digital Imaging] ボタンをクリックします。



注記 HP Image Zone ソフトウェアをインストールしている場合は、デジタル写真の編集とより高度な調整を行えます。

Macintosh のプリンタ ドライバ機能

印刷機能のショートカットの作成および使用 (Macintosh)

印刷機能のショートカットを使用して現在のプリンタ ドライバの設定を保存すると、同じ設定を再利用できます。

印刷機能のショートカットの作成

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. 印刷設定を選択します。
4. **[印刷機能のショートカット]** ボックスで **[別名で保存...]** をクリックし、ショートカットの名前を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。

印刷機能のショートカットの使用

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[印刷機能のショートカット]** ボックスで、使用する印刷機能のショートカットを選択します。



注記 プリンタドライバのデフォルト設定を使用するには、**[出荷時のデフォルト]** を選択します。

文書のサイズ変更またはカスタム用紙サイズへの印刷

さまざまなサイズの用紙に合うように文書を拡大縮小できます。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. **[用紙処理]** メニューを開きます。
3. **[Destination Paper Size]** のエリアで **[Scale to fit paper size]** を選択し、ドロップダウン リストからサイズを選択します。
4. 文書よりも小さな用紙だけを使用する場合は、**[Scale down only]** を選択します。

表紙の印刷

「社外秘」などのメッセージを表紙に印刷できます。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[表紙]** または **[用紙/品質]** タブで、表紙を **[書類の前]** または **[書類の後]** のどちらに印刷するかを選択します。
4. **[表紙の種類]** ポップアップ メニューで、表紙に印刷するメッセージを選択します。



注記 空白の表紙を印刷するには、**[表紙の種類]** で **[標準]** を選択します。

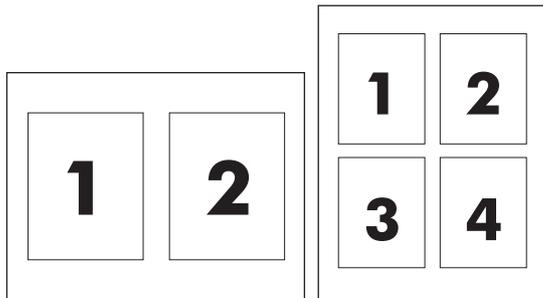
透かしの使用

透かしとは、文書の各ページの背景に「社外秘」などのように印刷される情報です。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. **[透かし]** メニューを開きます。
3. **[モード]** の横で、使用する透かしの種類を選択します。半透明のメッセージを印刷するには、**[透かし]** を選択します。透明でないメッセージを印刷するには、**[オーバーレイ]** を選択します。
4. **[ページ]** の横で、全ページに透かしを印刷するか、最初のページだけに透かしを印刷するかを選択します。
5. **[テキスト]** の横で、いずれかの標準メッセージを選択するか、あるいは **[カスタム]** を選択して、ボックスに新しいメッセージを入力します。
6. 残りの設定のオプションを選択します。

1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Macintosh)

1 枚の用紙に複数のページを印刷できます。この機能は、ドラフト ページを印刷する際のコスト削減に役立ちます。



1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[レイアウト]** ポップアップ メニューをクリックします。
4. **[ページ数/枚]** の横で、1 枚の用紙に印刷するページ数 (1、2、4、6、9、または 16) を選択します。
5. **[レイアウト方向]** の横で、用紙に印刷するページの順序と位置を選択します。
6. **[境界線]** の横で、用紙の各ページの周囲に印刷する境界線の種類を選択します。

用紙の両面印刷

自動両面印刷

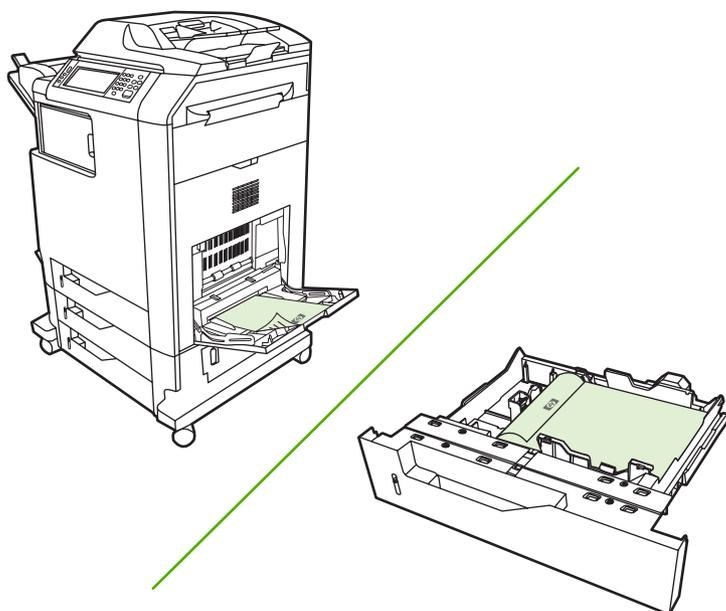
ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで、両面印刷オプションを指定します。このオプションが見つからない場合は、次の情報を使用して、両面印刷オプションを利用できるようにします。

両面印刷を使用するには

- プリンタ ドライバで自動と手動の両面印刷オプションを表示するように設定されていることを確認します。
- 両面印刷オプションが表示されたら、プリンタ ドライバ ソフトウェアで適切な設定を選択します (印刷の向きや綴じ込み方向など)。
- 次のメディア タイプでは、自動両面印刷はサポートされません。
 - OHP フィルム
 - 封筒
 - ラベル紙
 - 厚手、超厚手、厚紙、および HP 耐久紙

自動両面印刷の用紙の最大重量は、120g/m² ボンドです。

- 自動両面印刷は、次のメディア サイズにのみ対応しています。
 - レター
 - リーガル
 - B5
 - エグゼクティブ
 - 8.5 x 13
 - A4
- 手動両面印刷は、すべてのメディア サイズと他のメディア タイプにも対応します。ただし、OHP フィルム、封筒、ラベルには対応していません。
- 自動および手動両方の両面印刷が有効になっている場合、選択されたサイズとタイプに両面印刷ユニットが対応していれば、自動的に両面印刷が行われます。それ以外の場合は、手動両面印刷が有効になります。
- 高品質を得るためには、両面印刷には粗い、厚手の用紙を使用しないでください。
- レターヘッドやフォームといった特殊メディアを使用するときは、トレイ 2、3、または 4 でメディアを下向きにし、ロゴが左側になるようにセットします。特殊メディアはトレイ 1 で下向きにし、ロゴが MFP に最後に給紙されるようにセットします。



コントロールパネルで自動両面印刷を有効または無効にする

ソフトウェア プログラムで両面印刷の設定を調整できない場合は、コントロール パネルで調整します。出荷時のデフォルト設定は、**[片面]** です。



注意 ラベルに印刷するときは、両面印刷を使用しないでください。重大な損傷を引き起こすことがあります。



注記 MFP のコントロール パネルで行った両面印刷設定の変更は、すべての印刷ジョブに影響します。両面印刷の設定変更は、可能な限り、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバから行ってください。

注記 プリンタ ドライバで行った変更は、MFP のコントロール パネルで行った変更よりも常に優先されます。

1. スクロールして **[管理]** を選択します。
2. **[デフォルト ジョブ オプション]** を選択します。
3. **[デフォルト印刷オプション]** を選択します。
4. **[印刷面]** を選択します。
5. **[両面]** を選択します。
6. **[保存]** を選択します。

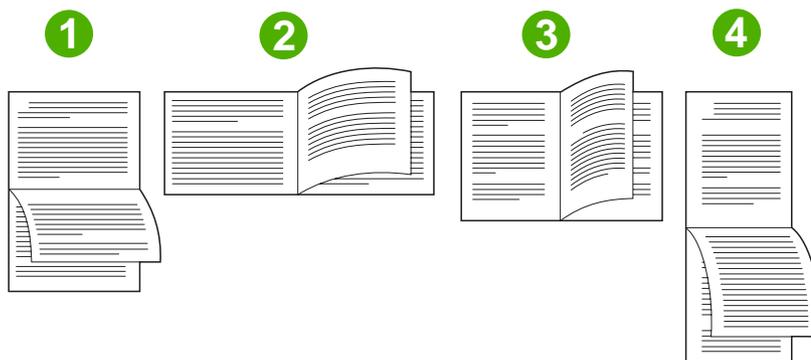
Macintosh プリンタ ドライバで自動両面印刷を有効または無効にする

自動両面印刷の使用

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。
 - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
 - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
2. プリンタ ドライバを開きます ([「プリンタ ドライバを開く」](#) を参照)。
3. **[レイアウト]** ポップアップメニューを開きます。
4. **[両面印刷]** の横で、**[長辺綴じ (標準)]** または **[短辺綴じ]** のいずれかを選択します。
5. **[印刷]** をクリックします。

両面印刷のレイアウトオプション

両面印刷の方向には、次の 4 つのオプションがあります。オプション 1 または 4 を選択するには、プリンタ ドライバで **[上綴じ]** を選択します。



1. 長辺綴じ、横向き	経理、データ処理、表計算プログラムでよく使用されるレイアウトです。1 ページごとに上下が逆に印刷されます。見開きのページは、上から下に向かって読みます。
2. 短辺綴じ、横向き	各印刷イメージは、表が上向きになっています。開いたページは、左側のページの上から下へ、次に右側のページの上から下へ読み込まれます。
3. 長辺綴じ、縦向き	デフォルト設定。最も一般的に使用されるレイアウトです。各印刷イメージは表が上向きになっています。開いたページは、最初のページの上から下へ、次に 2 番目のページの上から下へ読み込まれます。
4. 短辺綴じ、縦向き	クリップボードでよく使用されるレイアウトです。1 ページごとに上下が逆に印刷されます。見開きのページは、上から下に向かって読みます。

両面印刷ジョブの綴じ込みオプション

両面文書を印刷する前に、プリンタ ドライバを使用して綴じ込みを選択します。長辺またはブック綴じ込みは、従来から製本で使用されているレイアウトです。短辺またはタブレット綴じ込みは、代表的なカレンダー綴じ込みです。



注記 デフォルトの綴じ込み設定では、ページが縦長の向きに設定されているときに長辺が綴じ込まれます。短辺綴じ込みに変更するには、**[Flip Pages Up]** チェックボックスをオンにします。

手動両面印刷

手動両面印刷

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。
 - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
 - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。



注意 紙詰まりを防止するには、105g/m² (28 ポンドのポンド紙) より厚手の用紙はセットしないでください。

2. プリンタ ドライバを開きます (**「プリンタ ドライバを開く」** を参照)。
3. **[仕上げ]** ポップアップメニューで、**[手動両面印刷]** オプションを選択します。



注記 **[手動両面印刷]** オプションが有効になっていない場合は、**[裏面の手差し印刷]** を選択します。

4. **[印刷]** をクリックします。印刷された用紙をトレイ 1 にセットし直して裏面を印刷する前に、画面上のポップアップウィンドウに表示される指示に従います。
5. プリンタの設置場所に移動して、トレイ 1 から、印刷されていない用紙をすべて取り除きます。
6. トレイ 1 で、印刷されたほうの面を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。裏面はトレイ 1 から印刷する必要があります。
7. 指示が表示される場合、適切なコントロール パネル ボタンを押して処理を続行します。

ステイプル留めオプションの設定

プリンタ ドライバでステイプラを選択する

1. 文書を開き、**[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
2. 該当するステイプル留めオプションを選択します。
3. **[プリセット]** ポップアップメニューで **[別名で保存]** をクリックし、プリセットの名前を入力します。

オプションのステイブラ/スタッカを認識するためのプリンタ ドライバの設定

1. [プリンタ センター] ユーティリティを開きます。
2. [HP Color LaserJet CM4730] を選択します。
3. [ファイル] メニューで、[情報を見る] をクリックします。
4. [インストール可能なオプション] タブを選択します。
5. [アクセサリ排紙ビン] までスクロールして、[HP 500 シート ステイブラ/スタッカ] または [HP 700 シート 3 ビンメールボックス] を選択します。
6. [変更の適用] をクリックします。

カラー オプションの設定

[カラー オプション] ポップアップ メニューで、ソフトウェア プログラムでのカラーの解析および印刷方法をコントロールします。

1. ソフトウェア プログラムの [ファイル] メニューで、[印刷] をクリックします。
2. ドライバを選択し、[プロパティ] または [基本設定] をクリックします。
3. [カラー オプション] ポップアップ メニューを開きます。
4. Mac OS X を使用している場合は、[詳細オプションの表示] をクリックします。
5. テキスト、グラフィックス、写真の設定を個別に調整します。

[サービス] メニューの使用

本デバイスがネットワークに接続されている場合は、[サービス] メニューからデバイスとサプライ品のステータスに関する情報を確認できます。

1. [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。
2. [サービス] メニューを開きます。
3. ドロップダウン リストから保守作業を選択し、[Launch] をクリックします。選択した作業の情報が表示されます。
4. このデバイスのさまざまなサポート Web サイトに進むには、ドロップダウン リストからインターネット サービス オプションを選択して、[進む] を選択します。

用紙をステイプルで留める

オプションのステイプラ/スタッカの仕様は次のとおりです。

- 75g/m² の用紙を最大 30 枚ステイプル留めできます。
- レター、A4、リーガル、エグゼクティブ (JIS)、および 8.5 x 13 のサイズ of 用紙をステイプル留めできます。
- 最大 500 枚までの用紙をセットできます。
- 用紙の重さは、60 ~ 120 g/m² の範囲です。
- ジョブに含まれている用紙が 1 枚だけの場合、または 30 枚を超える場合、MFP はジョブをビンに排紙しますが、ステイプルで留めることはしません。
- 用紙のみに対応します。OHP フィルム、ラベル紙など、その他のタイプのメディアをステイプル留めしないでください。ステイプラは、最大 20 枚の光沢紙、厚紙、および HP 耐久紙をステイプル留めできます。

オプションのステイプラ/スタッカを認識するためには、最初にプリンタ ドライバを設定する必要があります。ステイプラを使用する場合、ソフトウェア プログラム、プリンタ ドライバ、または MFP のコントロール パネルで、ステイプル留めオプションを選択する必要があります。

コントロール パネルでの印刷ジョブのステイプラ設定

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. [デフォルト ジョブ オプション] を選択します。
3. [デフォルト コピー オプション] を選択します。
4. [ステイプル/ソート] を選択します。
5. [ステイプル] を選択します。
6. 使用するステイプル オプションを選択します。



注記 プリンタのコントロール パネルでステイプラを選択すると、デフォルト設定が [ステイプル] に変化します。この場合、すべての印刷ジョブがステイプル留めされる可能性があります。ただし、プリンタ ドライバで変更した設定は、コントロール パネルで変更した設定よりも優先されます。

コントロール パネルでのすべてのコピー ジョブのステイプラ設定



注記 次の手順を行うと、すべてのコピー ジョブのデフォルト設定が変更されます。

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. [デフォルト ジョブ オプション] を選択します。
3. [デフォルト コピー オプション] を選択します。
4. [ステイプル/ソート] を選択します。

5. [ステイプル] を選択します。
6. 使用するステイプル オプションを選択します。

コントロール パネルでの 1 つのコピー ジョブのステイプラ設定



注記 次の手順で、現在のコピー ジョブのみにステイプル留めオプションを設定できます。

1. スクロールして [コピー] を選択します。
2. [ステイプル/ソート] を選択します。
3. 使用するステイプル オプションを選択します。

ステイプル カートリッジが空になった場合のプリンタの停止または続行を設定する

ステイプル カートリッジが空になった場合に、印刷を停止するか、印刷を続行するがジョブのステイプル留めを行わないかを指定できます。

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [デバイス動作] を選択します。
3. スクロールして [ステイプラ/スタッカ] を選択します。
4. [ステイプルが空になりました] を選択します。
5. 使用するオプションを選択します。
 - ステイプル カートリッジを交換するまですべての印刷を停止するには、[停止] を選択します。
 - ステイプル留めを行わずに印刷ジョブを続行するには、[継続] を選択します。

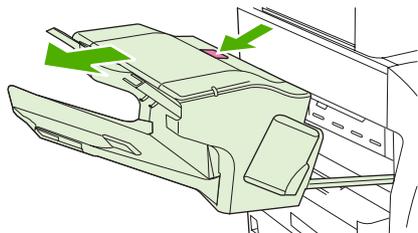
ステイプルのセット

MFP のコントロール パネル ディスプレイに [ステイプルの針が残りわずかです] というメッセージ (使用可能なステイプルの残量が 20 未満)、または [ステイプル カートリッジを交換してください] というメッセージ (ステイプラが空、または残ったステイプルが使用不可能) が表示された場合は、新しいステイプルをセットします。交換用ステイプラ カートリッジの注文については、299 ページの「[ページ番号](#)」を参照してください。

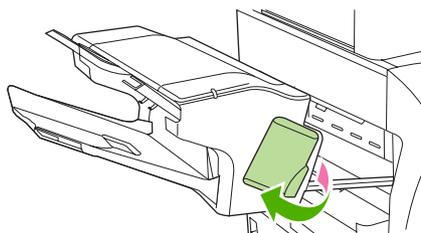
ステイプラは、ステイプラの針が入っていない場合も印刷ジョブを受け付けますが、ページをステイプル留めしません。ステイプラ カートリッジが空になった場合は、ステイプル オプションが無効になるようにプリンタ ドライバを設定できます。

ステイプルをセットするには、次の手順に従います。

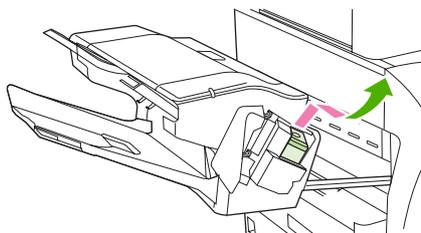
1. ステイプラ/スタッカ上部のリリース ボタンを押したままにします。ステイプラ/スタッカを MFP から引き出します。



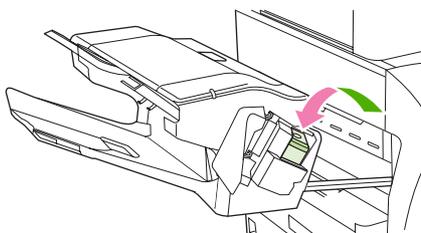
2. ステイプル カートリッジのカバーを開きます。



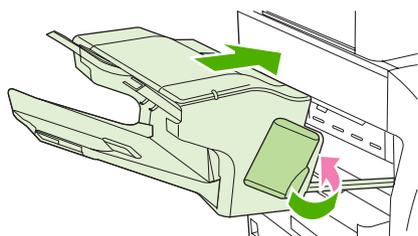
3. ステイプル カートリッジの緑のハンドルをつかんで、古いステイプル カートリッジをステイプラ ユニットから引き出します。



4. 新しいステイプル カートリッジをステイプラ ユニットに挿入して、カチッと音がしてユニットがはまるまで緑のハンドルを押し下げます。



5. ステイプル カートリッジのカバーを閉じて、ステイプラ/スタッカを MFP 内にスライドさせます。



印刷ジョブのキャンセル

コントロールパネルまたはソフトウェアプログラムを使用して、印刷要求を停止できます。ネットワーク上のコンピュータから印刷要求を停止する方法については、特定のネットワークソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。



注記 印刷ジョブをキャンセルしてからすべての印刷が解除されるまでにはしばらく時間がかかります。

コントロールパネルからの現在の印刷ジョブの取り消し

1. コントロールパネルで **[停止]** を押します。
2. タッチスクリーンの **[デバイスは一時停止しています]** 画面で、**[現行のジョブをキャンセル]** にタッチします。



注記 印刷ジョブの印刷処理がかなり進んでいる場合は、ジョブをキャンセルできないことがあります。

ソフトウェアプログラムから現在の印刷ジョブの取り消し

しばらくの間、印刷ジョブをキャンセルするためのオプションがあるダイアログボックスが画面に表示されます。

複数の印刷要求がユーザー自身のソフトウェアからデバイスに送信されている場合、要求は印刷キュー (Windows プリントマネージャなど) 内で待機状態になります。コンピュータから印刷要求をキャンセルする手順については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

印刷ジョブが印刷キュー (コンピュータのメモリ) または印刷スプーラ (Windows 2000 または XP) 内で待機状態になっている場合は、その場所で印刷ジョブを削除します。

[スタート] を選択し、**[プリンタ]** をクリックします。デバイスアイコンをダブルクリックし、プリントスプーラを開きます。キャンセルする印刷ジョブを選択し、**Delete** キーを押します。印刷ジョブがキャンセルされない場合は、コンピュータをシャットダウンして再起動する必要があります。

10 カラーの使用

HP Color LaserJet CM4730 MFP シリーズでは、MFP を設定するだけで直ちに高品質のカラー印刷ができるようになります。自動カラー機能を組み合わせることにより、一般的なオフィス ユーザー向けの優れたカラー品質を生成するだけでなく、カラー印刷に熟練した上級ユーザー向けの高度なツールも用意されています。

HP Color LaserJet CM4730 MFP シリーズは、慎重に設計およびテストされたカラー テーブルを備え、すべての印刷可能な色を滑らかで正確にレンダリングします。

- [HP ImageREt 3600](#)
- [カラーの使用制限](#)
- [用紙の選択](#)
- [カラー オプション](#)
- [sRGB](#)
- [4 色での印刷 \(CMYK\)](#)
- [CMYK インク セット エミュレーション \(PostScript のみ\)](#)
- [カラー マッチング](#)
- [Windows コンピュータでのプリンタのカラー オプションの管理](#)
- [Macintosh コンピュータでのプリンタのカラー オプションの管理](#)

HP ImageREt 3600

HP ImageREt 3600 印刷テクノロジーは、HP が独占的に開発した革新的技術システムであり、卓越した印刷品質を実現します。HP ImageREt システムは、高度な技術を統合し、印刷システムの各要素を最適化することにより、業界の追随を許さないものとなっています。HP ImageREt のいくつかのカテゴリは、多種多様なユーザーのニーズに応じて開発されています。

このシステムでは、イメージ拡張、便利なサプライ品、高解像度イメージングを含む基幹的なカラーレーザーテクノロジーを採用し、一般のオフィス文書や販促資料向けに卓越したイメージを提供します。HP カラーレーザー用高光沢紙での印刷用に最適化された HP Image REt 3600 は、すべての対応するメディアに対して多様な環境条件下で卓越した品質を提供します。

カラーの使用制限

HP Color LaserJet CM4730 MFP シリーズでは、[カラー制限]設定を使用できます。この設定を使用すると、ネットワーク管理者は、カラー印刷およびコピー機能へのユーザー アクセスを制限することにより、カラー トナーを節約できます。カラー印刷ができない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。

カラー印刷の制限

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. [管理] を選択します。
3. [カラーの使用制限] を選択します。
4. [カラー印刷の使用] を選択します。
5. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - [カラーを無効にする]。すべてのユーザーに対してカラー印刷機能の使用を拒否します。
 - [カラー有効] (デフォルト)。すべてのユーザーに対してカラー印刷機能の使用を許可します。
 - [権限がある場合はカラーを使用]。ネットワーク管理者は、カラーの使用を許可するユーザーおよび/またはアプリケーションを選択できます。内蔵 Web サーバーを使用して、カラー印刷を許可するユーザーおよび/またはアプリケーションを指定します。
6. [保存] を選択します。

カラー使用の制限とレポートの詳細については、<http://www.hp.com/go/coloraccess> を参照してください。

カラー コピーの制限

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. [管理] を選択します。
3. [カラーの使用制限] を選択します。
4. [カラー コピーの使用] を選択します。
5. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - [カラー有効] (デフォルト)。すべてのユーザーに対してカラー コピー機能の使用を許可します。
 - [カラーを無効にする]。すべてのユーザーに対してカラー コピー機能の使用を拒否します。
6. [保存] を選択します。

カラー使用の制限とレポートの詳細については、<http://www.hp.com/go/coloraccess> を参照してください。

用紙の選択

最高のカラーおよびイメージ品質を得るには、MFP メニューまたはフロント パネルで適切なメディア タイプを選択することが重要です。

カラー オプション

カラー オプションを使用すると、さまざまなタイプの文書に最適なカラー印刷が自動的にできます。

カラー オプションでは、オブジェクト タグ付けを使用して、ページ内の各種オブジェクト (テキスト、グラフィックス、写真) に使用するカラーおよびハーフトーンの設定を最適化します。プリンタドライバは、ページで使用されているオブジェクトを特定し、各オブジェクトに最適な印刷品質をもたらすハーフトーンおよびカラー設定を使用します。最適化されたデフォルト設定と、オブジェクト タグ付けの組み合わせにより、追加の設定を行わなくても高品質のカラーが生成されます。

Windows 環境では、**[自動]** および **[手動]** カラー オプションが、プリンタ ドライバの **[カラー]** タブにあります。

詳細については、「[正しいプリンタ ドライバの選択](#)」を参照してください。

sRGB

sRGB (Standard red-green-blue) は、モニタ、入力デバイス (スキャナ、デジタル カメラ)、出力デバイス (MFP、プリンタ、プロッタ) のための共通のカラー言語として、HP と Microsoft が独自に開発した国際的な色規格です。sRGB は、HP 製品、Microsoft オペレーティング システム、Web、今日市販されているほとんどのオフィス用ソフトウェアで使用されるデフォルトの色空間です。また、今日の一般的な Windows コンピュータ モニタを代表するものであるとともに、高品位テレビのコンバージェンス標準ともなっています。



注記 お使いのモニタのタイプや部屋の照明といった要素が、画面上の色の表示に影響することがあります。詳細については、「[カラー マッチング](#)」を参照してください。

最新版の Adobe PhotoShop、CorelDRAW™、Microsoft Office など多くのソフトウェア プログラムでは、色を伝達するために sRGB を採用しています。最も重要なのは、sRGB が Microsoft オペレーティング システムのデフォルトの色空間であり、最大多数のユーザーにカラー マッチング体験の大幅な向上を保証する共通定義を使用することにより、ソフトウェア プログラムとデバイス間で色情報を伝達する手段として広く採用されてきたという事実です。sRGB では、色の専門家でなくても、MFP、コンピュータ モニタ、およびその他の入力デバイス (スキャナ、デジタル カメラ) 間でのカラー マッチングを自動的に大幅に改善できます。

4色での印刷 (CMYK)

CMYK (シアン、マゼンタ、イエロー、黒) は印刷機で使用されるインク色です。CMYK プロセスは、4色印刷とも呼ばれます。CMYK データ ファイルは、グラフィック アート (印刷および出版) 環境で使用されますが、もともとの環境から生まれたものです。MFP は、PS プリンタ ドライバを介して CMYK のカラーを受け入れます。MFP の CMYK カラー レンダリングは、豊かで湿潤なカラーをテキストとグラフィックスに提供するように設計されています。

CMYK インク セット エミュレーション (PostScript のみ)

MFP で CMYK カラー レンダリングを行うことで、標準のオフセット印刷機のインク セットをエミュレーションできます。状況によっては、イメージや文書内の CMYK カラー値が MFP に適合しないことがあります。たとえば、文書が別のプリンタ用に最適化されている場合などです。最善の結果を得るには、CMYK のカラー値が HP Color LaserJet CM4730 MFP に適合している必要があります。プリンタ ドライバから適切なカラー入力プロファイルを選択します。

- **[Default CMYK+ (デフォルト CMYK+)]**。HP CMYK+ テクノロジーは、ほとんどの印刷ジョブに最適な印刷結果をもたらします。
- **[Specification for Web Offset Publications (SWOP) (Web オフセット印刷仕様 (SWOP))]**。米国およびその他の国/地域の共通インク規格。
- **[Euroscale (ユーロスケール)]**。ヨーロッパおよびその他の国/地域の共通インク規格。
- **[Dainippon Ink and Chemical (DIC)]**。日本およびその他の国/地域の共通インク規格。
- **[カスタム プロファイル]**。このオプションを選択すると、カスタムの入力プロファイルを使用して、カラー印刷を適切に制御できます (たとえば、別の HP Color LaserJet プリンタのエミュレーションなど)。カラー プロファイルは、<http://www.hp.com> からダウンロードできます。

カラー マッチング

プリンタとコンピュータのモニタが異なるカラー生成方法を採用しているため、MFP の出力カラーとユーザーのコンピュータ画面のカラー マッチング プロセスは非常に複雑になります。モニタは、RGB (赤、緑、青) カラー処理を利用して光ピクセルで色を表示し、プリンタは、CMYK (シアン、マゼンタ、イエロー、黒) 処理で色を印刷します。

印刷物の色をモニタに表示される色と一致させる機能は、いくつかの要因の影響を受けます。これらの要因には次のものがあります。

- 印刷メディア
- プリンタの着色剤 (インクやトナーなど)
- 印刷プロセス (インクジェット、プレス、またはレーザー方式など)
- 上部からの照明
- 色の認識の個人差
- ソフトウェア プログラム
- プリンタ ドライバ
- コンピュータのオペレーティング システム
- モニタ
- ビデオ カードおよびドライバ
- 動作環境 (湿度など)

画面に表示される色が印刷物の色と完全に一致しない場合は、上記の要因が考えられます。

ほとんどのユーザーの場合、画面の色と MFP の出力カラーを一致させる最適な方法は、sRGB カラーで印刷することです。

PANTONE® カラー マッチング

PANTONE® には、複数のカラー マッチング システムがあります。PANTONE® Matching System はきわめて普及度の高いカラー マッチング システムであり、ソリッド インクを使用して幅広い色相と色の濃淡を生成します。この MFP で PANTONE® Matching System を使用方法の詳細については、<http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> を参照してください。



注記 生成された PANTONE® カラーは PANTONE の標準色と一致しない場合があります。正確な色については PANTONE の最新の出版物で確認してください。PANTONE® およびその他の Pantone, Inc. の商標は、Pantone, Inc. の所有物です。© Pantone, Inc., 2000.

色見本のカラー マッチング

色見本および標準のカラー基準に MFP 出力を一致させるプロセスは複雑です。一般的に、色見本の作成にシアン、マゼンタ、イエロー、および黒のインクが使用されている場合は、正確なカラー マッチングを得ることができます。通常、これらはプロセス色見本と呼ばれます。

色見本の中にはスポット カラーから作成されるものもあります。スポット カラーは特別に作成された色です。これらのスポット カラーの多くは MFP の範囲外です。ほとんどのスポット色見本には、スポット カラーに CMYK 近似を提供するプロセス色見本が付属しています。

ほとんどのプロセス色見本では、色見本の印刷に使用されたプロセス標準が指定されます。通常は SWOP、EURO、または DIC です。プロセス色見本に最適なカラー マッチングを得るには、MFP メニューから対応するインク エミュレーションを選択します。プロセス標準がわからない場合は、SWOP インク エミュレーションを使用します。

カラー サンプルの印刷

カラー サンプルを使用するには、目的の色に最も近くマッチするカラー サンプルを選択します。ソフトウェア プログラムでサンプルのカラー値を使用して、マッチさせるオブジェクトを指定します。カラーは、用紙のタイプと使用するソフトウェア プログラムにより異なります。カラー サンプルを使用する方法の詳細については、<http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> を参照してください。

次の手順で、コントロール パネルを使用して MFP でカラー サンプルを印刷します。

1. [情報] を選択します。
2. [サンプル ページ/フォント] を選択します。
3. [CMYK サンプル] または [RGB サンプル] を選択します。ページが印刷されます。

Windows コンピュータでのプリンタのカラー オプションの管理

カラー オプションを [自動] に設定すると、最も一般的な印刷条件での印刷品質が最高になります。ただし、文書によってはカラー オプションを手動で設定した方がきれいな文書を印刷できます。たとえば、多くの画像や文書を含む製品カタログをプリンタ ドライバにリストされていないメディア タイプに印刷する場合などです。

Windows では、グレースケールで印刷したり、プリンタ ドライバで [カラー] タブの設定値を使用してカラー オプションを変更できます。

グレースケールでの印刷

プリンタ ドライバから [グレースケールで印刷] オプションを選択すると、文書が白黒で印刷されません。

Windows でのカラー オプションの設定

[カラー] タブの各オプションは、ソフトウェア プログラムから色をどのように解釈して印刷するかを制御します。カラー オプションには、[自動] と [手動] があります。詳細については、「[Windows コンピュータでのプリンタのカラー オプションの管理](#)」を参照してください。

- [自動] を選択すると、文書の各エレメント (テキスト、グラフィックス、写真など) に使用するカラーとハーフトーンを最適化できます。[自動] には、カラー マネジメント システムをサポートするプログラムとオペレーティング システムに適用される追加のカラー オプションがあります。この設定は、カラー印刷の文書にお勧めします。
- [手動] は、テキスト、グラフィックス、写真のカラーとハーフトーンのモードを手動で調整できます。PCL ドライバを使用している場合は、RGB データを調整できます。PS ドライバを使用している場合は、RGB または CMYK データを調整できます。

カラー オプションを設定するには

1. プリンタ ドライバを起動します。
2. [カラー] タブをクリックします。
3. [カラーオプション] 領域で、使用するオプションを選択します。
4. [手動] を選択した場合は、[設定] をクリックして [カラー設定] ダイアログ ボックスを開きます。テキスト、グラフィックス、写真の設定を個別に調整します。また、一般的な印刷設定も調整できます。[OK] をクリックします。
5. [色域] 領域で、使用する [RGB カラー] オプションを選択します。
6. [OK] をクリックします。

RGB カラー (色域)

[RGB カラー] 設定には次の 5 つの値があります。

- ほとんどの印刷では、**[デフォルト (sRGB)]** を選択します。この設定では、Microsoft および W3C (World Wide Web Consortium) の標準として受け入れられている sRGB として RGB カラーを解釈するよう、プリンタに指示します。
- **[イメージの最適化 (sRGB)]** は、.GIF や .JPEG ファイルなどのビットマップ画像が内容の大半を占める文書に適してします。この設定により、プリンタは sRGB のビットマップ画像のレンダリングに最適なカラー マッチングを使用します。テキストやベクタ グラフィックスには効果はありません。光沢のあるメディアに印刷するときこの設定を使用すると、よりきれいに仕上がります。
- **[AdobeRGB]** は、sRGB ではなく *AdobeRGB* カラー スペースを使用する文書の場合に選択します。たとえば、画像を AdobeRGB で撮影するデジタル カメラや、Adobe PhotoShop で作成した文書で AdobeRGB カラー スペースが使用されています。AdobeRGB を使用するプロ向けのソフトウェア プログラムから印刷するときは、ソフトウェア プログラムのカラー マネジメント機能をオフにして、プリンタ ソフトウェアでカラー スペースを管理できるようにする必要があります。
- **[なし]** は、未処理のデバイス モードで RGB データを印刷するようにプリンタに指示します。このオプションを使用して文書を正しくレンダリングするには、作業しているプログラムまたはオペレーティング システムで色を管理する必要があります。



注意 このオプションは、ソフトウェア プログラムまたはオペレーティング システムで色を管理する操作に熟知している場合にのみ使用してください。

- 他のプリンタの印刷出力を複製するには、**[カスタム プロファイル]** を選択します。この設定では、カラー出力をより正確に予測して制御するためにカスタム入力プロファイルを使用するようプリンタに指示します。カスタム プロファイルは、www.hp.com からダウンロードできます。

色の自動または手動の調整

[自動] カラー調整オプションは、文書の各エレメントに適用されるニュートラルなグレー処理、ハーフトーン、およびエッジ強調を最適化します。詳細については、62 ページの「[正しいプリンタ ドライバの選択](#)」を参照してください。



注記 [自動] はデフォルト設定です。この設定は、ほとんどのカラー印刷の文書にお勧めします。

[手動] カラー調整では、テキスト、グラフィックス、写真に適用されるニュートラルなグレー処理、ハーフトーン、およびエッジ強調を調整できます。[手動] カラー オプションにアクセスするには、**[カラー]** タブで、**[手動]**、**[設定]** の順に選択します。

手動カラー オプション

エッジ コントロール、ハーフトーン、グレー中間色のカラー オプションを手動で調整できます。

エッジ コントロール

[エッジコントロール] 設定は、エッジのレンダリング方法を指定します。エッジ コントロールには、適合ハーフトーン設定、REt、およびトラッピングという 3 つのコンポーネントがあります。適合ハーフトーン設定はエッジの鮮明度を上げます。トラッピングは、隣接するオブジェクトのエッジ

をわずかに重ね合わせることによって、不正確な色配置の影響を抑えます。カラー REt オプションは、エッジを滑らかにします。



注記 オブジェクト間に白い隙間が空いたり、エッジにシアン、マゼンタ、またはイエローのわずかなシャドウが見られる場合は、エッジコントロール設定を選択してトラッピングレベルを高くします。

エッジコントロールには次の4つのレベルがあります。

- **[最大]** は、最も強力なトラッピング設定です。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[標準]** は、デフォルトのトラッピング設定です。トラッピングは中程度です。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[薄め]** では最低レベルのトラッピングが設定されます。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[オフ]** は、トラッピング、適合ハーフトーン設定、カラー REt をオフにします。

ハーフトーンオプション

ハーフトーン オプションは、カラー出力の解像度と鮮明度を制御します。テキスト、グラフィックス、写真のハーフトーン設定は個別に選択できます。ハーフトーン オプションには、**[スムーズ]** および **[詳細]** の2つがあります。

- **[スムーズ]** オプションは、塗りつぶされた領域が広範囲にわたっている場合に適しています。また、細かいカラー グラデーションを平滑化することによって写真の品質も高くなります。均一で滑らかな結果を優先する場合は、このオプションを選択してください。
- **[詳細]** オプションは、線または色を厳密に区別しなければならないテキストやグラフィックス、または、パターンや細部が含まれている画像に適しています。鮮明なエッジおよび細部を優先する場合は、このオプションを選択してください。



注記 一部のソフトウェア プログラムでは、テキストやグラフィックスをビットマップ イメージに変換します。このような場合、**[写真]** のカラー オプションを設定すると、テキストやグラフィックスの外観にまで影響します。

グレー中間色

[グレー中間色] 設定は、テキスト、グラフィックス、および写真で使用するグレー色を生成するための方法を指定します。

[グレー中間色] 設定には 次の2つの値があります。

- **[黒のみ]** は、黒いトナーだけを使用して無彩色 (グレーと黒) を印刷します。これによって、カラー印刷でなく白黒印刷されます。
- **[4色]** は、全色のトナーを組み合わせることによって無彩色 (グレーと黒) を生成します。この方法では、有彩色への変化がよりスムーズで、深みのある黒が生成されます。



注記 一部のソフトウェア プログラムでは、テキストやグラフィックスをラスタ イメージに変換します。このような場合、**[写真]** のカラー オプションを設定すると、テキストやグラフィックスの外観にまで影響します。

Macintosh コンピュータでのプリンタのカラー オプションの管理

通常、カラー品質を [自動] に設定すると、通常の印刷条件での印刷品質が最高になります。ただし、書類によっては、カラー品質を手動で設定した方がきれいに仕上がります。このような書類の例としては、画像を多く含むマーケティング用パンフレットやプリンタ ドライバにリストされていない種類の用紙に印刷する場合などがあります。

[印刷] ダイアログ ボックスの **[カラー品質]** ポップアップ メニューで、グレースケールでの印刷やカラー品質の変更ができます。

プリンタ ドライバにアクセスする方法の詳細については、62 ページの「[正しいプリンタ ドライバの選択](#)」を参照してください。

グレースケールでの印刷

プリンタ ドライバから **[グレー印刷]** オプションを選択すると、書類が黒とグレー階調で印刷されません。このオプションは、スライドやハードコピーの試し刷りや、コピーまたはファックス送信するカラーの書類の印刷に役立ちます。

Macintosh でのカラー オプションの設定

[カラー オプション] ポップアップ メニューで、ソフトウェア プログラムでのカラーの解析および印刷方法を制御します。



注記 カラー オプションの使用方法の詳細については、150 ページの「[Macintosh コンピュータでのプリンタのカラー オプションの管理](#)」を参照してください。

カラー オプションを設定するには

1. プリンタ ドライバを開きます (62 ページの「[正しいプリンタ ドライバの選択](#)」を参照)。
2. **[カラー オプション]** ポップアップ メニューを開きます。
3. Mac OS X を使用している場合は、**[詳細オプションの表示]** をクリックします。
4. テキスト、グラフィックス、および写真の設定を手動で個別に調整します。

手動カラー オプション

手動カラー調整を使用すると、印刷ジョブの **[カラー]** (または **[カラー マップ]**) および **[ハーフトーン]** オプションを調整できます。

ハーフトーン オプション

ハーフトーン オプションは、カラー出力の解像度と鮮明度を制御します。テキスト、グラフィックス、写真のハーフトーン設定は個別に選択できます。ハーフトーン オプションには、**[テキスト]** および **[詳細]** の 2 つがあります。

- **[テキスト]** オプションは、塗りつぶされた領域が広範囲にわたっている場合に適しています。また、細かいカラー グラデーションを滑らかにすることによって、写真の品質も上がります。均一で滑らかな仕上がりを優先する場合は、このオプションを選択してください。
- **[詳細]** オプションは、線または色を厳密に区別しなければならないテキストやグラフィックス、または、パターンや細かい描写が含まれている画像に適しています。鮮明なエッジおよび細部を優先する場合は、このオプションを選択してください。



注記 一部のソフトウェア プログラムでは、テキストまたはグラフィックスはラスター画像に変換されます。このような場合は、**[写真]** 設定を使用して、テキストおよびグラフィックスを制御できます。

グレー中間色

[グレー中間色] 設定は、テキスト、グラフィックス、および写真で使用するグレー色を生成するための方法を指定します。

[グレー中間色] 設定には 次の 2 つの値があります。

- **[黒のみ]** は、黒いトナーだけを使用して無彩色 (グレーと黒) を生成します。これによって、カラー印刷でなく白黒印刷されます。
- **[4 色]** は、全色のトナーを組み合わせることによって無彩色 (グレーと黒) を生成します。この方法では、有彩色への変化がよりスムーズで、深みのある黒が生成されます。



注記 一部のソフトウェア プログラムでは、テキストまたはグラフィックスはラスター画像に変換されます。このような場合は、**[写真]** 設定を使用して、テキストおよびグラフィックスを制御できます。

RGB カラー

[RGB カラー] 設定には、次の 5 つの値を指定できます。

- 通常の印刷には、**[高速 (sRGB)]** を選択します。この設定は、RGB カラーを sRGB として解釈するようにプリンタに指示します。sRGB は、Microsoft および World Wide Web 機関 (WWW) 認定の規格です。
- **[画像最適化 sRGB]** は、.GIF や .JPEG ファイルなどのビットマップ画像が内容の大半を占める書類に適しています。この設定は、ビットマップ画像の sRGB をレンダリングする場合に最適なカラーを使用するようプリンタに指示します。この設定は、テキストやベクトルベースのグラフィックスには効果がありません。光沢紙でこの設定を使用すると、最大の効果が得られます。
- sRGB の代わりに AdobeRGB カラー スペースを使用する書類には、**[Adobe RGB]** を選択します。たとえば、一部のデジタル カメラでは画像を AdobeRGB で取り込み、Adobe PhotoShop で作成した書類では AdobeRGB カラー スペースを使用します。AdobeRGB を使用する専門家向けソフトウェア プログラムから印刷する場合は、ソフトウェア プログラムのカラー マネジメント機能をオフにして、プリンタ ソフトウェアでカラー スペースを管理できるようにする必要があります。

- **[なし]** を指定すると、RGB データをソース デバイス モードで印刷するようプリンタに指示します。このオプションを選択した場合、書類を適切にレンダリングするには、使用しているプログラムまたはオペレーティング システムでカラーを管理する必要があります。



注意 このオプションは、ソフトウェア プログラムまたはオペレーティング システムでのカラー管理の手順に精通している場合のみ使用してください。

- 他のプリンタの印刷出力を複製するには、**[カスタム プロファイル]** を選択します。この設定では、カラー出力をより正確に予測して制御するためにカスタム入力プロファイルを使用するようプリンタに指示します。カスタム プロファイルは、<http://www.hp.com> からダウンロードできます。

輪郭コントロール

[輪郭コントロール] 設定は、輪郭部分のレンダリング方法を指定します。輪郭コントロールには、適合ハーフトーン設定、REt、およびトラッピングという 3 つのコンポーネントがあります。適合ハーフトーン設定は輪郭の鮮明度を上げます。トラッピングは、隣接するオブジェクトの輪郭をわずかに重ね合わせることによって、カラー プレーンのずれの影響を抑えます。カラー REt オプションは、輪郭を滑らかにします。



注記 オブジェクト間に白い隙間が空いたり、輪郭部分にシアン、マゼンタ、イエローのシャドウがわずかに見える場合は、トラッピング レベルを上げる輪郭コントロール設定を選択してください。

エッジコントロールには次の 4 つのレベルがあります。

- **[最大]** は、最も強力なトラッピング設定です。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[標準]** は、デフォルトのトラッピング設定です。トラッピングは中程度です。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[薄め]** では最低レベルのトラッピングが設定されます。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[オフ]** は、トラッピング、適合ハーフトーン設定、カラー REt をオフにします。

11 コピー

このデバイスは、スタンドアロンのコピー機として機能します。コンピュータに印刷システム ソフトウェアをインストールする必要はありません。コピーの設定は、コントロール パネルで調整できます。文書フィーダまたはスキャナ ガラスを使って原稿をコピーすることもできます。

この章では、コピー方法とコピー設定の変更方法を解説します。以下のトピックを取り上げます。

- [コピー画面の使用](#)
- [デフォルトのコピー オプションの設定](#)
- [基本的なコピー方法](#)
- [コピー設定の調整](#)
- [両面文書のコピー](#)
- [混合サイズの前稿のコピー](#)
- [コピーのソート設定の変更](#)
- [写真や本のコピー](#)
- [ジョブ作成を使用したコピー ジョブの結合](#)
- [コピー ジョブのキャンセル](#)

コピー機能を使用する前に、コントロール パネルの基本的な情報を確認しておくことをお勧めします。詳細については、「[コントロール パネルの使用](#)」を参照してください。

コピー画面の使用

ホーム画面で [コピー] を選択して、コピー画面を表示します。ここで表示されるのは最初の6つのコピー機能だけです。その他のコピー機能を表示するには、[その他のオプション] を選択します。

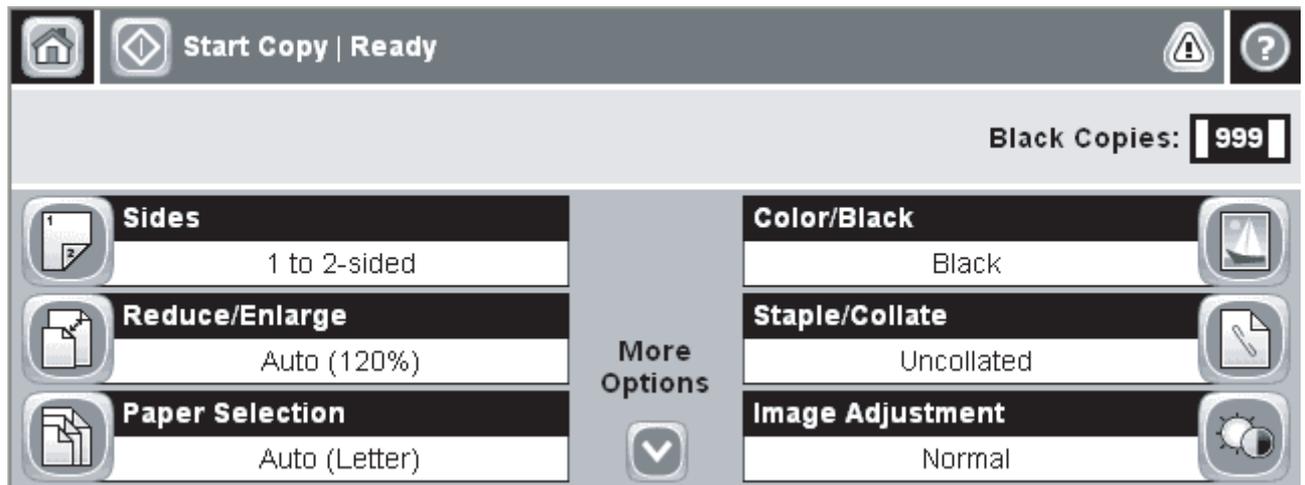


図 11-1 コピー画面

デフォルトのコピー オプションの設定

[管理] メニューを使用して、すべてのコピー ジョブに適用されるデフォルト設定を指定することができます。ほとんどの設定は、必要に応じて個々のジョブに対して無効にすることができます。そのジョブが完了すると、プリンタがデフォルト設定に戻ります。

1. ホーム画面で、スクロールして [管理] を選択します。
2. [デフォルト ジョブ オプション] を選択してから、[デフォルト コピー オプション] を選択します。
3. 複数のオプションを使用できます。すべてのオプションについて、または一部のオプションのみについて、デフォルト設定を変更することができます。

各オプションの詳細については、[コピー設定の調整](#)を参照してください。内蔵されているヘルプシステムを使用して、各オプションの説明を見することもできます。画面の右上の [ヘルプ] ボタン (🔍) を押してください。

4. [管理] メニューを終了するには、画面の左上の [ホーム] ボタン (🏠) を押してください。

基本的なコピー方法

ここでは基本的なコピー方法について説明します。

スキャナ ガラスからのコピー

スキャナ ガラスを使用して、小さく薄いメディア (60 g/m² 未満または 7.25kg 未満) または厚いメディア (105 g/m² 以上または 12.7kg 以上) のコピーを 999 部までとることができます。たとえば、領収証、新聞の切り抜き、写真、古い文書、すりきれた文書、書物などのメディアです。

印刷面を下にしてガラスの上に置いてください。原稿の端をガラスの左上隅に合わせます。

デフォルトのコピー オプションを使用してコピーする場合は、コントロール パネルの数字キーパッドを使用してコピーの部数を選択し、**[スタート]** を押します。カスタマイズ設定を使用する場合は、**[コピー]** を選択します。設定を指定して、**[スタート]** を押します。カスタマイズ設定の使用方法の詳細については、[コピー設定の調整](#)を参照してください。

文書フィーダからのコピー

文書フィーダを使用して最大 50 ページまでの文書のコピーを 999 部までとることができます (ページの厚さによって異なります)。印刷表を上にして文書を文書フィーダにセットします。

デフォルトのコピー オプションを使用してコピーする場合は、コントロール パネルの数字キーパッドを使用してコピーの部数を選択し、**[スタート]** を押します。カスタマイズ設定を使用する場合は、**[コピー]** を選択します。設定を指定して、**[スタート]** を押します。カスタマイズ設定の使用方法の詳細については、[コピー設定の調整](#)を参照してください。

別のコピー ジョブを開始する前に、文書フィーダの給紙トレイの下にある文書フィーダ排紙ビンから原稿を取り除いて、適切な排紙ビンからコピーを取り除いてください。

コピー設定の調整

このデバイスにはコピー出力を最適化するための機能が用意されています。これらの機能はすべて [コピー] 画面から使用できます。

[コピー] 画面はいくつかのページで構成されています。第 1 ページで、[その他のオプション] を選択して次のページに進みます。次に、下矢印または上矢印ボタンを選択して、他のページにスクロールします。

オプションの使い方の詳細については、オプションを選択してから、画面の右上の [ヘルプ] (?) ボタンを選択します。コピー オプションの概要を以下の表に示します。



注記 システム管理者がデバイスを設定した方法によっては、一部のオプションが表示されないことがあります。表のオプションは表示される順序で記載されています。

オプション名	説明
面	原稿の片面を印刷するか両面を印刷するか、およびコピーを片面コピーするか両面コピーするかを指定します。
縮小/拡大	ページのコピー イメージを縮小または拡大できます。
カラー/黒	黒印刷とカラー印刷のどちらにするかを選択します。
ステイプル/ソート または ソート	オプションの HP ステイブラ/スタッカ/セパレーターを取り付けた場合に、[ステイプル/ソート] オプションを使用できます。この機能では、コピーの複数のページをステイブラで留めて組み合わせる際のオプションを設定します。 オプションの HP ステイブラ/スタッカ/セパレーターを取り付けていない場合は、[ソート] オプションを使用できます。この機能では、コピーしたページの各セットを原稿と同じ順序で組み合わせることができます。
用紙の選択	使用するサイズとタイプの用紙をセットするトレイを選択します。
イメージ調整	コピーの全体的な品質が向上します。たとえば、濃さと鮮明度を調整し、[背景のクリーンアップ] 設定を使用して背景から不鮮明な画像を取り除いたり、明るい背景色を取り除くことができます。
印刷の向き	原稿の内容を配置する方向 (縦または横) を指定します。
排紙ピン	コピーの排紙ピンを選択します。
テキスト/画像の最適化	特定の種類の内容の出力を最適化します。テキストや印刷された画像の出力を最適化したり、手動で値を調整することができます。
用紙あたりのページ数	複数のページを 1 枚の用紙にコピーできます。
原稿のサイズ	原稿の用紙サイズを指定します。
ブックレット形式	2 枚以上のページを 1 枚の用紙にコピーして、用紙を中央で折って小冊子を作ることができます。
最小マージン	原稿がページの端近くに印刷されている場合に、コピーの縁にシャドウが発生することを防止します。この機能を [縮小/拡大] 機能と併用すれば、ページ全体を確実にコピーできます。
ジョブ作成	複数のセットの原稿を 1 つのコピー ジョブにまとめます。文書フィーダーに一度にセットできる枚数よりコピーする原稿のページ数が多い場合にも、この機能を使用します。

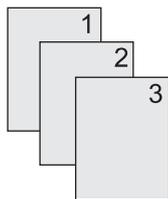
両面文書のコピー

両面文書を手動または自動でコピーできます。

両面文書の手動コピー

手動の場合にはコピーが片面に出力されるため、手動で組み合わせる必要があります。

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上から文書フィーダに給紙されるようにします。
2. **[コピー開始]** を選択します。奇数ページがコピーされ出力されます。
3. 文書フィーダの排紙トレイから用紙を取って、それを再度セットします。最後のページの表面を上に向けて、ページの上から文書フィーダに給紙されるようにします。
4. **[コピー開始]** を選択します。偶数ページがコピーされ出力されます。
5. コピーされた奇数ページと偶数ページを組み合わせます。



両面文書の自動コピー

デフォルトのコピー設定は片面から片面です。次の手順で設定を変更して、両面文書から、または両面文書へのコピーができるようにしてください。

片面文書から両面コピーを作成する

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上から給紙されるようにします。
2. コントロールパネルで **[コピー]** を選択します。
3. **[面]** を選択します。
4. **[片面の文書を両面コピー]** を選択します。
5. **[OK]** を選択します。
6. **[コピー開始]** を選択します。

両面文書から両面コピーを作成する

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上から給紙されるようにします。
2. コントロールパネルで **[コピー]** を選択します。
3. **[面]** を選択します。

4. **[両面の文書を両面コピー]** を選択します。
5. **[OK]** を選択します。
6. **[コピー開始]** を選択します。

両面文書から片面コピーを作成する

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上から給紙されるようにします。
2. コントロールパネルで **[コピー]** を選択します。
3. **[面]** を選択します。
4. **[両面の文書を片面コピー]** を選択します。
5. **[OK]** を選択します。
6. **[コピー開始]** を選択します。

混合サイズ of 原稿のコピー

用紙の 1 辺の長さが同じであるならば、異なるサイズの用紙に印刷された原稿をコピーすることができます。たとえば、レターサイズとリーガルサイズを組み合わせたたり、A4 と A5 サイズを組み合わせたたりすることができます。

1. 幅がすべて同じになるように原稿をそろえます。
2. 印刷面を上にして文書フィーダにセットし、両方の用紙ガイドを原稿に合わせて調整します。
3. ホーム画面で [コピー] を選択します。
4. [原稿のサイズ] を選択します。



注記 最初の画面にこのオプションが表示されない場合は、オプションが表示されるまで [その他のオプション] を選択します。

5. [レター/リーガル混合] を選択し、[OK] を選択します。
6. [コピー開始] を選択します。

コピーのソート設定の変更

複数のコピーを自動的にセットにまとめるようにデバイスを設定できます。たとえば、3 ページの原稿のコピーを 2 部作成する場合、自動ソートが有効になっているとページが 1、2、3、1、2、3 の順に出力されます。自動ソートが無効の場合は、ページが 1、1、2、2、3、3 の順に出力されます。

自動ソートを使用するには、原稿のサイズがメモリの容量内である必要があります。そうでない場合はコピーが 1 部しか作成されず、変更を通知するメッセージが表示されます。その場合は、次のいずれかの方法でジョブを完了してください。

- ジョブを少ないページで構成される小さいジョブに分割する。
- 一度に 1 部ずつコピーをとる。
- 自動ソートを無効にする。

選択したソートの設定は、設定を変えるまですべてのコピーに適用されます。デフォルトの設定では、コピーの自動ソートは **[オン]** になっています。

1. コントロールパネルで **コピー** を選択します。
2. **[ステイプル/ソート]** または **[ソート]** を選択します。
3. **[オフ]** を選択します。
4. **[OK]** を選択します。

写真や本のコピー

写真のコピー



注記 写真は文書フィーダではなくフラットベッド スキャナでコピーしてください。

1. カバーを持ち上げてフラットベッド スキャナの上に写真を置きます。絵がある面を下にして、写真の左上隅をガラスの左上隅に合わせます。
2. 静かにカバーを閉じます。
3. [コピー開始] を選択します。

本のコピー

1. カバーを持ち上げてフラットベッド スキャナの上に本を置きます。コピーするページをガラスの左上隅に合わせます。
2. 静かにカバーを閉じます。
3. カバーをそっと押して、本をフラットベッド スキャナの表面に押し付けます。
4. [コピー開始] を選択します。

ジョブ作成を使用したコピー ジョブの結合

ジョブ作成機能を使用して、複数のスキャンから 1 つのコピー ジョブを作成できます。文書フィーダまたはスキャナ ガラスを使用できます。最初のスキャンの設定がその後のスキャンにも使用されます。

1. [コピー] を選択します。
2. スクロールして [ジョブ作成] を選択します。
3. [ジョブ作成オン] を選択します。
4. [OK] を選択します。
5. 必要に応じて、コピー オプションを選択します。
6. [コピー開始] を選択します。ページをスキャンするたびに、ページをセットするように求めるメッセージがコントロール パネルに表示されます。
7. ジョブにまだページがある場合は、次のページをセットして [コピー開始] を選択します。

ジョブにそれ以上ページがない場合は、[終了] を選択して出力します。



注記 ジョブ作成では、文書フィーダを使用して文書の最初のページをスキャンした場合は、その文書のすべてのページを文書フィーダを使用してスキャンする必要があります。文書の最初のページをスキャナ ガラスを使用してスキャンした場合は、その文書のすべてのページをスキャナ ガラスを使用してスキャンする必要があります。

コピー ジョブのキャンセル

現在実行中のコピー ジョブをキャンセルするには、コントロール パネルで [停止] を選択します。これにより、デバイスが一時停止します。次に [現在のジョブをキャンセル] を選択します。



注記 コピー ジョブをキャンセルしたら、フラットベッド スキャナまたは自動文書フィーダから文書を取り除いてください。

12 スキャンして電子メールに送信

MFP は、カラースキャン機能およびデジタル送信機能を備えています。コントロールパネルを使用して、モノクロまたはカラーの文書をスキャンし、それらを指定した電子メールアドレスに電子メールの添付ファイルとして送信できます。デジタル送信を使用するには、プリンタが LAN (ローカルエリアネットワーク) に接続されている必要があります。



注記 電子メールが設定されていない場合、コントロールパネルに電子メールアイコンが表示されません。

この章では次のトピックについて説明します。

- [電子メールの設定](#)
- [\[電子メール送信\] 画面の使用](#)
- [基本的な電子メール機能の使用](#)
- [アドレス帳の使用](#)
- [現在のジョブの電子メール設定を変更](#)
- [フォルダにスキャン](#)
- [ワークフローの排紙先にスキャン](#)

電子メールの設定

文書を電子メールで送信するには、プリンタの設定を行う必要があります。



注記 次の説明はコントロールパネルでプリンタを設定する場合の手順です。同様の手順を内蔵 Web サーバーで行うこともできます。詳細については、「[内蔵 Web サーバ](#)」を参照してください。

対応プロトコル

HP LaserJet CM4730 MFP モデルは、SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) と LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) に対応しています。

SMTP

- SMTP は、電子メールを送受信するプログラム間の対話を定義する規則群です。このデバイスで電子メールに文書を送信するには、SMTP 対応の電子メール サーバーにアクセスできる LAN に接続する必要があります。SMTP サーバーも、インターネットにアクセスできる必要があります。
- LAN 接続を使用している場合、システム管理者に問い合わせ、SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入手してください。DSL またはケーブル接続を使用している場合、インターネット サービス プロバイダ (ISP) に問い合わせ、SMTP サーバーの IP アドレスを入手してください。

LDAP

- LDAP は、情報データベースにアクセスするために使用されます。LDAP を使用している場合、電子メール アドレスのグローバル リストが検索されます。電子メール アドレスを入力し始めると、自動入力機能が使用され、入力した文字に一致する電子メール アドレスの一覧が LDAP から取得されます。追加の文字を入力すると、一致する電子メール アドレス数は少なくなります。
- デバイスは LDAP に対応していますが、電子メールの送信には LDAP への接続は必要ありません。



注記 LDAP 設定を変更する場合は、内蔵 Web サーバを使用する必要があります。詳細については、「[内蔵 Web サーバ](#)」またはデバイス CD の『*Embedded Web Server User Guide*』を参照してください。

電子メール サーバーの設定

システム管理者に問い合わせるか、コントロールパネルを使って SMTP サーバーの IP アドレスを確認してください。その後、以下の手順に従って、IP アドレスを手動で設定してテストします。

SMTP ゲートウェイ アドレスの設定

1. [ホーム] 画面の [管理] にタッチします。
2. [初期セットアップ] にタッチします。
3. [電子メール セットアップ] にタッチし、[SMTP ゲートウェイ] にタッチします。

4. SMTP ゲートウェイ アドレス (IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名) を入力します。IP アドレスまたはドメイン名がわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
5. [OK] にタッチします。

SMTP 設定のテスト

1. [ホーム] 画面の [管理] にタッチします。
2. [初期セットアップ] にタッチします。
3. [電子メール セットアップ] にタッチし、[送信ゲートウェイのテスト] にタッチします。

設定が正しい場合、コントロール パネルのディスプレイに **[Gateways OK (ゲートウェイ OK)]** が表示されます。

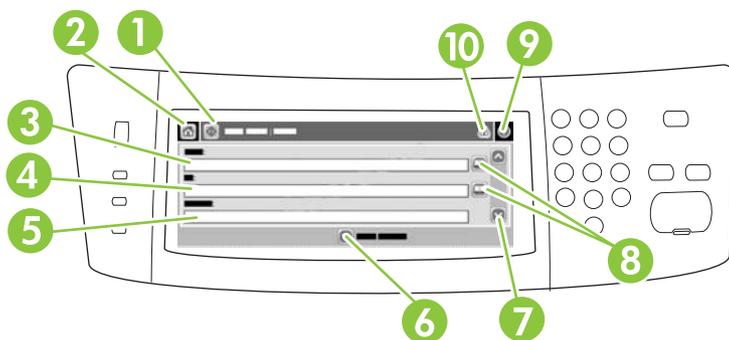
最初のテストで成功したら、デジタル送信機能を使用して自分自身に電子メールを送信します。電子メールを受信できれば、デジタル送信機能が正しく設定されています。

電子メールを受信できない場合は、以下の手順でデジタル送信ソフトウェアの問題を解決してください。

- SMTP およびアドレスを正しく入力したか確認します。
- 構成ページを印刷します。SMTP ゲートウェイ アドレスが正しいことを確認します。
- ネットワークが正しく動作していることを確認します。コンピュータから自分自身に電子メールを送信します。電子メールを受信できれば、ネットワークが正しく動作しています。電子メールを受信できない場合は、ネットワーク管理者またはインターネット サービス プロバイダ (ISP) にお問い合わせください。
- DISCOVER.EXE ファイルを実行します。このプログラムは、ゲートウェイを検索します。ファイルは HP の Web サイト <http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> からダウンロードできます。

[電子メール送信] 画面の使用

タッチスクリーンを使用して、[電子メール送信] 画面のオプションを移動できます。



1	電子メール送信 ボタン	このボタンにタッチすると、文書がスキャンされ、電子メール ファイルが指定して電子メールアドレスに送信されます。
2	[ホーム] ボタン	このボタンにタッチすると、[ホーム] 画面が開きます。
3	送信元 : フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。自分の電子メール アドレスを入力します。システム管理者の設定によっては、ここにデフォルトのアドレスが自動的に入力される場合もあります。
4	宛先 : フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。スキャンした文書を送信する相手の電子メール アドレスを入力します。
5	件名 : フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。件名を入力します。
6	その他のオプション ボタン	このボタンにタッチすると、現在のスキャン ジョブの電子メール設定を変更できます。
7	スクロール バー	スクロール バーを使用して、[CC:]、[BCC:]、[メッセージ]、[ファイル名] の各フィールドを表示し、設定します。どのフィールドをタッチしてもキーボードが表示されるので、必要な情報を入力します。
8	アドレス帳のボタン	これらのボタンを押すと、アドレス帳を使用して、[宛先:]、[CC:]、[BCC:] の各フィールドを作成できます。詳細については、「 ローカルのアドレス帳の使用 」を参照してください。
9	[ヘルプ] ボタン	コントロール パネルの説明については、このボタンにタッチします。詳細については、「 コントロール パネルの使用 」を参照してください。
10	[エラー警告] ボタン	ステータス行領域にエラーまたは警告がとぎにのみ、このボタンが表示されます。タッチするとポップアップ画面にエラーや警告を解決するときに役立つ情報が表示されます。

基本的な電子メール機能の使用

プリンタの電子メール機能には次のようなメリットがあります。

- 文書を複数の電子メールアドレスに送信して、送付の時間と経費を節約できます。
- ファイルを白黒またはカラーで送信できます。受信者が操作できるように、ファイルを別のファイル形式で送信できます。

電子メールの場合、文書がプリンタのメモリのスキャンされ、添付として電子メールアドレスに送信されます。.TFF、.JPG などいくつかのグラフィックス形式でデジタル文書を送信できるので、受信者が必要に応じてさまざまなプログラムを使用して文書ファイルを操作できます。文書はオリジナルとほぼ同等の品質で受信可能で、受け取った文書を印刷、保存、または転送できます。

電子メール機能を使用するには、プリンタがインターネットにアクセスできる有効な SMTP LAN に接続されている必要があります。

文書のセット

ガラス面または ADF を使用して文書をスキャンできます。ガラス面と ADF は、レター、エグゼクティブ、A4、A5 の各サイズ of の原稿に対応しています。また、ADF はリーガル サイズ of の原稿にも対応します。それよりも小さな原稿、レシート、変則的な形の文書、破損した文書、ステイプル留めされた文書、折り曲げた跡がある文書、写真をスキャンする場合は、ガラス面を使用してください。ADF を使用すると、複数ページの文書を簡単にスキャンできます。

文書の送信

プリンタで白黒原稿とカラー原稿をスキャンすることができます。デフォルト設定を使用することも、スキャンのユーザー設定とファイル形式を変更することもできます。デフォルト設定は次のとおりです。

- カラー
- PDF (受信者は、電子メールの添付ファイルを表示するには、Adobe Acrobat ビューアを持っている必要があります)

現在のジョブの設定を変更する詳細については、「[現在のジョブの電子メール設定を変更](#)」を参照してください。

文書の送信

1. 文書を下向きにしてガラスに上にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. ホーム画面の **[電子メール]** にタッチします。
3. メッセージが表示されたときは、ユーザー名とパスワードを入力します。
4. **[送信元:]**、**[宛先:]**、**[件名:]** の各フィールドに入力します。下にスクロールし、必要に応じて **[CC:]**、**[BCC:]**、**[メッセージ]** の各フィールドに入力します。ユーザー名や他のデフォルト情報が **[送信元:]** フィールドに表示される場合があります。この場合、変更できないこともあります。
5. (オプション) 送信する文書の設定 (原稿サイズなど) を変更するには、**[その他のオプション]** にタッチします。両面の文書を送信する場合、**[面]** を選択し、両面の原稿についてのオプションを選択します。

6. [スタート] を押すと送信が開始されます。
7. 終了したら、原稿をスキャナのガラス面または ADF から取り除きます。

自動入力機能の使用

[電子メールの送信] 画面で [宛先:]、[CC:]、または [送信元:] の各フィールドに文字を入力すると、自動入力機能がアクティブになります。キーボード画面で必要なアドレスや名前を入力すると、自動的にアドレス帳リストが検索され、最初に一致したアドレスまたは名前が自動入力されます。[Enter] にタッチすると名前の入力が終了します。または、自動入力で目的の項目が見つかるまで、名前の入力を続けます。文字を入力してもリストに一致する入力がない場合、自動入力テキストは表示されません。これは、アドレス帳にないアドレスを入力していることを示します。

アドレス帳の使用

プリンタのアドレス帳機能を使用して、リストに含まれる受信者に電子メールを送信できます。アドレスリストの設定方法については、システム管理者にお問い合わせください。



注記 内蔵 Web サーバー (EWS) を使用して、電子メールのアドレス帳を作成および管理することもできます。EWS の電子メール アドレス帳では、1 つの電子メール アドレス、または電子メール配布リストを追加、編集または削除できます。詳細については、「[内蔵 Web サーバ](#)」を参照してください。

受信者リストの作成

1. ホーム画面の **[電子メール]** にタッチします。
2. 以下のいずれかの手順を実行します。
 - **[宛先:]** にタッチしてキーボード画面を開き、受信者の電子メール アドレスを入力します。複数の電子メールを入力する場合はセミコロンで区切るか、タッチスクリーンの **[Enter]** にタッチします。
 - アドレス帳を使用します。
 - a. 電子メール送信画面のアドレス帳ボタン (☰) にタッチすると、アドレス帳が開きます。
 - b. スクロールバーを使用してアドレス帳の使用するエントリに移動します。矢印を押し続けると、リストのスクロール速度が速くなります。
 - c. 受信者を選択して名前をハイライトし、追加ボタン (+) にタッチします。
また、画面の上部にあるドロップダウン リストにタッチして配信リストを選択し、**[すべて]** にタッチするか、ドロップダウン リストの **[ローカル]** にタッチしてローカルのリストから受信者を追加します。使用する名前を選択してハイライトし、(+) にタッチすると、受信者リストに名前が追加されます。
リストから受信者を削除するには、削除する受信者を選択してハイライトし、削除ボタン (✖) にタッチします。
3. 受信者リストの名前はキーボード画面のテキスト行に表示されます。必要に応じて、キーボードで電子メール アドレスを入力してアドレス帳にない受信者を追加できます。受信者リストの設定が終わったら、**[OK]** にタッチします。
4. **[OK]** にタッチします。
5. 必要に応じて、電子メール送信画面の **[CC:]** フィールドと **[件名:]** フィールドに入力します。**[宛先:]** テキスト行の下矢印にタッチすると、受信者リストを確認できます。
6. **[スタート]** を押します。

ローカルのアドレス帳の使用

ローカルのアドレス帳によく使用する電子メール アドレスを保存できます。HP デジタル送信ソフトウェアにアクセスする同じサーバを使用するデバイスであれば、ローカルのアドレス帳を共有できます。

[送信元]、**[宛先:]**、**[CC:]**、**[BCC:]** の各フィールドを入力するときにアドレス帳を使用できます。アドレス帳のアドレスは追加または削除することができます。

アドレス帳を開くには、アドレス帳ボタン (📁) にタッチします。

ローカルのアドレス帳に電子メール アドレスを追加する

1. [ローカル] にタッチします。
2.  にタッチします。
3. (オプション) [名前] フィールドにタッチし、表示されるキーボードで新しいエントリの名前を入力します。[OK] にタッチします。

この名前は電子メール アドレスの別名です。別名を入力しないと、電子メール アドレスが別名として表示されます。

4. [アドレス] フィールドにタッチし、表示されるキーボードで新しいエントリの電子メール アドレスを入力します。[OK] にタッチします。

ローカルのアドレス帳から電子メール アドレスを削除する

不要な電子メール アドレスは削除できます。



注記 電子メール アドレスを変更するには、ローカルのアドレス帳からそのアドレスを削除してから、新規のアドレスとして修正したアドレスを追加します。

1. [ローカル] にタッチします。
2. 削除する電子メール アドレスにタッチします。
3.  にタッチします。
以下の確認メッセージが表示されます。[選択したアドレスを削除してよろしいですか?]
4. 電子メール アドレスを削除する場合は [はい] にタッチし、アドレス帳画面に戻るには [いいえ] にタッチします。

現在のジョブの電子メール設定を変更

現在の印刷ジョブについて、次の電子メール設定を変更するには、[その他のオプション] ボタンを使用します。

ボタン	説明
文書ファイルタイプ	文書のスキャン後に作成されたファイルのタイプを変更するには、このボタンにタッチします。
出力品質	スキャンするファイルの印刷品質を上下するには、このボタンにタッチします。印刷品質を高くすると、ファイルサイズも大きくなります。
解像度	スキャン解像度を変更するには、このボタンにタッチします。解像度を高くすると、ファイルサイズも大きくなります。
カラー/黒	文書をカラーとモノクロのどちらでスキャンするかを指定するには、このボタンにタッチします。
原稿の面数	原稿が片面か両面かを指定するには、このボタンにタッチします。
内容の向き	原稿の向きを縦または横に指定するには、このボタンにタッチします。
原稿のサイズ	このボタンにタッチして、文書のサイズをレター、A4、リーガル、またはレター/リーガル混合から選択します。
テキスト/画像の最適化	スキャンしている文書のタイプによって、スキャン手順を変更するには、このボタンにタッチします。
ジョブ作成	[ジョブ作成] モードを有効または無効にするには、このボタンにタッチします。有効にすると、小さいサイズのスキャン ジョブを複数スキャンして、1つのファイルで送信できます。
イメージ調整	濃さと鮮明度の設定を変更するとき、または原稿にある背景のごみをクリーニングするには、このボタンにタッチします。

フォルダにスキャン

システム管理者がこの機能を有効にしている場合、ファイルをスキャンしてネットワーク上のフォルダに送信できます。送信先フォルダの対応オペレーティング システムには、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 があります。



注記 このオプションを使用するときや、特定のフォルダに送信するとき、ユーザー名とパスワードの入力を求められることもあります。詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

1. 文書を下向きにしてガラスの上にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. [ホーム] 画面の **[ネットワーク フォルダ]** をタッチします。
3. [クイック アクセス フォルダ] で文書を保存するフォルダを選択します。
4. **[ファイル名]** フィールドにタッチすると、キーボードのポップアップ画面が表示されます。この画面でファイル名を入力します。
5. **[ネットワーク フォルダに送信]** にタッチします。

ワークフローの排紙先にスキャン



注記 このデバイス機能は、オプションの Digital Sending Software を使うことにより利用できます。

システム管理者がワークフロー機能を有効にしている場合、文書をスキャンして、カスタムのワークフローの排紙先に送信できます。ワークフローの排紙先を使用すると、指定したネットワークまたはファイル転送プロトコル (FTP) にスキャンした文書と共に追加情報を送信できます。追加情報の入力を求めるメッセージがコントロールパネルのディスプレイに表示されます。システム管理者もワークフローの排紙先にプリンタを指定することができます。この場合、ユーザーが文書をスキャンして、ネットワークプリンタに直接送信して印刷できます。

1. 文書を下向きにしてガラスに上にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. [ホーム] 画面の **[ワークフロー]** をタッチします。
3. スキャンの排紙先を選択します。
4. テキストフィールドにファイルに追加するデータを入力し、**[送信ワークフロー]** にタッチします。

13 ファックス

- アナログ ファックス
- デジタル ファックス

アナログ ファックス

Analog Fax Accessory がインストールされている場合、MFP はスタンドアロンのファックスとして使用できます。

HP Color LaserJet CM4730f MFP、HP Color LaserJet CM4730fsk MFP、および HP Color LaserJet CM4730fm MFP モデルには、ファックス アクセサリが既に取り付けられています。HP Color LaserJet CM4730 MFP (基本モデル) の場合は、このアクセサリをオプションとして注文できます。アナログファックス アクセサリの注文方法については、299 ページの「[パーツ番号](#)」を参照してください。『アナログ ファックス アクセサリ 300 ユーザー ガイド』および『アナログ ファックス アクセサリ 300 ファックス送信ドライバ ガイド』は、MFP ソフトウェア CD または <http://www.hp.com/go/mfpfaxaccessory300> にあります。

ファックス アクセサリを電話線に接続する

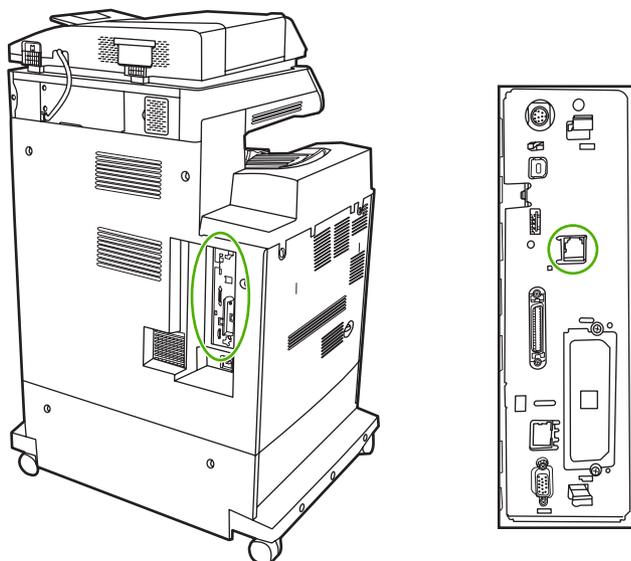
ファックス アクセサリを電話回線に接続するときはファックス アクセサリ専用にし、他の機器とは併用しないでください。また、この電話回線はアナログ ラインを使用してください。デジタル PBX システムに接続されると、正しく機能しません。電話回線がアナログかデジタルか不明な場合は、電話会社にお問い合わせください。



注記 アクセサリが正しく機能するように、HP では、ファックス アクセサリに付属の電話コードを使用することをお勧めします。

次の手順に従って、ファックス アクセサリを電話ジャックに接続します。

1. ファックス アクセサリ キットに付属している電話コードを探します。電話コードの一方の端をフォーマッタ上にあるファックス アクセサリの電話ジャックに接続します。カチッと音がするまで押し込みます。



注意 フォーマッタの中央にあるファックス アクセサリ ポートに電話回線が接続されていることを確認します。フォーマッタの下部にある HP Jetdirect ポートには、電話回線を接続しないでください。

2. 電話コードのもう一方の端を壁面の電話差し込み口に接続します。カチッと音がするか、適切に設置されるまで、コネクタを差し込みます。国/地域によってコネクタのタイプは異なるため、コネクタを差し込んでもカチッと音がしないことがあります。

ファックス機能を設定および使用する

ファックス機能を使用する前に、[コントロール パネル] メニューで機能を設定する必要があります。ファックス アクセサリの設定と使用、およびファックス アクセサリに関する問題のトラブルシューティングの詳細については、『HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 ユーザー ガイド』を参照してください。このガイドは、ファックス アクセサリに付属しています。また、MFP ソフトウェア CD にも収録されています。

MFP のコントロール パネルを介さずに、コンピュータからファックスを送信するには、ファックス送信ドライバを使用します。詳細については、『HP LaserJet MFP アナログ ファックス アクセサリ 300 ファックス送信ドライバガイド』を参照してください。

『HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 ユーザー ガイド』および『HP LaserJet MFP アナログ ファックス アクセサリ 300 ファックス送信ドライバガイド』は両方とも、MFP ソフトウェア CD に収録されています。

デジタル ファックス

HP Digital Sending Software (オプション) をインストールしている場合は、デジタル ファックスを使用できます。このソフトウェアの注文方法の詳細については、<http://www.hp.com/go/digitalsending> にアクセスしてください。

デジタル ファックス送信では、MFP を電話回線に直接接続する必要は *ありません*。その代わりに、MFP は次のいずれかの方法でファックスを送信することができます。

- **LAN ファックス**は、サードパーティのファックス プロバイダを通じてファックスを送信します。
- **Microsoft Windows 2000 ファックス**は、コンピュータ上のファックス モデムおよびデジタル送信モジュールで、ターンキー ゲートウェイ ファックスとして機能します。
- **インターネット ファックス**は、インターネット ファックス プロバイダを通じてファックスを処理します。ファックスは、通常のファックス機器またはユーザーの電子メールに送信されます。

デジタル ファックスの使用方法の詳細については、HP Digital Sending Software に付属している説明書を参照してください。

14 MFP の管理

- [情報ページ](#)
- [内蔵 Web サーバ](#)
- [HP Easy Printer Care Software \(HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア\)](#)
- [HP Web Jetadmin ソフトウェア](#)
- [Macintosh 用 HP Printer ユーティリティ](#)
- [セキュリティ機能](#)
- [リアルタイムクロックの設定](#)
- [警告の設定](#)
- [ファームウェアのアップグレード](#)
- [メモリの管理](#)
- [サプライ品の管理](#)

情報ページ

情報ページでは、デバイスとその現在の設定についての詳細が提供されます。情報ページを印刷する手順は以下の表のとおりです。

ページの説明	MFP のコントロールパネルでページを印刷する方法
メニュー マップ コントロールパネルのメニューと利用可能な設定を表示します。	<ol style="list-style-type: none">1. [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。2. [情報] にタッチします。3. [設定/ステータス ページ] を選択します。4. [管理メニュー マップ] にタッチします。5. [印刷] にタッチします。 <p>メニュー マップの内容は、現在デバイスにインストールされているオプションによって異なります。</p> <p>コントロールパネルのメニューおよび可能な値の完全なリストは、「コントロールパネルの使用」を参照してください。</p>
設定ページ デバイスの設定と取り付けられているアクセサリを表示します。	<ol style="list-style-type: none">1. [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。2. [情報] にタッチします。3. [設定/ステータス ページ] を選択します。4. [設定/ステータス ページ] にタッチします。5. [印刷] にタッチします。 <p> 注記 デバイスに HP Jetdirect プリント サーバやオプションのハードディスク ドライブが装着されている場合は、それらのデバイスに関する追加の設定ページが印刷されます。</p>
サプライ品ステータス ページ プリントカートリッジのトナー残量を表示します。	<ol style="list-style-type: none">1. [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。2. [情報] にタッチします。3. [設定/ステータス ページ] を選択します。4. [サプライ品ステータス ページ] にタッチします。5. [印刷] にタッチします。 <p> 注記 HP 以外のサプライ品を使用している場合は、サプライ品のステータス ページにそれらのサプライ品の残りの寿命が表示されません。</p>
使用状況ページ 用紙サイズごとの印刷ページ数、片面印刷または両面印刷したページ数、および印刷範囲の平均パーセンテージが表示されます。	<ol style="list-style-type: none">1. [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。2. [情報] にタッチします。3. [設定/ステータス ページ] を選択します。4. [使用状況ページ] にタッチします。5. [印刷] にタッチします。
ファイル ディレクトリ デバイスにインストールされているフラッシュドライブ、メモリカード、ハ	<ol style="list-style-type: none">1. [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。2. [情報] にタッチします。

ページの説明	MFP のコントロールパネルでページを印刷する方法
<p>ードディスクなど、大容量ストレージデバイスの情報を説明します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> [設定/ステータス ページ] を選択します。 [ファイル ディレクトリ] にタッチします。 [印刷] にタッチします。
<p>ファックス レポート</p> <p>5つのレポートには、ファックス動作、ファックス コール、請求書コード、ブロックされたファックス番号、指定した短縮ダイヤル番号が記載されます。</p> <p> 注記 ファックス レポートは、ファックス機能を持つデバイス モデルの場合のみ使用できます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。 [情報] にタッチします。 [ファックス レポート] にタッチします。 対応するレポートを印刷するには、次のボタンをのいずれかをタッチします。 <ul style="list-style-type: none"> [ファックス使用状況ログ] [ファックス コール レポート] [請求書コード レポート] [ブロックされたファックス リスト] [短縮ダイヤル リスト] [印刷] にタッチします。 <p>詳細については、デバイスに付属のファックス ガイドを参照してください。</p>
<p>フォント リスト</p> <p>デバイスに現在インストールされているフォントを表示します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。 [情報] にタッチします。 [サンプル ページ/フォント] にタッチします。 [PCL フォント リスト] または [PS フォント リスト] にタッチします。 [印刷] にタッチします。
<p> 注記 フォント リストには、ハード ディスク アクセサリやフラッシュ DIMM に存在するフォントも表示されます。</p>	

内蔵 Web サーバ

内蔵 Web サーバを使用すると、MFP のコントロール パネルの代わりにコンピュータを使用して、MFP とネットワークのステータスの確認や、印刷機能の管理を行うことができます。内蔵 Web サーバを使用して実行できる機能の例を次に示します。



注記 プリンタがコンピュータに直接接続されている場合は、HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を使用してプリンタのステータスを表示できます。

- MFP ステータス情報の表示
- 各トレイにセットされているメディアのタイプ設定
- サプライ品すべての寿命の確認と新しいサプライ品の注文
- トレイ設定の表示と変更
- MFP のコントロールパネル メニューの設定の表示と変更
- 内部ページの表示と印刷
- MFP およびサプライ品のイベント通知の受信
- ネットワーク設定の表示と変更

内蔵 Web サーバを使用するには、Microsoft Internet Explorer 5.01 以降、または Windows、Mac OS、および Linux (Netscape のみ) 向けの Netscape 6.2 以降をインストールする必要があります。Netscape Navigator 4.7 は、HP-UX 10 および HP-UX 11 向けである必要があります。内蔵 Web サーバは、MFP が IP ベースのネットワークに接続されている場合に機能します。内蔵 Web サーバは、IPX ベースの MFP 接続をサポートしていません。内蔵 Web サーバを起動して使用する場合は、インターネットに接続する必要はありません。

MFP をネットワークに接続すると、内蔵 Web サーバが自動的に使用可能になります。



注記 内蔵 Web サーバの使用の詳細については、HP Color LaserJet CM4730 MFP シリーズのソフトウェア CD に収録されている『*Embedded Web Server User Guide*』を参照してください。

内蔵 Web サーバを開く

内蔵 Web サーバを開くには、サポートされている Web ブラウザで MFP の IP アドレスまたはホスト名を入力します。IP アドレスまたはホスト名がわからない場合は、設定ページを印刷します。

内蔵 Web サーバには 4 つのタブがあります。

- **[情報]** タブ
- **[設定]** タブ
- **[デジタル送信]** タブ
- **[ネットワーキング]** タブ

また、内蔵 Web サーバには、外部の Web サイトに接続するその他のリンクもあります。

情報 タブ

情報ページ グループは、以下のページで構成されています。

- **[デバイスのステータス]**。このページには、MFP のステータスと HP サプライ品の寿命が表示されます。寿命が 0% のときはサプライ品が空になっている状態を表します。各トレイにセットされている印刷メディアのタイプとサイズも表示されます。デフォルト設定を変更する場合は、**[設定の変更]** をクリックします。
- **[設定ページ]**。このページには、MFP の設定ページの情報が表示されます。
- **[サプライ品のステータス]**。このページには、サプライ品の寿命が表示されます。寿命が 0% のときはサプライ品が空になっている状態を示します。このページには、サプライ品の製品番号も表示されます。新しいサプライ品を注文するには、ウィンドウの **[その他のリンク]** にある **[サプライ品の注文]** をクリックします。Web サイトを表示するには、インターネットにアクセスできる環境が必要です。
- **[イベント ログ]**。このページには、すべての MFP イベントとエラーの一覧が表示されます。
- **[使用状況ページ]**。このページには、MFP 全体の使用状況の詳細が表示されます。
- **[デバイス情報]**。このページには、MFP のネットワーク名、アドレス、およびモデル情報が表示されます。これらのエントリを変更する場合は、**[設定]** タブの **[デバイス情報]** をクリックします。
- **[コントロール パネル]**。MFP のコントロール パネルの現在のステータスを表示します。
- **[印刷]**。ネットワーク上または Web 上のファイルを選択し、MFP に送信して印刷します。文書は、.PS、.PDF、.PCL、または .TXT ファイルなどの印刷可能な文書である必要があります。

設定 タブ

このタブを使用して、コンピュータから MFP を設定します。**[設定]** タブはパスワードで保護できます。MFP がネットワークに接続されている場合は、必ずシステム管理者に相談して、このタブの設定を変更してください。

[設定] タブは以下のページで構成されます。

- **[デバイスの設定]**。このページで、すべての MFP の設定を行います。このページには、コントロール パネルを使用して、従来型のメニューが表示されます。これらのメニューには、**[情報]**、**[用紙処理]**、**[デバイスの設定]**、および **[診断]** があります。
- **[電子メール サーバー]**。このページを使用して、MFP の電子メール警告 (**[警告]** ページで設定します) の送信に使用する SMTP サーバーを設定します。
- **[警告]**。ネットワーク プリンタ専用です。さまざまな MFP およびサプライ品イベントの電子メール警告を受信するように設定します。これらの警告は、最大 20 個までの宛先 (電子メール、モバイル デバイス、または Web サイト) の一覧に送信できます。
- **[自動送信]**。**[自動送信]** 画面を使用して、製品の設定と使用状況情報を定期的にサービス プロバイダに送信します。この機能により、Hewlett-Packard 社または他のサービス プロバイダからサポート契約、使用状況のトラッキングなどを含むサービスを受けられます。
- **[セキュリティ]**。**[設定]** タブ、**[デジタル送信]** タブ、および **[ネットワークング]** タブにアクセスするために入力するパスワードを設定します。EWS の任意の機能を有効または無効にします。
- **[その他のリンクの編集]**。別の Web サイトへのリンクを追加またはカスタマイズします。このリンクは、内蔵 Web サーバーのすべてのページの **[その他のリンク]** 領域に表示されます。**[HP**

Instant Support]、**[サプライ品の注文]**、および **[製品サポート]** の常駐リンクは、**[その他のリンク]** 領域に常に表示されます。

- **[デバイス情報]**。MFP に名前を付け、アセット番号を割り当てます。MFP に関する情報を受け取る主要な連絡先の名前を入力します。
- **[言語]**。内蔵 Web サーバーの情報を表示する言語を指定します。
- **[日付/時刻]**。このページを使用して、デバイスに適切な日付と時刻を設定します。時間を設定すると、デバイスのリアルタイム クロックによって正確な時間が保たれます。
- **[スリープ復帰時刻ページ]**。スリープ復帰時刻では、MFP が毎日特定の時間にスリープから復帰するように設定できます。特定の曜日に対して設定できる復帰時刻は 1 つのみですが、曜日ごとに別々の復帰時刻を設定できます。また、スリープ モードの時間の遅延もこのページで設定できます。

デジタル送信タブ

[デジタル送信] タブのページを使用して、デジタル送信機能を設定します。



注記 オプションの HP Digital Sending Software を使用するように MFP が設定されている場合、これらのタブのオプションは使用できません。代わりに、すべてのデジタル送信設定は、HP Digital Sending Software を使用して行います。

- **[一般ページ]**。システム管理者の連絡先情報を設定します。
- **[電子メールへの送信ページ]**。デジタル送信用の電子メール設定を行います。SMTP サーバー、デフォルトの「差出人」アドレス、およびデフォルトの件名を指定できます。また、添付ファイルの最大許容ファイル サイズも設定できます。
- **[アドレス ページ]**。デジタル送信用の LDAP サーバー設定を行います。LDAP サーバーは、デジタル送信用の電子メール アドレスを取得するために使用できます。この機能を有効にするには、このページの上部のチェック ボックスをオンにします。**[サーバーの検出]** をクリックしてネットワーク上の LDAP サーバーを検索してから、ページの下部近くの **[テスト]** をクリックしてサーバーへのアクセスをテストします。LDAP サーバーの使用の詳細については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
- **[アドレス帳ページ]**。このページを使用して、カンマ区切り (CSV) ファイル形式で、電子メールアドレスを MFP の内部アドレス帳にインポートします。この処理は、電子メールアドレスを検索するために LDAP サーバーを使用しない場合にのみ必要です。
- **[使用状況ログ ページ]**。MFP のデジタル送信使用状況ログを表示します。ログには、発生したエラーなどのデジタル送信ジョブ情報が格納されています。
- **[ユーザー設定] ページ**。デフォルトの用紙サイズやデフォルトの設定リセット遅延などのデジタル送信のデフォルトを設定します。これらは、MFP のコントロール パネル メニューを使用しても設定できます。

ネットワークングタブ

ネットワーク管理者は、このタブを使用して、MFP が IP ベースのネットワークに接続されているときに MFP のネットワーク関連の設定を制御することができます。このタブは、MFP がコンピュータに直接接続されている場合や、HP Jetdirect プリント サーバー以外を使用してネットワークに接続されている場合は表示されません。

その他のリンク

この部分には、インターネットに接続するさまざまなリンクが表示されます。これらのリンクを使用するには、インターネットにアクセスできる環境が必要です。ダイヤルアップ接続を使用している場合に、内蔵 Web サーバーを最初に起動したときにインターネットに接続しなかった場合は、これらの Web サイトにアクセスする前にインターネットに接続する必要があります。インターネットに接続する場合は、内蔵 Web サーバーをいったん閉じて再起動しなければならない場合があります。

- **[HP Instant Support]**。トラブルの解決方法を参照するために HP の Web サイトに接続します。このサービスでは、MFP のエラー ログと設定情報が分析され、MFP に合った診断とサポート情報が提供されます。
- **[サプライ品の注文]**。プリント カートリッジやメディアなどの HP 純正サプライ品を注文できる Web サイトに接続します。
- **[製品サポート]**。HP Color LaserJet CM4730 MFP シリーズのサポート サイトに接続します。

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア)

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) は、以下の作業に使用できるソフトウェア プログラムです。

- プリンタ ステータスをチェックする。
- サプライ品のステータスをチェックする。
- 警告を設定する。
- トラブルシューティングおよび保守ツールにアクセスする。

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) は、プリンタが直接コンピュータに接続されている場合、またはネットワークに接続されている場合に使用できます。HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を使用するには、完全なソフトウェアのインストールを実行する必要があります。



注記 インターネットに接続していなくても、HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を開いて使用できます。ただし、Web ベースのリンクをクリックしてリンク先のサイトにアクセスするには、インターネットに接続する必要があります。

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) の詳細については、<http://www.hp.com/go/easyprintercare> を参照してください。

対応オペレーティング システム

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) は、Windows 2000 および Windows XP に対応しています。

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を開く

以下のいずれかの方法で HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を開きます。

- Windows のシステム トレイ/タスクバー (デスクトップの右下隅) の **[HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア)]** を選択します。
- HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) のデスクトップアイコンをダブルクリックします。

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) のセクション

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) には、以下の表で説明するセクションがあります。

セクション	説明
<p>[概要] タブ</p> <p>プリンタの基本的なステータス情報を表示します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● [デバイス] リスト： 選択可能なプリンタを表示します。 ● [デバイスのステータス] セクション： プリンタのステータス情報を表示します。このセクションには、プリントカートリッジが空になったなど、プリンタの警告状態が表示されます。また、デバイスの識別情報、コントロールパネルメッセージ、プリントカートリッジの残量も表示されます。プリンタの問題を解消してから  ([更新]) ボタンをクリックすると、このセクションが更新されます。 ● [Supplies Status] セクション： プリントカートリッジのトナー残量や各トレイにセットされているメディアの状態など、サプライ品に関する詳細なステータスが表示されます。 ● [サプライ品詳細] リンク： プリンタのサプライ品、注文情報、リサイクル情報に関する詳細を表示するサプライ品ステータス ページを開きます。
<p>[サポート] タブ</p> <p>ヘルプ情報および各種のリンクを表示します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 注意すべき項目に関する警告などのデバイス情報を表示します。 ● トラブルシューティングおよび保守ツールへのリンクを表示します。 ● 登録、サポート要求、サプライ品の注文などを行うための HP Web サイトへのリンクが含まれています。 <p> 注記 ダイアルアップ接続を使用している場合に、HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を最初に開いたときにインターネットに接続しなかった場合は、これらの Web サイトにアクセスする前にインターネットに接続する必要があります。</p>
<p>[サプライ品の注文] ウィンドウ</p> <p>サプライ品をオンラインまたは電子メールで注文できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● [注文] リスト： プリンタごとに注文可能なサプライ品を表示します。特定のサプライ品を注文する場合は、サプライ品のリストで必要なサプライ品の [注文] チェック ボックスをオンにします。 ● [Shop Online for Supplies (サプライ品のオンライン注文)] ボタン： 新しいブラウザ ウィンドウに HP のサプライ品 Web サイトを開きます。[注文] チェック ボックスがオンのサプライ品がある場合は、それらのサプライ品に関する情報が Web サイトに転送されます。 ● [Print Shopping List (購入リストの印刷)] ボタン： [注文] チェック ボックスをオンにしたサプライ品の情報を印刷します。 ● [Email Shopping List (購入リストの電子メール送信)] ボタン： [注文] チェック ボックスをオンにしたサプライ品のテキストリストを作成します。このリストは、サプライヤに送信する電子メール メッセージにコピーできます。
<p>[警告の設定] ウィンドウ</p> <p>プリンタに関する問題を自動的に通知するように設定できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 警告のオン/オフ： 特定のプリンタに対して警告機能を有効または無効にします。 ● 警告を表示するタイミング： 警告をいつ表示するかを設定します。特定のプリンタに印刷するとき、またはプリンタ イベントが発生するたびに表示できます。 ● 警告のイベント タイプ： 重大なエラーのみ、または継続可能なエラーを含むすべてのエラーのどちらに対して警告を表示するかを設定します。 ● 通知タイプ： 表示する警告のタイプを設定します。タイプにはポップアップ メッセージまたはシステム トレイ警告、および電子メール メッセージがあります。

セクション	説明
<p>[Device List (デバイス リスト) タブ]</p> <p>[デバイス] リストの各プリンタに関する情報を表示します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● プリンタ名、製造元、モデルなどのプリンタ情報 ● アイコン ([View as (表示形式)] ドロップダウン ボックスでデフォルト設定の [Tiles (並べて表示)] が設定されている場合) ● プリンタに関する現在の警告 <p>リスト内のプリンタをクリックすると、HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) を介して、選択したプリンタの [概要] タブが表示されます。</p> <p>[Device List (デバイス リスト)] タブには、以下の情報が含まれます。</p>
<p>[Find Other Printers (他のプリンタを検索)] ウィンドウ</p> <p>プリンタ リストにプリンタを追加できます。</p>	<p>[デバイス] リストにある [Find Other Printers (他のプリンタを検索)] リンクをクリックすると、[Find Other Printers (他のプリンタを検索)] ウィンドウが開きます。[Find Other Printers (他のプリンタを検索)] ウィンドウには、その他のネットワーク プリンタを検出する機能があり、検出したプリンタを [デバイス] リストに追加してリスト内のプリンタをコンピュータから監視することができます。</p>

HP Web Jetadmin ソフトウェア

HP Web Jetadmin は、ネットワークに接続された周辺装置のインストール、監視、およびトラブルの解決をリモートで実現する Web ベースのソフトウェア ソリューションです。わかりやすいブラウザ インターフェイスによって、HP 製プリンタと HP 製以外のプリンタを含む幅広いデバイスのクロスプラットフォーム管理が容易になります。問題が発生する前に事前に管理できるので、ネットワーク管理者はユーザーに影響が及ぶ前にプリンタの問題を解決することができます。この無料の拡張管理ソフトウェアは、http://www.hp.com/go/webjetadmin_software からダウンロードしてください。

HP Web Jetadmin へのプラグインを取得するには、**[plug-ins]** をクリックし、取得するプラグインの名前の隣にある **[download]** リンクをクリックします。新しいプラグインが使用可能な場合は、HP Web Jetadmin ソフトウェアによって自動的に通知されます。**[Product Update]** ページで、指示に従って HP Web サイトに自動的に接続します。

HP Web Jetadmin がホスト サーバーにインストールされている場合は、Windows の Microsoft Internet Explorer 6.0 または Linux の Netscape Navigator 7.1 などのサポートされている Web ブラウザを介してどのクライアントでも使用できます。HP Web Jetadmin のホストを参照します。



注記 ブラウザは Java が有効になっている必要があります。Apple Macintosh コンピュータからの参照はサポートされていません。

Macintosh 用 HP Printer ユーティリティ

HP Printer ユーティリティ を使用して、Mac OS X V10.2、V10.3、または V10.4 コンピュータからプリンタを設定および管理します。ここでは、HP Printer ユーティリティ を使用して実行可能ないくつかの機能について説明します。

HP Printer ユーティリティ を開く

HP Printer ユーティリティ を開く手順は、使用している Macintosh オペレーティング システムによって異なります。

Mac OS X V10.2 で HP Printer ユーティリティ を開く

1. Finder を開いて **[アプリケーション]** をクリックします。
2. **[Library]** をクリックし、**[Printers]** をクリックします。
3. **[hp]** をクリックし、**[ユーティリティ]** をクリックします。
4. **[HP Printer Selector]** をダブルクリックして、HP Printer Selector を開きます。
5. 設定するプリンタを選択し、**[ユーティリティ]** をクリックします。

Mac OS X V10.3 または MAC OS X V10.4 で HP Printer ユーティリティ を開く

1. ドックの **[プリンタ設定ユーティリティ]** アイコンをクリックします。



注記 ドックに **[プリンタ設定ユーティリティ]** アイコンが表示されていない場合は、Finder を開いて **[アプリケーション]**、**[ユーティリティ]** の順にポイントし、**[プリンタ設定ユーティリティ]** をダブルクリックします。

2. 設定するプリンタを選択し、**[ユーティリティ]** をクリックします。

クリーニング ページの印刷

プリンタの印刷品質に満足できない場合は、クリーニング ページを印刷してください。

1. HP Printer ユーティリティ を開きます。
2. **[設定]** リストで **[カラー クリーニング]** を選択します。
3. クリーニング ページを印刷するには **[クリーニング ページの印刷]** をクリックします。

設定ページの印刷

プリンタの設定を見るには、設定ページを印刷します。

1. HP Printer ユーティリティ を開きます。
2. **[設定]** リストで **[設定ページ]** を選択します。
3. 設定ページを印刷するには **[設定ページの印刷]** をクリックします。

サプライ品のステータスの表示

プリンタのサプライ用品 (プリント カートリッジ、イメージング ドラム、印刷用紙など) のステータスをコンピュータに表示します。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[設定]** リストで **[サプライ品のステータス]** を選択します。
3. 交換可能なさまざまなサプライ品のステータスを表示する場合は **[サプライ品]** タブをクリックし、印刷メディアのステータスを表示する場合は **[メディア]** タブをクリックします。
 - 詳細なステータス リストを表示するには、**[サプライ品詳細]** をクリックします。サプライ品情報ダイアログ ボックスが表示されます。
 - オンラインでサプライ品を注文するには、**[HP サプライ品の注文]** をクリックします。オンライン注文の Web サイトを使用するには、インターネットにアクセスできる環境が必要です。オンライン注文の詳細については、「[サプライ品のオンライン注文およびその他のサポート機能の使用](#)」を参照してください。

サプライ品のオンライン注文およびその他のサポート機能の使用

HP の Web サイトを使用して、プリンタのサプライ用品の注文、プリンタの登録、カスタマ サポートの利用、またはプリンタのサプライ用品のリサイクル方法が参照できます。サプライ用品およびサポート用の Web ページにアクセスするには、インターネットに接続してください。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[設定]** リストで **[HP サポート]** を選択します。
3. 以下のいずれかのボタンをクリックします。
 - **[Instant Support]** : 技術サポートを要請できる Web ページが開きます。
 - **[サプライ品のオンライン注文]** : プリンタのサプライ品を注文できる Web ページが開きます。
 - **[オンライン登録]** : プリンタの登録を行える Web ページが開きます。
 - **[回収およびリサイクル]** : 使用済みサプライ品のリサイクルに関する情報が記載されている Web ページが開きます。

プリンタへのファイルのアップロード

コンピュータからプリンタにファイルを送信します。プリンタで実行される処理は、送信するファイルの種類によって異なります。たとえば、.PS ファイルや .PCL ファイルなどの印刷可能なドキュメントを送信した場合は、プリンタによってファイルが印刷されます。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[設定]** リストで **[ファイルのアップロード]** を選択します。
3. **[選択]** をクリックして、アップロードするファイルを選択し、**[OK]** をクリックします。
4. ファイルをアップロードするには、**[アップロード]** をクリックします。

ファームウェアのアップデート

新しいファームウェア ファイルをコンピュータから読み込んで、プリンタのファームウェアをアップデートします。新しいファームウェア ファイルは、<http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> で提供されます。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[設定]** リストで **[ファームウェアのアップデート]** を選択します。
3. **[選択]** をクリックして、アップロードするファームウェア ファイルを選択し、**[OK]** をクリックします。
4. ファームウェア ファイルをアップロードするには、**[アップロード]** をクリックします。

両面印刷 (2 面印刷) モードの起動

自動両面印刷ユニットが装備されたプリンタの両面印刷機能をオンにします。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[設定]** リストで **[両面印刷モード]** を選択します。
3. 両面印刷モードを起動するには、**[両面印刷モードの有効化]** を選択して、**[今すぐ適用]** をクリックします。

プリンタのストレージ デバイスのロックまたはロック解除

プリンタ記憶装置へのアクセスをコンピュータから管理します。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[設定]** リストで **[リソースのロック]** を選択します。
3. **[コントロール パネル アクセス制御レベル]** ポップアップ メニューで、プリンタのコントロールパネルに対して設定するアクセス制御レベルを選択します。
4. ロックするデバイスを選択し、ロック解除するデバイスを消去します。
5. **[今すぐ適用]** をクリックします。

保存ジョブの保存または印刷

プリンタのジョブ保存機能をオンにしたり、保存ジョブをコンピュータから印刷したりします。保存された印刷ジョブを削除することもできます。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[設定]** リストで **[保存ジョブ]** を選択します。
3. 以下のいずれかの作業を実行します。
 - ジョブの保存機能をオンにするには、**[ジョブの保存の有効化]** を選択して、**[今すぐ適用]** をクリックします。
 - 保存ジョブを印刷するには、リストから保存ジョブを選択し、**[セキュア ジョブ PIN の入力]** ボックスに必要な個人識別 No (PIN) を、**[印刷部数]** ボックスに必要な部数を入力して、**[印刷]** をクリックします。
 - 保存ジョブを削除するには、リストから保存ジョブを選択して **[削除]** をクリックします。

トレイの設定

デフォルトのプリンタ トレイ設定をコンピュータから変更します。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[設定]** リストで **[トレイの設定]** を選択します。
3. **[トレイ]** リストで、設定するトレイを選択します。



注記 選択したトレイを印刷のデフォルトのトレイに設定するには、**[デフォルトに設定]** をクリックします。

4. **[デフォルト メディア サイズ]** ポップアップ メニューで、トレイのデフォルト メディア サイズを選択します。
5. **[デフォルト メディア タイプ]** ポップアップ メニューで、トレイのデフォルト メディア タイプを選択します。
6. **[今すぐ適用]** をクリックします。

ネットワーク設定の変更

ネットワーク インターネット プロトコル (IP) 設定をコンピュータから変更します。内蔵 Web サーバを開いて、その他の設定を変更することもできます。詳細については、「[内蔵 Web サーバ](#)」を参照してください。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. **[設定]** リストで **[IP 設定]** を選択します。
3. 以下のポップアップ メニューまたはフィールドで設定を変更します。
 - **[設定]**
 - **[ホスト名]**
 - **[IP アドレス]**

- [サブネット マスク]
- [デフォルト ゲートウェイ]

内蔵 Web サーバーで他の設定を変更する場合は、[ネットワークの詳細設定] をクリックします。[ネットワークング] タブが選択された状態で内蔵 Web サーバーが開きます。

4. [今すぐ適用] をクリックします。

内蔵 Web サーバーを開く

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. [設定] リストで [詳細設定] を選択します。
3. [内蔵 Web サーバーを開く] をクリックします。

電子メール警告の設定

プリント カートリッジのトナーの残量が少なくなるなど、特定のイベントがプリンタで発生した場合に警告する電子メール メッセージを設定します。

1. HP Printer ユーティリティを開きます。
2. [設定] リストで [電子メール警告] を選択します。
3. [サーバー] タブをクリックし、[SMTP サーバー] ボックスにサーバー名を入力します。
4. [送信先] タブを選択して、追加 ([+]) ボタンをクリックし、電子メール警告の送信先に指定する電子メール アドレス、モバイル デバイス番号、または Web サイトの URL を入力します。



注記 プリンタが電子メール リストに対応している場合は、電子メールのアドレスを追加するのと同じ方法で特定のイベントの警告リストを作成できます。

5. [イベント] タブをクリックして、リストで電子メール警告を送信するイベントを定義します。
6. 警告の設定をテストするには、[サーバー] タブを選択して、[テスト] をクリックします。設定が正しければ、定義した電子メール アドレスにサンプル メッセージが送信されます。
7. [今すぐ適用] をクリックします。

セキュリティ機能

このセクションでは、MFP で利用できる重要なセキュリティ機能について説明します。

- [内蔵 Web サーバーの保護](#)
- [Foreign Interface Harness \(FIH\)](#)
- [Secure Disk Erase](#)
- [DSS 認証](#)
- [コントロールパネルメニューのロック](#)

内蔵 Web サーバーの保護

許可されていないユーザーが MFP の設定を変更できないように、内蔵 Web サーバーへのアクセス用のパスワードを割り当てます。

1. 内蔵 Web サーバーを開きます。「[内蔵 Web サーバ](#)」を参照してください。
2. **[設定]** タブをクリックします。
3. ウィンドウの左側にある **[セキュリティ]** をクリックします。
4. **[新規パスワード]** の横にパスワードを入力し、**[パスワードの確認]** の横にもう一度パスワードを入力します。
5. **[適用]** をクリックします。パスワードをメモして、安全な場所に保管してください。

Foreign Interface Harness (FIH)

Foreign Interface Harness (FIH) は、MFP のポータルを提供します。FIH およびサードパーティ製装置を使用すると、MFP で作成したコピーに関する情報を追跡できます。

要件

- Windows 9X、Windows Me、Windows 2000、または Windows XP
- Equitrac デバイスや Copitrack デバイスなどのサードパーティ製課金ハードウェア ソリューションへのアクセス

FIH の使用

FIH を使用するには、FIH ソフトウェアをダウンロードしてインストールする必要があります。ソフトウェアは http://www.hp.com/go/cljcm4730mfp_software から入手できます。このソフトウェアを使用して、FIH ポータルを有効または無効にします。ソフトウェアは、管理者の個人識別 No (PIN) の設定および変更にも使用します。

管理者は PIN オプションを使用して FIH を設定し、権限のない変更を防ぐことができます。変更は、PIN が正しく認証された場合にのみ実行できます。



注記 FIH 管理ソフトウェアに割り当てられている PIN を記憶しておくことが重要です。PIN は、FIH を変更する場合に必ず必要になります。

FIH ポータルの有効化

1. FIH.EXE ファイルをダブルクリックします。[Foreign Interface Harness] ダイアログ ボックスが表示されます。
2. [OK] をクリックします。
3. [Enable] をクリックします。
4. PIN を以前に入力していない場合は、[No] をクリックします。PIN を以前に入力した場合は、[Yes] をクリックします。[No] をクリックした場合は、PIN を入力して確認し、[OK] をクリックします。[Yes] をクリックした場合は、PIN を入力し、[OK] をクリックします。



注記 PIN には数値を入力する必要があります。

5. 接続タイプに対応するボタンをクリックします。オプションは、[Direct] または [Network] のいずれかです。[Direct] を選択した場合は、MFP ポートを入力します。[Network] を選択した場合は、MFP の IP アドレスとポートを入力します。



注記 MFP の IP アドレスは設定ページで調べることができます。

間違った IP アドレスを入力すると、エラー メッセージが表示されます。アドレスが正しい場合は、ポータルが有効になります。

FIH ポータルの無効化

1. FIH.EXE ファイルをダブルクリックします。[Foreign Interface Harness] ダイアログ ボックスが表示されます。
2. [OK] をクリックします。
3. [Disable] をクリックします。
4. PIN を入力し、[OK] をクリックします。
5. 接続タイプに対応するボタンをクリックします。オプションは、[Direct] または [Network] のいずれかです。[Direct] を選択した場合は、MFP ポートを入力し、[OK] をクリックします。[Network] を選択した場合は、MFP の IP アドレスとポートを入力し、[OK] をクリックします。ポータルが無効になります。



注記 ポータルを無効にする必要があるときに PIN 番号が不明の場合は、表示されているデフォルトの PIN を使用して無効化してください。問題が解決しない場合は、内蔵 Web サーバーから、または <http://instantsupport.hp.com> で利用可能な HP Instant Support サービスを使用してください。「[内蔵 Web サーバ](#)」を参照してください。

Secure Disk Erase

削除したデータを MFP ハード ドライブへの権限のないアクセスから保護するには、Secure Disk Erase 機能を使用します。この機能を使用すると、印刷およびコピー ジョブをハード ドライブから安全に消去することができます。

Secure Disk Erase 機能には、次のレベルのディスク セキュリティが用意されています。

- **安全でない高速消去。**これは、単純なファイル テーブル消去機能です。ファイルへのアクセスは削除されますが、実際のデータはその後のデータ保存操作によって上書きされるまでディスクに残ります。これは最も高速なモードです。安全でない高速消去はデフォルトの消去モードです。
- **安全な高速消去。**ファイルへのアクセスが削除され、固定の同一文字パターンでデータが上書きされます。これは安全でない高速消去よりも低速ですが、すべてのデータが上書きされます。安全な高速消去は、米国国防総省 5220-22.M ディスク メディア消去に関する要件を満たしています。
- **安全なクリーニング消去。**このレベルは安全な高速消去モードと似ています。ただし、データが永続的に残留することを防ぐアルゴリズムを使用して、データが繰り返し上書きされます。このモードではパフォーマンスが低下します。安全なクリーニング消去は、米国国防総省 5220-22.M ディスク メディア クリーニングに関する要件を満たしています。

影響を受けるデータ

セキュア ディスク消去機能の影響を受ける (対象となる) データには、印刷およびコピー処理中に作成される一時ファイル、保存ジョブ、試し刷り後に保留ジョブ、ディスクベースのフォント、ディスクベースのマクロ (フォーム)、保存されたファックス ファイル、アドレス帳、HP およびサードパーティ製アプリケーションが含まれます。



注記 保存ジョブは、適切な消去モードを設定した後で、MFP の [ジョブの取得] メニューを使用して削除した場合にのみ、安全に上書きされます。

この機能は、デフォルト設定、ページ数などのデータを保存するのに使用されるフラッシュベースの非揮発性 RAM (NVRAM) に保存されているデータには影響を与えません。この機能は、システム RAM ディスク (使用している場合) に保存されているデータには影響を与えません。この機能は、フラッシュベースのシステム ブート RAM に保存されているデータには影響を与えません。

Secure Disk Erase モードを変更しても、ディスク上の以前のデータが上書きされることはなく、ディスク全体のクリーニングが直ちに実行されることもありません。Secure Disk Erase モードを変更すると、消去モードの変更後に MFP がジョブの一時データを消去する方法が変更されます。

セキュア ディスク消去へのアクセス

HP Web Jetadmin を使用して Secure Disk Erase 機能にアクセスし、この機能を設定します。

補足情報

HP セキュア ディスク消去機能の詳細については、HP サポート パンフレットを見るか、<http://www.hp.com/go/webjetadmin/> を参照してください。

DSS 認証

MFP の Digital Sending Software (DSS) は、別途購入により利用できるオプションです。このソフトウェアは、認証プロセスを含む高度な送信プログラムを提供します。このプロセスでは、ユーザーは認証に必要な DSS 機能のいずれかを使用する際に、ユーザー ID とパスワードを入力する必要があります。

コントロールパネルメニューのロック

MFP 設定が変更されるのを防ぐために、コントロールパネルメニューをロックすることができます。これによって、権限のないユーザーは SMTP サーバーなどの設定を変更できなくなります。次の手順では、HP Web Jetadmin ソフトウェアを使用してコントロールパネルメニューへのアクセスを制限する方法について説明します。「[HP Web Jetadmin ソフトウェア](#)」を参照してください。

1. HP Web Jetadmin プログラムを開きます。
2. **[Navigation]** パネルのドロップダウン リストにある **[DEVICE MANAGEMENT]** フォルダを開きます。**[DEVICE LISTS]** フォルダに移動します。
3. MFP を選択します。
4. **[DEVICE TOOLS]** ドロップダウン リストで、**[Configure]** を選択します。
5. **[Configuration Categories]** リストから **[Security]** を選択します。
6. **[Device Password]** に入力を行います。
7. **[Control Panel Access]** セクションで、**[Maximum Lock]** を選択します。これによって、権限のないユーザーは構成にアクセスできなくなります。

リアルタイムクロックの設定

リアルタイムクロック機能を使用して、日付と時刻の設定を行います。日付と時刻の情報は、保存された印刷ジョブの最新バージョンが判別できるように、印刷、ファックス、およびデジタル送信の保存ジョブに付加されます。

日付形式の設定

1. コントロールパネルで、スクロールして **[管理]** を選択します。
2. **[時刻/スケジューリング]** を選択します。
3. **[日付/時刻]** を選択します。
4. **[日付形式]** を選択します。
5. 使用する形式を選択します。
6. **[保存]** を選択します。

日付の設定

1. コントロールパネルで、スクロールして **[管理]** を選択します。
2. **[時刻/スケジューリング]** を選択します。
3. **[日付/時刻]** を選択します。
4. **[日付]** を選択します。
5. 該当するオプションを選択して、正確な年月日を設定します。
6. **[保存]** を選択します。

時刻形式の設定

1. コントロールパネルで、スクロールして **[管理]** を選択します。
2. **[時刻/スケジューリング]** を選択します。
3. **[日付/時刻]** を選択します。
4. **[時刻形式]** を選択します。
5. 使用する形式を選択します。
6. **[保存]** を選択します。

時刻の設定

1. コントロールパネルで、スクロールして **[管理]** を選択します。
2. **[時刻/スケジューリング]** を選択します。
3. **[日付/時刻]** を選択します。
4. **[時刻]** を選択します。

5. 該当するオプションを選択して、正確な時、分、および午前/午後の設定を行います。
6. [保存] を選択します。

警告の設定

HP Web Jetadmin または MFP の内蔵 Web サーバーを使用して、MFP に問題が発生したときに警告を出すようにシステムを設定することができます。警告は、電子メール メッセージの形式で電子メール アカウントまたはユーザー指定のアカウントに送信されます。

次の項目を設定することができます。

- 監視するプリンタ
- 受け取る警告の内容 (紙詰まり、用紙切れ、サプライ品ステータス、カバーの開放に関する警告など)
- 警告を送信する電子メール アカウント

ソフトウェア	参照情報
HP Web Jetadmin	警告および警告の設定方法の詳細は、HP Web Jetadmin ヘルプシステムを参照してください。
内蔵 Web サーバー	内蔵 Web サーバーの一般情報については、「 内蔵 Web サーバ 」を参照してください。 警告および警告の設定方法の詳細は、内蔵 Web サーバーのヘルプシステムを参照してください。

ファームウェアのアップグレード

MFP には、リモート ファームウェア アップデート (RFU) 機能があります。MFP のファームウェアをアップグレードするには、このセクションの情報を使用してください。

現在のファームウェア バージョンの確認

1. コントロールパネルのホーム画面で、スクロールして **[管理]** を選択します。
2. **[情報]** を選択します。
3. **[設定/ステータス ページ]** を選択します。
4. **[設定/ステータス ページ]** を選択します。
5. **[印刷]** を選択します。

ファームウェアのデートコードは、設定ページの **[デバイス情報]** セクションに表示されます。ファームウェアのデートコードの形式は、YYYYMMDD XX.XXX.X です。数字の前半の数字列は日付で、YYYY が年、MM が月、DD が日を表します。たとえば、20061125 で始まるファームウェアのデートコードは 2006 年 11 月 25 日を表します。

HP Web サイトからの新しいファームウェアのダウンロード

MFP の最新のファームウェアのアップグレードを調べるには、http://www.hp.com/go/cljcm4730mfp_software にアクセスします。このページには、新しいファームウェア バージョンをダウンロードする手順が記載されています。

新しいファームウェアの MFP への転送



注記 MFP は、「印刷可」の状態のときに、.RFU ファイルのアップデートを受け取ることができます。

アップデートにかかる時間は、I/O 転送時間、および MFP の再初期化にかかる時間によって異なります。I/O 転送時間は、ホスト コンピュータがアップデートを送信する速度など、いくつかの要素によって異なります。ファームウェアのダウンロードが終了する前 (**[アップグレードを受信しています]** がコントロールパネル ディスプレイに表示されている間) に、リモート ファームウェア アップデート処理が中断された場合は、ファームウェア ファイルをもう一度送信する必要があります。フラッシュ DIMM のアップデート中 (**[アップグレードを実行しています]** メッセージがコントロールパネル ディスプレイに表示されている間) に電源が切られた場合、アップデートが中断され、**[アップグレードを再送信しています]** というメッセージ (英語のみ) がコントロールパネル ディスプレイに表示されます。この場合、パラレルポートを使用してアップグレードを送信する必要があります。また、キューで RFU ジョブより前にあるすべてのジョブは、アップデート処理の前に完了されます。

FTP を使用してブラウザからファームウェアをアップロードする



注記 ファームウェアのアップデートは、不揮発性ランダム アクセス メモリ (NVRAM) のフォーマットの変更を伴います。デフォルト設定から変更されているメニュー設定がデフォルト設定に戻る可能性があり、デフォルトと異なる設定にする場合はもう一度変更する必要があります。

1. 設定ページを印刷して、EIO Jetdirect ページの TCP/IP アドレスをメモします。
2. ブラウザ ウィンドウを開きます。

3. ブラウザのアドレス行に、「ftp://<ADDRESS>」と入力します。この <ADDRESS> は MFP のアドレスです。たとえば、TCP/IP アドレスが 192.168.0.90 の場合は、「ftp://192.168.0.90」と入力します。
4. ダウンロードした MFP 用の .RFU ファイルの場所を確認します。
5. ブラウザ ウィンドウ内の [PORT1] アイコン上に .RFU ファイルをドラッグ アンド ドロップします。



注記 MFP の電源が自動的に切れて、もう一度入り、アップデートが有効になります。アップデート処理が完了すると、[印刷可] メッセージが MFP のコントロールパネルに表示されます。

FTP を使用してネットワーク接続でファームウェアをアップグレードする



注記 ファームウェアのアップデートは、不揮発性ランダム アクセス メモリ (NVRAM) のフォーマットの変更を伴います。デフォルト設定から変更されているメニュー設定がデフォルト設定に戻る可能性があり、デフォルトと異なる設定にする場合はもう一度変更する必要があります。

1. HP Jetdirect ページの IP アドレスをメモします。HP Jetdirect ページは、設定ページを印刷したときに 2 ページ目に印刷されるページです。



注記 ファームウェアをアップグレードする前に、MFP がスリープモードになっていないことを確認します。また、コントロールパネルディスプレイですべてのエラーメッセージが解決されていることも確認します。

2. コンピュータで MS-DOS コマンド プロンプトを開きます。
3. 次の文字列を入力します。ftp TCP/IP ADDRESS> たとえば、TCP/IP アドレスが 192.168.0.90 の場合は、「ftp 192.168.0.90」と入力します。
4. ファームウェアが保存されているフォルダに移動します。
5. キーボードの Enter キーを押します。
6. ユーザー名の入力を求められたら、Enter キーを押します。
7. パスワードの入力を求められたら、Enter キーを押します。
8. コマンド プロンプトで「bin」と入力します。
9. Enter キーを押します。[200 Types set to I, Using binary mode to transfer files] というメッセージがコマンド ウィンドウに表示されます。
10. 「put」およびファイル名を入力します (たとえば、ファイル名が CM4730mfp.efn の場合は、「CM4730mfp.efn」と入力します)。
11. ダウンロード処理が開始され、MFP のファームウェアがアップデートされます。この処理には、約 5 分かかります。処理が終了するまで、MFP またはコンピュータで何も操作しないでください。



注記 アップグレード処理後、MFP の電源が自動的に切れ、もう一度入ります。

12. コマンド プロンプトで「bye」と入力して、ftp コマンドを終了します。
13. コマンド プロンプトで「exit」と入力して、Windows インターフェイスに戻ります。

HP Web Jetadmin を使用してファームウェアをアップグレードする

この手順では、コンピュータに HP Web Jetadmin Version 7.0 以降をインストールしている必要があります。「[HP Web Jetadmin ソフトウェア](#)」を参照してください。HP の Web サイトから .RFU ファイルをダウンロードした後に、次の手順を実行し、HP Web Jetadmin を使用して 1 つのデバイスを更新します。

1. HP Web Jetadmin を起動します。
2. **[Navigation]** パネルのドロップダウン リストで **[Device Management]** フォルダを開きます。**[Device Lists]** フォルダに移動します。
3. **[Device Lists]** フォルダを展開し、**[All Devices]** を選択します。デバイスのリストで MFP を探してクリックします。

HP Color LaserJet CM4730 MFP シリーズの複数の MFP のファームウェアをアップグレードする必要がある場合は、各 MFP の名前をクリックするときに **Ctrl** キーを押して、すべての MFP を選択します。

4. ウィンドウの右上隅にある **[Device Tools]** のドロップダウン ボックスを見つけます。アクション リストから **[Update Printer Firmware]** を選択します。
5. **[All Available Images]** ボックスに .RFU ファイルの名前が表示されていない場合は、**[Upload New Firmware Image]** ダイアログ ボックスの **[Browse]** をクリックし、この手順の開始時に Web サイトからダウンロードした .RFU ファイルの場所に移動します。ファイル名が表示されている場合は、ファイル名を選択します。
6. **[Upload]** をクリックして、.RFU ファイルをハード ドライブから HP Web Jetadmin サーバーに移動します。アップロードが完了したら、ブラウザ ウィンドウが更新されます。
7. **[Printer Firmware Update]** ドロップダウン メニューで .RFU ファイルを選択します。
8. **[ファームウェアのアップグレード]** をクリックします。HP Web Jetadmin によって、選択された .RFU ファイルが MFP に送信されます。コントロール パネルに、アップグレードの進捗状況を表すメッセージが表示されます。アップグレード処理の最後に、コントロール パネルに **[印刷可]** というメッセージが表示されます。

MS-DOS コマンドを使用してファームウェアをアップグレードする

ネットワーク接続を使用してファームウェアを更新するには、次の手順を実行します。

1. コマンド プロンプトまたは MS-DOS ウィンドウで、「copy /b FILENAME> \\COMPUTERNAME> \SHARENAME>」と入力します。この <FILENAME> は .RFU ファイルの名前 (パスを含みます)、<COMPUTERNAME> は MFP を共有しているコンピュータの名前、<SHARENAME> は MFP の共有名です。たとえば、「C:\>copy /b C:\9200fw.RFU \\YOUR_SERVER \YOUR_COMPUTER」となります。



注記 ファイル名またはパスにスペースが含まれる場合は、ファイル名またはパスを引用符で囲む必要があります。たとえば、「C:\>copy /b "C:\MY DOCUMENTS\3500FW.RFU" \\YOUR_SERVER\YOUR_COMPUTER」と入力します。

2. キーボードの **Enter** キーを押します。コントロール パネルに、ファームウェアのアップグレードの進捗状況を表すメッセージが表示されます。アップグレード処理の最後に、コントロール パネルに **[印刷可]** というメッセージが表示されます。**[1 ファイルがコピーされました]** というメッセージが、コンピュータの画面に表示されます。

HP Jetdirect ファームウェアの使用

MFP の HP Jetdirect ネットワーク インタフェースには、MFP ファームウェアから個別にアップグレードできるファームウェアがあります。この手順では、コンピュータに HP Web Jetadmin Version 7.0 以降をインストールしている必要があります。「[HP Web Jetadmin ソフトウェア](#)」を参照してください。次の手順を実行し、HP Web Jetadmin を使用して HP Jetdirect ファームウェアを更新します。

1. HP Web Jetadmin プログラムを起動します。
2. **[Navigation]** パネルのドロップダウン リストで **[Device Management]** フォルダを開きます。**[Device Lists]** フォルダに移動します。
3. 更新するデバイスを選択します。
4. **[Device Tools]** ドロップダウン リストで、**[Jetdirect Firmware Update]** を選択します。
5. **[Jetdirect firmware version]** の下に HP Jetdirect のモデル番号および現在のファームウェアバージョンが表示されます。これらの情報を書き留めてください。
6. http://www.hp.com/go/wja_firmware にアクセスします。
7. HP Jetdirect のモデル番号の一覧にスクロールダウンし、書き留めたモデル番号を見つけます。
8. モデルの現在のファームウェアバージョンを見て、メモしたバージョンより新しいかどうかを調べます。新しい場合はファームウェアのリンクを右クリックし、Web ページに表示される手順に従って、新しいファームウェア ファイルをダウンロードします。ファイルの保存先は、HP Web Jetadmin ソフトウェアが実行されているコンピュータの [<drive>:\PROGRAM FILES\HP WEB JETADMIN\DOC\PLUGINS\HPWJA\FIRMWARE\JETDIRECT] フォルダである必要があります。
9. HP Web Jetadmin で、メイン デバイス リストに戻り、デジタル差出人を再度選択します。
10. **[Device Tools]** ドロップダウン リストで、**[Jetdirect Firmware Update]** を再度選択します。
11. HP Jetdirect ファームウェア ページで、ファームウェアの新しいバージョンが **[Jetdirect Firmware Available on HP Web Jetadmin]** の下に表示されます。**[Update Firmware Now]** ボタンをクリックして Jetdirect ファームウェアを更新します。

メモリの管理

この MFP には、メモリを 544MB まで増設できます。512MB の DDR の他に、フォーマッタ ボードには 32MB の追加メモリが必要です。DDR (デュアル データ レート) メモリを取り付けることによってメモリを増設できます。MFP には、それぞれ 128MB または 256MB の RAM を取り付けることができる 2 基の DDR スロットが実装され、メモリが増設できるようになっています。メモリ取り付け方法の詳細については、「[メモリとプリント サーバー カードの増設](#)」を参照してください。

MFP は、MET (Memory Enhancement Technology : メモリ強化テクノロジー) を特長としています。このテクノロジーは、MFP の RAM を効率よく使用できるようにページ データを自動的に圧縮します。

MFP では DDR SO-DIMM を使用します。拡張データ出力 (EDO) DIMM はサポートされていません。



注記 複雑なグラフィックスを印刷しているときにメモリの問題が発生する場合は、ダウンロードしたフォント、スタイル シートおよびマクロを MFP メモリから削除して、使用可能なメモリを増やすことができます。ソフトウェア プログラム内で印刷ジョブをより単純にすると、メモリの問題を回避する役に立ちます。

サプライ品の管理

最高の印刷結果を得るためには、HP 純正プリント カートリッジを使用してください。

HP プリント カートリッジ

新しいHP 純正プリント カートリッジを使用している場合は、次のサプライ品情報を表示することができます。

- サプライ品の残量パーセンテージ
- 予測される残りページ数
- 印刷済みページ数



注記 カートリッジの注文情報については、「[サプライ品とアクセサリ](#)」を参照してください。

HP 以外のプリント カートリッジ

Hewlett-Packard 社は、新品または再生品のどちらについても、HP 製以外のプリント カートリッジの使用を推奨しません。これらは HP 純正製品ではないため、HP が設計や品質の制御を行うことができません。HP 製以外のプリント カートリッジを使用したことが原因でサービスや修理が必要になった場合、MFP の保証は適用されません。

HP 以外のプリント カートリッジが HP 純正品として販売されていた場合は、「[カスタマ ケア センタ](#)」を参照してください。

プリント カートリッジの認証

HP Color LaserJet CM4730 MFP シリーズでは、プリント カートリッジが MFP に挿入されると自動的に認証されます。認証の際、カートリッジが HP 純正プリント カートリッジであるかどうか MFP によって通知されます。

MFP のコントロール パネルに、これが HP 純正プリント カートリッジではないことを示すメッセージが表示され、ユーザーが HP プリント カートリッジを購入したと確信している場合は、カスタマ ケア センタにお電話ください。

HP 以外のプリント カートリッジのエラー メッセージを解除するには、**[OK]** を押してください。

カスタマ ケア センタ

HP プリント カートリッジを取り付けたときに、カートリッジが HP 製でないことを示すメッセージが表示されたら、カスタマ ケア センタへご連絡ください。HP 社はその製品が純正品かどうかを調べ、問題を解決するための措置をとるお手伝いをします。

次の問題が発生した場合は、使用しているプリント カートリッジが HP 純正プリント カートリッジではない可能性があります。

- プリント カートリッジに関する問題が多数発生する。
- カートリッジの外観が通常の外観と異なる (たとえば、パッケージが HP 製のパッケージと違うなど)。

プリントカートリッジの保管

使用するまでは、プリントカートリッジをパッケージから出さないでください。



注意 プリントカートリッジの損傷を防ぐため、数分以上プリントカートリッジに光を当てないでください。

表 14-1 プリントカートリッジの温度仕様

環境条件	推奨	許容値	保管時/スタンバイ時
温度 (プリントカートリッジ)	17° ~ 25° C (62.6° ~ 77° F)	15° ~ 30° C (59° ~ 86° F)	-20° ~ 40° C (-4° ~ 104° F)

プリントカートリッジの寿命

プリントカートリッジの寿命は、使用パターンと、印刷ジョブが必要とするトナーの量によって異なります。各プリントカートリッジで 5% の範囲をレターまたは A4 サイズの用紙に印刷する場合、HP プリントカートリッジは平均 12,000 ページ持続します。使用条件と印刷内容によって実際の結果は異なります。

プリントカートリッジの寿命の確認

MFP コントロールパネル、内蔵 Web サーバー、MFP ソフトウェア HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) または HP Web Jetadmin ソフトウェアを使用して、プリントカートリッジの寿命を確認できます。

MFP のコントロールパネルでの確認

1. ホーム画面で **[管理]** を選択します。
2. **[情報]** を選択します。
3. **[設定/ステータス ページ]** を選択します。
4. **[サプライ品ステータス ページ]** を選択します。
5. **[印刷]** を選択します。



注記 HP 以外のサプライ品を使用している場合は、サプライ品のステータス ページにそれらのサプライ品の残りの寿命が表示されません。

内蔵 Web サーバーでの確認

1. ブラウザで、プリンタのホーム ページ IP アドレス またはホスト名を入力します。入力すると、プリンタのステータス ページが表示されます。
2. 画面の左側にある **[Supplies Status]** をクリックします。サプライ品ステータス ページが表示されます。このページでプリントカートリッジの情報を参照することができます。

HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) での確認

[Supplies Status] セクションの **[Overview]** タブで **[Supplies Details]** (サプライ品の詳細) をクリックし、サプライ品のステータス ページを開きます。

HP Web Jetadmin での確認

HP Web Jetadmin でプリンタ デバイスを選択します。デバイス ステータス ページにプリント カートリッジ情報が表示されます。

15 保守

- [サプライ品交換](#)
- [MFP のクリーニング](#)
- [自動文書フィーダ \(ADF\) 保守キット](#)
- [スキャナの校正](#)

サプライ品交換

HP 純正サプライ品を使用している場合は、サプライ品の寿命が近づくと自動的に通知されます。サプライ品注文が通知されても、サプライ品を交換する必要があるまでには新しいサプライ品を注文する十分な時間があります。サプライ品の注文方法の詳細については、「[サプライ品とアクセサリ](#)」を参照してください。

サプライ品の場所

サプライ品はラベルと青いプラスチック ハンドルで識別します。

次の図に各サプライ品の場所を示します。

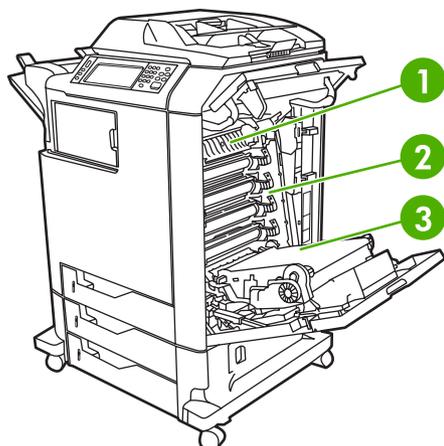


図 15-1 サプライ品の場所

1	フューザ
2	プリントカートリッジ
3	トランスファーユニット

サプライ品交換のガイドライン

簡単にサプライ品を交換するには、MFP のセットアップ時に次のガイドラインに従ってください。

- サプライ品を取り外すには、MFP の上および正面には十分な間隔が必要です。
- MFP は平らでしっかりした場所に設置する必要があります。

サプライ品の取り付け手順については、各サプライ品に付属の取り付け手順説明書を参照してください。詳細については、<http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> にアクセスしてください。接続時には、**[問題の解決]** を選択します。



注意 Hewlett-Packard では、この MFP には HP 純正製品を使用することをお勧めします。HP 以外の製品を使用すると、Hewlett-Packard の保証期間延長またはサービス契約の対象外のサービスを必要とする問題が発生する場合があります。

サプライ品の交換予定時期

次の表に、サプライ品の交換予定時期および各部品の交換を要求するコントロールパネルメッセージを示します。使用条件と印刷内容によって結果は異なります。

項目	プリンタメッセージ	ページ数	おおよその時期
黒カートリッジ	[黒カートリッジを交換してください]	12,000 ページ ¹	3 か月
カラーカートリッジ	[<カラー> のカートリッジを交換してください]	12,000 ページ ¹	3 か月
イメージトランスファーキット	[トランスファーキットを交換してください]	120,000 ページ ²	40 か月
イメージフューザキット	[フューザキットを交換してください]	150,000 ページ	50 か月
ステイブルカートリッジ	[ステイブルカートリッジを交換してください]	5000 ページ	
自動文書フィーダ (ADF) 保守キット	[文書フィーダキットを交換してください]	90000 ページ	

¹ 各カラーで A4 サイズまたはレターサイズの 5% の範囲を印刷した場合の、おおよその平均ページ数

² 月あたり 4,000 ページとしての、おおよその寿命

プリントカートリッジの交換

プリントカートリッジが寿命に達すると、交換品を注文するよう促すメッセージがコントロールパネルに表示されます。コントロールパネルにカートリッジの交換を促すメッセージが表示されるまで、現在のプリントカートリッジを使用して印刷を継続することができます。

MFP では、黒 (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) の 4 色を使用し、各色で別々のプリントカートリッジを使用します。

MFP のコントロールパネルに [<カラー> のカートリッジを交換してください] メッセージが表示されたときに、プリントカートリッジを交換します。コントロールパネルには、交換が必要な色も示されます (純正 HP カートリッジを取り付けている場合)。プリントカートリッジの箱にも、交換手順の説明が付属しています。



注意 トナーが衣服に付いた場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で洗濯してください。お湯を使うと、トナーが布に染み着きます。



注記 使用済みプリントカートリッジのリサイクルについては、<http://www.hp.com/go/recycle> を参照してください。

MFP のクリーニング

印刷品質を維持するために、プリントカートリッジを交換するたびに MFP を入念にクリーニングしてください。印刷品質に問題が生じた場合も同様です。

警告! MFP のクリーニング中は、フューザ部分に触れないようにしてください。熱くなっていることがあります。

注意 プリントカートリッジに修理できない傷をつけないようにするために、指示されている場合を除き、MFP やその付近で、アンモニアが含まれているクリーナーを使用しないでください。

MFP の外側のクリーニング

- MFP の外側に目に見える汚れがあれば、クリーニングします。
- 水、または水と中性洗剤で湿らせた柔らかい布を使用します。

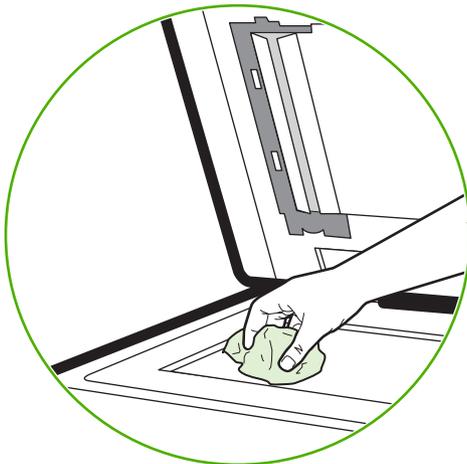
タッチスクリーンのクリーニング

指紋やほこりを取り除く必要があればいつでもタッチスクリーンをクリーニングします。タッチスクリーンは、水で湿らせた清潔な柔らかい布でそっと拭きます。

注意 水のみを使用してください。溶剤やクリーナーを使用すると、タッチスクリーンに損傷を与える場合があります。タッチスクリーンに直接水をかけたり吹き付けたりしないでください。

スキャナのガラス面のクリーニング

- スキャナ ガラスは、汚れが目に見えたり、または線などが現れ、コピー品質が低下した場合にのみクリーニングします。
- スキャナ ガラスは、少し湿らせた清潔な柔らかい布でそっと拭いてクリーニングします。アンモニアが含まれている界面活性クリーナーは、水で湿らせた布でスキャナ ガラスの汚れが落ちない場合にのみ使用します。





注意 スキャナ ガラスに直接液体をかけたり吹き付けたりしないでください。ガラス表面を強く押さないでください(ガラスが割れる場合があります)。

ADF 給紙システムのクリーニング

ADF は、汚れが目に見えたり、または線などが現れ、コピー品質が低下した場合にのみクリーニングします。

ADF 送出手システムのクリーニング

1. スキャナのカバーを開きます。

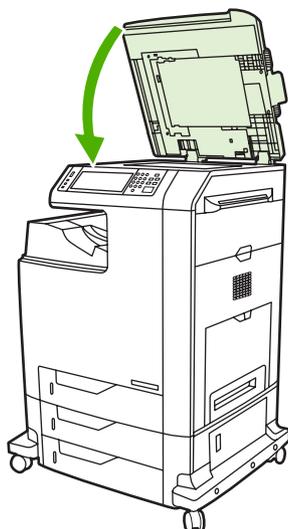


2. 白いビニールの ADF の裏張りを見つけます。



3. ADF の裏張りを湿らせた清潔な柔らかい布で拭いてクリーニングします。アンモニアが含まれている界面活性クリーナーは、水で湿らせた布で ADF のコンポーネントの汚れが落ちない場合にのみ使用します。

4. スキャナ ガラスは、少し湿らせた清潔な柔らかい布でそっと拭いてクリーニングします。アンモニアが含まれている界面活性クリーナーは、水で湿らせた布でスキャナ ガラスの汚れが落ちない場合にのみ使用します。
5. スキャナのカバーを閉じます。



ADF ローラーのクリーニング

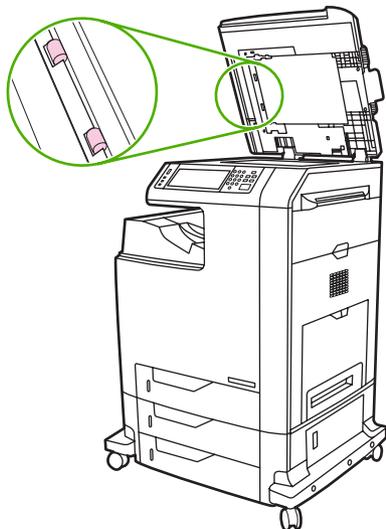
給紙に失敗したり、原稿が ADF から排紙される時に汚れが付いたりした場合に、ADF のローラーをクリーニングする必要があります。

△ 注意 ローラーは、給紙に失敗したり、原稿に汚れが付いたり、ローラーにほこりがある場合にのみクリーニングしてください。ローラーを頻繁にクリーニングすると、デバイス内にほこりが入る場合があります。

1. スキャナのカバーを開きます。



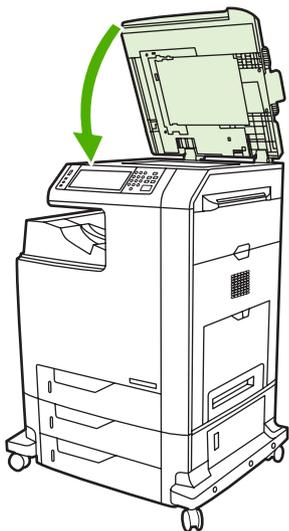
2. 白いビニールの ADF の裏張りの近くにあるローラーを見つけます。



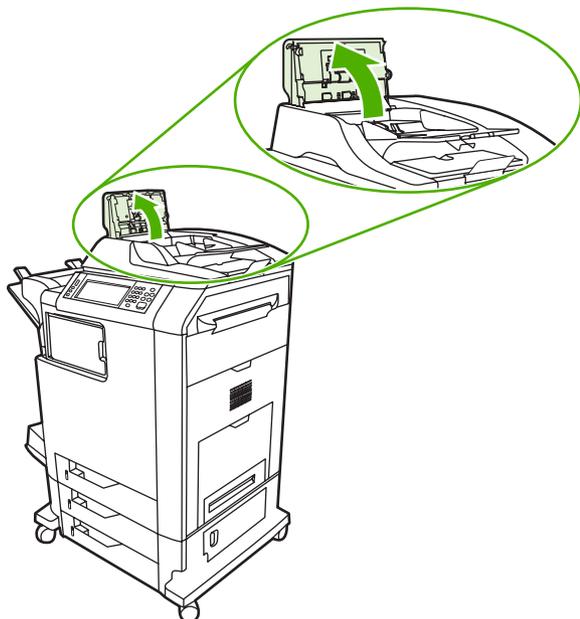
3. ローラーは、水で湿らせた清潔な柔らかい布でそっと拭きます。

 **注意** ローラーに直接水をかけないでください。デバイスに損傷を与える場合があります。

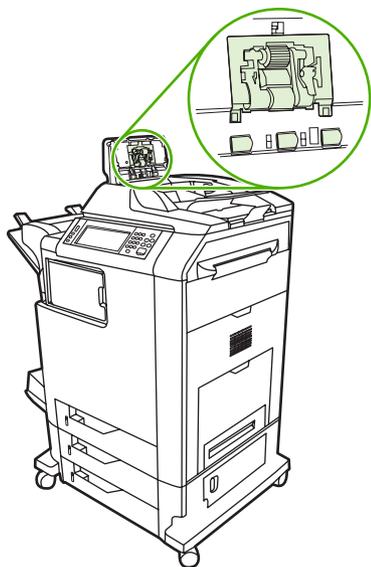
4. スキャナのカバーを閉じます。



5. 解除レバーを引いて ADF のカバーを開きます。



6. ローラーを見つけます。

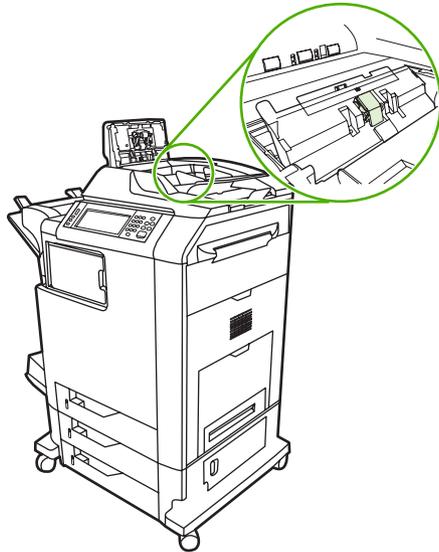


7. ローラーは、水で湿らせた清潔な柔らかい布で拭きます。

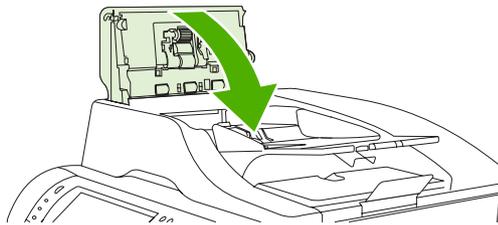


注意 ローラーに直接水をかけないでください。デバイスに損傷を与える場合があります。

- 仕切りパッドを見つけます。



- パッドは、水で湿らせた清潔な柔らかい布で拭きます。
- ADF のカバーを閉めます。

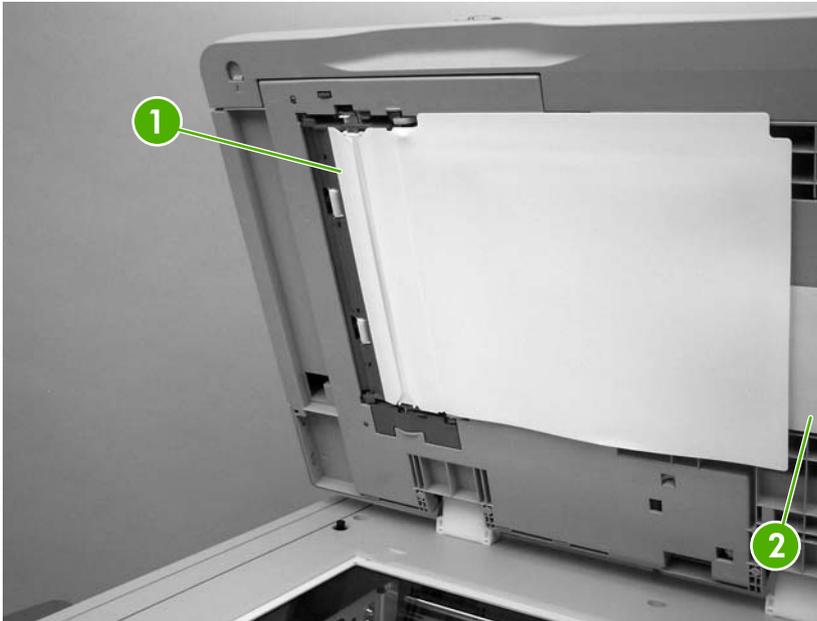


マイラー ストリップのクリーニング

ADF を使用してコピーするときのコピー品質が低下 (縦線が入るなど) した場合にのみ、スキャナ カバーの裏側にあるマイラー ストリップをクリーニングします。

- スキャナ カバーを開きます。

2. マイラー ストリップ (1) を確認します。



注記 交換用のマイラー ストリップは、ADF の保護マット (白いプラスチック) の底にある封筒 (2) に入っています。封筒に入っている指示書に従います。

3. マイラー ストリップをクリーニングする場合は、糸くずのでない湿らせた布を使用します。
4. スキャナ カバーを閉じます。

自動文書フィーダ (ADF) 保守キット

ADF でスキャンした原稿数が 90,000 ページを超えると、コントロールパネルに **【文書フィーダ キットを交換してください】** メッセージが表示されます。このメッセージは、キットの交換が必要となる日の約 1 か月前に表示されます。このメッセージが表示されたら、新しいキットを注文してください。「**【パーツ番号】**」を確認してから、新しい ADF 保守キットを注文します。

自動文書フィーダ (ADF) の保守キットには、以下が含まれています。

- ピックアップ ローラー アセンブリ 1 個
- 仕分けパッド 1 個
- マイラー シート キット 1 個
- 手順書

キットに付属のインストール手順に従ってインストールします。

キットを交換した後で、ADF 保守キットのカウントをリセットします。

ADF 保守キットのカウントのリセット

1. コントロール パネルで **【管理】** を選択します。
2. **【リセット】** を選択します。
3. **【サプライ品のリセット】** を選択します。
4. **【ADF 保守キット】** を選択します。
5. **【はい】** を選択します。
6. **【保存】** を選択します。

スキャナの校正

スキャナを校正して、ADF とスキャン機能のスキャナのイメージ システム (キャリッジ ヘッド) で、オフセットを補正します。機械的な許容範囲なので、スキャナのキャリッジ ヘッドでイメージの位置を適切に読み取ることができないことがあります。校正手順の間に、スキャナのオフセット値が計算され、保存されます。スキャンを実行するときにオフセット値を使用することで、文書の正しい範囲がスキャンされます。

スキャナの校正は、スキャンしたイメージにオフセットの問題が発生した場合にのみ実行します。スキャナは工場から出荷する前に校正されています。再校正が必要な場合はまれです。

スキャナを校正する前に、校正対象を印刷します。

1. トレイ 1 にレター サイズまたは A4 サイズの用紙を置き、サイド ガイドを調節します。
2. コントロール パネルのホーム画面で **[管理]** を選択します。
3. **[トラブルシューティング]** を選択します。
4. **[スキャナの校正]** を選択します。
5. **[校正]** を選択して、校正対象の最初のスキャンを印刷します。
6. 校正対象の最初のスキャンを裏向きにしてトレイ 1 にセットし、矢印が MFP の中を向くようにします。
7. **[スタート]** を選択して、2 回目のスキャンを印刷します。最終的に、校正対象が次の図のようになるようにしてください。



注意 校正対象がこの図のようにならない場合、校正処理が失敗し、スキャン品質の低下を招きます。黒い領域がページの短辺まで完全に達している必要があります。黒い領域が端まで達していない場合には、黒マーカーを使用して黒い領域を広げてください。用紙が適切にセットされていることを確認します。

8. 校正対象を表向きにして ADF にセットし、サイド ガイドを調節します。
9. 校正対象を ADF に 1 回通した後で、裏向きにして ADF にセットし、**[スタート]** を選択します。
10. 校正対象を裏向きにしてスキャナのガラス面に置き、**[スタート]** を選択してページをスキャンします。このスキャン後、校正が完了します。

16 問題の解決

- [一般的な問題の解決](#)
- [MFP の問題の特定](#)
- [コントロールパネルのメッセージのタイプ](#)
- [コントロールパネルのメッセージ](#)
- [紙詰まり](#)
- [メディアの取り扱いに関する問題](#)
- [3ピンメールボックスとステイプラ/スタッカのアクセサリランプについて](#)
- [フォーマッタのランプについて](#)
- [印刷品質とコピー品質に関する問題の解消](#)
- [ファックスの問題の対策](#)
- [電子メールの問題の対策](#)
- [排紙アクセサリに関するトラブルの解決](#)
- [ネットワーク接続に関するトラブルの解決](#)
- [Macintosh に関する一般的なトラブルの解決](#)

一般的な問題の解決

MFP が正しく応答していない場合は、次のチェックリストに示す手順を順番に実行してください。チェックリスト内の項目に MFP が合格しない場合は、その項目に対応するトラブルシューティングのアドバイスに従ってください。特定の手順を終了したところで問題が解決された場合は、チェックリストの後続の手順を実行する必要はなく、そこで作業を終了できます。

トラブルシューティングのチェックリスト

1. MFP の印刷可ランプが点灯していることを確認します。ランプが点灯していない場合は、次の手順を実行します。
 - a. 電源ケーブルの接続を確認します。
 - b. 電源スイッチがオンになっていることを確認します。
 - c. MFP を壁面または延長コードの別のコンセントに直接差し込んで、電源コンセントを確認します。
 - d. いずれの方法でも電源が回復しない場合は HP カスタマ ケアまでご連絡ください。
2. ケーブル接続を確認します。
 - a. MFP とコンピュータまたはネットワーク ポートとの間のケーブル接続を調べて、しっかり接続されていることを確認します。
 - b. 可能な場合は別のケーブルを使用して、ケーブル自体に不具合がないかどうかを確認します。
 - c. ネットワーク接続を確認します。「[ネットワーク接続に関するトラブルの解決](#)」を参照してください。
3. 使用している印刷メディアが仕様を満たしていることを確認します。
4. 設定ページを印刷します（「[情報ページ](#)」を参照してください。MFP がネットワークに接続されている場合、HP Jetdirect ページも印刷されます。）
 - a. 設定ページが印刷されない場合は、印刷メディアがセットされているトレイが少なくとも 1 つあることを確認します。
 - b. MFP に紙詰まりがある場合は、「[紙詰まり](#)」を参照してください。
5. 設定ページが印刷された場合は、次の項目を確認します。
 - a. 設定ページが正しく印刷される場合、MFP ハードウェアは正しく動作しています。問題は、ご使用のコンピュータ、プリンタ ドライバ、またはプログラムにあります。
 - b. ページが正しく印刷されないのであれば、MFP ハードウェアに問題があります。HP カスタマ ケアにご連絡ください。
6. 次のオプションのいずれかを選択します。

Windows の場合： [スタート] をクリックし、[設定] をポイントして、[プリンタ] または [プリンタと FAX] をクリックします。[HP Color LaserJet CM4730 MFP] をダブルクリックします。

または

Mac OS X の場合： [プリント センター] (Mac OS X v. 10.3 の場合は [プリンタ設定ユーティリティ]) を開き、[HP Color LaserJet CM4730 MFP] と表示されている行をダブルクリックします。

7. HP Color LaserJet CM4730 MFP シリーズ プリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。HP Color LaserJet CM4730 MFP シリーズ プリンタ ドライバが使用されていることを確認します。
8. 過去に正しく機能していた別のプログラムを使用して、簡単なドキュメントを印刷します。これで問題が解決される場合は、問題をご使用のプログラムにあります。これで問題が解決されない(ドキュメントが印刷されない)場合は、次の手順を実行してください。
 - a. MFP ソフトウェアがインストールされている別のコンピュータからジョブの印刷を試みます。
 - b. MFP をネットワークに接続してある場合は、パラレル ケーブルを使用して MFP をコンピュータに直接接続します。MFP を正しいポートにリダイレクトするか、ソフトウェアを再インストールして新しい接続タイプを選択します。
9. 問題がまだ解決されない場合は、「[MFP の問題の特定](#)」を参照してください。

MFP の問題の特定

状況/メッセージ	解決策
コントロールパネル ディスプレイに何も表示されず、内部ファンが稼動していません。	MFP の電源が入っていることを確認します。すべてのキーを押して、詰まりがないことを確認します。問題が解消されない場合は、正規の HP サービス担当者に連絡してください。
MFP の電源が入っていますが、内部ファンが稼動していません。	電源電圧が MFP の電源設定に適合していることを確認します (電圧要件については、MFP の上部カバーの内側にあるラベルを参照してください)。電源ストリップを使用しており、電源ストリップの電圧が仕様に適合していない場合は、MFP を電源コンセントに直接差し込みます。
MFP の電圧が正しくありません。	電源電圧が正しい範囲にあることを確認します (電圧要件については、MFP の上部カバーの内側にあるラベルを参照してください)。
コントロールパネル ディスプレイにメッセージが表示されません。	「 電氣的仕様 」を参照してください。
MFP で紙詰まりが発生しています。	紙詰まりがないかどうかを確認します。詳細については、「 紙詰まり 」を参照してください。
コントロールパネル ディスプレイに間違えた言語や見慣れない文字が表示されます。	コントロールパネル ディスプレイの言語を再設定します。 <ol style="list-style-type: none">1. MFP の電源を切って入れ直します。2. コントロールパネル ディスプレイに「[XXX MB]」と表示された場合は、3 つの LED が一度点滅した後、点灯状態になるまで、[6] を押し続けます。(これには最大 20 秒かかる場合があります)。3. [6] を離してから、[6] をもう一度押します。4. MFP の初期化シーケンスが終わるまで待ちます。初期化が完了すると、コントロールパネル ディスプレイに「言語を選択」メニューが表示されます。スクロールして、適切な言語をタッチしてください。
デジタル送信ジョブの最中にエラーが発生し、ジョブが失敗しました。	デジタル送信ジョブの実行中に MFP でエラーが発生しました。SMTP サーバーの状態を管理者に確認してもらう必要があります。「 電子メールの問題の対策 」を参照してください。
添付ファイルが大きすぎるので、電子メール ゲートウェイがジョブを受け入れられませんでした。	電子メールの添付ファイルの最大サイズを設定して、添付ファイルのサイズを削減します。内蔵 Web サーバーの「 Digital Sending 」タブで、添付ファイルの最大サイズを設定します。「 内蔵 Web サーバ 」を参照してください。 別のファイル形式を使用するか、ドキュメントを一度に数ページずつ送信してみます。
デジタル送信を行うにはネットワーク接続が必要です。	MFP がネットワーク接続を検出できません。MFP がネットワークに接続されているかどうかを管理者に確認してもらう必要があります。「 ネットワーク接続に関するトラブルの解決 」を参照してください。

コントロールパネルのメッセージのタイプ

コントロールパネルに表示される4種類のメッセージによって、デバイスのステータスや問題が示されます。

メッセージの種類	説明
ステータス メッセージ	ステータス メッセージはデバイスの現在のステータスを表します。デバイスが正常に動作していて、メッセージをクリアする操作が必要ないことを示しています。デバイスの状態が変化すると、メッセージも変化します。デバイスの準備が整い、ビジー状態でなく、保留中の警告メッセージがない場合、デバイスがオンラインのときには常にステータス メッセージ [印刷可] が表示されます。
警告メッセージ	警告メッセージはデータ エラーと印刷エラーを示します。これらのメッセージは通常、 [印刷可] またはステータス メッセージと交互に表示され、 [OK] を選択するまで表示されたままになります。一部の警告メッセージはクリアすることができます。 [クリア可能な警告] が [ジョブ] に設定されている (デバイスの [デバイス動作] メニュー) 場合は、次の印刷ジョブによってメッセージがクリアされます。
エラー メッセージ	エラー メッセージは、用紙の補給や紙詰まりの解消など、何らかの処置が必要なことを通知します。 一部のエラー メッセージの場合は自動続行可能です。メニューで [自動継続] が設定されている場合は、自動継続のエラー メッセージが 10 秒間に表示された後で、プリンタが通常の動作を続行します。
	 注記 自動継続可能なエラー メッセージが 10 秒間表示されている間にいずれかのボタンを押すと、自動継続機能は無効になり、押したボタンの機能が優先されます。たとえば、 [停止] ボタンを押すと印刷が停止し、ジョブをキャンセルするためのオプションが表示されます。
重大なエラー メッセージ	重大なエラー メッセージはデバイスのエラーを示します。一部の重大なエラー メッセージは、デバイスの電源を切って再度電源を入れることでクリアできます。これらのメッセージには、 [自動継続] 設定は影響しません。重大なエラーが解決しない場合は、修理が必要です。

コントロールパネルのメッセージ

表 16-1 コントロールパネルのメッセージ

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[<IP アドレス< のデジタル送信サービスはこの MFP に使用できません。管理者に連絡してください。]	MFP が指定された IP アドレスと通信できません。	IP アドレスを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[<カラー> のカートリッジが間違っています]	プリント カートリッジが、不適切なカラー スロットに装着されています。	すべてのカラー カートリッジが適切なスロットに装着されていることを確認します。
[<カラー> のカートリッジを交換してください]	検出されたプリント カートリッジが寿命に達しました。印刷は続行できます。	指定されたカラー カートリッジを交換します。
[<カラー> のカートリッジを取り付けてください]	プリント カートリッジが取り外されたか、正しく取り付けられていません。	プリント カートリッジを交換するか正しく取り付け、印刷を続行してください。
[<カラー> のカートリッジを注文してください]	検出されたプリント カートリッジの耐用寿命が近づいています。表示されている予想された残りページ数までは印刷の続行が可能です。予想残りページ数は、この MFP のページ範囲履歴に基づいて計算されます。 サプライ品の交換が必要になるまで印刷は続行されます。	新しいプリント カートリッジを注文してください。
[<カラー> のモーターを回転中]	コンポーネント テストが実行されています。選択されたコンポーネントは <カラー> カートリッジ モーターです。	このテストを停止する準備が整ったら、 [停止] を押します。
[10.32.00 純正品でないサプライ品]	純正品ではないプリント カートリッジが装着されています。	<ol style="list-style-type: none"> HP 純正のサプライ品を装着してください。 純正のカートリッジをセットしたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[10.XX.YY サプライ品のメモリ エラー]	MFP が少なくとも 1 つのプリント カートリッジの e-ラベルを読み取りまたは書き込みできませんでした。または、プリント カートリッジに e-ラベルが見つかりません。	プリント カートリッジを再度取り付けるか、新しい HP 製プリント カートリッジを取り付けてください。
[11.XX 内部クロック エラー。続けるには [OK] を押してください。]	MFP のリアルタイムクロックにエラーが発生しました。	<p>MFP の電源を切って再度投入した場合は、常にコントロールパネルで日付と時刻を設定してください。「コントロールパネルの使用」を参照してください。</p> <p>それでもエラーが解決しない場合は、フォーマットの交換が必要な場合があります。</p>
[13.01.00 トレイ 1 の紙詰まり]	トレイ 1 で紙詰まりが起きています。	<ol style="list-style-type: none"> 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。

表 16-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[13.01.11 右下ドア内部での紙詰まり]	右下ドア内部で紙詰まりが起きているか、用紙トレイから正しく給紙されませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[13.02.00 右側ドア内部での紙詰まり]	右のドアで紙詰まりが起きているます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[13.05.00 右側ドア内部での紙詰まり]	右のドアで紙詰まりが起きているます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[13.06.00 右上ドア内部での紙詰まり]	右のドアで紙詰まりが起きているます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[13.09.00 正面ドア (小) での紙詰まり]	排紙アクセサリブリッジの小さい方のドアで紙詰まりが起きているます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[13.11.00 右上ドア内部での紙詰まり]	排紙アクセサリブリッジの小さい方のドアで紙詰まりが起きているます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[13.12.XX 左アクセサリでの紙詰まり]	<p>排紙アクセサリ (ステイブラ/スタッカまたは3ピンメールボックス) で紙詰まりが起きているます。</p> <p>該当すると思われる箇所は次のとおりです。</p> <p>13.12.07</p> <p>13.12.08</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。

表 16-1 コントロールパネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
	13.12.09	
	13.12.10	
	13.12.11	
[13.13.00 右側ドア内部での紙詰まり]	MFP の右側で紙詰まりが起きています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[13.20.00 トレイ X の紙詰まり]	表示された用紙トレイで紙詰まりが起きています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[13.20.00 右側ドア内部での紙詰まり]	MFP の右側で紙詰まりが起きています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[13.21.00 トレイ X の紙詰まり]	右上のドアまたはフューザユニット内で紙詰まりが起きています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[13.30.00 トレイ 1 の下の引き出し内部での紙詰まり]	右下のドア内で紙詰まりが起きています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[13.31.00 右上ドア内部での紙詰まり]	右上のドアまたはフューザユニット内で紙詰まりが起きています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。

表 16-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[13.XX.YY ステイブラの針詰まり]	ステイブラで針詰まりが起きています。ステイブラ/スタッカに詰まった針がないかどうか確認します。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[13.XX.YY 外部排紙デバイスの紙詰まり]	ステイブラ/スタッカ内でメディアが詰まっています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[13.XX.YY 排紙アクセサリブリッジ内部での紙詰まり]	排紙アクセサリブリッジで紙詰まりが起きています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[13.XX.YY 排紙デバイスでの紙詰まり]	外付け用紙処理デバイスで紙詰まりが起きています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[13.XX.YY 排紙ピンの紙詰まり]	排紙領域で紙詰まりが起きています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に表示される手順に従い、詰まったメディアを取り除きます。 2. 用紙をすべて取り除いたにもかかわらず、同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[20 メモリ不足。続けるには [OK] を押してください。]	MFP が使用可能なメモリ容量を超えるデータを受信しました。転送しようとしたマクロ、ソフトフォント、または複雑なグラフィックスが多すぎた可能性があります。	[OK] を選択して転送したデータを印刷してください (一部のデータが失われる可能性があります)。その後、印刷ジョブを単純にするか、メモリを増設してください。
[21 ページが複雑すぎます。続けるには [OK] を押してください。]	ページのフォーマットプロセスが MFP に十分な速度ではありません。	[OK] を選択して転送したデータを印刷してください (一部のデータが失われる可能性があります)。このメッセージが頻繁に表示される場合は、印刷ジョブを単純にしてください。
[22 EIO X パッファ オーバーフロー。続けるには [OK] を押してください。]	指定されたスロット (x) の EIO カードに転送されたデータが多すぎます。誤った通信プロトコルを使用している可能性があります。	[OK] を選択して転送したデータを印刷してください (一部のデータが失われる可能性があります)。 ホストの設定を確認してください。メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照)

表 16-1 コントロールパネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		るか、 http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください。
[22 内蔵 I/O バッファ オーバーフロー。続けるには [OK] を押してください。]	埋め込み HPJetdirect プリント サーバーに送信されたデータが多すぎます。	[OK] を選択して転送したデータを印刷してください (一部のデータが失われる可能性があります)。
[30.1.YY スキャナ故障]	スキャナにエラーが発生しました。	スキャナのロックを確認してください。MFP の電源をオフにしてから、オンにします。 メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。
[40 EIO X 伝送不良。続けるには [OK] を押してください。]	MFP と 指定されたスロット内の EIO カードとの接続が切断されています。	[OK] を選択してエラー メッセージをクリアし、印刷を続行してください。
[40 シリアル通信不良。続けるには [OK] を押してください。]	データをコンピュータで送信する際に、シリアル データのエラー (パリティ、フレーミング、またはライン オーバーラン) が発生しました。	[OK] を選択してエラー メッセージをクリアしてください (データは失われます)。
[40 内蔵 I/O 伝送不良。続けるには [OK] を押してください。]	一時的な印刷エラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。
[41.3 トレイ XX <タイプ> <サイズ> のセット]	これは通常、MFP 内で複数枚のメディアが張り付いている場合や、トレイが正しく調整されていない場合に発生します。	正しいサイズのメディアをトレイにセットしてください。印刷ジョブに必要なサイズを含むトレイを使用するように、トレイのサイズを設定しなおしてください。画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。
[41.3 トレイ XX <タイプ> <サイズ> のセット。他のトレイを使用するには [OK] を押してください。]	指定されたトレイに、トレイに適合する長さより給紙方向に長いまたは短いメディアがセットされています。	[OK] を選択して別のトレイを使用してください。印刷ジョブに必要なサイズのメディアがセットされたトレイを使用するように、トレイのサイズを設定しなおしてください。コントロールパネルのディスプレイでメッセージが自動的にクリアされない場合は、MFP の電源を切って、再度電源を入れてください。
[41.X エラー。続けるには [OK] を押してください。]	一時的な印刷エラーが発生しました。	[OK] を選択してエラー メッセージをクリアしてくださいエラーがクリアされない場合は、MFP の電源を切って、再度電源を入れてください。 メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。
[49.XXXXX エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します]	重大なファームウェア エラーが発生しました。	サードパーティ製の装置を取り外してください。MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせ

表 16-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		<p>合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。</p>
[50.X フューザ エラー]	フューザー エラーが発生しました。	<p>正しいフューザーを使用していることを確認してください。フューザーを再度取り付けてください。MFP の電源を切って、再度電源を入れます。</p> <p>メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。</p>
[51.XY エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します]	一時的な印刷エラーが発生しました。	<p>MFP の電源を切って、再度電源を入れます。</p> <p>メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。</p>
[52.XY エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します]	一時的な印刷エラーが発生しました。	<p>MFP の電源を切って、再度電源を入れます。</p> <p>メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。</p>
[53.10.OX サポート外の DIMM]	サポート外の DIMM が装着されています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切って、エラーの原因となった DIMM を交換してください。 2. メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。
[55.XX.YY DC コントローラ エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します]	プリント エンジンがフォーマッタと通信していません。	<p>MFP の電源を切って、再度電源を入れます。</p> <p>メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。</p>
[56.X エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します]	一時的な印刷エラーが発生しました。	<p>MFP の電源を切って、再度電源を入れます。</p> <p>メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。</p>
[57.XX エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します]	一時的な印刷エラーが発生しました。	<p>MFP の電源を切って、再度電源を入れます。</p> <p>メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。</p>

表 16-1 コントロールパネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[58.XX エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します]	一時的な印刷エラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。
[59.XY エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します]	一時的な印刷エラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。
[60.X エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します]	[X] で指定されたトレイが正しく上げられていません。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。
[62 システムなし 継続するには電源をいったん切り入れ直します]	MFP のファームウェアに問題があります。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。
[64 エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します]	スキャンバッファ エラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。
[66.12.34 排紙アクセサリの故障]	排紙アクセサリが正常に動作していません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切ります。 2. すべての外付け用紙処理デバイスがしっかりと接続されていることを確認します。 3. デバイスにケーブルが使用されている場合は、ケーブルを取り外して再度接続してください。 4. MFP の電源を入れます。エラーが再び表示される場合は、メッセージを書き留めて、HP サポートに連絡してください。
[66.XY.ZZ 排紙デバイスの故障]	外部の用紙処理アクセサリにエラーが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFP の電源を切ります。 2. アクセサリが正しく取り付けられ、MFP に接続され、MFP とアクセサリとの間に隙間がないことを確認してください。アクセサリがケーブルを使用している場合は、ケーブルを取り外して再度接続してください。 3. 排紙装置内や排紙装置の周りに梱包材が残っていないことを確認してください。

表 16-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[68.X 永久記憶装置一杯です。続けるには [OK] を押してください。]	MFP NVRAM がいっぱいです。NVRAM に保存される一部の設定が工場出荷時の設定にリセットされる場合があります。印刷を続行できますが、永久記憶装置にエラーが発生すると一部の予期しない機能が実行されることがあります。	<p>4. MFP の電源を入れます。</p> <p>5. メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。</p>
[68.X 永久記憶装置の書き込みに失敗。続けるには [OK] を押してください。]	MFP NVRAM の書き込みが失敗しました。印刷を続行できますが、永久記憶装置にエラーが発生すると一部の予期しない機能が実行されることがあります。	<p>[OK] を選択してメッセージをクリアしてください。メッセージがクリアされない場合は、MFP の電源を切って、再度電源を入れてください。</p> <p>メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。</p>
[68.X 記憶装置エラー。設定が変更されました。続けるには [OK] を押してください。]	MFP のいくつかの設定が無効なため、工場出荷時の設定にリセットされました。印刷を続行できますが、永久記憶装置にエラーが発生すると一部の予期しない機能が実行されることがあります。	<p>[OK] を選択してメッセージをクリアしてください。メッセージがクリアされない場合は、MFP の電源を切って、再度電源を入れてください。</p> <p>メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。</p>
[69.X エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します]	一時的な印刷エラーが発生しました。	<p>MFP の電源を切って、再度電源を入れます。</p> <p>メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。</p>
[79 エラー 継続するには電源をいったん切り入れ直します]	重大なハードウェア エラーが発生しました。	<p>MFP の電源を切って、再度電源を入れます。</p> <p>メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。</p>

表 16-1 コントロールパネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[8X.YYYY EIO エラー]	EIO アクセサリ カードに [YYYY] に示す重大なエラーが発生しました。	次の操作を試して、メッセージをクリアしてください。 1. MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 2. MFP の電源を切って、EIO をリセットし、再度 MFP の電源を入れます。 3. EIO アクセサリを交換します。
[8X.YYYY 内蔵 JETDIRECT エラー]	埋め込み HPJetdirect プリント サーバーに、[YYYY] に示す重大なエラーが発生しました。	MFP の電源を切って、再度電源を入れます。 メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポートパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。
[CMYK サンプルを印刷中]	CMYK サンプル ページが生成されていません。サンプル ページの印刷が完了すると、印刷可能状態に戻ります。	特に必要な操作はありません。
[DIMM <X> を交換してください。メモリ テストエラー]	表示されている DIMM は正しく動作していません。交換が必要です。	DIMM を交換してください。
[HP デジタル送信 : 送信エラー]	デジタル送信ジョブが失敗したため、送信できません。	ジョブを再送信してみてください。
[HP 製ではないサプライ品が取り付けられています]	詰め替え用のカートリッジ (擬似的に再現されたカラー/モノクロ カートリッジ) が装着されました。以前は、すべて HP 純正のサプライ品が使用されていました。純正のサプライ品から、純正品でないカートリッジに切り替えた場合にも表示されます。	HP 純正のカートリッジを装着するか、 [OK] をタッチしてメッセージを無効にします。
[LDAP サーバーが応答していません。管理者に連絡してください。]	LDAP サーバーが要求されたアドレスのタイムアウト値を超えました。	LDAP サーバアドレスを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[Novel ログインが必要です]	この宛先に対して Novell 認証が有効化されています。	Novell ネットワークの信用証明を入力して、要求した機能にアクセスしてください。
[PIN が間違っています。PIN をもう一度入力してください。]	入力した PIN が正しくありません。	PIN を再入力してください。
[RGB サンプルを印刷中]	このメッセージは、印刷品質トラブルの解決テストの結果を生成しているときに表示されます。サンプル ページの印刷が完了すると、印刷可能状態に戻ります。	特に必要な操作はありません。
[SMTP ゲートウェイ]	SMTP ゲートウェイがタイムアウト値を超えました。	電子メール サーバアドレスを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[アクセスできません。メニューがロックされました。]	無許可のアクセスを防ぐため、使用しようとしたコントロールパネルの機能がロックされました。	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[アドレス情報が原因で、電子メール ゲートウェイがジョブを拒絶しました。ジョブが失敗しました。]	電子メール アドレスが誤っています。	正しいアドレスを使用してジョブを再送信してください。
[カラーバンドテストを実行中]	カラーバンドテストが実行されています。	特に必要な操作はありません。

表 16-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[カラー使用状況ログを印刷中]	カラー使用状況ログ ページが生成されています。サンプル ページの印刷が完了すると、印刷可能状態に戻ります。	特に必要な操作はありません。
[ガラス面に原稿がある可能性があります。原稿がある場合は、取り除いて、[スタート] を押します。]	デジタル送信またはコピー ジョブがスキャナのガラスから実行されましたが、原稿を取り除く必要があります。	スキャナのガラスから原稿を取り除いて、 [スタート] を押してください。
[このバージョンの MFP ファームウェアをサポートするには、デジタル送信サービスをアップグレードする必要があります。管理者に連絡してください。]	現在 MFP にインストールされているファームウェアのバージョンでは、デジタル送信サービスはサポートされません。	ファームウェアのバージョンを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[この機能を使用するには認証が必要です]	ユーザー名とパスワードが必要です。	ユーザー名とパスワードを入力するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[コピーできません]	MFP で文書をコピーできません。メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポート パンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。	一時的にこのメッセージを非表示にして、ファックスを送信するか電子メールへ送信するには、 [無視] を選択してください。
[サプライ品が不適切です]	プリント カートリッジが、不適切なカラー スロットに装着されています。	すべてのカラー カートリッジが適切なスロットに装着されていることを確認します。
[サプライ品の交換]	デバイスが空で停止するように設定されているときに、複数のプリント カートリッジが空になった場合、このメッセージが表示されます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 空のカートリッジを交換します。 2. 同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[サプライ品の注文]	交換の必要なサプライ品が少なくとも 1 つあります。	<ol style="list-style-type: none"> 1. サプライ品を交換します。
[サプライ品を取り付けてください]	未装着である、不適切に装着されている、切れている、または消耗しているサプライ品が少なくとも 1 つあります。	サプライ品を装着するか、サプライ品が確実に装着されていることを確認してください。
[サプライ品交換 - [空を無視] を使用中]	MFP は、プリント カートリッジが寿命に達した場合でも印刷を続行するように設定されています。	コントロール パネルのホーム画面で [サプライ品のステータス] をタッチし、 [サプライ品] タブをタッチすると、消耗しているサプライ品を確認できます。必要なプリント カートリッジを交換します。
[サプライ品交換 - 黒を使用中]	カラー サプライ (サプライ品) が空になったため、 [カラー サプライ品がなくなりました] メニュー項目が [黒で自動継続] に設定されました。	印刷を続行するためのユーザー入力は不要です。印刷は黒で続行されます。
[ジョブを送信できません]		一時的にこのメッセージを非表示にして、ファックスを送信するか電子メールへ送信するには、 [無視] を選択してください。メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP サポート パンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp にアクセスしてください)。
[スキャン障害。'スタート' を押して再スキャンします]	スキャンが失敗したため、文書を再度スキャンする必要があります。	必要ならば、再スキャンするために文書の位置を変えてから、 [スタート] を押してください。

表 16-1 コントロールパネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[ステイブル カートリッジを交換してください]	ステイプラにステイプルがありません。	ステイブル カートリッジを交換してください。
[ステイブル カートリッジを注文してください]	ステイブル カートリッジの交換が必要です。	1. ステイブル カートリッジを交換してください。
[すべてのプリント カートリッジを取り外してください]	MFPによりコンポーネントテストが実行されています。選択されたコンポーネントは「ベルトのみ」です。	すべてのプリント カートリッジを取り外してください。
[ディスク フォーマット <X>% 完了。電源を切らないでください]	ハードディスクをクリーニング中です。	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[デジタル送信エラー]	デジタル送信タスク中にエラーが発生しました。	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[デジタル送信サーバーが応答しません。管理者に連絡してください。]	MFP がサーバーと通信できません。	ネットワークの接続を確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[デジタル送信にはネットワーク接続が必要です。管理者に連絡してください。]	デジタル送信機能が設定されていますが、ネットワーク接続を検出できません。	ネットワークの接続を確認してください。「 ネットワーク印刷に関するトラブルの解決 」を参照してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[デジタル送信実行エラー。ジョブが失敗しました。]	デジタル送信ジョブが失敗したため、配信できません。	ジョブを再送信してみてください。
[デバイスの電源を切って、ハードディスクを取り付けてください。]	要求されたジョブにはハードディスクが必要ですが、MFP にハードディスクが取り付けられていません。	MFP の電源を切って、ハードディスクを取り付けてください。
[デモ ページを印刷中]	このメッセージは、デモ ページの生成中に表示されます。サンプル ページの印刷が完了すると、印刷可能状態に戻ります。	特に必要な操作はありません。
[トランスファー キットを交換してください]	トランスファー ユニットの寿命に達しています。印刷は続行できますが、印刷品質が低下する可能性があります。	トランスファー キットを交換してください。 1. 右側のカバーを開きます。 2. 上部の緑のハンドルを下に動かして、トランスファー ユニットを下げます。 3. トランスファー ユニットの下部のいずれかの側にある小さな青いラッチを押し下げて、ユニットを MFP の外に持ち上げます。 4. 新しいトランスファー ユニットを取り付けます。 5. 右側のカバーを閉じます。
[トランスファー キットを注文してください]	トランスファー キットの寿命が近づいています。印刷は続行できます。	新しいトランスファー キットを注文してください。
[トレイ <XX> の用紙タイプが合っていない]	指定されたトレイには設定されたタイプと一致するタイプの用紙がありません。	指定されたトレイは、この状況が解消されるまで使用されません。印刷は、他のトレイを使って続行できます。
[トレイ 1 の下の引き出しを閉じます]	トレイ 1 の下の引き出しが開いています。	1. トレイ 1 の下の引き出しを閉じます。 2. 同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。

表 16-1 コントロールパネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[トレイ 1 をセットします <type> <size>]	トレイが空です。または、要求したサイズと異なるサイズ用に設定されています。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。
[トレイ XX の用紙サイズが合っていない]	表示されているトレイのメディアが、そのトレイに指定されているサイズと一致しません。	<ol style="list-style-type: none"> 適切なメディアをセットしてください。 同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[トレイ XX を挿入するか閉じます]	指定されたトレイがないか、開いていません。	指定されたトレイを挿入するか閉じて、続行してください。
[トレイ X は現在操作できません。トレイ サイズに任意サイズ/任意カスタムは使用できません。]	[任意のサイズ] または [任意カスタム] に設定されたトレイから両面 (2 面) の文書が要求されました。[任意のサイズ] または [任意カスタム] に設定されたトレイでは、両面は許可されません。	別のトレイを選択するか、トレイの設定を変更してください。
[パスワードまたは名前が正しくありません。正しいログインを入力してください。]	入力したユーザー名またはパスワードが正しくありません。	ユーザー名とパスワードを再入力してください。
[ファックスを送信できません。ファックスの設定を確認してください。]	MFP でファックスを送信できません。	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[フォルダ リストが一杯です。フォルダを追加するには、先にフォルダを削除する必要があります。]	MFP では設定できるフォルダの数が制限されています。	使用していないフォルダを削除して、新しいフォルダを追加してください。
[フロント/データをロードするにはメモリが足りません。<device> 続けるには [OK] を押してください。]	MFP のメモリが足りないため、データ (フロント、マクロなど) を指定された場所からロードできません。	[OK] を選択して、続行してください。メッセージが消えない場合は、メモリを追加してください。
[フューザ キットを交換してください]	フューザの耐用寿命が近づいています。印刷は続行できます。	<p>フューザ キットを交換してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 右側のカバーを開きます。 緑のハンドルを使用して、フューザ カバーを上げます。 フューザ ユニットの紫のハンドルをつかみます。 古いフューザ ユニートを MFP から取り外します。 新しいフューザ ユニートを取り付けます。 上部カバーを閉じてください。
[フューザ キットを注文してください]	フューザの寿命が近づいています。表示されている予想された残りページ数までは印刷の続行が可能です。サプライ品の交換が必要になるまで印刷は続行されます。	新しいフューザ キットを注文してください。
[プリント カートリッジを 1 個以上取り外してください]	MFP によって無効カートリッジのチェックが実行されているか、カートリッジ モーターを対象としたコンポーネント テストが実行されています。	プリント カートリッジを 1 つ取り外します。
[ページが多すぎてステイブラが使えません]	ステイブラで留めることができる用紙は 30 枚までです。	31 ページ以上の印刷ジョブの場合は、手動でステイブラを留めてください。

表 16-1 コントロールパネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[モーター回転中 - 終了するには [停止] を押します]	MFP よりコンポーネント テストが実行されています。選択されたコンポーネントはモーターです。	このテストを停止する準備が整ったら、 [停止] を押します。
[ユーザー名またはパスワードが正しくありません。もう一度入力してください。]	入力したユーザー名またはパスワードが正しくありません。	ユーザー名とパスワードを再入力してください。
[ユーザー名、ジョブ名、または PIN が入力されていません。]	必要な項目が選択されていないか、入力されていません。	正しいユーザー名とジョブ名を選択して、正しい PIN を入力してください。
[印刷品質のトラブル解決手順を印刷中]	このメッセージは、印刷品質トラブルの解決テストの結果を生成しているときに表示されます。テストが完了すると、印刷可能状態に戻ります。	特に必要な操作はありません。
[右側のドアを閉じます]	MFP の右側のドアが開いています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ドアを閉じます。 2. 同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[校正中]	MFP によって校正処理が実行されています。	特に必要な操作はありません。
[手差し <type> <size>]	指定したジョブの場合、トレイ 1 から手差しで給紙する必要があります。	<p>要求されたメディアをトレイ 1 にセットしてください。</p> <p>メッセージを無効にする場合は、[OK] を選択して、別のトレイで使用可能なタイプとサイズのメディアを使用してください。</p>
[純正品ではないサプライ品が使用されています]	MFP に HP 製以外のサプライ品が使用されています。	HP 純正のサプライ品を購入した場合は、 http://www.hp.com/go/anticounterfeit を参照してください。HP 純正品でないカートリッジまたは純正ではないサプライ品を使用したため修理が必要になった場合、保証は適用されません。HP は、一部の機能の正常動作や有効性を保証しかねます。
[診断ページを印刷中]	このメッセージは、診断ページの生成中に表示されます。サンプルページの印刷が完了すると、印刷可能状態に戻ります。	特に必要な操作はありません。
[正面ドア (小) を閉じます]	正面ドア (小) が開いています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正面ドア (小) を閉じます。 2. 同じメッセージが表示される場合には、HP サポート (http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp) に連絡してください。
[接続できません]		一時的にこのメッセージを非表示にして、ファックスを送信するか電子メールへ送信するには、 [非表示] を選択してください。メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp をご覧ください)。
[選択したパーソナリティは使用できません。続けるには [OK] を押してください。]	コピー ジョブによって、この MFP では使用できない MFP 言語 (パーソナリティ) が要求されました。ジョブは印刷されず、メモリからクリアされます。	別の言語用のプリンタ ドライバを使用してジョブを印刷してください。または、要求された言語を MFP に追加してください (可能な場合)。使用可能なパーソナリティのリス

表 16-1 コントロール パネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		トを確認するには、構成ページを印刷してください(「 情報ページ 」を参照してください)。
[送信できません]		一時的にこのメッセージを非表示にして、ファックスを送信するか電子メールへ送信するには、 [無視] を選択してください。メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください (HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp をご覧ください)。
[添付ファイルが大きすぎるため、電子メール ゲートウェイがジョブを受け入れませんでした。]	スキャンされた文書がサーバーのサイズ制限を越えました。	解像度を低くする、ファイル サイズを小さくする、またはページ数を少なくして、ジョブをもう一度送信してください。スキャンした文書を複数の電子メールで送信可能にすることをネットワーク管理者に要請してください。
[電子メール ゲートウェイが応答しませんでした。ジョブが失敗しました。]	ゲートウェイがタイムアウト値を超えました。	SMTP IP アドレスを確認してください。
[入力したフォルダは有効なフォルダではありません。]	入力したフォルダ名が正しくないか、フォルダが存在しません。	正しいフォルダ名を入力するか、フォルダを追加してください。
[認証が必要]	この機能またはアクセス先に対しては、認証が有効化されています。ユーザー名とパスワードが必要です。	ユーザー名とパスワードを入力するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
[認証情報が間違っています。情報をもう一度入力してください。]	ユーザー名またはパスワードが誤っています。	再入力してください。
[排紙デバイスを確認してください。]	排紙装置にエラーが発生しました。	排紙装置を取り外して、再度取り付けてください。
[排紙デバイスを取り付け直してください]	排紙装置が取り外されているか、取り付けられていません。	排紙ビン、3 ビン メールボックス、またはステイブラ/スタッカが MFP に正しく取り付けられていることを確認してください。
[排紙ビン <x> が一杯です]	指定した排紙ビンが満杯で、印刷を続行できません。	ビンを空にして、印刷を続行してください。
[排紙ビンを取り付け直します]	MFP の電源投入時に標準排紙ビンが取り外されていたか、ステイブラ/スタッカまたは 3 ビン メールボックスのケーブルが MFP に接続されていませんでした。	MFP の電源を切ります。ステイブラ/スタッカまたは 3 ビン メールボックスをご使用の場合は、ケーブルが MFP に接続されていることを確認してください。排紙ビンを再度取り付けしてから、MFP の電源を入れます。排紙装置の LED を確認してください。LED が点滅しているかオレンジ色の場合は、本書の「問題の解決」を参照してください。
[排紙経路が離れています]	MFP と排紙装置間の用紙経路が開いていません。閉じてから印刷を続行してください。	<ol style="list-style-type: none"> 3 ビン メールボックスを取り付けている場合は、ジャム アクセス ドアが閉じていることを確認してください。 ステイブラ/スタッカを取り付けている場合は、ステイブル カートリッジを正しい位置に取り付けていること、およびステイブル カートリッジのドアが閉じていることを確認してください。
[文書フィーダのカバーが開いています]	文書フィーダのカバーが開いています。	文書フィーダのカバーを閉じます。画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。

表 16-1 コントロールパネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
[文書フィーダのピック エラー]	給紙の際に文書フィーダにエラーが発生しました。	文書フィーダにセットした用紙が多すぎないか確認してください。9Kg (20lb)、50 枚を超える用紙は、文書フィーダにセットしないでください。
[文書フィーダの紙詰まり]	文書フィーダにメディアが詰まっています。	<p>文書フィーダから詰まったメディアを取り除いてください。画面に表示されるダイアログ ボックスの指示に従ってください。</p> <p>詰まっているすべてのメディアを取り出したにもかかわらずメッセージが消えない場合は、センサーが故障している可能性があります。正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください。HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp をご覧ください。</p>
[文書フィーダ ビンが一杯です]	文書フィーダの排紙ピンは 50 枚までの用紙に対応します。ビンが満杯になると MFP が停止します。	文書フィーダの排紙ピンから用紙を取り除いてください。
[両面印刷ユニットの接続が不良です。続けるには、一度電源を切った後、再度電源を入れます。]	両面印刷アクセサリが MFP に正しく接続されていません。	<p>メッセージが消えない場合は、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください。HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp をご覧ください。</p>

紙詰まり

この図を使用して、プリンタの紙詰まりを解除します。紙詰まりを解除する手順については、「[紙詰まり](#)」を参照してください。



注記 MFPで紙詰まりを取り除くために開ける必要のあるすべての場所には、緑のハンドルが付いています。

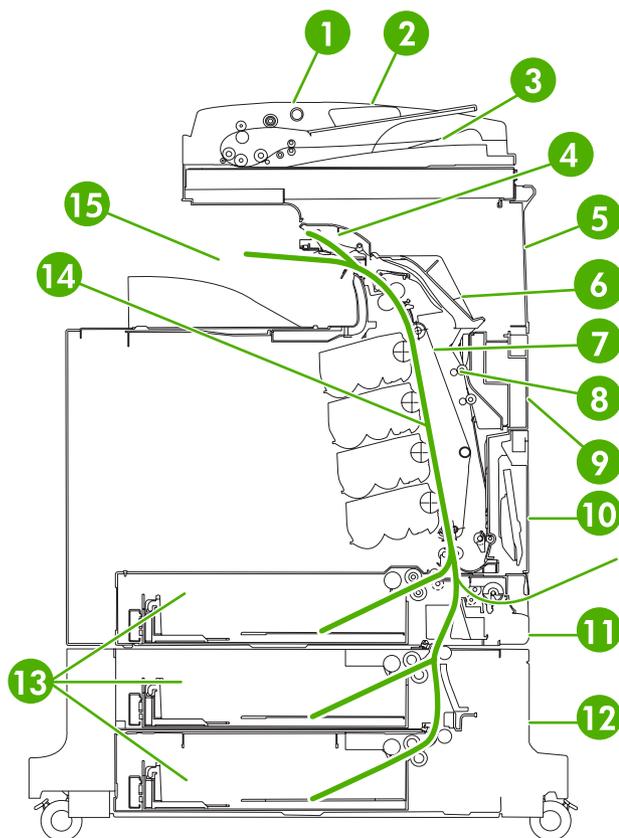


図 16-1 紙詰まりの位置

1	ADF アクセスカバー
2	ADF 給紙トレイ
3	ADF 排紙トレイ
4	両面印刷カバー
5	右上ドア
6	フューザカバー
7	トランスファーユニット
8	両面印刷の用紙経路
9	右中央ドア
10	トレイ 1 (多目的トレイ)
11	トレイ 1 の下の引き出し

12	右下ドア
13	トレイ 2、3、4
14	用紙の経路
15	排紙エリア

紙詰まりの解除

この MFP は、紙詰まりを自動的に解除する機能を備えています。詰まったページを自動的に再印刷することもできます。次のオプションを選択できます。

- **[自動]** - 詰まったページの再印刷が試みられます。
- **[オフ]** - 詰まったページの再印刷は試みられません。



注記 紙詰まりを解除する際、紙詰まりが発生する前に正しく印刷されたページが再度印刷されることがあります。重複するページがある場合はそのページを必ず除去してください。

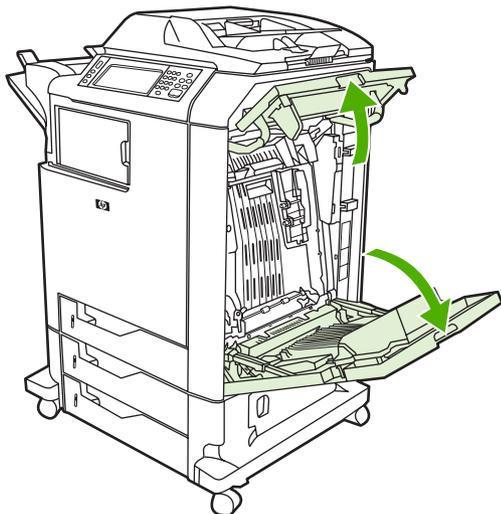
印刷速度を上げて、メモリ リソースを増やすために、紙詰まりの解除を無効にする場合があります。紙詰まりの解除を無効にした場合、紙詰まりを起こした用紙は再度印刷されません。

紙詰まり解除の無効化

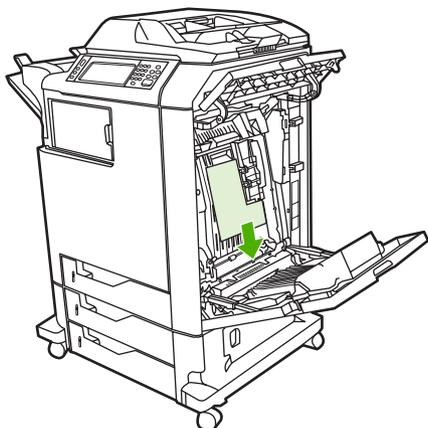
1. スクロールして **[管理]** を選択します。
2. **[デバイス動作]** を選択します。
3. **[警告/エラー動作]** を選択します。
4. **[紙詰まりの除去]** を選択します。
5. **[オフ]** を選択します。
6. **[保存]** を選択します。

紙詰まりの解決 (右側のカバー)

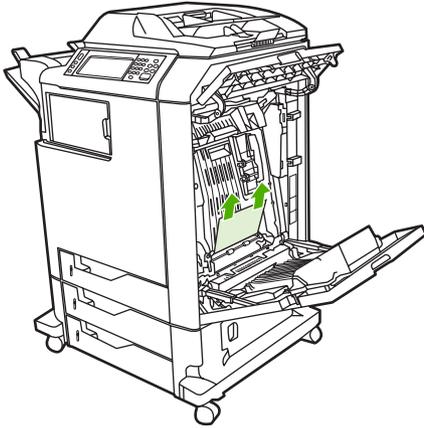
1. ハンドルを使用して、プリンタの右側にあるカバーを開けます。



2. 上部にメディアがある場合は、その両隅をつかみ、下方に引っ張ります。

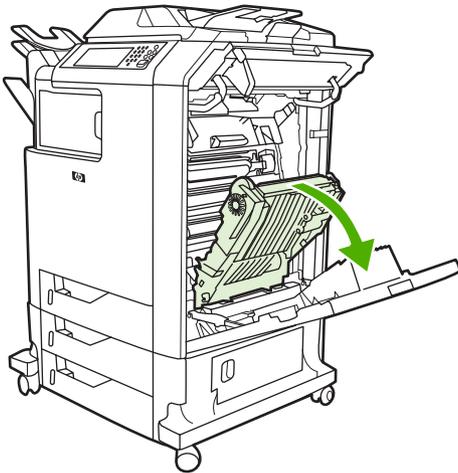


3. 下部にメディアがある場合は、その両隅をつかみ、上方に引っ張ります。

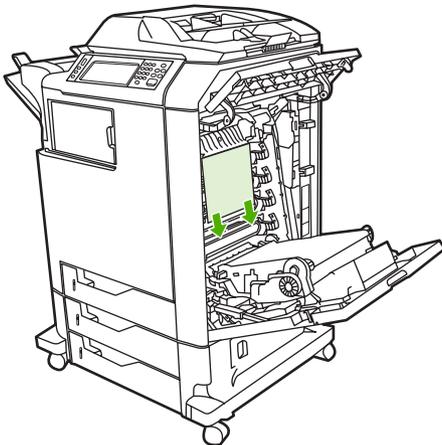


注記 これらの場所にメディアがない場合は、次の手順に進みます。

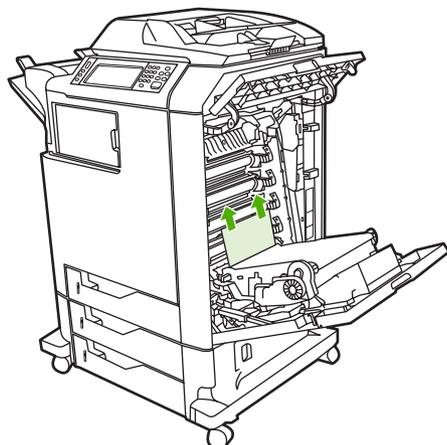
4. トランスファーユニットの緑色のハンドルをつかんで下ろし、トランスファーユニットを開けます。



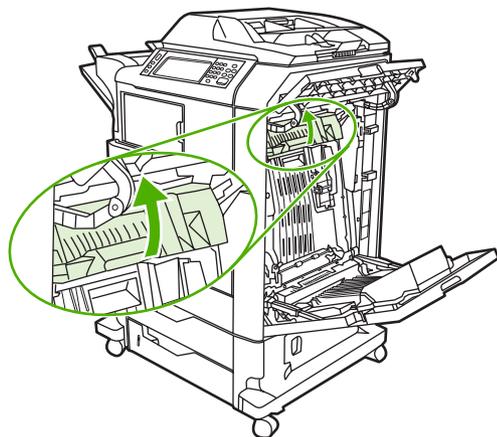
5. 上部にメディアがある場合は、その両隅をつかみ、下方に引っ張ります。



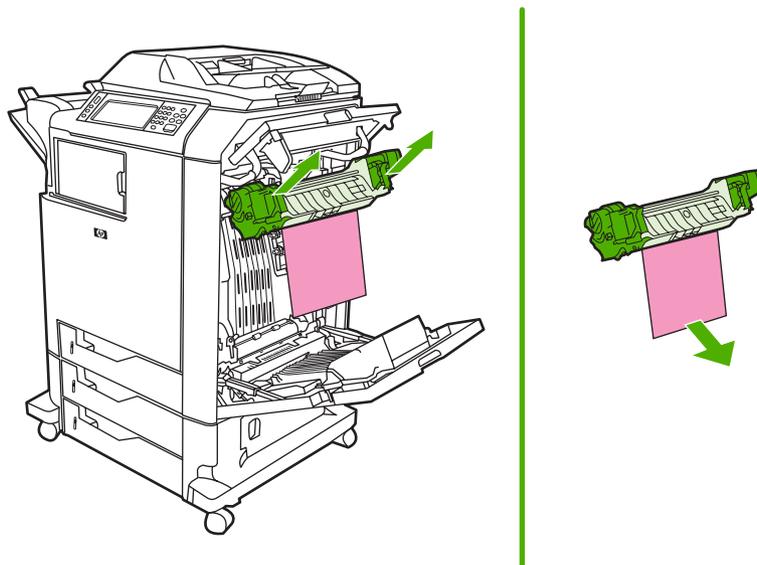
6. 下部にメディアがある場合は、その両隅をつかみ、上方に引っ張ります。



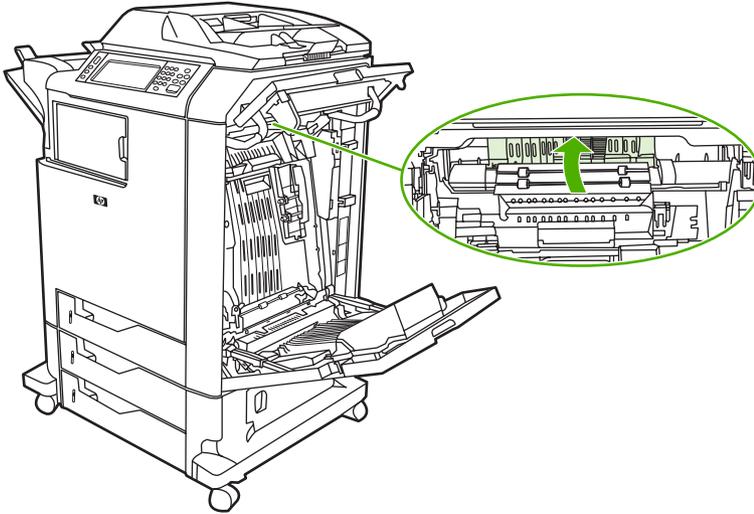
7. フューザカバーの緑色のハンドルを上げて、カバーを開けます。



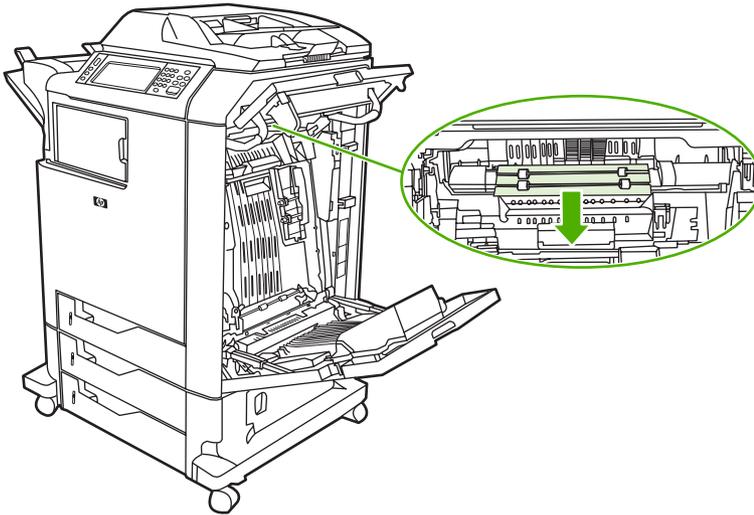
8. 紫のハンドルをつかんでフューザを引き出します。用紙を取り除きます。



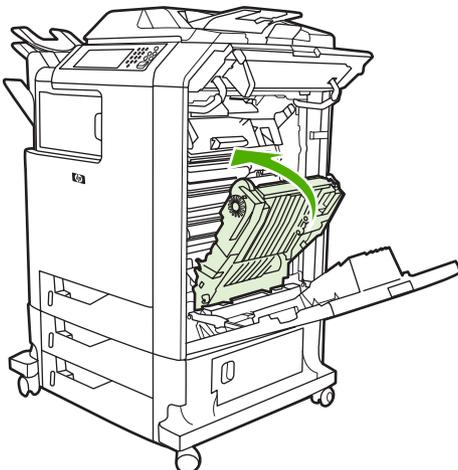
9. 両面印刷カバーの緑色のハンドルを上げて、カバーを開けます。



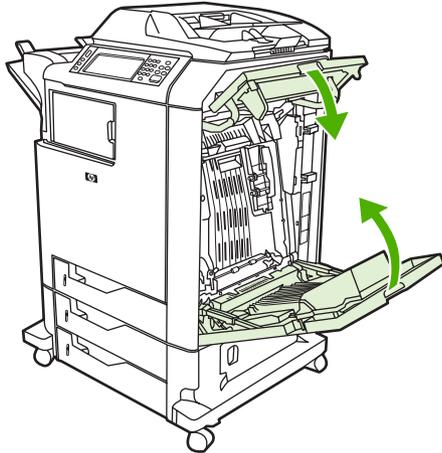
10. 詰まっている用紙をすべて取り除きます。



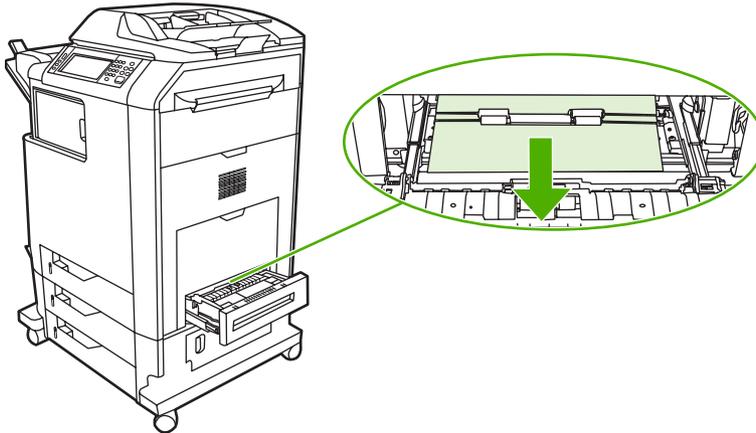
11. トランスファーユニットを閉じます。



12. プリンタの右側のカバーを開めます。

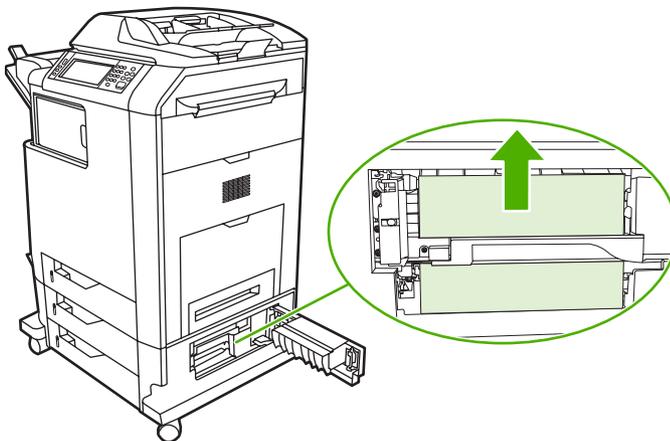


13. 紙詰まりが解消されない場合は、トレイ 1 の下の引き出しを開いて、詰まっている用紙を取り除きます。



14. 引き出しを閉めます。

15. 紙詰まりがまだ除去されない場合は、下部のアクセス ドアを開けて、詰まっている用紙をすべて取り除きます。



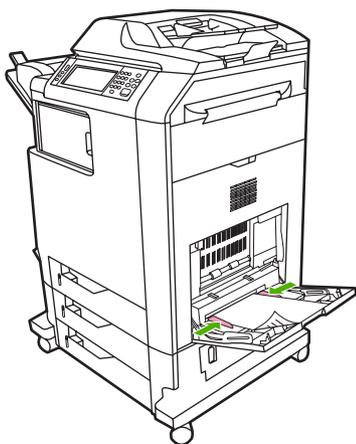
16. 下部のアクセス ドアを閉めます。紙詰まりが除去された場合は、印刷ジョブが続行されます。
17. それでも紙詰まりが解消されず、かつ、トレイ 1 から印刷しようとしている場合は、「[紙詰まりの解消 \(トレイ 2、3、4\)](#)」を参照してください。

紙詰まりの解消 (トレイ 1)



注記 プリンタを最初に取り付けたときに保護インサートが正しく排出されない場合は、次の手順に従って紙詰まりを除去します。

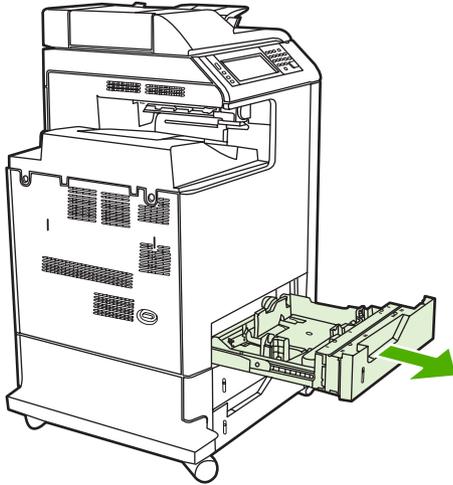
1. 「[紙詰まりの解決 \(右側のカバー\)](#)」の手順を実行します。
2. セットされているメディアを取り除きます。
3. トレイから詰まっている用紙をすべて取り除きます。
4. メディアをセットし直します。
5. メディアが正しい位置にあり、タブを越えていないことを確認します。
6. ガイドが正しい位置にあることを確認します。



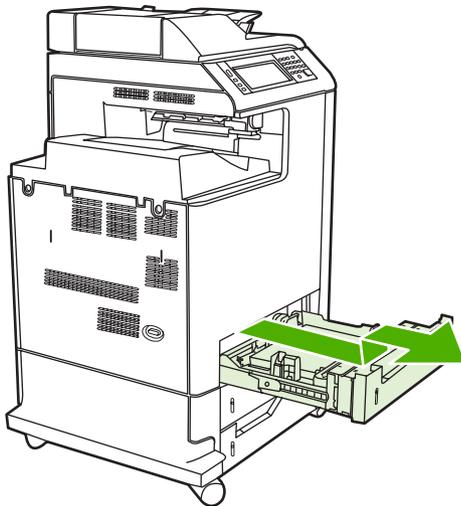
紙詰まりの解消 (トレイ 2、3、4)

1. 「[紙詰まりの解決 \(右側のカバー\)](#)」の手順を実行します。

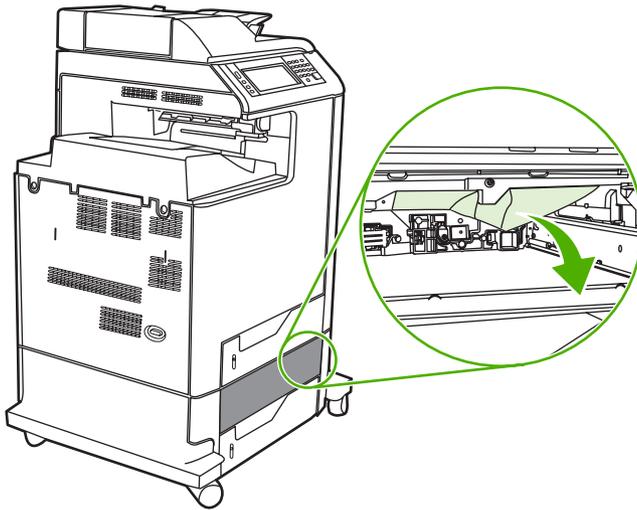
2. メッセージで特定されたトレイを引き出して、詰まっている用紙をすべて取り除きます。



3. トレイを閉めてください。紙詰まりが除去された場合は、印刷ジョブが続行されます。
4. それでも紙詰まりが解消しない場合は、トレイを持ち上げ、MFP から取り外します。トレイ 2 の取り外し方を次の図に示します。



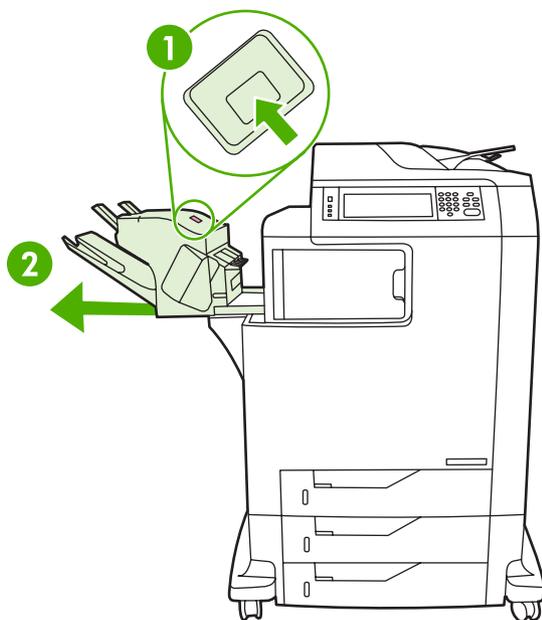
5. トレイの奥に紙詰まりがある場合は、それを取り除きます。次の図は、トレイ 2 の奥で起こった紙詰まりの例です。トレイ 3 およびトレイ 4 の紙詰まりについても、同様の手順で取り除きます。



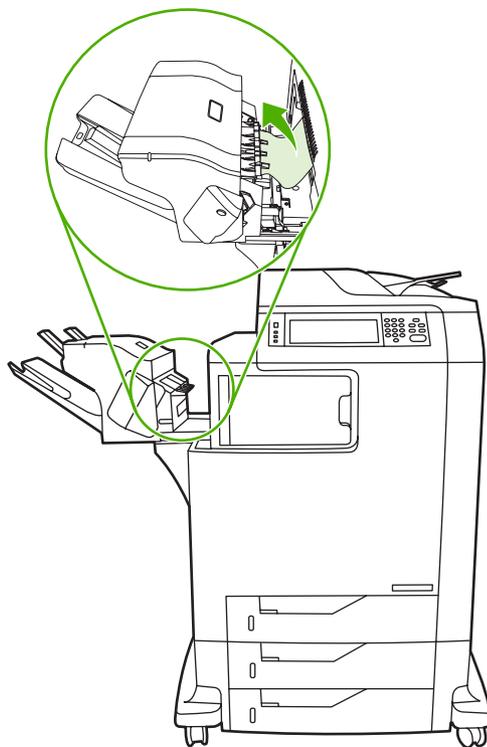
6. 用紙トレイを差し込みます。

紙詰まりの解決 (ステイプラ/スタッカ)

1. ステイプラ/スタッカ上部のリリース レバーを押します。
2. ステイプラ/スタッカを引き出します。



3. ステイプラ/スタッカと MFP の間のメディアをすべて取り除きます。



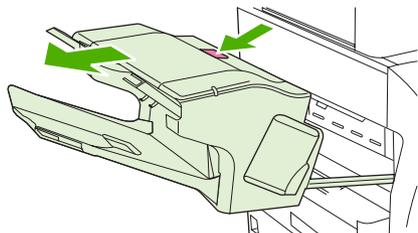
4. 紙詰まりが除去されない場合は、「[紙詰まりの解決 \(排紙アクセサリ ブリッジ\)](#)」を参照してください。

詰まったステイプルを除去するには、「[ステイプル詰まりの解消](#)」を参照してください。

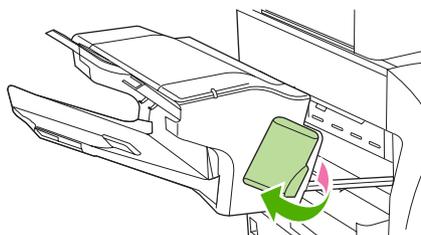
ステイプル詰まりの解消

ステイプラ/スタッカにステイプルが詰まってしまう場合もあります。印刷ジョブのステイプル留めが正しく行われていないか、まったく行われていない場合は、次の手順に従って詰まったステイプルを除去します。

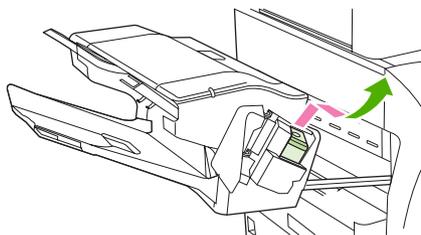
1. MFP の電源を切ります。
2. ステイプラ/スタッカ上部のリリース ボタンを押したままにします。ステイプラ/スタッカを MFP から引き離します。



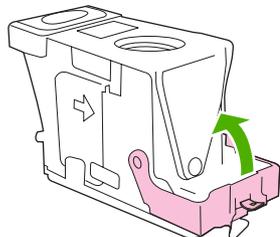
3. ステイプル カートリッジのカバーを開けます。



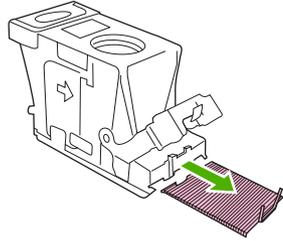
4. ステイプル カートリッジを取り外すには、緑色のハンドルを上方に引っ張って、カートリッジを引き出します。



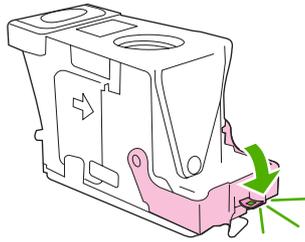
5. ステイプル カートリッジの背後にある小さなレバーを引き上げます。



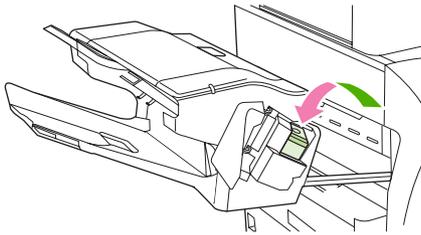
6. ステイプル カートリッジからはみ出ているステイプルを取り除きます。



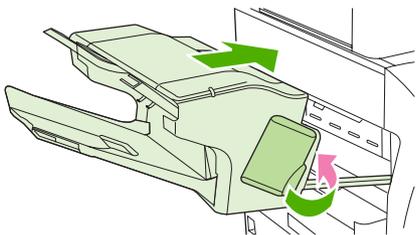
7. ステイプル カートリッジの背後にあるレバーを下げます。カチッという音がするまでレバーを下げてください。



8. ステイプル カートリッジをステイプル カートリッジ ホルダに挿入し直して、カチッという音がするまで緑色のハンドルを押し下げます。



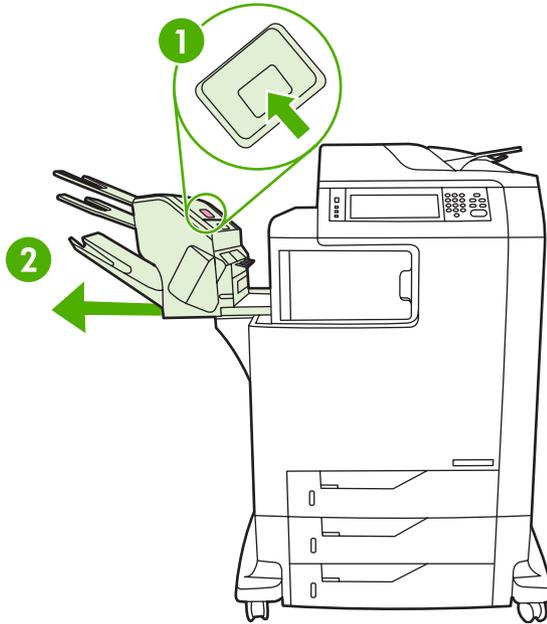
9. ステイプル カートリッジのカバーを閉めて、ステイプラ/スタッカを MFP に差し込みます。



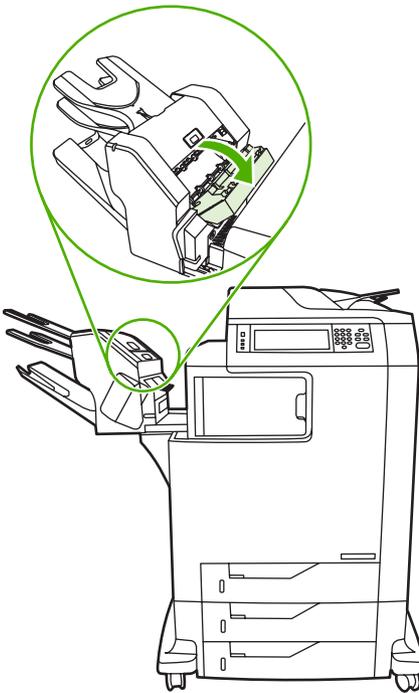
紙詰まりの解決 (3 ビン メールボックス)

1. 3 ビン メールボックス上部のリリース ボタンを押します。

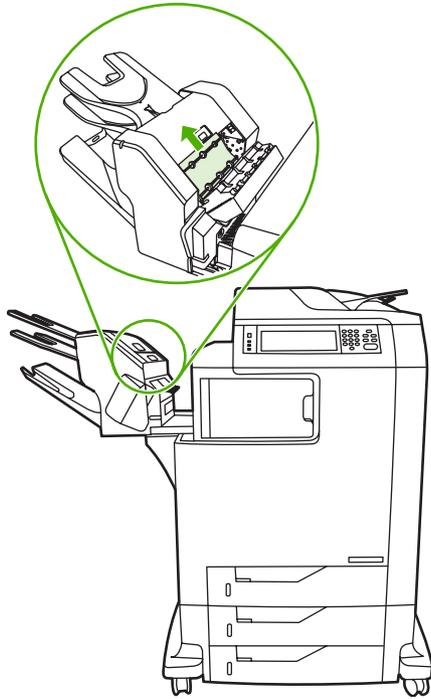
2. 3ピンメールボックスをMFPから引き出します。



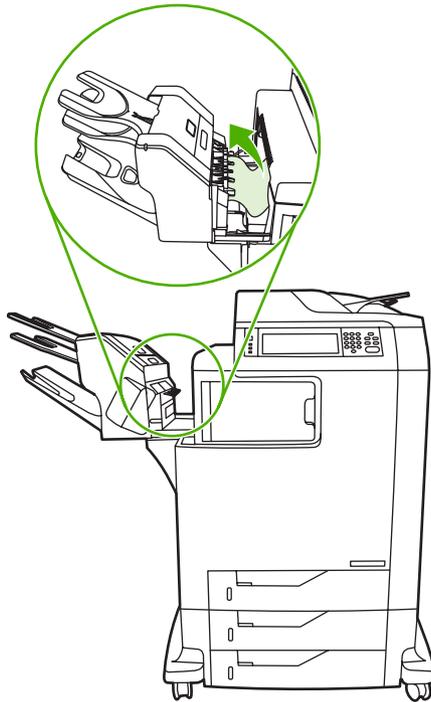
3. 3ピンメールボックス上部のカバーを開けます。



4. カバーの内側のメディアをすべて取り除きます。



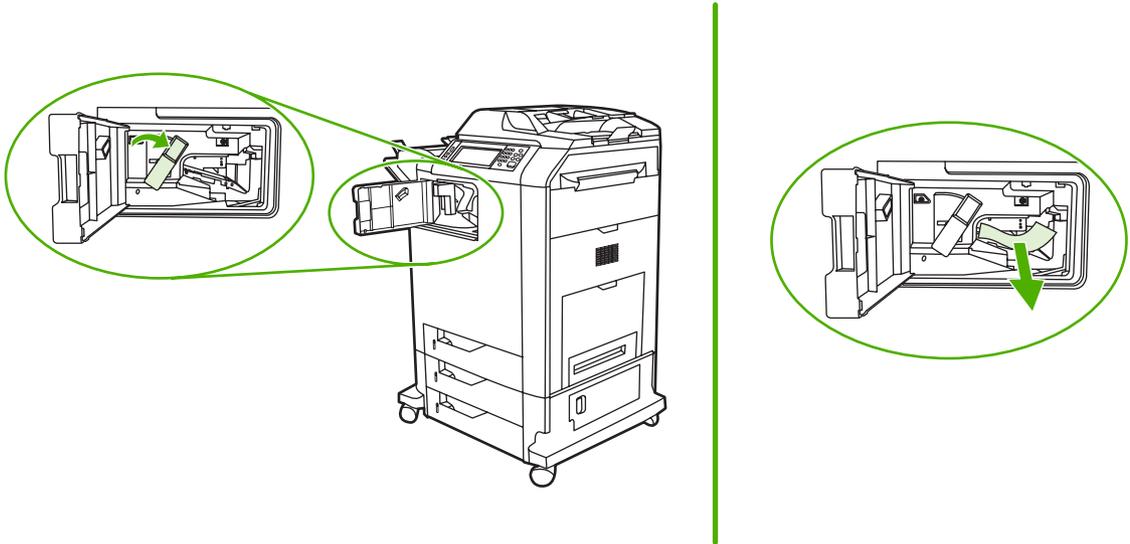
5. ドアを閉めて、MFP と 3 ピン メールボックスの間にあるメディアをすべて取り除きます。



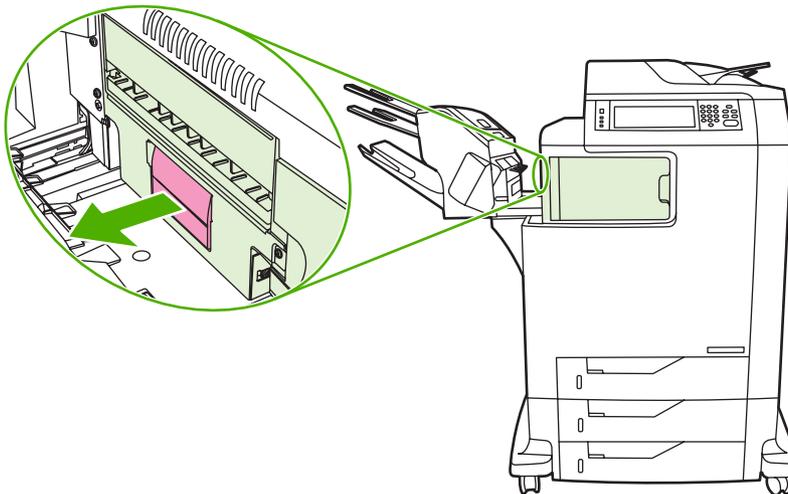
紙詰まりの解決 (排紙アクセサリブリッジ)

3ピンメールボックスまたはステイプラ/スタッカがMFPに取り付けられている場合に、排紙アクセサリブリッジの紙詰まりを除去するには、次の手順に従います。

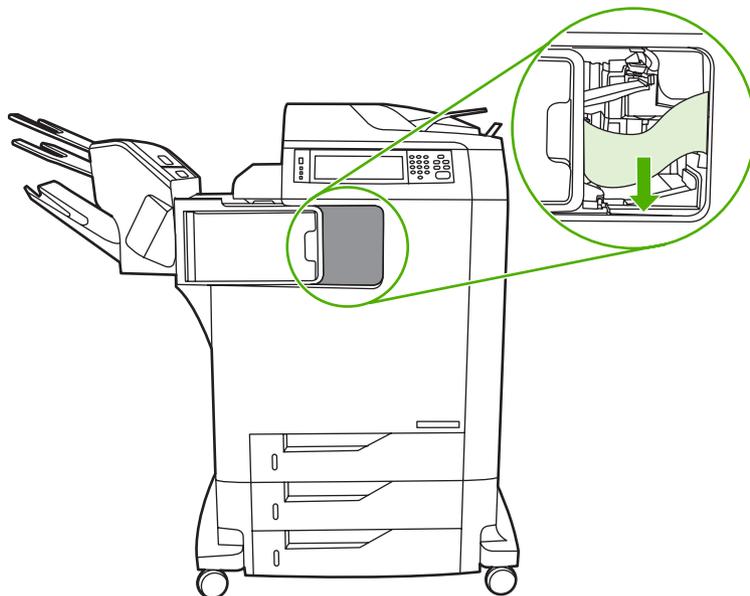
1. 排紙アクセサリブリッジのカバーを開きます。
2. 緑色のレバーを押し下げ、排紙アクセサリブリッジの内部にあるメディアをすべて取り除いて、緑色のレバーを押し上げます。



3. 排紙アクセサリブリッジのカバーを閉めます。
4. 紙詰まりがまだ除去されない場合は、排紙アクセサリブリッジのハンドルをつかんで、ブリッジをMFPから引き離します。



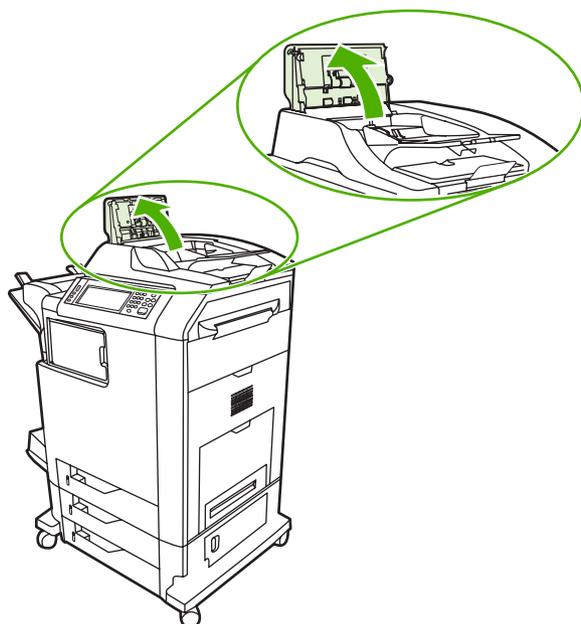
5. 排紙アクセサリブリッジの上部で用紙を探します。



6. 排紙アクセサリブリッジを MFP に挿入し直します。
7. 3 ビン メールボックスまたはステイプラ/スタッカを MFP に挿入し直します。

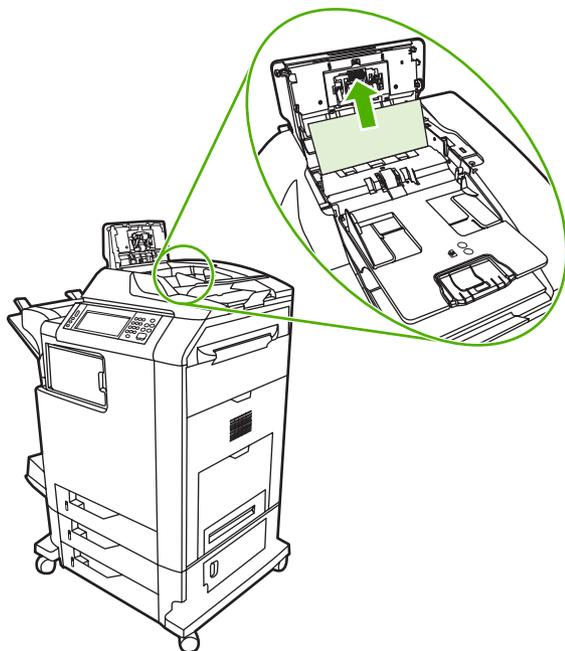
紙詰まりの解決 (ADF)

1. ADF カバーを開けます。

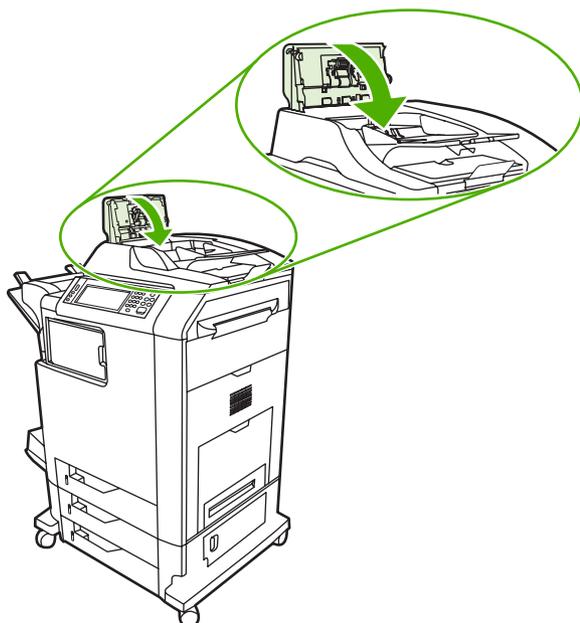


注記 静電トランスファーベルトには、搬送時の保護用にプラスチックのシートが被せられています。プラスチックのシートは、MFPの初回電源投入時に排紙トレイに送られます。

2. 詰まっているメディアをすべて取り除きます。



3. ADF カバーを閉めます。



メディアの取り扱いに関する問題

『HP LaserJet Printer Family Print Media Guide』に記載されている仕様を満たしたメディア以外は使用しないでください。

プリンタが複数枚の用紙を給紙する

プリンタが複数枚の用紙を給紙する

原因	解決方法
給紙トレイがいっぱいです。	余分なメディアを給紙トレイから取り除きます。
印刷するメディアが互にくっついています。	メディアを取り出し、曲げたり、前後や上下を逆にした後、トレイに再びセットします。
	 注記 メディアを扇形に広げないでください。メディアを扇形に広げると静電気が発生し、メディアが互にくっつく原因になります。
メディアがこの MFP の仕様に合いません。	この MFP に該当する HP のメディア仕様を満たしたメディアのみを使用してください。
トレイが正しく調整されていません。	後ろ側のメディア長さガイドが使用するメディアの長さを示していることを確認します。

間違ったページサイズが給紙される

間違ったページサイズが給紙される

原因	解決方法
正しいサイズのメディアが給紙トレイにセットされていません。	給紙トレイに正しいサイズのメディアをセットします。
ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで、正しいサイズのメディアが選択されていません。	ソフトウェア プログラムおよびプリンタ ドライバの設定が正しいかどうか確認してください。ソフトウェア プログラムの設定は、プリンタ ドライバやコントロール パネルの設定よりも優先されます。また、プリンタ ドライバの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます。詳細については、「 正しいプリンタ ドライバの選択 」を参照してください。
MFP のコントロール パネルで、トレイ 1 に対して正しいサイズのメディアが選択されていません。	コントロール パネルで、トレイ 1 に対して正しいサイズのメディアを選択します。
給紙トレイのメディア サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、またはコントロール パネルを使用して、トレイに設定されているメディア サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	後ろ側と幅のメディア ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

間違ったトレイから給紙される

間違ったトレイから給紙される

原因	解決方法
異なるプリンタのドライバが使用されています。詳細情報を参照してください。	このプリンタのドライバを使用します。
指定したトレイは空です。	指定したトレイにメディアをセットします。
要求されたトレイは、[デバイス動作] メニューの [トレイの設定] サブメニューで、トレイ設定が [最初] に設定されていません。	設定を [優先] に変更します。
給紙トレイのメディア サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、またはコントロールパネルを使用して、トレイに設定されているメディア サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

メディアが自動的に給紙されない

メディアが自動的に給紙されない

原因	解決方法
ソフトウェア プログラムで手差しが選択されています。	トレイ 1 にメディアをセットするか、メディアがセットされている場合は、[OK] をタッチしてください。
正しいサイズのメディアがセットされていません。	正しいサイズのメディアをセットします。
給紙トレイは空です。	給紙トレイにメディアをセットします。
前回、紙詰まりしたメディアが完全にに取り除かれていません。	MFP を開けて、用紙経路に残っているメディアをすべて取り除きます。フューザ部分に紙詰まりがないか十分に確認してください。
給紙トレイのメディア サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、またはコントロールパネルを使用して、トレイに設定されているメディア サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	後ろ側と幅のメディア ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

メディアがトレイ 2、3、4 から給紙されない

メディアがトレイ 2、3、4 から給紙されない

原因	解決方法
正しいサイズのメディアがセットされていません。	正しいサイズのメディアをセットします。
給紙トレイは空です。	給紙トレイにメディアをセットします。
MFP のコントロールパネルで、給紙トレイのメディア タイプが正しく選択されていません。	MFP のコントロールパネルから、給紙トレイに合った正しいメディア タイプを選択します。
前回、紙詰まりしたメディアが完全にに取り除かれていません。	MFP を開けて、用紙経路に残っているメディアをすべて取り除きます。フューザ部分に紙詰まりがないか十分に確認してください。

メディアがトレイ 2、3、4 から給紙されない

原因	解決方法
オプションのトレイが給紙トレイ オプションとして表示されません。	オプショントレイは、装着されている場合にしか表示されません。オプショントレイが正しく装着されているかどうか確認してください。プリンタドライバが、オプショントレイを認識できるように設定されていることを確認します。
オプションのトレイが間違っており取り付けられています。	設定ページを印刷して、オプションのトレイが取り付けられていることを確認します。取り付けられていない場合は、トレイが正しく MFP に接続されていることを確認します。
給紙トレイのメディア サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、またはコントロールパネルを使用して、トレイに設定されているメディア サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

OHP フィルムまたは光沢紙が給紙されない

OHP フィルムまたは光沢紙が給紙されない

原因	解決方法
ソフトウェアまたはプリンタ ドライバで正しいメディア タイプが指定されていません。	ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで正しいメディア タイプが選択されていることを確認します。
給紙トレイがいっぱいです。	給紙トレイから余分なメディアを取り出します。トレイ 2、3、4 に、200 枚を超える光沢紙/光沢フィルムまたは 100 枚を超える OHP フィルムはセットできません。トレイ 1 については、積み重ねることのできる高さの上限を超えないようにしてください。
他のトレイのメディアは OHP フィルムと同じサイズで、MFP はデフォルトで他のトレイに設定されています。	OHP フィルムまたは光沢紙のセットされた給紙トレイが、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで選択されていることを確認します。MFP のコントロール パネルを使用し、セットしたメディア タイプに合わせてトレイを設定します。
OHP フィルムまたは光沢紙をセットしたトレイがタイプに合わせて正しく設定されていません。	OHP フィルムまたは光沢紙のセットされた給紙トレイが、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで選択されていることを確認します。MFP のコントロール パネルを使用し、セットしたメディア タイプに合わせてトレイを設定します。
OHP フィルムまたは光沢紙が、サポートされているメディアの仕様を満たしていない可能性があります。	この MFP に該当する HP のメディア仕様を満たしたメディアのみを使用してください。

封筒の紙詰まり、または封筒が MFP に給紙されない

封筒の紙詰まり、または封筒が MFP に給紙されない

原因	解決方法
サポート外のトレイに封筒がセットされています。封筒を給紙できるのはトレイ 1 だけです。	封筒はトレイ 1 にセットしてください。
封筒がめくれているか折れています。	別の封筒を試します。封筒は管理された環境で保存してください。

封筒の紙詰まり、または封筒が MFP に給紙されない

原因	解決方法
水分含有率が高すぎるため、封筒が密着しています。	別の封筒を試します。封筒は管理された環境で保存してください。
封筒の向きが間違っています。	封筒が正しくセットされていることを確認します。
この MFP は、封筒の使用をサポートしません。	『HP LaserJet Printer Family Print Media Guide』を参照してください。
トレイ 1 は封筒以外のサイズに設定されています。	トレイ 1 のサイズを封筒に合った設定にしてください。

印刷出力がめくれている、またはしわが寄っている

印刷出力がめくれている、またはしわが寄っている

原因	解決方法
メディアがこの MFP の仕様に合いません。	この MFP に該当する HP のメディア仕様を満たしたメディアのみを使用してください。
メディアが折れているか汚れています。	メディアを給紙トレイから取り除き、良好な状態にあるメディアをセットします。
プリンタの動作環境の湿度が非常に高くなっています。	印刷環境の湿度が仕様範囲内かどうかを確認してください。
大きな塗りつぶされた領域を印刷しています。	大きな塗りつぶされた領域は、非常にめくれやすくなります。別のパターンを印刷してみます。
使用したメディアの保存状態が悪く、湿気を吸収しています。	メディアを取り除き、新しい、未開封のメディアと交換します。
メディアの端がぎざぎざです。	メディアを取り出し、曲げたり、前後や上下を逆にした後、給紙トレイに再びセットします。メディアを扇形に広げないでください。問題が発生する場合は、メディアを交換します。
特定のメディアタイプがトレイに設定されていないか、ソフトウェアで選択されていません。	メディアに合わせてソフトウェアを設定します (ソフトウェアのマニュアルを参照)。メディアに対応するトレイの設定については、「用紙と印刷メディアのセット」を参照してください。

両面印刷しないか、または正しく両面印刷しない

両面印刷しないか、または正しく両面印刷しない

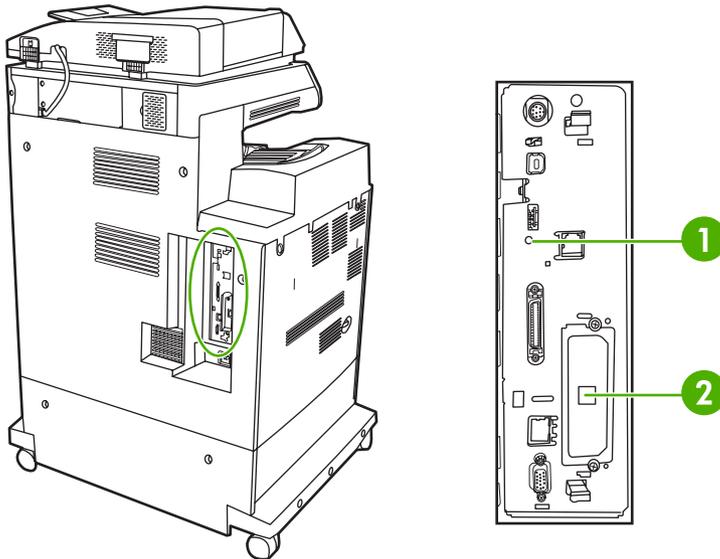
原因	解決方法
両面印刷しようとしているメディアはサポートされていません。	両面印刷に使用可能なメディアであることを確認します。
プリンタ ドライバが両面印刷に合わせて設定されていません。	プリンタ ドライバを設定して、両面印刷を有効にします。
印刷済みフォームまたはレターヘッドの裏面に最初のページが印刷されています。	レターヘッドのある面 (印刷面) を上にし、ページの下部が先に MFP に給紙されるように、印刷済み用紙またはレターヘッドをトレイ 1 にセットします。トレイ 2、3、4 の場合は、印刷面を下にし、ページの上部を MFP の後部に向けてメディアをセットします。

3 ビン メールボックスとステイブラ/スタッカのアクセサリ ランプについて

軽い用紙	説明と解決方法
緑	<ul style="list-style-type: none">● アクセサリに電源が供給され、使用可能な状態になっています。● ステイブラの針が残り少なくなっています。コントロールパネル ディスプレイに [ステイブルの針が残りわずかです] と表示されます。ステイブルカートリッジに残っているステイブラが 20 針未満です。ステイブル カートリッジを交換してください。● ページ数がステイブル留めジョブの上限 (30 ページ) を超えています。MFP のコントロールパネル ディスプレイに [ページが多すぎてステイブラが使えません] と表示されます。ジョブが 30 ページを超える場合は、手でステイブル留めしてください。
オレンジ色	<ul style="list-style-type: none">● アクセサリでハードウェア エラーが発生しています。コントロールパネル ディスプレイには [66.X.X 排紙デバイスの故障] と表示されます。
オレンジ色 (点滅)	<ul style="list-style-type: none">● アクセサリでステイブル詰まりが起こっています。コントロールパネル ディスプレイには [ステイブルが詰まりました] と表示されます。● アクセサリに紙詰まりが発生しているか、紙詰まりが発生していなかったとしても、ユニットから用紙を取り除く必要があります。コントロールパネル ディスプレイには [13.XX.YY 排紙ピンでの紙詰まり] と表示されます。● ビンが満杯です。コントロールパネル ディスプレイには [スタッカ ビンが一杯です] と表示されます。● ステイブラの針がありません。コントロールパネル ディスプレイには [ステイブルカートリッジを交換してください] と表示されます。● 紙詰まりアクセス カバーが開いています。コントロールパネル ディスプレイには [排紙経路が離れています] と表示されます。● ステイブラ ユニットが開いています。コントロールパネル ディスプレイには [排紙経路が離れています] と表示されます。ステイブルカートリッジのカバーをしっかりと閉じてください。● ファームウェアが壊れています。コントロールパネル ディスプレイには [外部アクセサリのファームウェアが壊れています] と表示されます。
オフ	<ul style="list-style-type: none">● MFP がスリープ モードになっている可能性があります。コントロールパネルのボタンをどれか押してください。● アクセサリに電源が供給されていません。MFP の電源を切ります。アクセサリが正しく取り付けられ、MFP に接続され、MFP とアクセサリとの間に隙間がないことを確認してください。MFP の電源を入れます。● アクセサリを一度取り外した後、MFP の電源が入ったまま再接続した可能性があります。コントロールパネル ディスプレイには [排紙デバイスを取り付け直してください] と表示されます。アクセサリのケーブルを再接続してください。● MFP とアクセサリ間でジョブが停滞している可能性があります。コントロールパネル ディスプレイには [処理中...] と表示されます。MFP の電源をオフにしてから、オンにします。

フォーマッタのランプについて

フォーマッタに付いている3つのLEDには、MFPが正しく機能しているかどうかを示されます。



1	電源確認 LED
2	HP Jetdirect LED (この LED は HP Jetdirect が取り付けられている場合にのみ存在します。)

HP Jetdirect LED

内蔵 HP Jetdirect プリント サーバーには2つのLEDが備わっています。黄色のLEDはネットワーク活動を示し、緑色のLEDは接続状態を示します。黄色のLEDが点滅している場合は、ネットワークトラフィックがあることを意味します。緑色のLEDが点灯していない場合は、接続が確立されなかったことを意味します。

接続エラーが発生した場合は、ネットワークケーブルのすべての接続箇所を確認します。また、MFPのコントロールパネルメニューを使用して、内蔵プリントサーバーの接続設定を手動で指定することもできます。

1. スクロールして **[管理]** を選択します。
2. **[初期セットアップ]** を選択します。
3. **[ネットワークおよび I/O]** を選択します。
4. **[内蔵 Jetdirect]** または **[EIO <X> Jetdirect]** を選択します。
5. **[リンク速度]** を選択します。
6. 適切なリンク速度を選択します。
7. **[保存]** を選択します。

電源確認 LED

電源確認 LED には、フォーマッタが正しく機能しているかどうかを示されます。MFP の電源を入れた後で初期化が行われている間、電源確認 LED は急速に点滅した後で消えます。MFP の初期化シーケンスが完了すると、電源確認 LED は規則的にオンとオフを繰り返します。

ハートビート LED が消えている場合、フォーマッタに問題が生じている可能性があります。正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください。HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、<http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> をご覧ください。

印刷品質とコピー品質に関する問題の解消

このセクションでは、印刷品質に関する問題とその解決方法について説明します。印刷品質に関する問題は、多くの場合、MFP が正しく保守されていることを確認したり、HP の仕様にあった印刷メディアを使用したり、クリーニング ページを印刷したりすることによって簡単に解決できます。

メディアに関連する印刷品質の問題

印刷品質の問題は、不適切なメディアの使用により発生することがあります。

- HP の用紙仕様を満たしている用紙を使用します。
- メディアの表面がなめらかすぎます。HP の用紙仕様を満たしているメディアを使用します。
- プリンタ ドライバの設定が間違っている可能性があります。使用している用紙用の正しいドライバ設定が選択されていることを確認します。
- プリント モードの設定に誤りがあるか、用紙が推奨仕様を満たしていない可能性があります。
- 使用している OHP フィルムのトナー定着は、使用目的に適していません。HP Color LaserJet プリンタ用の OHP フィルムのみを使用してください。
- 用紙の水分含有率にばらつきがあるか、高すぎるか、または低すぎます。別のソースまたは未開封の用紙を使用します。
- 用紙にトナーをはじく部分があります。別のソースまたは未開封の用紙を使用します。
- 使用しているレターヘッドが、粗い用紙に印刷されています。より滑らかで乾燥印刷用の用紙を使用してください。これで問題が解決した場合は、レターヘッドを印刷した業者に問い合わせ、用紙がこの MFP の仕様を満たしているか確認します。

カラー印刷の問題

カラー印刷の問題

表 16-2 カラーではなくモノクロで印刷される

原因と解決方法

原因	解決方法
ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで [カラー] モードが選択されていません。	ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで、 [グレースケール] モードや [モノクロ] モードではなく、 [カラー] モードを選択します。
ソフトウェア プログラムで正しいプリンタ ドライバが選択されていません。	正しいプリンタ ドライバを選択します。
設定ページにカラーが表示されません。	サービス担当者に問い合わせてください。

シェードの問題

表 16-3 シェードの問題

原因と解決方法	
原因	解決方法
メディアがこの MFP の仕様を満たしていません。	HP のメディア仕様を満たしているメディアを使用します。
湿度のきわめて高い環境で MFP を使用しています。	MFP を使用している環境の湿度が仕様範囲内かどうかを確認してください。

色の欠落

表 16-4 色の欠落

原因と解決方法	
原因	解決方法
HP プリント カートリッジに問題があります。	カートリッジを交換してください。
HP 製以外のカートリッジが装着されています。	HP 純正のプリント カートリッジを使用してください。

カートリッジの問題

表 16-5 プリント カートリッジの装着後、不自然な色で印刷されるようになった

原因と解決方法	
原因	解決方法
消耗しているプリント カートリッジが他にも存在する可能性があります。	コントロールパネルでサプライ品のゲージを確認するか、サプライ品のステータス ページを印刷します。
プリント カートリッジが適切に装着されていません。	すべてのプリント カートリッジが適切に装着されていることを確認します。
HP 製以外のカートリッジが装着されています。	HP 純正のプリント カートリッジを使用してください。

色補正の問題

表 16-6 印刷した色と画面の色とが一致しない

原因と解決方法	
原因	解決方法
画面上の極端に明るい色は印刷されません。	極端に明るい色は、ソフトウェア プログラムによって白色として解釈される場合があります。該当する場合、極端に明るい色の使用は避けてください。
画面上の極端に暗い色は黒で印刷されます。	極端に暗い色は、ソフトウェア プログラムによって黒色として解釈される場合があります。該当する場合、極端に暗い色の使用は避けてください。
コンピュータ画面上の色が、MFP の出力結果と異なります。	プリンタ ドライバの [色の管理] タブで、 [スクリーン マッチ] を選択します。

表 16-6 印刷した色と画面の色とが一致しない (続き)

原因と解決方法

原因	解決方法
	 注記 プリンタ側の色と画面上の色とを一致させる機能は、さまざまな要因によって左右されます。こうした要因としては、印刷メディア、真上からの照明、ソフトウェアプログラム、オペレーティングシステムのパレット、モニタ、ビデオカード、ドライバなどが挙げられます。

OHP フィルムの欠陥

OHP フィルムでは、他のメディアタイプでも発生する画像品質の問題のほかに、OHP フィルム特有の欠陥が発生する可能性があります。さらに、OHP フィルムは印刷経路を通過するとき曲がりやすいため、メディアを取り扱うコンポーネントに注意する必要があります。



注記 印刷した OHP フィルムは、少なくとも 30 秒間冷ましてから取り扱ってください。

- プリンタ ドライバの **[Paper]** タブで、メディアタイプとして **[Transparency]** を選択します。さらに、トレイが OHP フィルムに合わせて正しく設定されていることを確認します。
- OHP フィルムがこの MFP の仕様を満たしていることを確認します。
- OHP フィルムは端を持って取り扱います。手の脂分が OHP フィルムの表面に付着すると、しみや汚れの原因になります。
- 塗りつぶされたページの終端の小さい、ランダムな濃い領域は、OHP フィルムが排紙ビン内で互にくっつく原因になります。少量に分けてジョブを印刷してください。
- 選択した色によっては、うまく印刷されない場合があります。ソフトウェアプログラムまたはプリンタ ドライバで別の色を選択してください。
- 反射式オーバーヘッドプロジェクターを使用している場合、代わりに標準オーバーヘッドプロジェクターを使用します。

環境に関連する印刷品質の問題

MFP の動作環境が非常に湿度が高いか、または乾燥しています。印刷環境が仕様範囲内にあることを確認します。「[環境仕様](#)」を参照してください。

紙詰まりに関連する印刷品質の問題

- 詰まったメディアが用紙経路からすべて取り除かれていることを確認します。
- 最近 MFP が紙詰まりを起こしました。2、3 ページ印刷して MFP をクリーニングします。
- メディアがフューザを通過しないでイメージの欠陥が発生し、後続の文書に印刷されます。2、3 ページ印刷して MFP をクリーニングします。ただし、問題が解決されなければ、次のセクションを参照してください。

印刷品質トラブルの解決ページ

印刷品質トラブルの解決ページでは、印刷品質に影響を及ぼす MFP の状況に関する情報が示されます。

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [トラブルシューティング] を選択します。
3. [印刷品質のトラブルの解決] を選択します。
4. [印刷] を選択します。

印刷品質トラブルの解決情報を印刷し終わるまで、[印刷中...印刷品質のトラブルの解決手順] というメッセージが表示されます。印刷品質トラブルの解決情報の印刷後、MFP は [印刷可] 状態に戻ります。

印刷品質トラブルの解決情報には、印刷品質に関する MFP 統計、情報の解釈に関する説明、および印刷品質の問題を解決する手順が、各色 (黒、マゼンタ、シアン、およびイエロー) に 1 ページずつ含まれています。

印刷品質トラブルの解決ページに記載された手順に従ったにもかかわらず印刷品質が改善しない場合は、<http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> を参照してください。

印刷品質のトラブルシューティング ツール

印刷品質のトラブルシューティング ツールを使用すると、HP Color LaserJet CM4730 MFP における印刷品質の問題を効率よく特定し、解決できます。このツールは、標準的な画像を使って共通の診断環境を提供し、印刷品質に関するさまざまな問題の解決を支援するものです。簡単なステップバイステップ形式の手順に従うだけでトラブルの解決ページを印刷でき、そのページをもとに印刷品質の問題を特定し、どのような解決方法があるかを確認できます。

印刷品質のトラブルシューティング ツールは、<http://www.hp.com/go/printquality/ljcm4730mfp> で入手できます。

不良イメージの例

水平方向の線



印刷不良の説明

ページの水平方向に線が入っています。

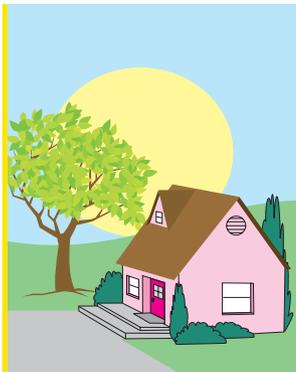
考えられる原因

デバイスのクリーニングが必要です。動作環境または使用メディアが、HP の仕様を満たしていません。

推奨トラブルシューティング手順

1. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。
2. 印刷品質トラブルの解決ページを印刷し、最初のページに書かれている診断手順に従って、問題の原因となっているコンポーネントを特定します。

色の位置ずれ



印刷不良の説明

色がページ上の対応する領域に印刷されていません。

考えられる原因

デバイスの校正が必要です。

推奨トラブルシューティング手順

MFP を校正します。

垂直方向の線



印刷不良の説明

ページ上に垂直方向の線が入っています。

考えられる原因

デバイスのクリーニングが必要です。動作環境または使用メディアが、HP の仕様を満たしていません。

推奨トラブルシューティング手順

1. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。
2. 印刷品質トラブルの解決ページを印刷し、最初のページに書かれている診断手順に従って、問題の原因となっているコンポーネントを特定します。

一定間隔で現れる不良



印刷不良の説明

ページに一定間隔で印刷不良が見られます。

考えられる原因

デバイスのクリーニングが必要です。動作環境または使用メディアが、HP の仕様を満たしていません。

推奨トラブルシューティング手順

1. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。
2. 印刷品質トラブルの解決ページを印刷し、最初のページに書かれている診断手順に従って、問題の原因となっているコンポーネントを特定します。

すべての色でかすれが生じる



印刷不良の説明

ページ上のすべての色について、かすれが生じています。

考えられる原因

デバイスの校正が必要です。動作環境または使用メディアが、HP の仕様を満たしていません。

推奨トラブルシューティング手順

1. MFP を校正します。
2. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。

特定の色でかすれが生じる



印刷不良の説明

ページ上の特定の色について、かすれが生じています。

考えられる原因

デバイスの校正が必要です。動作環境または使用メディアが、HP の仕様を満たしていません。

推奨トラブルシューティング手順

1. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。
2. MFP を校正します。
3. 印刷品質トラブルの解決ページを印刷し、最初のページに書かれている診断手順に従って、問題の原因となっているコンポーネントを特定します。

指紋とメディアの凹凸



印刷不良の説明

ページ上に指紋の跡またはメディアの凹凸が見られます。

考えられる原因

動作環境または使用メディアが、HP の仕様を満たしていません。凹凸やしわは、メディアの取り扱いから生じます。

推奨トラブルシューティング手順

1. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。
2. メディアを取り扱う際は、しわや凹凸が生じないように注意してください。また、メディアに指紋の跡や異物が残らないようにすることが大切です。
3. 印刷品質トラブルの解決ページを印刷し、最初のページに書かれている診断手順に従って、問題の原因となっているコンポーネントを特定します。

トナーが落ちやすい



印刷不良の説明

トナーが用紙からこすれ落ちてしまいます。

考えられる原因

動作環境または使用メディアが、HP の仕様を満たしていません。

推奨トラブルシューティング手順

1. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。
3. 使用しているメディアに合わせて、トレイのメディア タイプおよびサイズがコントロールパネルで正しく設定されていることを確認してください。
4. メディアが正しくセットされ、サイズガイドがメディアの端に触れていることを確認します。
5. メディアを取り扱う際は、しわや凹凸が生じないように注意してください。また、メディアに指紋の跡や異物が残らないようにすることが大切です。

トナーのにじみ



印刷不良の説明

トナーがにじんでいます。

考えられる原因

使用メディアが HP の仕様を満たしていません。

推奨トラブルシューティング手順

使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。

空白の領域



印刷不良の説明

ページ上に空白の領域 (欠落) が存在します。

考えられる原因

動作環境または使用メディアが、HP の仕様を満たしていません。

推奨トラブルシューティング手順

1. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。
3. メディアを取り扱う際は、しわや凹凸が生じないように注意してください。また、メディアに指紋の跡や異物が残らないようにすることが大切です。
4. 使用しているメディアに合わせて、トレイのメディア タイプおよびサイズがコントロール パネルで正しく設定されていることを確認してください。

メディアの破損



印刷不良の説明

メディアにしわ、丸まり、折れ目、破れなどがあります。

考えられる原因

動作環境または使用メディアが、HP の仕様を満たしていません。トレイが適切に設定されていないか、使用するメディアに合った設定になっていません。検出できない紙詰まりが生じています。

推奨トラブルシューティング手順

1. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。
3. メディアが正しくセットされていることを確認します。
4. 使用しているメディアに合わせて、トレイのメディア タイプおよびサイズがコントロールパネルで正しく設定されていることを確認してください。
5. メディアを取り扱う際は、しわや凹凸が生じないように注意してください。また、メディアに指紋の跡や異物が残らないようにすることが大切です。
6. フューザおよびトランスファーベルトが正しく固定されていることを確認します。
7. 紙詰まりの起きている部分を調べ、検出できない紙詰まりや破れた用紙をすべて取り除きます。

斑点やトナーの飛散



印刷不良の説明

斑点や飛散したトナーが用紙に印刷されてしまっています。

考えられる原因

動作環境または使用メディアが、HP の仕様を満たしていません。トレイが適切に設定されていないか、使用するメディアに合った設定になっていません。検出できない紙詰まりが生じています。

推奨トラブルシューティング手順

1. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。
3. 使用しているメディアに合わせて、トレイのメディア タイプおよびサイズがコントロールパネルで正しく設定されていることを確認してください。
4. MFP を校正します。
5. 印刷品質トラブルの解決ページを印刷し、最初のページに書かれている診断手順に従って、問題の原因となっているコンポーネントを特定します。

歪み



印刷不良の説明

イメージが歪んで印刷されています。

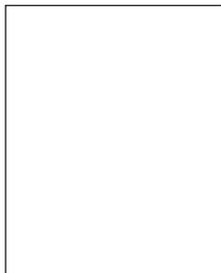
考えられる原因

動作環境または使用メディアが、HP の仕様を満たしていません。メディアが正しくセットされていません。

推奨トラブルシューティング手順

1. プリンタの環境条件が満たされていることを確認します。
2. 使用しているメディアのタイプと品質が HP 仕様を満たしていることを確認してください。
3. メディアが正しくセットされていることを確認します。
4. ページが歪んで印刷された場合は、積み重ねたメディアを裏返して、180 度回転させます。
5. フューザおよびトランスファー ベルトが正しく固定されていることを確認します。
6. 紙詰まりの起きている部分を調べ、検出できない紙詰まりや破れた用紙をすべて取り除きます。
7. 多目的トレイから印刷する場合は、サイドガイドが正しくセットされていることを確認します。

ページに何も印刷されない



印刷不良の説明

ページに何も印刷されていません。

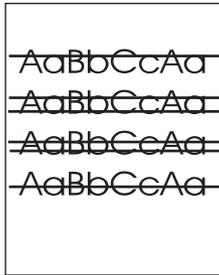
考えられる原因

用紙が ADF に適切に給紙されていません。ADF の仕分けパッドが正常に機能していません。

推奨トラブルシューティング手順

1. 原稿ページを一度取り除いてから、印刷面を上にして再度 ADF に挿入します。
2. 複数ページが一度に給紙されてしまう場合は、ADF の仕分けパッドとローラーが破損していないか確認します。ローラーが汚れている場合は、クリーニングしてください。ADF の仕分けパッドまたはローラーが摩耗している場合は交換します。

水平方向の線



印刷不良の説明

ページ上に水平方向の線が入っています。

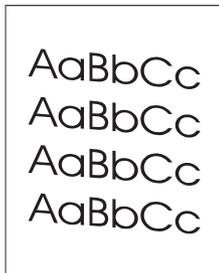
考えられる原因

ADF が汚れています。スキャナのガラス面またはカバーに紙が貼り付いています。マイラー ストリップが汚れています。

推奨トラブルシューティング手順

1. ADF をクリーニングします。
2. スキャナのガラス面やスキャナ カバーの裏に紙が貼り付いていないことを確認します。
3. マイラー ストリップが汚れているか摩耗している場合は交換します。交換用のマイラー ストリップは、ADF の保護マット (白いプラスチック) の底にある封筒に入っています。封筒に入っている指示書に従ってください。

ページの歪み



印刷不良の説明

ページが歪んで印刷されます。

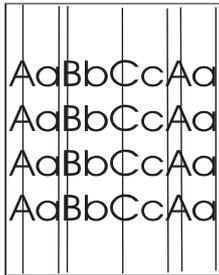
考えられる原因

ADF のトレイ ガイドが正しく調整されていません。マイラー ストリップが取り外されている、折れている、不適切に装着されている、または摩耗しています。ADF のローラーが汚れています。

推奨トラブルシューティング手順

1. ADF の給紙トレイ ガイドを、用紙の両側に軽く触れるように調整します。
2. マイラー ストリップが取り外されている、折れている、または不適切に装着されている場合は、正しく装着します。マイラー ストリップが摩耗している場合は交換します。交換用のマイラー ストリップは、ADF の保護マット (白いプラスチック) の底にある封筒に入っています。封筒に入っている指示書に従ってください。
3. ADF のローラーをクリーニングします。
4. 問題が解消されない場合は、スキャナを校正します。

垂直方向の線



印刷不良の説明

ページ上に垂直方向の線が入っています。

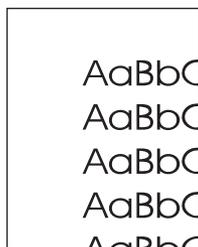
考えられる原因

ADF が汚れています。スキャナのガラス面またはカバーに紙が貼り付いています。マイラー ストリップが汚れています。

推奨トラブルシューティング手順

1. ADF をクリーニングします。
2. スキャナのガラス面やスキャナ カバーの裏に紙が貼り付いていないことを確認します。
3. マイラー ストリップが汚れているか摩耗している場合は交換します。交換用のマイラー ストリップは、ADF の保護マット (白いプラスチック) の底にある封筒に入っています。封筒に入っている指示書に従ってください。

イメージの移動



印刷不良の説明

イメージが水平方向や垂直方向 (またはその両方) にずれて印刷されます。

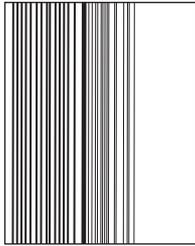
考えられる原因

スキャナが適切に校正されていません。

推奨トラブルシューティング手順

スキャナを校正します。

予期しないイメージ



印刷不良の説明

原稿とまったく異なるイメージが印刷されています。

考えられる原因

スキャナ ガラスに前回のコピー ジョブで使ったメディアが残っています。

推奨トラブルシューティング手順

スキャナ ガラスからメディアを取り除きます。

MFP の校正

MFP は最高の印刷品質を維持するため、さまざまなタイミングで自動的に校正とクリーニングを行います。MFP のコントロール パネルから **[印刷品質]** > **[校正/クリーニング]** メニューにアクセスし、**[クイック校正]** または **[完全校正]** を選択することによって、手動で校正を行うこともできます。**[クイック校正]** は、D ハーフ色調校正に使用します。色濃度または色調に誤りがあると思われる場合は、クイック校正を実行できます。完全校正には、クイック校正のルーチンに加え、ドラム フェーズの校正、カラープレーンの登録 (CPR)、コピー パラメータの校正などが含まれます。印刷されたページの色層 (黒、マゼンタ、シアン、イエロー) にずれが見られる場合は、**[完全校正]** を実行する必要があります。

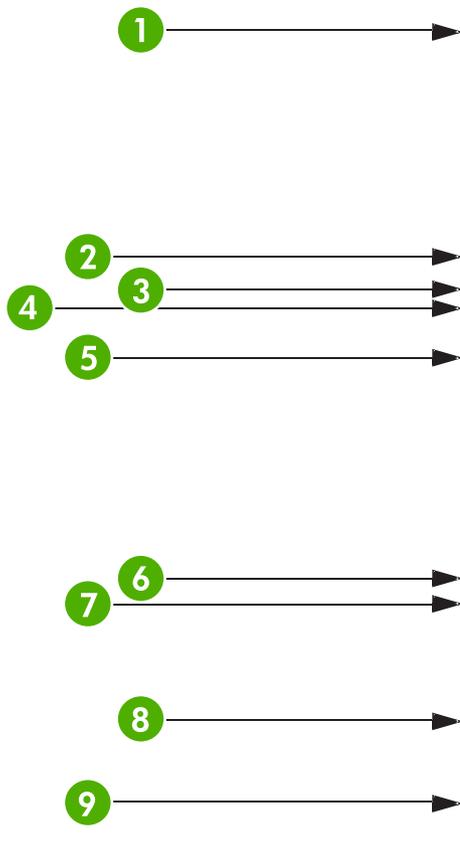
HP Color LaserJet CM4730 MFP には、無駄な待ち時間をなくするため、必要に応じて校正をスキップする機能が新たに追加されています。たとえば、MFP の電源を切ってからすぐに (20 秒以内) 電源を投入した場合、校正を行う必要はありません。このような場合には、校正がスキップされます。この場合、通常よりも約 1 分早く、印刷可能状態になります。

MFP のキャリブレーションおよびクリーニング時には、キャリブレーションまたはクリーニングを完了するまでの間、印刷は停止されます。ほとんどのキャリブレーションおよびクリーニングでは印刷ジョブは中断されませんが、ジョブの終了後キャリブレーションまたはクリーニングが行われます。

1. スクロールして **[管理]** を選択します。
2. スクロールして **[トラブルシューティング]** を選択します。
3. **[クイック校正]** または **[完全校正]** を選択します。
4. **[校正]** を選択します。

連続した欠陥の定規

ページ上、欠陥が定期的に繰り返される場合は、この定規を使用して原因と欠陥を識別します。定規の一番上を最初の欠陥に置きます。次に発生する欠陥の横のマークは、どのコンポーネントが交換を必要としているかを示します。



1	欠陥の最初の発生例 (ページが一番上から欠陥までの距離は異なる場合があります)
2	黒プリントカートリッジ 34.3 mm
3	プリントカートリッジまたはトランスファーローラー (欠陥が1つのカラーでのみ発生する場合は、プリントカートリッジに欠陥があり、欠陥がすべてのカラーで発生する場合は、ETBに欠陥があります) (37.7mm)
4	シアン、マゼンタ、イエローのプリントカートリッジ 38.5 mm
5	プリントカートリッジ 42.7mm
6	ETB 75mm
7	フューザ 76.0mm
8	フューザ 81.0mm
9	プリントカートリッジ 94.2mm

問題の原因がプリントカートリッジにあるかどうかを確認するため、新しいプリントカートリッジを注文する前に、他の HP Color LaserJet CM4730 MFP シリーズのプリントカートリッジ (入手可能な場合) を装着します。

欠陥が 94.0mm 間隔で繰り返される場合は、フューザを交換する前にプリントカートリッジを交換します。

ファックスの問題の対策

ファックスの問題を解決するには、<http://www.hp.com/go/mfpfaxaccessory300> にアクセスしてください。

MFP ソフトウェア CD に収録されている『*Analog Fax Accessory 300 Fax Guide*』および『*Analog Fax Accessory 300 Send Fax Driver Guide*』も参照してください。

電子メールの問題の対策

デジタル送信機能を使用して電子メールを送信できない場合は、SMTP ゲートウェイ アドレスまたは LDAP ゲートウェイ アドレスを設定し直す必要があります。正しい SMTP ゲートウェイ アドレスと LDAP ゲートウェイ アドレスを確認するには、設定ページを印刷します。「[情報ページ](#)」を参照してください。SMTP ゲートウェイ アドレスと LDAP ゲートウェイ アドレスが有効であるかどうかを確認するには、以下の手順に従います。

SMTP ゲートウェイ アドレスの検証



注記 この手順は Windows オペレーティング システムに適用されます。

1. MS-DOS コマンド プロンプトを開きます ([**スタート**] メニューの [**ファイル名を指定して実行**] をクリックし、「cmd」と入力します)。
2. 「telnet」の後に SMTP ゲートウェイ アドレスを入力し、MFP の通信に使用されるポート番号「25」を続けて入力します。たとえば、「telnet 123.123.123.123 25」と入力した場合、「123.123.123.123」は SMTP ゲートウェイ アドレスを表します。
3. **Enter** を押します。SMTP ゲートウェイ アドレスが有効でない場合は、「Could not open connection to the host on port 25: Connect Failed (ポート 25 のホストに接続できませんでした。接続に失敗しました)」というメッセージが戻されます。
4. SMTP ゲートウェイ アドレスが有効でない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

LDAP ゲートウェイ アドレスの検証

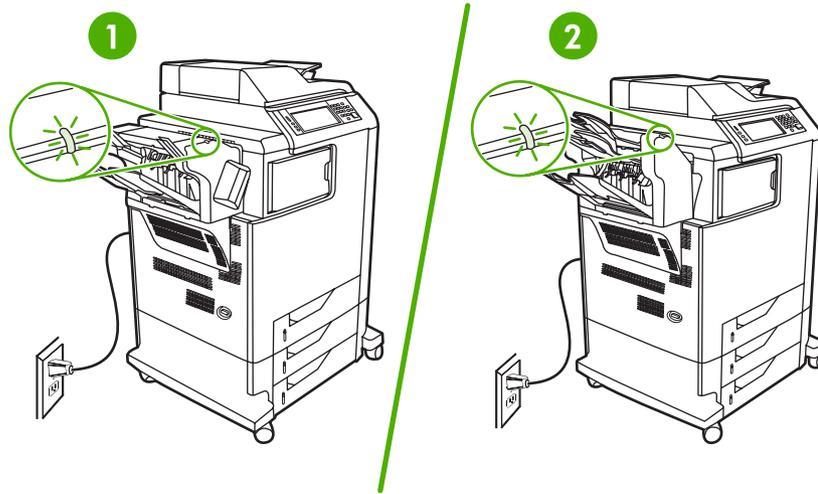


注記 この手順は Windows オペレーティング システムに適用されます。

1. Windows エクスプローラを開きます。アドレス バーに、「LDAP://」と LDAP ゲートウェイ アドレスを続けて入力します。たとえば、「LDAP://12.12.12.12」と入力した場合、「12.12.12.12」は LDAP ゲートウェイ アドレスを表します。
2. **Enter** を押します。LDAP ゲートウェイ アドレスが有効な場合は、**[Find People]** ダイアログ ボックスが表示されます。
3. LDAP ゲートウェイ アドレスが有効でない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

排紙アクセサリに関するトラブルの解決

排紙アクセサリブリッジに対し、3ピンメールボックスまたはステイプラ/スタッカが正しく装着されている場合、アクセサリの上部にあるLEDが緑色に光ります。LEDが消えている、点滅している、またはオレンジ色になっている場合、何らかの問題が生じています。「[3ピンメールボックスとステイプラ/スタッカのアクセサリランプについて](#)」を参照してください。紙詰まりの解消については、「[紙詰まり](#)」を参照してください。



- 1 ステイプラ/スタッカのLED
- 2 3ピンメールボックスのLED

ネットワーク接続に関するトラブルの解決

MFP でネットワーク接続に関する問題が発生している場合は、このセクションの指示に従って問題を解決してください。

ネットワーク印刷に関するトラブルの解決



注記 MFP をネットワークに接続し、設定する際は、MFP CD を使用することをお勧めします。

- ネットワーク ケーブルが MFP の RJ45 コネクタにしっかり差し込まれていることを確認します。
- フォーマッタ上のリンク LED が点灯していることを確認します。「[フォーマッタのランプについて](#)」を参照してください。
- I/O カードが使用可能な状態になっているかどうか確認します。設定ページを印刷します（「[情報ページ](#)」を参照してください）。HP Jetdirect プリント サーバがインストールされている場合、設定ページを印刷すると、2 ページ目にネットワーク設定とステータスが印刷されます。



注記 HP Jetdirect プリント サーバーは、各種のネットワーク プロトコル (TCP/IP、IPX/SPX、Novell NetWare、AppleTalk、DCL/LLC など) をサポートしています。適切なプロトコルおよびネットワーク パラメータが正しく設定されていることを確認してください。

HP Jetdirect の設定ページで、ご使用のプロトコルに関する次の項目を確認します。

- 「HP Jetdirect Configuration」セクションのステータスが「I/O Card Ready」になっている。
- プロトコルのステータスが「Ready」になっている。
- IP アドレスが記載されている。
- 設定方法 (Config by:) が正しく記載されている。どの方法が正しいか不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 別のコンピュータからジョブの印刷を試行します。
- MFP がコンピュータと正しく連動していることを確認するには、パラレル ケーブルを使用して、MFP をコンピュータに直接接続します。印刷ソフトウェアを再インストールする必要があります。過去に印刷を正しく実行できたプログラムを使用して、ドキュメントを印刷します。正しく印刷される場合、問題はネットワークにあることが考えられます。
- サポートが必要な場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。

ネットワークの通信状態の検証

HP Jetdirect の設定ページに MFP の IP アドレスが表示されている場合は、ネットワーク経由で MFP と通信できることを、以下の手順に従って確認してください。

1. **Windows** の場合 : [スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックして、「cmd」と入力します。MS-DOS のコマンドプロンプトが表示されます。

または

Mac の場合 : [アプリケーション] をクリックし、[ユーティリティ] をクリックして、ターミナルアプリケーションを開きます。ターミナル ウィンドウが表示されます。

2. 「ping」に続けて、IP アドレスを入力します。たとえば、「ping XXX.XXX.XXX.XXX」と入力します。「XXX.XXX.XXX.XXX」の部分には、HP Jetdirect の設定ページに表示されている IPv4 アドレスを入力してください。ネットワーク経由で MFP と通信できる場合、MFP からの応答が一覧形式で出力されます。
3. IP アドレスがネットワーク上で競合していないかを、アドレス解決プロトコル (arp -a) コマンドを使用して確認します。プロンプトに「arp -a」と入力します。出力された一覧で該当する IP アドレスを探し、その物理アドレスを、HP Jetdirect の設定ページ ([HP Jetdirect 設定] セクション) に表示されているハードウェアのアドレスと比較します。両者のアドレスが一致した場合、ネットワーク通信はすべて正常に機能しています。
4. MFP のネットワーク接続が正常に作動しているか確認できなかった場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。

Macintosh に関する一般的なトラブルの解決

このセクションには、Mac OS X で発生する可能性のある問題が表形式でまとめられています。

表 16-7 Mac OS X に関する問題

プリンタ ドライバが、プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されません。

原因	解決方法
プリンタ ソフトウェアがインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。	プリンタの PPD ファイルがハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj にあることを確認します (<lang> は使用言語を表す 2 文字の言語コード)。必要であれば、ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップガイド』を参照してください。
PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルが壊れています。	PPD ファイルをハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj から削除します (<lang> は使用言語を表す 2 文字の言語コード)。ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップガイド』を参照してください。

プリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous/Bonjour ホスト名が、プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティのプリンタリストに表示されません。

原因	解決方法
プリンタが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、プリンタの電源がオンになっていること、そして印刷ランプが点灯していることを確認してください。USB または Ethernet ハブ経由で接続している場合、コンピュータに直接接続するか、異なるポートを試してください。
間違った接続タイプが選択されている可能性があります。	プリンタとコンピュータの接続方法に応じて、USB、IP 印刷、または Rendezvous が選択されていることを確認します。
間違ったプリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous/Bonjour ホスト名が使用されています。	設定ページを印刷して、プリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を確認します。設定ページのプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名が、プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されたプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名と同じであることを確認します。
インターフェイス ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インターフェイス ケーブルを交換します。品質の良いケーブルを使用していることを確認します。

プリンタ ドライバが、プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティで選択したプリンタを自動的に設定しません。

原因	解決方法
プリンタが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、プリンタの電源がオンになっていること、そして印刷ランプが点灯していることを確認してください。USB または Ethernet ハブ経由で接続している場合、コンピュータに直接接続するか、異なるポートを試してください。
プリンタ ソフトウェアがインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。	プリンタの PPD ファイルがハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj にあることを確認します (<lang> は使用言語を表す 2 文字の言語コード)。必要であれば、ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップガイド』を参照してください。
PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルが壊れています。	PPD ファイルをハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj から削除します (<lang> は使用言語を表す 2

表 16-7 Mac OS X に関する問題 (続き)

プリンタ ドライバが、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティで選択したプリンタを自動的に設定しません。

原因	解決方法
	文字の言語コード)。ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップガイド』を参照してください。
インターフェイス ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インターフェイス ケーブルを交換します。品質の良いケーブルを使用していることを確認します。

印刷ジョブが選択したプリンタに送られませんでした。

原因	解決方法
プリント キューが停止している可能性があります。	プリント キューを再起動します。[プリント モニタ]を開き、[ジョブを開始]を選択します。
間違ったプリンタ名または IP アドレスが使用されています。まったく同じか、似たようなプリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を持つ別のプリンタが、印刷ジョブを受信した可能性があります。	設定ページを印刷して、プリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を確認します。設定ページのプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されたプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名と同じであることを確認します。

Encapsulated PostScript (EPS) ファイルが正しいフォントで印刷されません。

原因	解決方法
この問題は一部のプログラムで発生します。	<ul style="list-style-type: none">EPS ファイル内に格納されているフォントを、印刷する前にプリンタにダウンロードしてみてください。ファイルをバイナリ エンコードではなく ASCII フォーマットで送信してください。

サードパーティ製 USB カードから印刷できません。

原因	解決方法
このエラーは、USB プリンタ用のソフトウェアがインストールされていない場合に発生します。	サードパーティ製 USB カードを追加するときに Apple USB Adapter Card Support ソフトウェアが必要となる場合があります。このソフトウェアの最新版は Apple の Web サイトから入手できます。

USB ケーブルで接続しているときに、ドライバを選択した後にプリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティにプリンタが表示されません。

原因	解決方法
この問題は、ソフトウェアとハードウェア コンポーネントのいずれかが原因で発生します。	ソフトウェアで発生するトラブルの解決 <ul style="list-style-type: none">お使いの Macintosh で USB がサポートされていることを確認します。Macintosh のオペレーティング システムが Mac OS X バージョン 10.1 以降であることを確認します。お使いの Macintosh に Apple 製の適切な USB ソフトウェアがインストールされていることを確認します。

表 16-7 Mac OS X に関する問題 (続き)

USB ケーブルで接続しているときに、ドライブを選択した後にプリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティにプリンタが表示されません。

原因	解決方法
	<p data-bbox="815 302 1206 329">ハードウェアで発生するトラブルの解決</p> <ul data-bbox="815 352 1466 766" style="list-style-type: none"><li data-bbox="815 352 1394 380">● プリンタの電源がオンになっていることを確認します。<li data-bbox="815 403 1422 430">● USB ケーブルが正しく接続されていることを確認します。<li data-bbox="815 453 1466 510">● 適切なハイスピード USB ケーブルが使用されていることを確認します。<li data-bbox="815 533 1466 638">● チェーンにつながっている、電力を消費する USB デバイスが多すぎないことを確認します。チェーンに接続されているデバイスをすべて外し、ケーブルをホスト コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。<li data-bbox="815 661 1466 766">● チェーンにおいて、バスパワー動作の USB ハブが 3 つ以上連続して接続されていないかを確認します。チェーンに接続されているデバイスをすべて外し、ケーブルをホスト コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。 <p data-bbox="863 793 1466 856"> 注記 iMac のキーボードはバスパワー動作の USB ハブです。</p>

A サプライ品とアクセサリ

このセクションでは、部品、サプライ品、アクセサリなどの注文方法を説明します。この MFP 用に特別設計された部品やアクセサリのみを使用してください。

- [部品、アクセサリ、サプライ品の注文](#)
- [オプションの排紙デバイス](#)
- [パーツ番号](#)

部品、アクセサリ、サプライ品の注文

- [HP から直接注文する](#)
- [サービス代理店またはサポート代理店から注文する](#)
- [内蔵 Web サーバーを通して直接注文する](#)

HP から直接注文する

次の製品は HP に直接注文できます。

- **交換用の部品**：交換用の部品を米国内から注文するには、<http://www.hp.com/buy/parts> を参照してください。米国以外の国・地域からは、最寄りの正規 HP サービス センターまでお問い合わせのうえ部品をご注文ください。
- **サプライ品およびアクセサリ**：米国内からサプライ品を注文するには、<http://www.hp.com/go/ljsupplies> を参照してください。米国以外の国・地域からサプライ品を注文するには、<http://www.hp.com/ghp/buyonline.html> を参照してください。アクセサリを注文するには、<http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> を参照してください

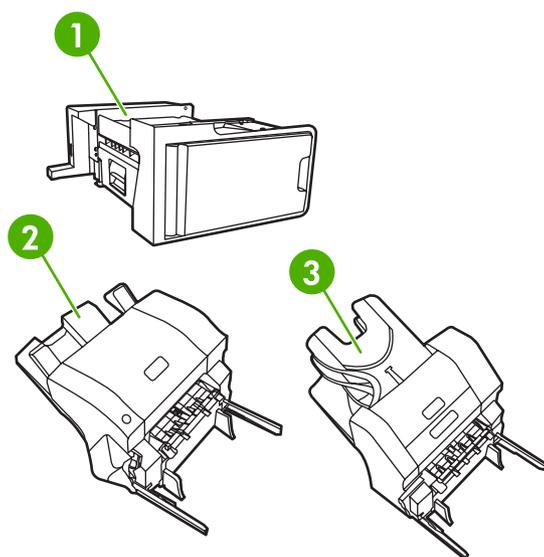
サービス代理店またはサポート代理店から注文する

部品またはアクセサリを注文するには、正規の HP サービス代理店またはサポート代理店にお問い合わせください。

内蔵 Web サーバーを通して直接注文する

1. コンピュータの Web ブラウザに、MFP の IP アドレスを入力します。MFP のステータス ウィンドウが表示されます。
2. **[その他のリンク]** 領域で、**[サプライ品の注文]** をダブルクリックします。消耗品を購入するための URL が表示されます。サプライ品情報、製品番号、および MFP 情報が表示されます。
3. 注文するパーツ番号を選択し、画面の指示に従います。

オプションの排紙デバイス



- | | |
|---|--------------|
| 1 | 排紙アクセサリ ブリッジ |
| 2 | ステイプラ/スタッカ |
| 3 | 3ピンメールボックス |

排紙アクセサリ ブリッジ

MFPに3ピンメールボックスまたはステイプラ/スタッカを装着する場合は、排紙アクセサリブリッジが必要です。排紙アクセサリブリッジは、MFPと排紙デバイス間の経路です。排紙アクセサリブリッジの装着の詳細については、製品に付属のインストールガイドを参照してください。

3ピンメールボックス

最大500枚まで収納できるビン(1個)と、最大100枚まで収納できるビン(2個)とで構成される、オプションの3ピンメールボックスには合計で700枚まで収納できます。

3 ビン メールボックスには、次の 3 つの動作モードがあります。

- **メールボックス モード**：ビンを利用者またはユーザー グループに割り当てることができます。特定のユーザーまたはユーザー グループによって送られた印刷ジョブ、コピー ジョブ、およびファックス ジョブは、すべて指定したビンに排紙されます。ビンの選択は、各ユーザーがプリンタ ドライバまたはコントロール パネルで行うことができます。

指定されたビンが一杯になると、MFP によって印刷が中断されます。ビンを空にすると、印刷が継続されます。

- **スタッカ モード**：複数のビンをもとめて、スタッカとして機能させることができます。75 g/m² (20 ポンドのボンド紙) の用紙を 700 枚まで積み重ねることができます。ジョブは、まず下段のビンに送られた後、中段のビンに送られ、最後に上段のビンに送られます。印刷ジョブが 500 枚を超え、下段のビンが一杯になっても、その後、中段のビン、上段のビンの順に用紙が積み重ねられていきます。

3 つのビンがすべて一杯になると、印刷が中断されます。印刷を継続するには、上段のビンから用紙を取り除く必要があります。ただし、下段または中段のビンから用紙を取り除いた後で、上段のビンから用紙を取り除いた場合には、印刷は再開されません。

3 ビン メールボックスをスタッカ モードで使用した場合、ジョブを特定のビンに送るように指定することはできません。



注記 上段のビンから用紙を取り除いた後、そこに再び用紙を置き直すことのないように注意してください。ページが誤った順序で積み重ねられます。

- **機能セパレータ モード**：印刷ジョブ、コピー ジョブ、ファックスなどの特定の MFP 機能からジョブを受け取るようにビンを設定できます。たとえば、すべてのコピー ジョブを上段のビンに送るように指定することもできます。

指定したビンが一杯になると MFP が停止します。印刷、コピー、またはファックスを継続するには、ビンを空にする必要があります。

オプションの 3 ビン メールボックスの設定と使用については、「[3 ビン メールボックス排紙ビン](#)」を参照してください。

ステイプラ/スタッカ

オプションのステイプラ/スタッカは、印刷ジョブまたはコピー ジョブに対する自動ステイプル留め機能と自動積み重ね機能を備えています。オプションのステイプラ/スタッカの設定と使用については、「[用紙をステイブルで留める](#)」を参照してください。

パーツ番号

注文に関する情報と在庫状況は、MFP の製品寿命期間に変更される可能性があります。

アクセサリ

項目	説明	製品番号
3 ビン メールボックス	合計で 700 枚の用紙を収容する 3 つの排紙ピンを提供します。HP Color LaserJet CM4730fm MFP に付属しています。  注記 3 ビン メールボックスには、排紙アクセサリブリッジが含まれています。	Q7520A
500 枚用ステイブラ/スタッカ	大量の排紙を可能にし、ジョブを自動的に終了します。最大 30 枚の用紙を綴じることができます。HP Color LaserJet CM4730fsk MFP に付属しています。  注記 ステイブラ/スタッカには、排紙アクセサリブリッジが含まれています。	Q7519A
5,000 本ステイブルカートリッジ	ステイブルカートリッジ 1 個	C8091A
HP LaserJet Analog Fax Accessory 300	MFP にファックス機能を提供します。HP Color LaserJet CM4730f MFP、CM4730fsk MFP、CM4730fm MFP の各モデルに付属しています。	Q3701A

プリントカートリッジ

項目	説明	製品番号
HP LaserJet プリントカートリッジ (黒)	12,000 ページ黒カートリッジ	Q6460A
HP LaserJet プリントカートリッジ (シアン)	12,000 ページシアンカートリッジ	Q6461A
HP LaserJet プリントカートリッジ (イエロー)	12,000 ページイエローカートリッジ	Q6462A
HP LaserJet プリントカートリッジ (マゼンタ)	12,000 ページマゼンタカートリッジ	Q6463A

保守キット

項目	説明	製品番号
イメージトランスファー(ETB)キット		Q7504A
イメージフューザキット	110V	Q7502A

項目	説明	製品番号
イメージフューザキット	220V	Q7503A
ADFマイラー保守キット		Q4696-67901
自動文書フィーダ (ADF) 保守キット		Q5997A

交換可能なユニット

項目	説明	製品番号
カセットピックアップローラー交換キット		CB480-67902
コントロールパネル交換キット		CB480-67901
フォーマッタ交換キット		CB480-67905
MPピックアップローラーキット		CB480-67903
MPピックアップユニット交換キット		CB480-67904
ファックスアセンブリ交換キット		CB480-67906

メモリ

項目	説明	製品番号
100ピンDDRメモリDIMM (dual inline memory module)	128 MB	Q7721AA
	256 MB	Q7722A
	512 MB	Q7723A
大きなあるいは複雑な印刷ジョブを扱う能力を強化します。		

ケーブルおよびインタフェース

項目	説明	製品番号
拡張 I/O (EIO) カード	HP Jetdirect 635n IPv6/IPsec プリントサーバー	J7961G
パラレルケーブル	2m IEEE 1284-C ケーブル	C2950A
	3m IEEE 1284-C ケーブル	C2951A
USB ケーブル	2m 標準 USB 互換デバイス コネクタ	C6518A

B サービスおよびサポート

Hewlett-Packard 社製品限定保証

HP 製品	限定保障期間
HP LaserJet CM4730 Series MFP	1 年間限定保証

HP は、エンドユーザーに対して、購入日から上記の期間中、HP ハードウェアとアクセサリに材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、自らの判断に基づき不具合があると証明された製品の修理または交換を行います。交換製品は新品か、または新品と同様の機能を有する製品のいずれかになります。

HP は、HP ソフトウェアを正しくインストールして使用した場合に、購入日から上記の期間中、材料および製造上の瑕疵が原因でプログラミング命令の実行が妨げられないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、当該不具合によりプログラミング インストラクションが実行できないソフトウェア メディアの交換を行います。

HP は、HP の製品の動作が中断されないものであったり、エラーが皆無であることは保証しません。なお、HP が HP の製品を相当期間内に修理または交換できなかった場合、お客様は、当該製品を返却することで、当該製品の購入金額を HP に請求できます。

HP 製品には、新品と同等の性能を発揮する再生部品が無作為に使用されることがあります。

本保証は、以下に起因する不具合に対しては適用されません。(a)不適当または不完全な保守、校正に因るとき。(b) HP が供給しないソフトウェア、インタフェース、または消耗品に因るとき。(c) HP が認めない改造または誤用に因るとき。(d) 表示した環境仕様の範囲外での動作に因るとき。(e) 据付場所の不備または保全の不適合に因るとき。

特定目的のための適合性や市場商品力についての暗黙の保証は、上記で明記された保証の保証期間に限定されます。一部の国/地域では、暗黙の保証の保証期間を制限できない場合があるため、上記の制限や責任の排除はお客様に適用されない場合があります。本保証は特定の法律上の権利をお客様に認めるものです。また、お客様は、その国/地域の法律によっては、他の権利も認められる場合があります。HP の限定保証は、HP が製品のサポートを提供し、かつ製品を販売している国/地域で有効です。お客様の受け取る保証サービスは、国/地域の標準規定によって異なる場合があります。HP は、法律または規制上の理由で製品を機能させる意図のなかった国/地域で動作するように製品の形態、整合性、または機能を変更しません。

現地の法律で許容されている範囲内において、本保証書の責任が、HP の唯一で排他的な責任です。現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害 (利益の逸失やデータの消失を含む) その他の損害に対して、HP およびそのサプライヤーは一切責任を負いません。一部の国/地域では、付随的または結果的な損害の排除や制限を認めない場合があります、上記の制限や排除はお客様に適用されない場合があります。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

カスタマ自己修理の保証サービス

HP 製品には多くのカスタマ自己修理 (CSR) 部品が使用されているため、修理時間が最小限に抑えられ、欠陥部品の交換にも柔軟に対応できます。診断期間中に、CSR 部品を使用した修理が可能であると HP が判断した場合は、HP からお客様に直接その交換部品が発送されます。CSR 部品は、次の 2 つのカテゴリに分類されます。1) お客様ご自身が修理する義務のある部品。これらの部品交換を HP に依頼した場合は、このサービスに対する交通費および人件費はお客様が負担するものとします。2) お客様による修理がオプションである部品。これらの部品もカスタマ自己修理に含まれています。ただし、HP に交換を依頼しても、製品に指定されている保証サービスによっては、その一部とみなされ、無料で行われます。

部品の在庫状況および配達地域により、CSR 部品は翌営業日に届くように発送されます。配達地域によっては、当日配達または 4 時間以内の配達を指定できる場合がありますが、当日または 4 時間以内の配達には追加料金がかかります。サポートが必要な場合は、HP テクニカル サポート センターに電話でお問い合わせください。技術者がお客様の質問にお答えします。交換用の CSR 部品に同梱の資料には、欠陥部品を HP に返却いただく必要があるかどうか指定されています。欠陥部品を HP に返却いただく必要がある場合は、定められた期間内 (通常、5 営業日以内) に欠陥部品を HP に発送しなければなりません。欠陥部品は、提供された梱包物に付属する文書とともに返却する必要があります。欠陥部品を返却されない場合は、交換部品の代金が HP から請求されます。カスタマ自己修理を利用した場合は、送料と部品返却料を HP が全額負担し、使用する宅配業者/運送業者は HP が決めるものとします。

HP カスタマ ケア

オンライン サービス

情報には、モデム接続またはインターネット接続を介して 24 時間アクセス可能です。

World Wide Web : さまざまな言語についての最新の HP プリンタ ソフトウェア、製品/サポート情報、プリンタ ドライバを <http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> から入手できます。(このサイトは英語で制作されています。)

オンライン トラブルシューティング ツール

HP Instant Support Professional Edition (ISPE) とは、デスクトップ コンピュータや印刷関連製品のトラブル解決を目的とした一連の Web ベース ツールの総称です。コンピュータや印刷に関連した問題を迅速に特定、診断し、解決へと導きます。ISPE ツールは、<http://instantsupport.hp.com> で入手できます。

電話サポート

Hewlett-Packard 社では保証期間中に無料電話サポートを提供しています。経験豊富なサポート担当者が問題解決のお手伝いをします。お客様の居住する国/地域の電話番号については、製品に同梱されているパンフレットをご覧ください。電話でお問い合わせいただく前に、製品名およびシリアル番号、購入日、問題の発生状況などの情報をご用意ください。

サポート情報は、<http://www.hp.com> で入手することもできます。[support & drivers]と表示されている部分をクリックしてください。

ソフトウェア ユーティリティ、ドライバ、およびオンライン情報

http://www.hp.com/go/cljcm4730mfp_software にアクセスしてください。(サイトそのものは英語で記述されていますが、さまざまな言語のプリンタ ドライバをダウンロードできるようになっています。)

電話でお問い合わせいただく場合は、MFP に同梱されているパンフレットを参照してください。

ファックス アクセサリのサポート

<http://www.hp.com/go/mfpfaxaccessory300> にアクセスしてください。

アクセサリおよびサプライ品の HP へのご注文

サプライ品は、次の Web サイトから注文できます。

米国 <http://www.hp.com/sbso/product/supplies>

カナダ <http://www.hp.ca/catalog/supplies>

ヨーロッパ <http://www.hp.com/go/supplies>

アジア太平洋 <http://www.hp.com/paper/>

アクセサリは、<http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> から注文できます。

サプライ品またはアクセサリを電話でご注文いただく場合は、下記の電話番号までお問い合わせください。

米国 (大規模企業) 800-282-6672

米国 (中小規模企業) 800-888-9909

米国 (個人/ホーム オフィス) 800-752-0900

カナダ 800-387-3154

その他の国/地域の電話番号については、MFP に同梱されているパンフレットを参照してください。

HP サービス情報

米国またはカナダの HP 正規販売店については、800-243-9816 (米国) または 800-387-3867 (カナダ) までお電話いただくか、<http://www.hp.com/go/cposupportguide> にアクセスしてください。

その他の国/地域で HP 製品のサービスをご利用いただく場合は、お住まいの国/地域のカスタマ サポートまでお電話ください。電話番号については、MFP に同梱されているパンフレットを参照してください。

HP サービス契約

電話 : 800-HPINVENT [800-474-6836 (米国)] または 800-268-1221 (カナダ)

保証期間外のサービス : 800-633-3600.

保証外サービス : 800-HPINVENT [800-474-6836 (米国)] または 800-268-1221 (カナダ) までお電話いただくか、HP Care Pack サービス Web サイト (<http://www.hpexpress-services.com>) を参照してください。

Macintosh コンピュータに関する HP のサポートおよび情報

Mac OS X のサポート情報およびドライバ アップデートの HP 購読サービスについては、<http://www.hp.com/go/macosex> を参照してください。

Macintosh ユーザーを対象とする製品については、<http://www.hp.com/go/mac-connect> を参照してください。

プリントカートリッジおよびイメージドラムの限定保証書

HP プリントカートリッジは材料上または製造上の不具合がないことが保証されています。

この限定保証は、(a) トナーの再充填、再生、または改ざんした製品、(b) 誤用、不適切な保管、またはプリンタ製品の公表されている環境仕様以外でを使用した場合の問題、(c) 通常の使用により摩耗したプリントカートリッジには適用されません。

限定保証サービスを受けるには、問題を記述した書面と印刷サンプルを添付して製品を購入店に返品するか、HP カスタマサポートにお問い合わせください。HP は、自らの判断で、不具合があると証明された製品を交換するか、またはお客様に購入価額を払い戻します。

現地の法律で許されている範囲内において、上記の保証は排他的であり、その他の保証や条件は、書面または口頭を問わず、明示および黙示されません。HP 社は、商品性、満足のゆく品質または特定の目的に対する適合性を含むいかなる黙示的な保証または条件に対する責任も負いません。

現地の法律で許されている範囲内において、契約あるいは法に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、間接的損害、必然的損害 (利益逸失やデータ消失を含む)、その他の損害に対して、HP 社およびその代理店は一切の責任を負いません。

ここに含まれている保証条項は、法律で許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

Color LaserJet イメージ フューザ キットおよびイメージ トランスファー キットの限定保証書条項

この HP 製品は、プリンタのコントロールパネルに耐用期限が近づいたことが表示されるまで、材料および仕上げに不具合がないことを保証します。

この限定保証は、(a) 改造、再生、または改ざんした製品、(b) 誤用、不適切な保管、またはプリンタ製品の公表されている環境仕様以外で使用情况の問題、(c) 通常の使用により摩耗した製品には適用されません。

限定保証サービスを受けるには、問題を記述した書面を添付して製品を購入店に返品するか、HP カスタマ サポートにお問い合わせください。HP は、自らの判断で、不具合があると証明された製品を交換するか、またはお客様に購入価額を払い戻します。

現地の法律で許されている範囲内において、上記の保証は排他的であり、その他の保証や条件は、書面または口頭を問わず、明示および黙示されません。HP 社は、商品性、満足のゆく品質または特定の目的に対する適合性を含むいかなる黙示的な保証または条件に対する責任も負いません。

現地の法律で許されている範囲内において、契約あるいは法に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、間接的損害、必然的損害 (利益逸失やデータ消失を含む)、その他の損害に対して、HP 社およびその代理店は一切の責任を負いません。

ここに含まれている保証条項は、法律で許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

利用可能なサポートおよびサービス

HP は世界各地でさまざまなサービスおよびサポート オプションを販売しています。購入可能なサービスおよびサポート オプションは購入する国/地域によって異なります。

HP 社保守契約

HP 社では、幅広いサポートの需要を満たすため複数のタイプの保守契約をご用意しています。保守契約は標準保証に含まれていません。サポート サービスは国/地域によって異なります。ご利用可能なサービスについては、最寄りの HP 販売店にお問い合わせください。

オンサイト サービス契約

お客様のニーズに合ったサポートを提供するため、HP 社では 3 段階のオンサイト サービス契約で対応します。

優先オンサイト サービス

この契約では、HP 社の通常営業時間内にお電話を頂くと 4 時間以内に対応します。

翌日オンサイト サービス

この契約では、サービスを申し込まれた次の営業日までにサポートを提供します。対象時間の延長および HP 社が規定するサービス エリア外への出張は、ほとんどのオンサイト契約で可能です (追加料金)。

週間 (ボリューム) オンサイト サービス

この契約では、多数の HP 社製品をお持ちの企業を毎週定期的に訪問します。この契約は、プリンタ、プロッタ、コンピュータ、およびディスク ドライブを含む、25 台以上のワークステーション製品を使用している現場を対象としています。

C MFP の仕様

このセクションでは、次の仕様を説明します。

- [物理仕様](#)
- [電氣的仕様](#)
- [稼働音仕様](#)
- [環境仕様](#)

アナログ ファックス アクセサリの仕様については、『*HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 ユーザー ガイド*』を参照してください。このガイドのオンライン版は、HP Color LaserJet CM4730f MFP、HP Color LaserJet CM4730fsk MFP、および HP Color LaserJet CM4730fm MFP に同梱される CD に収録されています。

物理仕様

表 C-1 製品寸法

製品	高さ	奥行き	幅	重量 ¹
HP Color LaserJet CM4730 MFP	1153mm	639mm	788mm	124kg
HP Color LaserJet CM4730f MFP	1153mm	639mm	788mm	124kg
HP Color LaserJet CM4730fsk MFP	1153mm	639mm	1106mm	136kg
HP Color LaserJet CM4730fm MFP	1153mm	639mm	1106mm	136kg

¹ プリントカートリッジなしでの重量

表 C-2 すべてのドアおよびトレイを完全に開いた状態での製品寸法

製品	高さ	奥行き	幅
HP Color LaserJet CM4730 MFP	1580mm	980mm	1160mm
HP Color LaserJet CM4730f MFP	1580mm	980mm	1160mm
HP Color LaserJet CM4730fsk MFP	1580mm	980mm	1588mm
HP Color LaserJet CM4730fm MFP	1580mm	980mm	1588mm

電氣的仕様



警告！ 電源条件は MFP が販売されている国/地域のものであります。稼働電圧を変換しないでください。それによって MFP が損傷し、製品保証が無効になる可能性があります。

表 C-3 電源仕様 (HP LaserJet CM4730 MFP シリーズ)

仕様	110V モデル	230V モデル
電源条件	100 ~ 127V (± 10%) 50/60 Hz (± 2 Hz)	220 ~ 240V (± 10%) 50/60 Hz (± 2 Hz)
定格電流	9.0A	4.5A

表 C-4 消費電力 HP LaserJet CM4730 MFP シリーズ (平均値、単位は W)^{1, 2}

製品モデル	コピー時 ³	印刷時 ³	印刷可 ⁴	スリープ ^{5, 6}	オフ
HP Color LaserJet CM4730 MFP	615	604	83	24	0.5
HP Color LaserJet CM4730f MFP	615	604	83	24	0.5
HP Color LaserJet CM4730fsk MFP	615	604	83	24	0.5
HP Color LaserJet CM4730fm MFP	640	626	86	25	0.5

¹ 数値は変更される場合があります。最新情報については、<http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> を参照してください。

² 消費電力は、標準電圧で測定されたすべての値のうちの最大値です。

³ HP Color LaserJet CM4730 MFP シリーズの印刷スピードとコピー スピードは、レター サイズで 31 ppm、A4 サイズで 30 ppm です。

⁴ 印刷可モードでの熱放散は 288 BTU/時です。

⁵ 印刷可モードからスリープ モードへのデフォルトの移行時間は 45 分です。

⁶ スリープ モードからの回復時間は 20 秒以内です。

稼働音仕様

表 C-5 音量および音圧レベル¹ (HP LaserJet CM4730 MFP シリーズ)

発生騒音レベル	ISO 9296 準拠宣言
印刷時 ²	L _{WAd} =6.7 ベル (A) [67dB (A)]
コピー時 ³	L _{WAd} =6.8 ベル (A) [68dB (A)]
印刷可	L _{WAd} =5.8 ベル (A) [58dB (A)]
音圧レベル	ISO 9296 準拠宣言
印刷時 ²	L _{pAm} =50dB (A)
コピー時 ³	L _{pAm} =52dB (A)
印刷可	L _{pAm} =37dB (A)

¹ 数値は変更される場合があります。最新情報については、<http://www.hp.com/support/ljcm4730mfp> を参照してください。

² HP Color LaserJet CM4730 MFP シリーズのスピードは、A4 サイズで 30 ppm です。テスト時の構成 (HP Color LaserJet CM4730 MFP) : ベース モデル、A4 サイズ単純印刷

³ テスト時の構成 (HP Color LaserJet CM4730 MFP) : ベース モデル、A4 用紙サイズ、ADF からの片面印刷)

環境仕様

環境条件	推奨	許容値	保管時/スタンバイ時
温度 (MFP およびプリントカートリッジ)	17° ~ 25° C (62.6° ~ 77° F)	15° ~ 30° C (59° ~ 86° F)	-20° ~ 40° C (-4° ~ 104° F)
相対湿度	相対湿度 (RH) 30 ~ 70%	10% ~ 80% RH	10% ~ 90%
高度	該当せず	0 m ~ 2600 m	該当せず

D 規制に関する情報

FCC 規定への準拠

本装置をテストした結果、Class A デジタル デバイスの基準に達し、FCC 規則の Part 15 に準拠していることが確認されました。これらの基準は、本番環境に装置を設置した場合の電波障害に対するしるべき防止策を提供することを目的としています。本装置は、無線周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があります。指示に従って本装置を設置し使用していない場合、無線通信に支障をきたす場合があります。本装置を居住空間で使用すると、電波障害が発生する可能性があります。その場合は、ユーザーが自己の責任において適切な処置を講じる必要があります。

適合宣言

適合宣言

適合規格：ISO/IEC 17050-1 および EN 17050-1

製造元： Hewlett-Packard Company
DoC#:BOISB-0503-00-rel. 2.0
製造元住所： 11311 Chinden Boulevard,
Boise, Idaho 83714-1021, USA

次の製品の適合を宣言します。

製品名： HP Color LaserJet CM4730 MFP シリーズ
アクセサリ Q7521A、Q7522A、Q7523A、BOISB-0308-00³⁾
規制モデル番号：²⁾ BOISB-0503-00
製品オプション： すべて

トナー カートリッジ： Q6460A、Q6461A、Q6462A、Q6463A、Q7504A、Q7503A、Q7502A

次の製品仕様に準拠しています。

安全性： IEC 60950-1:2001 / EN60950-1 : 2001 + A11
IEC 60825-1:1993 +A1 +A2 / EN 60825-1:1994 A1 +A2 (クラス 1 レーザー/LED 製品)
GB4943-2001

EMC (電磁適合性)： CISPR 22:1993 A1+A2 / EN 55022:1994 +A1 +A2 - Class A^{1,4)}
EN 61000-3-2:2000
EN 61000-3-3:1995 + A1:2001
EN 55024:1998+A1:2001 + A2:2003
FCC Title 47 CFR, Part 15 Class A / ICES-003, Issue 4
GB9254-1998, GB17625.1-2003

補足情報：

本製品は、EMC 指令 89/336/EEC および低電圧指令 73/23/EEC の条件を満たしており、当該指令で規定されている CE マークを貼付しています。

本デバイスは FCC 規定 Part 15 に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提とします。(1) 本デバイスによって有害な干渉が発生することはありません。(2) 本デバイスは予期しない動作の原因となる干渉も含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

- 1) 本製品は、Hewlett-Packard パーソナル コンピュータ システムの標準的な構成でテスト済みです。
- 2) 規制の対象として、この製品には規制モデル番号が割り当てられています。この番号を製品名または製品番号と混同しないでください。
- 3) 規制モデル番号 BOISB-0308-00 のもとで Hewlett-Packard によって取得されたアナログ ファックス アクセサリの世界各国におけるすべてモジュラ認可には、Multi-Tech Systems の MT5634SMI ソケット モデム モジュールが含まれます。
- 4) 本製品は EN55022 および CNS13438 クラス A の要件に適合します。その場合、以下に示す条件が適用されます。警告：本製品はクラス A 製品です。屋内の環境下で、本製品が電波障害の原因になる場合もあります。このような問題が発生するときは、ユーザーが適切な処置を講じることが必要になる場合があります。

Boise, Idaho, USA

October 17, 2006

規制に関する問い合わせ先：

ヨーロッパでの問い合わせ先： 最寄りの Hewlett-Packard 販売代理店およびサービス事務所、または Hewlett-Packard GmbH, Department HQ-TRE / Standards Europe, Herrenberger Straße 140, D-71034 Böblingen, Germany, (FAX : +49-7031-14-3143)

米国内の問い合わせ先： Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, PO Box 15, Mail Stop 160, Boise, Idaho 83707-0015, USA, (電話番号：208-396-6000)

製品の環境適合化プログラム

環境の保護

Hewlett-Packard 社は環境保全を考慮した上で、高品質の製品をお届けしています。この製品は、いくつかの点で環境への影響を最小限に抑えるように設計されています。

オゾン放出

この製品はオゾン ガス (O₃) をほとんど発生しません。

消費電力

印刷可モードまたはスリープ モードでは電力消費量がかなり低下します。このモードでは天然資源を節約し、コストを削減しますが、この製品の高いパフォーマンスには影響を与えません。この製品の ENERGY STAR® 認定ステータスを確認するには、製品データ シートまたは仕様シートを参照してください。認定製品は、以下のサイトのリストにも示されています。

<http://www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/productdesign/ecolabels.html>

トナーの消費

Economode ではトナーの使用量が大幅に低減し、プリント カートリッジの耐用性が高まることが期待できます。

用紙の使用

本製品に装備されている手動またはオプションの自動両面印刷機能、および N-UP 印刷機能 (1 枚の用紙に複数ページを印刷する機能) によって、用紙の使用量を削減し、最終的には自然資源の節約にも貢献します。

プラスチック

25g を超えるプラスチック部品には、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

HP LaserJet 用サプライ品

空になった HP LaserJet プリント カートリッジは、HP Planet Partners が無料で回収し、リサイクルします。新しい HP LaserJet プリント カートリッジおよびサプライ品の箱には多言語によるプログラムの説明が同梱されています。複数のカートリッジをまとめて回収すれば、環境税も節約できます。

HP では、製品設計および製造から販売、お客様によるご使用、そしてリサイクルに至るまで、環境に優しく、先進的で高品質の製品およびサービスを提供するよう努力しています。HP Planet Partners プログラムにご参加いただくことで、ご使用いただいた HP LaserJet プリント カートリッジは、適切にリサイクルされ、プラスチック部と金属部は新たな製品に使用するために生まれ変わり、埋立地から何百万トンもの廃棄物が削減されます。このカートリッジはリサイクルされ、新しい材料に使用されるため、お客様の元には戻りません。環境への私たちの取り組みにご協力いただきますようお願い申し上げます。



注記 オリジナルの HP LaserJet プリント カートリッジを返却する場合にのみ、回収ラベルをご使用ください。このラベルは、HP インクジェット カートリッジ、HP カートリッジ以外のカートリッジ、再充填または改ざんしたカートリッジ、または保証による返却には使用しないでください。HP インクジェット カートリッジのリサイクルの詳細については、<http://www.hp.com/recycle> をご覧ください。

回収およびリサイクル手順

米国およびプエルトリコ

HP LaserJet トナー カートリッジ ボックスの同梱されているラベルは、使用後の 1 つまたは複数の HP LaserJet プリント カートリッジの回収およびリサイクル用ラベルです。以下の該当する手順を実行してください。

複数のカートリッジの回収 (2 ~ 8 個の場合)

1. HP LaserJet プリント カートリッジをそれぞれオリジナルのボックスおよびバッグに入れます。
2. ストラップ テープまたはパッケージ テープを使用して、最大 8 個の箱をテープでまとめます (最大重量は 31.5 kg)。
3. 前払いの発送ラベルを 1 枚使用します。

または

1. 所有の適当な箱を使用するか、または <http://www.hp.com/recycle> または 1-800-340-2445 に問い合わせ、無料の一括回収用ボックスを請求してください (HP LaserJet プリント カートリッジを 8 個まで収容できます)。
2. 前払いの発送ラベルを 1 枚使用します。

1 個のカートリッジの回収

1. HP LaserJet プリント カートリッジをオリジナルのボックスおよびバッグに入れます。
2. 発送ラベルをボックスの前面に貼付します。

発送

すべての HP LaserJet プリント カートリッジのリサイクル回収で、次回の集配時に UPS にパッケージを渡すか、または公認の UPS 持ち込みセンタにお持ちください。最寄りの UPS 持ち込みセンタについては、1-800-PICKUPS にお電話いただくか、または <http://www.ups.com> をご覧ください。USPS ラベルを使用して返却する場合は、パッケージを郵便配達員に渡すか、または郵便局に直接お持ち込みください。詳細、および一括回収用の追加ラベルまたはボックスの注文については、<http://www.hp.com/recycle> を参照するか、または 1-800-340-2445 までお問い合わせください。UPS 収集を依頼すると、通常の収集料金がかかります。情報は予告なく変更される場合があります。

米国以外の回収

HP Planet Partners 回収およびリサイクル プログラムに参加するには、リサイクル ガイドの簡単な指示 (新しいプリンタのサプライ品のパッケージ内にあります) または <http://www.hp.com/recycle> をご覧ください。HP LaserJet 印刷用サプライ品の回収方法について、お住まいの国/地域を選択します。

用紙

この製品では、用紙が『『HP LaserJet Printer Family Print Media Guide (HP LaserJet プリンタ ファミリー印刷メディアガイド)』』に記載されている基準に適合している場合に限り、再生紙を使用することができます。この製品には、EN12281:2002 に準拠する再生紙を使用することができます。

材料に関する規制

この HP 製品には、耐用期間経過後に特別な取扱いが必要になるバッテリーが使用されています。

本製品に使用されているバッテリー

タイプ	フッ化炭素リチウム バッテリー
重量	0.8 グラム
実装位置	フォーマッタ ボード
ユーザーによる取り外し	不可



廃電池請回収

この製品には、コントロールパネルの液晶ディスプレイの蛍光灯に水銀が使用されているため、耐用期間経過後に特別な取扱いが必要になる場合があります。

リサイクル情報については、<http://www.hp.com/go/recycle> にアクセスするか、最寄りの代理店または米国電子工業会 (<http://www.eiae.org>) にお問い合わせください。

EU (欧州連合) が定める一般家庭の使用済み機器の廃棄



製品または製品のパッケージにこのマークが付いている場合、この製品を家庭廃棄物と一緒に捨てることは禁止されています。使用済み機器の廃棄は消費者が責任を負うものとし、電気・電子機器廃棄物のリサイクルを行うための指定された回収拠点に持って行く必要があります。使用済み機器の廃棄に分別収集およびリサイクルを実行することより、天然資源を保護し、人間の健康と環境を守るリサイクルを実現します。使用済み機器のリサイクルを行う回収拠点については、居住地区の市役所、家庭廃棄物の収集業者、または製品を購入した販売店にお問い合わせください。

化学物質安全データシート (MSDS)

トナーなどの化学物質を含んでいるサプライ品の化学物質安全データシート (MSDS) については、HP の Web サイト www.hp.com/go/msds または www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/safety にアクセスしてください。

詳細について

これらの環境に関するトピック

- この製品やこの製品に関連する多くの HP 製品についての製品環境プロフィール
- HP 社の環境への貢献
- HP 社の環境管理システム
- HP 社の製品回収およびリサイクル プログラム
- 化学物質安全データシート (MSDS)

www.hp.com/go/environment または www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment にアクセスしてください。

揮発性の証明

ここでは、メモリに格納されたユーザー データの揮発性について述べています。また、秘密データをデバイスから消去する方法についても説明します。

メモリのタイプ

揮発性メモリ

MFP では、印刷プロセスやコピー プロセス中、ユーザー データを保存するために揮発性メモリ (オンボード メモリ 64MB と換装メモリ 256MB の合計 320MB) が使用されます。MFP の電源を切ると、揮発性メモリの内容は消去されます。

不揮発性メモリ

MFP では、システムの制御データやユーザーの環境設定を保存するために、不揮発性メモリ (EEPROM) が使用されています。不揮発性メモリには、ユーザーの印刷データやコピー データは保存されません。コントロール パネルから [コールド リセット] または [出荷時のデフォルトの復元] を実行することにより、不揮発性メモリをクリアして、出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。

ハードディスク ドライブ メモリ

MFP には、電源を切った後もデータを保持できる内蔵ハードディスク ドライブ (40GB 以上) が搭載されています。また、必要に応じてコンパクト フラッシュ ストレージや外付けの EIO ハードディスクを追加することもできます。これらのデバイスに格納されるデータとしては、着信/発信のファックスや電子メール ファイル、コピー ジョブや印刷ジョブ、ファックスや電子メールのアドレス帳、サードパーティのソリューションなどがあります。このようなデータは、MFP のコントロール パネルから消去できる場合もありますが、通常は HP Web Jetadmin のセキュアストレージ消去機能 (Secure Storage Erase) を使用して消去する必要があります。セキュア ストレージ消去機能は、米国国防総省 (DOD) の仕様 5220-22.M に準拠しています。

安全規定

レーザー製品の安全性

米国食品医薬品局の医療機器・放射線製品センタ (CDRH) では、1976年8月1日以降に生産されたレーザー製品の規定を定めています。米国で販売される製品では規定への準拠が必須です。このデバイスは、1968年の放射線規制法に基づく米国保健社会福祉省 (DHHS) の放射線性能基準のもと、「クラス1」のレーザー製品に認定されています。このデバイス内で放射される放射線は保護用の筐体および外部カバー内に密封されているので、ユーザーの通常の使用状況ではレーザービームが漏れることはありません。



警告！ このユーザーズガイドに指定されていない制御を使用したり、調整を行ったり、手順を実行したりすると、危険な放射線が漏れる場合があります。

Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格)

Complies with Canadian EMC Class A requirements.

« Conforme à la classe A des normes canadiennes de compatibilité électromagnétiques. « CEM ». »

VCCI 規格 (日本)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電源コード規格 (日本)

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

EMI 規格 (韓国)

A급 기기 (업무용 정보통신기기)

이 기기는 업무용으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 만약 잘못판매 또는 구입하였을 때에는 가정용으로 교환하시기 바랍니다.

EMI 規格 (台湾)

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

一般的な電気通信に関する宣言

HP Color LaserJet CM4730f、CM4730fsk、CM4730fm の各モデルには HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 が既に取り付けてあり、公衆交換電話網 (PSTN) と通信してファックス機能を使用することができます。ファックス機能とファックス装置に関する規制当局の許可および規制に関する通知については、『*HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300 ユーザー ガイド*』を参照してください。

レーザーに関する声明 (フィンランド)

LASERTURVALLISUUS

LUOKAN 1 LASERLAITE

KLASS 1 LASER APPARAT

HP Color LaserJet CM4730 MFP、CM4730f MFP、CM4730fsk MFP、CM4730fm MFP-laserkirjoitin on käyttäjän kannalta turvallinen luokan 1 laserlaite. Normaalissa käytössä kirjoittimen suojakotelointi estää lasersäteiden pääsyn laitteen ulkopuolelle.

Laitteen turvallisuusluokka on määritetty standardin EN 60825-1 (1994) mukaisesti.

VAROITUS!

Laitteen käyttäminen muulla kuin käyttöohjeessa mainitulla tavalla saattaa altistaa käyttäjän turvallisuusluokan 1 ylittävälle näkymättömälle lasersäteilylle.

WARNING!

Om apparaten används på annat sätt än i bruksanvisning specificerats, kan användaren utsättas för osynlig laserstrålning, som överskrider gränsen för laserklass 1.

HUOLTO

HP Color LaserJet CM4730 MFP、CM4730f MFP、CM4730fsk MFP、CM4730fm MFP-kirjoittimen sisällä ei ole käyttäjän huollettavissa olevia kohteita. Laitteen saa avata ja huoltaa ainoastaan sen huoltamiseen koulutettu henkilö. Tällaiseksi huoltotoimenpiteeksi ei katsota väriainekasetin vaihtamista, paperiradan puhdistusta tai muita käyttäjän käsikirjassa lueteltuja, käyttäjän tehtäväksi tarkoitettuja ylläpitotoimia, jotka voidaan suorittaa ilman erikoistyökaluja.

VARO!

Mikäli kirjoittimen suojakotelo avataan, olet alttiina näkymättömälle lasersäteilylle laitteen ollessa toiminnassa. Älä katso säteeseen.

WARNING!

Om laserprinterns skyddshölje öppnas då apparaten är i funktion, utsättas användaren för osynlig laserstrålning. Betrakta ej strålen.

Tiedot laitteessa käytettävän laserdiodin säteilyominaisuuksista:

Aallonpituus 785-800 nm

Teho 5 mW

Luokan 3B laser

E メモリとプリント サーバー カードの増設

MFP には、200 ピン DDR SDRAM スロットが 2 基装備されています。一方のスロットは既に使用されているため、空きスロットは 1 つです。この空きスロットには、128 MB または 256 MB の DDR メモリ モジュールを装着できます。

さらに、MFP のファームウェア、フォント、および、その他のソリューションを保存するために使用できるフラッシュメモリ カード スロットが 3 基装備されています。

- 1 つ目のフラッシュメモリ カードは、MFP ファームウェア用に予約されています。このスロットには、"Firmware Slot" と刻印されています。
- 他の 2 つのフラッシュメモリ カード スロットは、フォント カードやサードパーティのソリューション (署名、パーソナリティなど) に使用されます。これらのスロットには、"Slot 2" および "Slot 3" と刻印されています。



注意 デジタル カメラ用のフラッシュメモリ カードは装着しないでください。MFP は、フラッシュメモリ カードから直接写真を印刷する機能はサポートしていません。カメラタイプのフラッシュメモリ カードを装着した場合、コントロールパネルに、フラッシュメモリ カードを再フォーマットするかどうかを確認するメッセージが表示されます。ここでカードを再フォーマットすると、そのカードのすべてのデータが失われます。

複雑なグラフィックスや PS 文書を印刷したり、多数のフォントをダウンロードして使用する場合は、MFP のメモリを増設することをお勧めします。メモリを増設することにより、複数のコピーをソート印刷する際の速度を最適に維持することができます。



注記 以前の HP LaserJet プリンタで使用されていたシングル インライン メモリ モジュール (SIMM)/デュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) は、MFP では使用できません。

増設メモリを注文する場合は、設定ページを印刷し、装着されているメモリ容量をあらかじめ確認しておいてください。

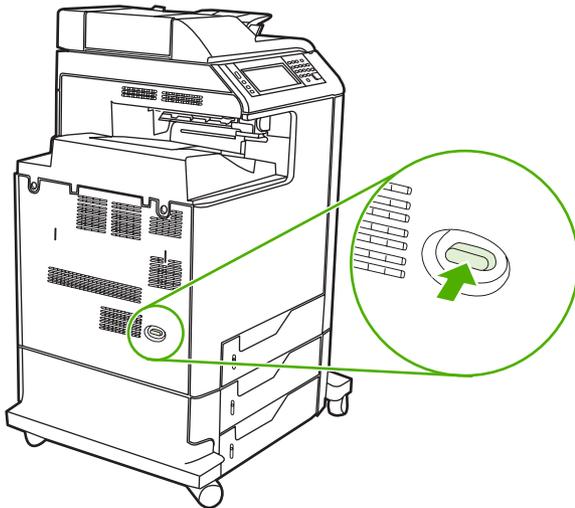
メモリとフォントの増設

MFPには、メモリを追加するだけでなく、中国語やキリル語などの言語の文字を印刷できるフォントカードを取り付けることもできます。

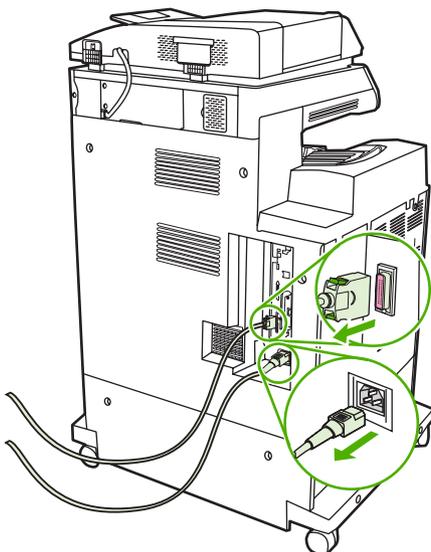
△ 注意 静電気はDIMMに損傷を与えます。DIMMの取り扱い時には、静電気防止用リストストラップを着用するか、頻りにDIMMの静電気防止パッケージの表面に触れてから、MFPの露出した金属部に触れるようにしてください。

DDRメモリDIMMの装着

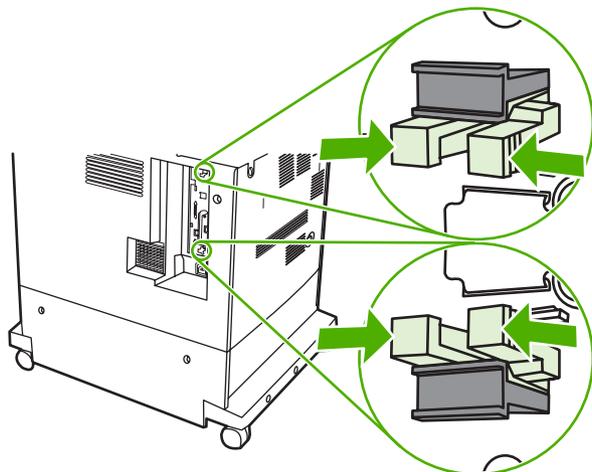
1. MFPの電源を切ります。



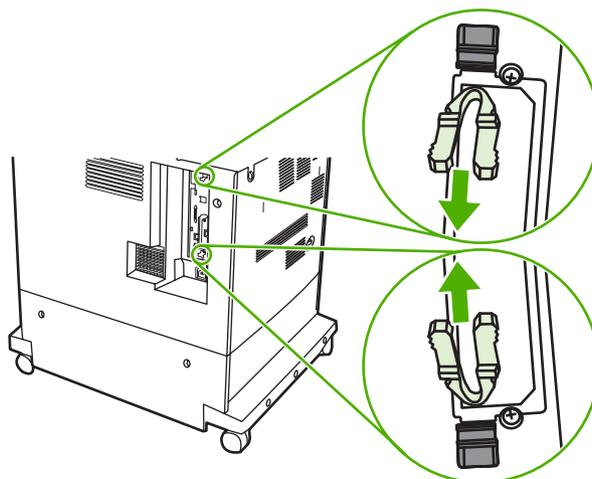
2. すべての電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。



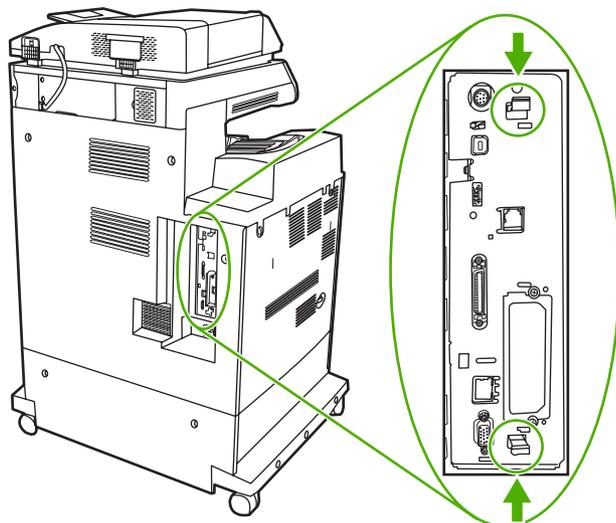
3. MFP 背面のフォーマッタ ボードにある灰色のフォーマッタ圧力解放タブを探します。



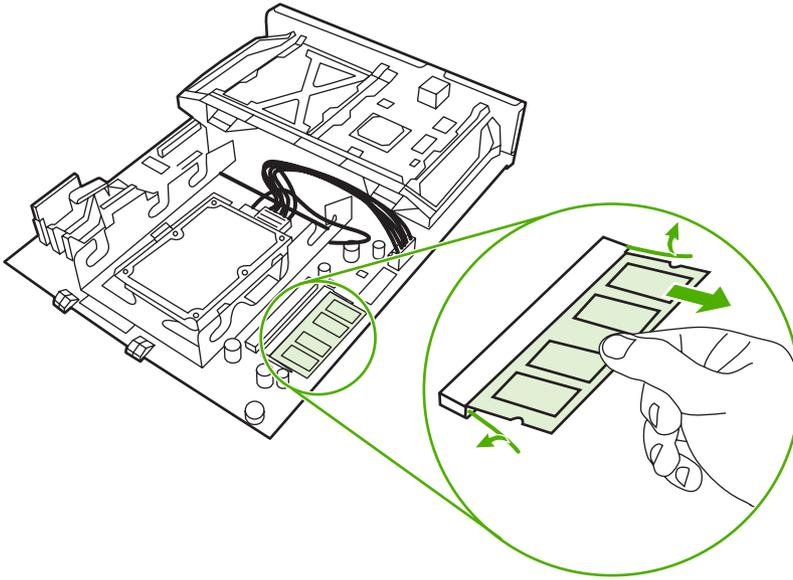
4. タブを軽くつかんで、フォーマッタから引き出します。



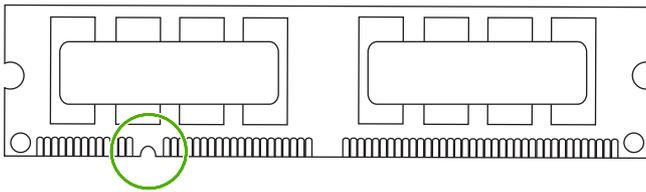
5. 黒いタブを軽く引き、フォーマッタ ボードを MFP から引き出します。引き出したフォーマッタ ボードを清潔で平らな接地面に置きます。



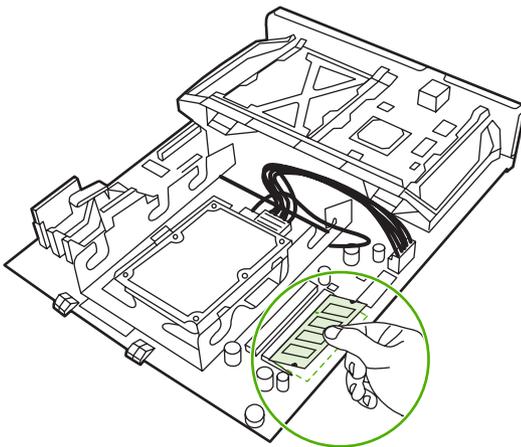
6. 現在装着されている DDR DIMM を交換するには、DIMM スロットの両側にあるラッチを開き、DDR DIMM を少し傾けながら押し上げて取り外します。



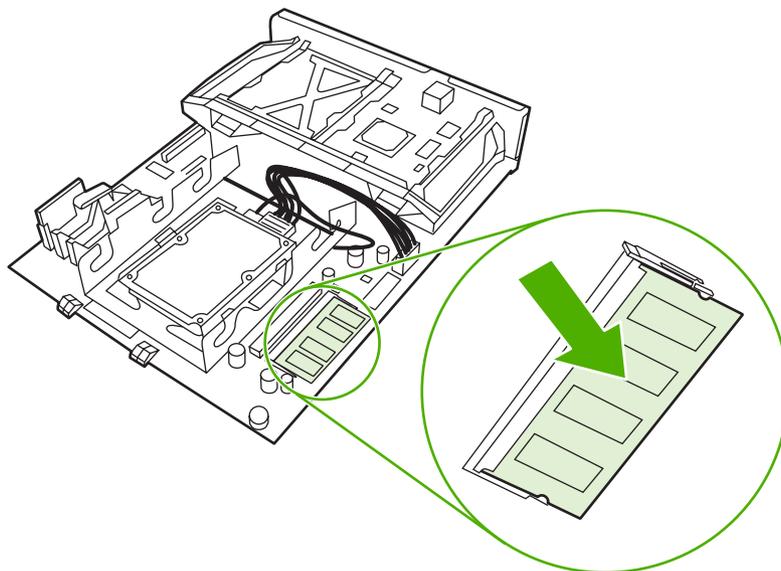
7. 静電気防止パッケージから DIMM を取り出します。DIMM の下端にある位置合わせ用切り込みの位置を確認します。



8. DIMM の端をつかみ、少し傾けながら DIMM の位置合わせ用切り込みを DIMM スロットのバーに揃え、DIMM を押し込んで固定します。金属製の接触部が見えなくなれば、正しく装着されています。



9. 両側のラッチで固定されるまで DIMM を押しします。

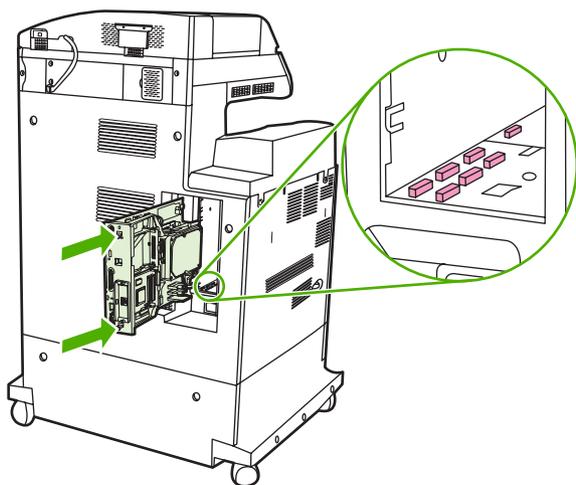


注記 DIMM を装着できない場合は、DIMM 下端の切り込みと DIMM スロットのバーがずれていないことを確認してください。それでも DIMM を挿入できない場合は、DIMM のタイプが間違っていないことを確認してください。

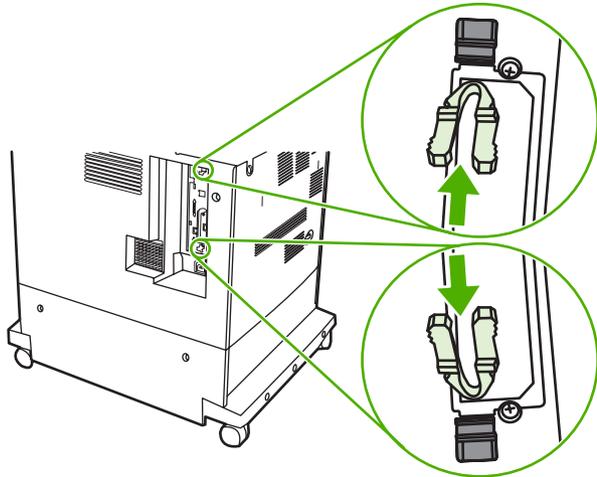
10. スロットの下部の溝にフォーマッタ ボードを合わせ、ボードをプリンタ側へスライドします。



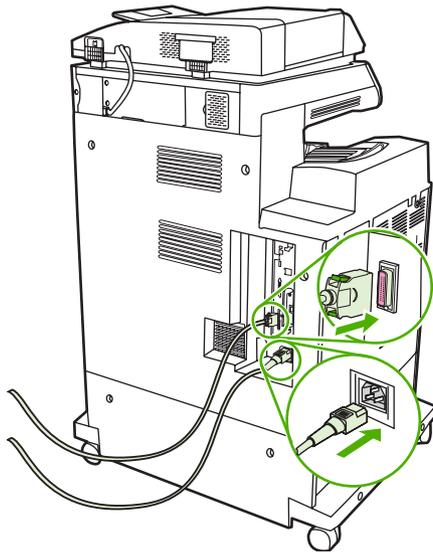
注記 フォーマッタ ボードへの損傷を避けるために、フォーマッタ ボードが溝にはまっていることを確認します。



11. フォーマッタ圧力解放タブをつかんでフォーマッタに押し入れ、挿入し直します。



12. 電源ケーブルとインタフェースケーブルを再び接続し、MFPの電源を入れます。



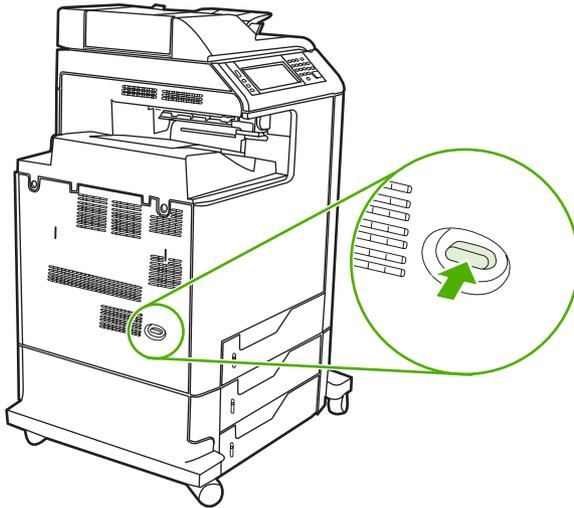
13. メモリ DIMM を取り付けたら、「メモリの有効化」に進みます。

フラッシュメモ리카ードの装着

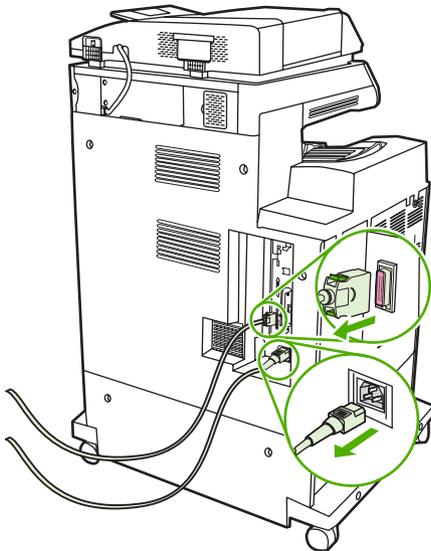


注意 このシリーズのMFPには、デジタルカメラ用のフラッシュメモリカードを装着しないでください。MFPでは、フラッシュメモリカードに保存されている写真データを直接印刷することはできません。デジタルカメラ用のフラッシュメモリカードを装着すると、フラッシュメモリカードを再フォーマットするかどうかを尋ねるメッセージがコントロールパネルに表示されます。カードを再フォーマットするように選択すると、カードに記憶されているすべてのデータが失われます。

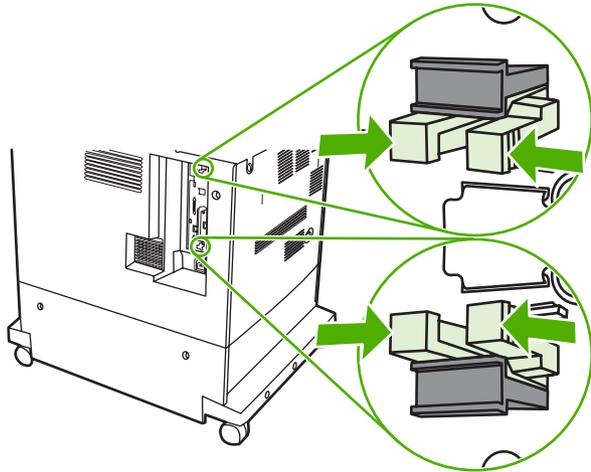
1. MFPの電源を切ります。



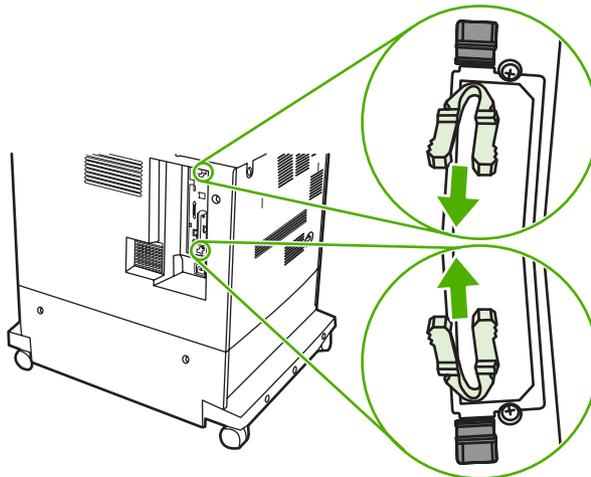
2. すべての電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。



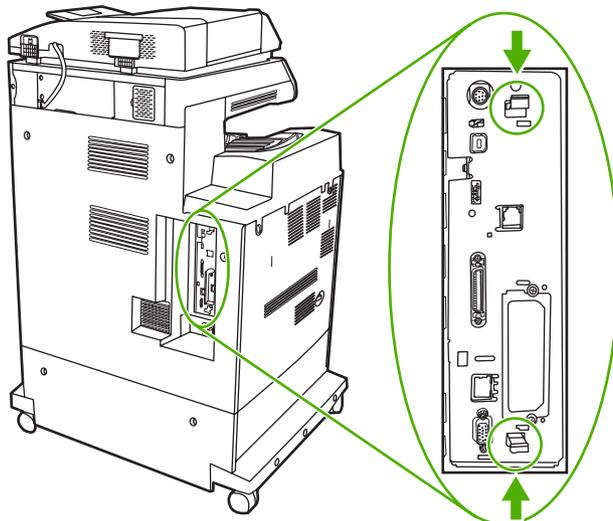
3. MFP 背面のフォーマッタ ボードにある灰色のフォーマッタ 圧力解放タブを探します。



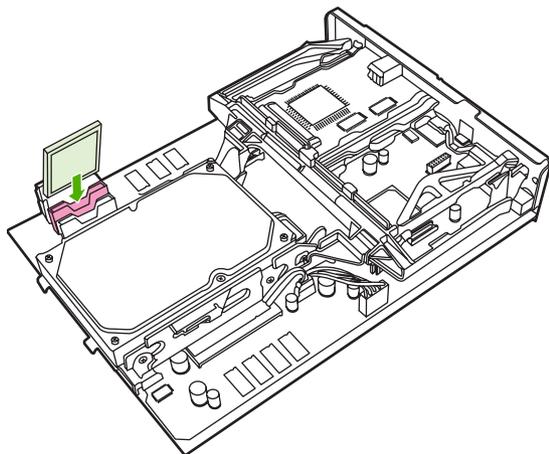
4. タブを軽くつかんで、フォーマッタから引き出します。



5. 黒いタブを軽く引き、フォーマッタ ボードを MFP から引き出します。引き出したフォーマッタ ボードを清潔で平らな接地面に置きます。



6. フラッシュメモリカードの側面にある溝をコネクタの切り込みに合わせ、奥まで押し込んで固定します。



注意 フラッシュメモリカードは角度を付けないように差し込んでください。

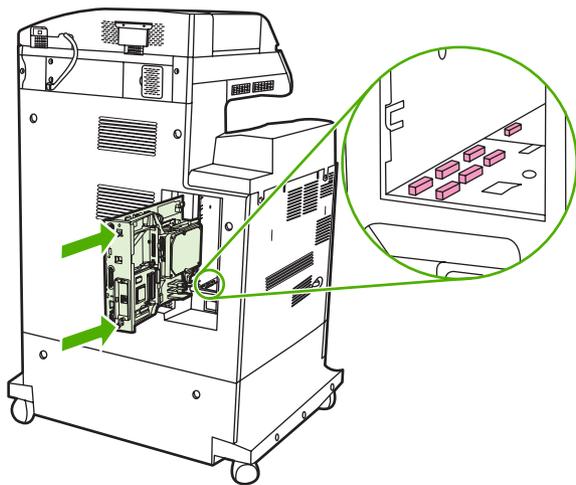


注記 "Firmware Slot (ファームウェア用スロット)" と記されている最初のフラッシュメモリスロットはファームウェア専用に予約されています。その他のソリューションの装着には、スロット2および3を使用してください。

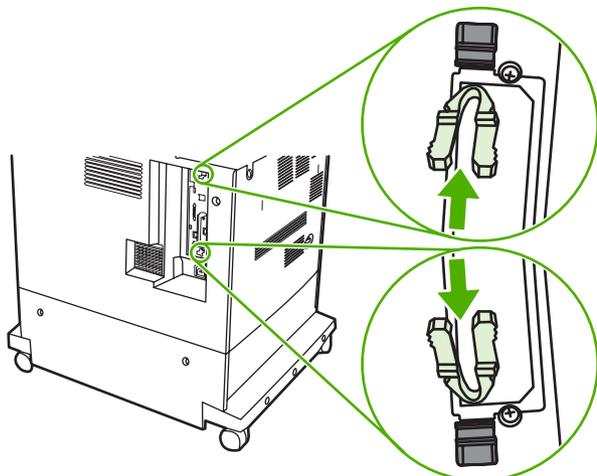
7. スロットの上下の溝にフォーマッタボードを合わせ、ボードをMFP側へスライドします。



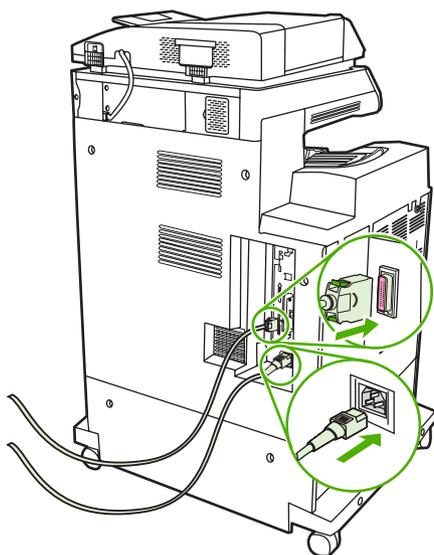
注記 フォーマッタボードへの損傷を避けるために、フォーマッタボードが溝にはまっていることを確認します。



8. フォーマッタ圧力解放タブをつかんでフォーマッタに押し入れ、挿入し直します。



9. 電源ケーブルとインタフェースケーブルを再び接続し、MFPの電源を入れます。



メモリの有効化

メモリ DIMM を取り付けたら、このメモリが認識されるように MFP ドライバを設定します。

メモリを Windows 98/Me に認識させる

1. [スタート] メニューから [設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。
2. プリンタ アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。
3. [設定] タブで [詳細] をクリックします。
4. [Total Memory] フィールドで、現在取り付けられているメモリの総容量を入力または選択します。
5. [OK] をクリックします。

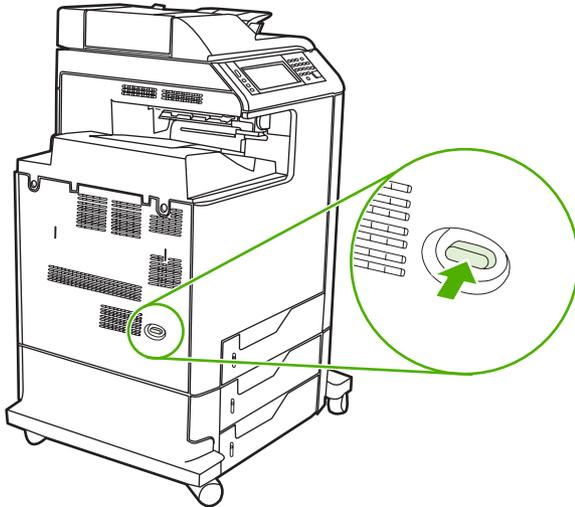
メモリを Windows 2000/XP に認識させる

1. [スタート] メニューから [設定] をポイントし、[プリンタ] または [プリンタとファックス] をクリックします。
2. プリンタ アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。
3. [デバイスの設定] タブで、[Installable Options] セクションの [Printer Memory] をクリックします。
4. 現在装着されているメモリの総容量を選択します。
5. [OK] をクリックします。

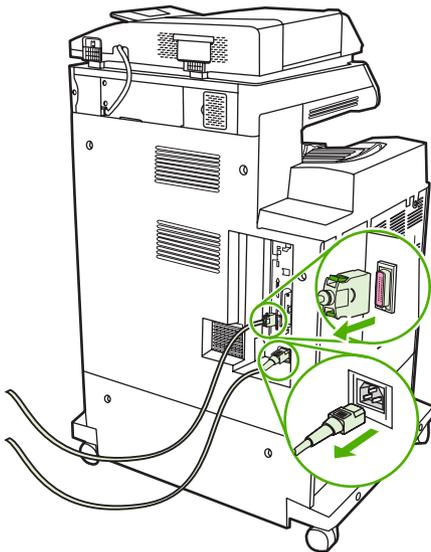
HP Jetdirect/EIO プリント サーバー カードの装着

HP Color LaserJet CM4730 MFP には、内蔵 HP Jetdirect プリント サーバー ポートが装備されています。必要に応じて、空き EIO スロットに I/O カードを増設できます。

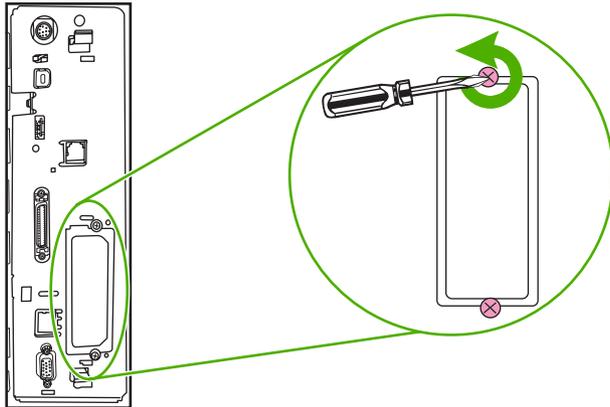
1. MFP の電源を切ります。



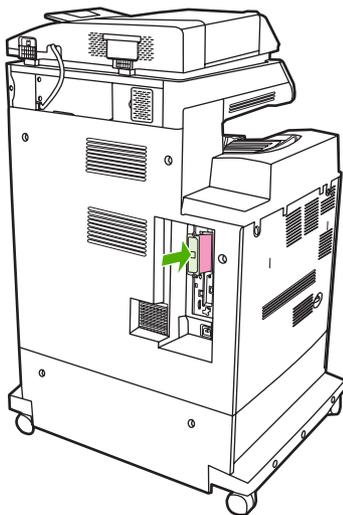
2. 電源コードおよびインターフェイス ケーブルをすべて抜きます。



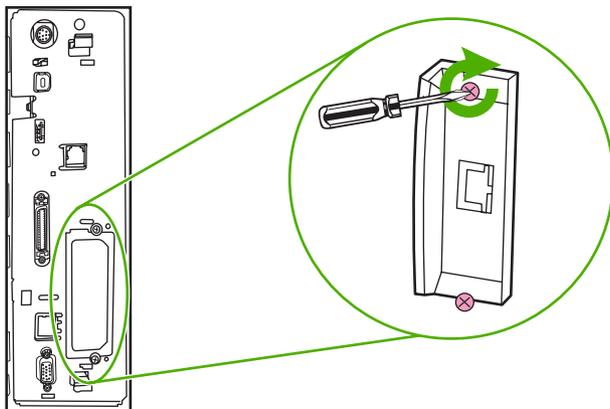
3. 空いている EIO スロットを見つけます。EIO スロットのカバーを固定している 2 本のネジを緩め、カバーを取り外します。取り外したネジとカバーは不要です。破棄しても差し支えありません。



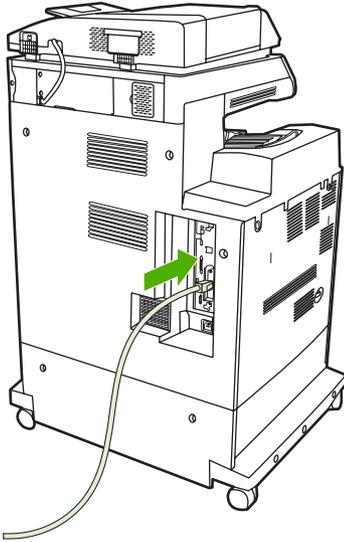
4. HP Jetdirect プリント サーバー カードを EIO スロットにしっかりと差し込みます。



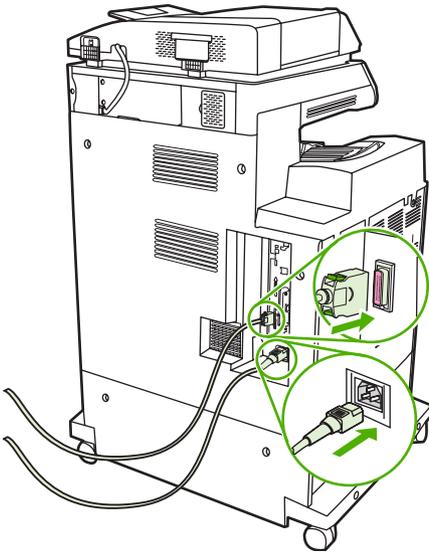
5. プリント サーバー カードに付属する固定ネジを差し込んで締めます。



6. ネットワーク ケーブルを接続します。



7. 電源コードを再接続して、MFP の電源を入れます。



8. 設定ページを印刷します。MFP の設定ページやサプライ品ステータス ページのほかに、ネットワークの設定情報やステータス情報の記載された HP Jetdirect の設定ページが印刷されていることを確認します。

このページが印刷されない場合、プリント サーバー カードを一度取り外してから、再度、スロットにしっかりと差し込んでください。

9. 次のいずれかの手順を実行します。

- 正しいポートを選択します。具体的な方法については、コンピュータまたはオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- ソフトウェアを再インストールし、そのときにネットワーク インストールを選択します。

索引

記号/数字

問題解決

歪んだページ 290

1 枚の用紙に印刷する複数ページ 121, 130

3 ビン メールボックス

再取り付けのエラー メッセージ 247

3 ビン メールボックス

仕様、物理 323

選択 103

モード 309

モデル 4

容量 7

ランプのステータス 271

3 ビン メールボックス

設定 104

3 ビン メールボックス

製品番号 311

500 枚給紙トレイ

仕様、物理 323

500 枚収納給紙トレイ

モデル 2

500 枚トレイ

挿入または閉じるエラー メッセージ 245

予期しないサイズまたはタイプのエラー メッセージ 238

A

ADF

イメージの移動、トラブルシューティング 295

給紙システムのクリーニング 221

コピー上の線 294

コピーで不要な線が入る 292

対応サイズ 173

ページに何も印刷されな
い 291

歪んだページ 293

容量 6

予期しないイメージ、トラブル
シューティング 296

ADF 給紙トレイ

位置 9

ADF 排紙ビン

選択 103

容量 7

AppleTalk 設定 34, 84

AUX 接続 7

AUX 接続設定 80

C

Canadian DOC regulations (カナダ
DOC 規格) 337

Copittrak デバイス 201

D

DIMM (デュアル インライン メモ
リ モジュール)

装着 342

DIMM (デュアル インライン メモ
リ モジュール)

製品番号 312

DLC/LLC 設定 34

E

タイムアウト設定 31

EIO カード

エラー 242

製品番号 312

装着 352

バッファ オーバーフロー 237

EPS ファイル、トラブルシューテ
ィング 304

Equitrac デバイス 201

Ethernet カード 7

EU (欧州連合)、廃棄物処理 334

Explorer、サポートされているバー
ジョン

内蔵 Web サーバー 188

Explorer、対応バージョン

HP Web Jetadmin 195

F

FIH (Foreign Interface
Harness) 7

Foreign Interface Harness
(FIH) 11

Foreign Interface Harness
(FIH) 201

H

HP Easy Printer Care Software
使用 192

HP Easy Printer Care Software (HP
簡易プリンタ管理ソフトウェ
ア) 86

HP Easy Printer Care ソフトウェア
使用 192, 214

HP Instant Support Professional
Edition (ISPE) 316

HP Jetdirect プリント サーバー

エラー メッセージ 242

構成 84

設定 31

装着 352

ファームウェアの更新 211

モデル 2

ランプ 272

HP Printer ユーティリティ、

Macintosh 70

HP Web Jetadmin

対応ブラウザ 195

ダウンロード 195

トナー レベルの確認 215
ファームウェアの更新 210
HP 正規販売店 317
ユニバーサル プリンタ ドライ
バ 64

I
Internet Explorer、対応バージョン
HP Web Jetadmin 195
Internet Explorer、サポートされて
いるバージョン
内蔵 Web サーバー 188
I/O 設定
ネットワークの設定 81
IPX/SPX 設定 34, 83
IP アドレス
Macintosh、トラブルシューティ
ング 303
変更 81
ISPE (HP Instant Support
Professional Edition) 316

J
Jetadmin
対応ブラウザ 195
ダウンロード 195
ファームウェアの更新 210
Jetadmin、HP Web 85
Jetdirect プリント サーバー
エラー メッセージ 242
構成 84
設定 31
装着 352
ファームウェアの更新 211
モデル 2
ランプ 272

L
LAN 接続 7
LAN ファックス 184
LDAP サーバー
エラー メッセージ 242
ゲートウェイ アドレスの検
証 299
内蔵 Web サーバー設定 190
LDAP サーバ
接続 170
Linux ドライバ 62

M
Macintosh
AppleTalk 設定 34
USB カード、トラブルシューテ
ィング 304
サポート Web サイト 317
ソフトウェア コンポーネン
ト 86
ソフトウェア 70
ソフトウェアの削除 71
対応ドライバ 62
ドライバ設定 67, 129
ドライバ、トラブルシューティ
ング 303
文書のサイズ変更 129
問題、トラブルシューティン
グ 303
Macintosh ソフトウェアのアンイン
ストール 71
Macintosh ソフトウェアの削
除 71
Macintosh ドライバ設定
カスタム用紙サイズ 129
[サービス] タブ 135
透かし 130

N
Netscape Navigator、サポートされ
ているバージョン
内蔵 Web サーバー 188
Netscape Navigator、対応バージョ
ン
HP Web Jetadmin 195
Novell ログインが必要で
す。 242
N-UP 印刷 121, 130
NVRAM エラー 241

P
PCL ドライバ 62
PIN、パーソナル ジョブ 111
PostScript プリンタ記述 (PPD) フ
ァイル
内蔵 70
PPD
内蔵 70
PS エミュレーション ドライ
バ 62

S
Secure Disk Erase 202
SMTP ゲートウェイ
エラー メッセージ 242
SMTP サーバー
ゲートウェイ アドレスの検
証 299
接続 170
SMTP サーバ
ゲートウェイ アドレスの設
定 170
テスト 171

T
TCP/IP 設定 31
TrueType フォント内蔵 6

U
USB 設定 79
USB ポート
Macintosh のトラブルシューテ
ィング 304

W
Web Jetadmin
対応ブラウザ 195
ダウンロード 195
ファームウェアの更新 210
Web サイト
Linux サポート 62
化学物質安全データシート
(MSDS) 335
Web サイト
HP Web Jetadmin、ダウンロー
ド 195
Macintosh サポート 317
カスタム サポート 316
サービス契約 317
サプライ品の注文 308, 316
ソフトウェアのダウンロー
ド 316
Web ブラウザ要件
内蔵 Web サーバー 188
Windows 2000 ファックス 184
HP ユニバーサル プリンタ ドライ
バ 64
Windows
ソフトウェア コンポーネン
ト 86

対応ドライバ 62
ドライバの設定 67, 119
Windows のドライバ設定
カスタム サイズの用紙 119
ブックレット 126

あ

アクセサリ
注文 308
パーツ番号 311
ランプ 271
アクセスガ キョヒサレマシタとい
うメッセージ 242
アドレス帳、電子メール
LDAP サーバー エラー 242
インポート 190
受信者リスト、作成 175
アドレス帳、電子メール
LDAP の対応 170
削除、アドレス 176
追加、アドレス 175
消去 55
自動入力機能 174
受信者リスト 175
アドレス、プリンタ
Macintosh、トラブルシューティ
ング 303
安全規定 337

い

一定間隔で現れる不良、問題解
決 281
一定間隔で現れる不良 281
イメージ トランスファー (ETB) キ
ット
製品番号 311
イメージ フューザ キット (110V)
製品番号 311
イメージ フューザ キット (220V)
製品番号 312
色の位置ずれ、問題解決 279
色の位置ずれ 279
色のかすれ、問題解決 282, 283
色のかすれ 282, 283
色
グレー中間色 153, 155
調整 152
ハーフトーン オプション 153
印刷ジョブの制御 101

印字可ランプ
位置 14
ファックスのアクセサリ
印刷スケジュール 28
印刷タスク 117
印刷品質
トラブルシューティング 274
印刷品質
一定間隔で現れる不良 281
色のかすれ 282, 283
空白の領域 287
指紋 284
垂直方向の線 280
水平方向の線 277
トナーが落ちやすい 285
トナーのにじみ 286
斑点 289
メディアの破損 288
歪んだページ 290
色の位置ずれ 279
印刷メディア
カラー印刷用 144
トレイ 1 にセット 93
印刷要求の一時停止 140
印刷要求のキャンセル 140
印刷要求の停止 140
印刷要求の停止 140
印刷

速度仕様 5
排紙ビン、選択 103
ブックレット 125
インストーラ、Windows 86
インターネット ファックス 184
インターフェイス ポート
内蔵 7
インタフェース ポート
位置 11

え

永久記憶装置のエラー 241
エコノミー設定 108
エラー メッセージ
アルファベット順のリス
ト 234
数値のリスト 234
数値リスト 234
タイプ 233
[エラー] ボタン、コントロール パ
ネルのタッチスクリーン 16

お

オン/オフ スイッチ、位置 9
音響仕様 326
温度条件 327
湿度要件 214
温度
要件 214
オンライン カスタマ サポー
ト 316
オンライン ヘルプ、コントロール
パネル 16

か

カートリッジ
管理メニュー 29
ステータス、内蔵 Web サーバー
による表示 189
カートリッジ、ステイプル
空、停止または続行の設
定 137
製品番号 311
セット 137
カートリッジの取り付けのエラー
メッセージ 234
カートリッジ、プリント
エラー メッセージ 234
製品番号 311
注文 316
保証 318
解像度
仕様 5
品質のトラブルシューティ
ング 274
化学物質安全データシート
(MSDS) 335
課金ハードウェア 201
拡張 I/O カード
製品番号 312
カスタマ ケア センタ 213
カスタマ サポート
HP Instant Support Professional
Edition (ISPE) 316
Macintosh 317
オンライン 316
サービス販売店 317
電話 316
内蔵 Web サーバーのリン
ク 191
保守契約 321
カスタム用紙サイズ 91

- カスタム サイズの用紙設定
 - Windows 119
- カスタム用紙サイズの設定
 - Macintosh 129
- 稼働環境仕様 327
- カバー、位置 9
- 紙詰まり解除レバー、位置 9
- 紙詰まり
 - 解除 250
 - 3 ビン メールボックス 261
 - ADF 265
 - ステイプラ/スタッカ 259
 - ステイプル詰まり 260
 - トレイ 1 256
 - トレイ 2、3、4 256
 - 排紙アクセサリ ブリッジ 264
 - 封筒 269
 - 右側のカバー 251
- カラー
 - 4 色印刷 147
 - CMYK インク セット エミュレーション 148
 - HP ImageREt 3600 142
 - Pantone® マッチング 149
 - sRGB 146
 - 色見本のカラー マッチング 149
 - オプション 145
 - オプションの管理 151, 154
 - カラー サンプルの印刷 150
 - 使用 141
 - プリンタとモニタ 149
 - マッチング 149
- [カラー] タブの設定 151, 154
- ガラス
 - クリーニング 220
- ガラス面
 - 対応サイズ 173
- カラー
 - エッジコントロール 152
 - グレースケールで印刷する 151
 - グレースケールでの印刷 154
 - グレー中間色 155
 - ハーフトーン オプション 155
 - 輪郭コントロール 156
- [カラー] タブの設定 127, 135
- 環境、仕様 214, 327
- 韓国 EMI 規格 337
- メニュー、コントロール パネル
 - 管理 29
- コントロール パネル
 - [管理] メニュー 29
- [管理] メニュー、コントロール パネル 17
- カートリッジ
 - リサイクル 332
- カートリッジ、プリント
 - Macintosh ステータス 135
- き**
 - 技術サポート
 - 保守契約 321
 - 規制
 - 製品の環境適合化プログラム 332
 - 適合宣言 331
 - レーザーに関する声明 (フィンランド) 339
 - 機能セパレータ モード、3 ビン メールボックス 310
 - 機能 2, 5
 - キャビネット/スタンド
 - 仕様、物理 323
 - モデル 3
 - キャンセル
 - 印刷 140
 - キャンセル
 - コピー ジョブ 168
 - キー、コントロール パネル
 - 位置 14
 - タッチスクリーン 16
- く**
 - 空白の領域、問題解決 287
 - 空白の領域 287
 - ブランク ページ
 - 印刷 120
 - クリーニング
 - ADF 給紙システム 221
 - ADF ローラー 222
 - MFP の外側 220
 - 概要 220
 - ガラス 220
 - 説明 222
 - タッチスクリーン 220
 - マイラー ストリップ 225
 - グレースケール印刷 151, 154
- クロック
 - エラー メッセージ 234
 - 設定 205
- け**
 - [警告] ボタン、コントロール パネルのタッチスクリーン 16
 - 契約、保守 321
 - ゲートウェイ アドレスの検証 299
 - ゲートウェイ
 - アドレスの検証 299
 - エラー メッセージ 247
 - 設定 170
 - ケーブル、USB
 - 製品番号 312
 - ケーブル、パラレル
 - 製品番号 312
 - 欠陥、連続 296
 - 言語、コントロール パネル 232
 - 言語、プリンタ 6
 - ゲートウェイ
 - 設定 170
 - テスト 171
- こ**
 - 交換
 - ステイプル カートリッジ 137
 - 校正、スキャナ 228
 - 構成、モデル 2
 - コピー
 - エラー メッセージ 243
 - 機能 6, 157
 - キャンセル 168
 - コントロール パネルのナビゲーション 158
 - 写真 166
 - ジョブ モード 167
 - ソート 165
 - 速度仕様 5
 - 品質、トラブルシューティング 274
 - 複数の原稿 167
 - 本 166
 - 両面文書 162
 - コピーのソート 165
 - コントロール パネル
 - アクセスガ キョヒサレマシタ 242
 - 位置 9

- コピー画面 158
- タッチスクリーンのクリーニング 220
- トラブルシューティング 232
- メッセージ、アルファベット順のリスト 234
- メッセージ、数値のリスト 234
- メッセージ、数値リスト 234
- メッセージ、タイプ 233
- メニューのロック 204
- [ファックス セットアップ] メニュー 40
- [初期セットアップ] メニュー 31
- [電子メール セットアップ] メニュー 43
- コントロール パネル
 - [管理] メニュー 17
 - [サービス] メニュー 56
 - [情報] メニュー 18
 - 設定 66
 - タッチスクリーンのボタン 16
 - 電子メール画面 172
 - ヘルプ 16
 - ボタン 14
 - [ホーム] 画面 15
 - ランプ 14
 - [リセット] メニュー 55
- コール レポート、ファックス 187
- さ**
- サービス
 - HP 正規販売店 317
 - 契約 317, 321
- 最初のページ
 - 白紙 120
 - 別の用紙の使用 120, 129
- サイズ、メディア
 - 予期しない、エラー メッセージ 238
- サブネット マスク 82
- サプライ品
 - ステータス ページ、印刷 186
 - リサイクル 332
- サプライ品
 - 管理メニュー 29
 - 交換時期 219
 - 交換する 218
 - 交換 218
- ステータス、内蔵 Web サーバーによる表示 189
- 製品番号 311
- 注文 308, 316
- 場所 218
- メモリエラー 234
- [リセット] メニュー 55
- サプライ品のステータス、[サービス] タブ
 - Macintosh 135
- サプライ品の注文 316
- サポート
 - HP Instant Support Professional Edition (ISPE) 316
 - Macintosh 317
 - オンライン 316
 - サービス販売店 317
 - 電話 316
 - 内蔵 Web サーバーのリンク 191
 - 保守契約 321
- サポートされるメディア 89
- [サービス] タブ
 - Macintosh 135
- [サービス] メニュー、コントロール パネル 56
- し**
- メニュー、コントロール パネル
 - 時刻/スケジュールリング 27
- コントロール パネル
 - [時刻/スケジュールリング] メニュー 27
- 時刻、設定 205
- システム要件
 - HP Web Jetadmin 195
 - 内蔵 Web サーバー 188
- 湿度条件 327
- 自動設定機能、ドライバ 65
- 自動設定、ドライバ 64
- 自動文書フィーダ (ADF)
 - 保守キット 227
- 自動メディア感知 100
- 自動両面印刷の経路
 - 文書のコピー 162
- 指紋、問題解決 284
- 指紋 284
- 写真
 - セット 173
- 写真
 - コピー 166
 - 受信者リスト 175
 - 出力品質
 - トラブルシューティング 274
 - 定規、連続した欠陥 296
 - 使用状況ページ、印刷 186
 - 使用状況ログ、ファックス 187
 - 使用できないパーソナリティの選択 246
 - 上部カバー
 - 位置 9
 - 情報タブ、内蔵 Web サーバー 189
 - 情報ページ 186
 - [情報] メニュー 18
 - 仕様
 - 音響 326
 - 稼動環境 327
 - 機能 5
 - 動作環境 214
 - 物理 323
 - 歪み 293
 - メニュー、コントロール パネル
 - 初期セットアップ 31
 - コントロール パネル
 - [初期セットアップ] メニュー 31
 - 書体
 - 内蔵 6
 - スキャン、電子メール、
 - ジョブ設定 177
 - デジタル送信
 - ジョブ設定 177
 - 送信、電子メール
 - ジョブ設定 177
 - 電子メール
 - ジョブ設定 177
 - ジョブの保存
 - アクセス 109
 - ジョブ保存
 - 機能 109
 - クイックコピー 112
 - 試し刷りに後に保留 109
 - パーソナル 111
 - 保存 114
 - ジョブ モード、コピー 167
 - ショートカット (Macintosh) 129
 - ショートカット 119

- ネットワーク
 - 診断 35
- す**
 - 垂直方向の線、問題解決 280
 - 垂直方向の線 280
 - 水平方向の線、問題解決 277
 - 水平方向の線 277
 - 透かし 120, 130
 - スキャナ ガラス
 - クリーニング 220
 - スキャナの校正 51, 228
 - スキャン
 - 速度仕様 5
 - スキャン、電子メール
 - LDAP の対応 170
 - アドレス帳 175
 - 文書の送信 173
 - 文書のセット 173
 - スキャン、電子メールへの
 - 受信者リスト 175
 - スキャン、電子メール、
 - コントロールパネル設定 172
 - スタッカ モード、3 ピンメールボックス 310
 - [スタート] ボタン 14
 - [スタート] ボタン、コントロール
 - パネルのタッチスクリーン 16
 - ステイプラ/スタッカ
 - 多すぎるページのエラー メッセージ 245
 - 空、停止または続行の設定 137
 - 再取り付けのエラー メッセージ 247
 - 仕様、物理 323
 - ステイプルで留める 136
 - ステイプルのセット 137
 - 製品番号 311
 - 選択 103
 - モデル 3
 - 容量 7
 - ランプのステータス 271
 - ステイプル カートリッジ
 - 空、停止または続行の設定 137
 - 製品番号 311
 - セット 137
 - ステイプル詰まり 260
 - ステイプルで留める 136
 - ステータス
 - 情報タブ、内蔵 Web サーバ
 - 189
 - メッセージ、タイプ 233
 - ランプ 271
 - ステータス
 - Macintosh サービス タブ 135
 - [ホーム] 画面、コントロール
 - パネル 15
 - [ステータス] ボタン 14
 - スペース要件 323
 - スリープ設定
 - スリープ復帰時刻 108
 - 遅延 108
 - スリープ復帰時刻、設定 108
 - [スリープ] ボタン 14
 - 日付、設定 27
 - せ**
 - 請求書コードのレポート、ファックス 187
 - 製品情報 1
 - 製品の環境適合化プログラム 332
 - 製品番号
 - プリントカートリッジ 311
 - メモリ 312
 - セキュリティ機能 7
 - セキュリティ
 - Foreign Interface Harness (FIH) 201
 - コントロールパネルメニューの
 - ロック 204
 - 設定 35
 - ディスク消去 202
 - 接続機能 7
 - 接続、コピー、または送信できない 246
 - 接続
 - AUX 80
 - USB 79
 - ネットワーク ユーティリティ 85
 - パラレル 78
 - EIO アクセサリ
 - 設定 31
 - I/O 設定
 - 設定 31
 - ジョブの保存
 - 設定 29
 - スリープモード
 - 設定 29
 - 設定 27
 - 設定タブ、内蔵 Web サーバ
 - 189
 - 設定ページ
 - 印刷 186
 - デジタル送信
 - 設定メニュー 43
 - 設定
 - ショートカット
 - (Windows) 119
 - ドライバショートカット (Macintosh) 129
 - ドライバ 67
 - 優先度 66
 - 保存、ジョブ
 - 設定 29
 - セット
 - スキャナのガラス面 173
 - 対応サイズ 173
 - 文書、対応サイズ 173
 - セット
 - ステイプル 137
 - トレイ 1 93
 - トレイ 2、3、4 94
 - 線、トラブルシューティング 292, 294
 - そ**
 - メニュー、コントロールパネル
 - 送信設定 43
 - コントロールパネル
 - [送信設定] メニュー 43
 - 送信、電子メール
 - LDAP の対応 170
 - アドレス帳 175
 - 受信者リスト 175
 - 設定 172
 - 文書の送信 173
 - 文書のセット 173
 - 装着
 - EIO カード 352
 - 速度仕様 5
 - その他のリンク
 - 内蔵 Web サーバ 191
 - ソフトウェア
 - HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア) 86

- HP Web Jetadmin 85
- Macintosh 70, 86
- Macintosh のアンインストール 71
- Windows 86
- 設定 66
- 内蔵 Web サーバ 85
- ソフトウェア
 - Macintosh 317
 - インストール 59
 - ダウンロード 316
- ソフトウェアのダウンロード 316
- た**
- 耐久性 5
- 台湾 EMI 規格 337
- タッチスクリーン、クリーニング 220
- 試し刷り後のジョブ保留 109
- 短縮ダイアル リスト、印刷 187
- ち**
- 遅延、スリープ 108
- 注意ランプ
 - 位置 14
- 注文
 - サプライ品とアクセサリ 308
 - パーツ番号 311
- つ**
- 月単位の耐久性 5
- て**
- [停止] ボタン 14
- [停止] ボタン、コントロール パネルのタッチスクリーン 16
- ディスク消去機能 202
- ディスプレイ、コントロール パネル 14
- 適合宣言 331
- テクニカル サポート
 - HP Instant Support Professional Edition (ISPE) 316
 - Macintosh 317
 - オンライン 316
 - サービス販売店 317
 - 電話 316
 - 内蔵 Web サーバーのリンク 191
- [送信設定] メニュー 43
- デジタル送信タブ、内蔵 Web サーバー 190
- デジタル送信
 - LDAP の対応 170
 - アドレス帳 175
 - コントロール パネル設定 172
 - 受信者リスト 175
 - 文書の送信 173
 - 文書のセット 173
- デジタル送信
 - SMTP サポート 170
 - アドレス帳 175
 - エラー メッセージ 234, 242, 244, 247
 - ゲートウェイ アドレスの検証 299
 - 説明 169, 173
 - 電子メールの設定 170
 - トラブルシューティング 232
 - 内蔵 Web サーバー設定 190
 - フォルダ 178
 - 文書の送信 173
- ワークフローへ送信 179
- デジタル ファックス 184
- デバイスのステータス
 - Macintosh サービス タブ 135
- デフォルト設定
 - [リセット] メニュー 55
- 電圧、トラブルシューティング 232
- 電源確認 LED 273
- 電源スイッチ、位置 9
- 電源
 - トラブルシューティング 230
- 電子メールのスキャン
 - ゲートウェイ アドレスの検証 299
- 電子メールへのスキャン
 - SMTP サポート 170
 - エラー メッセージ 234, 242, 244, 247
 - 設定 170
 - 説明 169
 - トラブルシューティング 232
 - 内蔵 Web サーバー設定 190
- 電子メールへの送信
 - SMTP サポート 170
 - アドレス帳 175
- エラー メッセージ 234, 242, 244, 247
- ゲートウェイ アドレスの検証 299
- 説明 169, 170, 173
- トラブルシューティング 232
- 内蔵 Web サーバー設定 190
- 文書の送信 173
- 電子メール用のスキャン
 - アドレス帳 175
 - 説明 173
- 電子メール
 - LDAP エラー 242
 - SMTP サポート 170
 - アドレス帳 175
 - エラー メッセージ 234, 242, 244, 247
 - ゲートウェイ アドレスの検証 299
 - 設定 170
 - 説明 169, 173
 - トラブルシューティング 232
 - 内蔵 Web サーバー設定 190
 - 文書の送信 173
- メニュー、コントロール パネル
 - 電子メールのセットアップ 43
- コントロール パネル
 - [電子メール セットアップ] メニュー 43
- 電子メール
 - LDAP の対応 170
 - アドレス帳 175
 - コントロール パネル設定 172
 - 自動入力機能 174
 - 受信者リスト 175
 - 文書の送信 173
 - 文書のセット 173
- 電話回線、ファックス アクセサリの接続 182
- 電話番号
 - サービス契約 317
 - サプライ品の注文 316
 - サポート 316
- データ ランプ
 - 位置 14
- と**
- 動作環境の仕様 214
- 特殊なメディア
 - ガイドライン 92

特殊な用紙

- ガイドライン 92
- トナーが落ちやすい 285
- トナーが落ちやすい、問題解決 285
- トナーのにじみ 286
- トナーのにじみ、問題解決 286
- トナーレベルの確認
 - HP Easy Printer Care ソフトウェア 214
- ドライバ
 - Macintosh 設定 129
 - Windows 設定 119
 - [サービス] タブ 128
 - ショートカット
 - (Macintosh) 129
 - (Windows) 119
 - 設定 66, 67
 - 対応 62
- ドライバ
 - Macintosh 317
 - Macintosh、トラブルシューティング 303
 - 自動設定 65
 - ダウンロード 316
- トラブルシューティング
 - ADF 出力品質 291
 - EPS ファイル 304
 - Macintosh に関する問題 303
 - OHP フィルム 276
 - OHP フィルム 269
 - アクセサリ 271
 - エラーメッセージ、アルファベット順のリスト 234
 - エラーメッセージ、数値のリスト 234
 - カラー印刷の問題 274
 - ゲートウェイアドレス 299
 - コントロールパネル 232
 - 線 292, 294
 - チェックリスト 230
 - デジタル送信 232
 - ネットワーク印刷 301
 - 品質 274
 - ページに何も印刷されない 291
 - メディアの取り扱いに関する問題 267
 - 歪んだページ 293

- 両面印刷 270
- 連続した欠陥 296
- トラブルの解決
 - コントロールパネルのメッセージ、数値 234
- トレイ 1 134
- トレイ 1
 - 挿入または閉じるエラーメッセージ 245
 - 用紙のセットのエラーメッセージ 245
 - 予期しないサイズまたはタイプのエラーメッセージ 238
- トレイ 2、3、または 4 から印刷 94
- トレイの挿入のエラーメッセージ 245
- トレイ
 - 両面印刷 134
- トレイ
 - 自動メディア感知 100
 - 仕様、物理 323
 - 設定 99
 - セット 93
 - 挿入または閉じるエラーメッセージ 245
 - 内蔵 2
 - 予期しないサイズまたはタイプのエラーメッセージ 238
- トレイ 1
 - 位置 9

な

- 内蔵 Web サーバー
 - 機能 188
 - 情報タブ 189
 - 設定タブ 189
 - その他のリンク タブ 191
 - デジタル送信タブ 190
 - トナーレベルの確認 214
 - ネットワークングタブ 190
 - パスワードの割り当て 201
 - 開く 188
- 内蔵 Web サーバ 85
- 内部クロック エラー 234

に

- 日本 VCCI 規格 337
- 認証エラーメッセージ 247

ね

- ネットワークング タブ、内蔵 Web サーバ 190
 - ネットワーク
 - AppleTalk 設定 34
 - DLC/LLC 設定 34
 - DLC/LLC の無効化 84
 - EIO カードの装着 352
 - HP Jetdirect プリント サーバのエラーメッセージ 242
 - IPX/SPX 設定 34
 - IP アドレス 81
 - SMTP サーバ 170
 - TCP/IP 設定 31
 - TCP/IP パラメータ 81
 - 印刷トラブルの解決 301
 - ゲートウェイアドレスの検証 299
 - サブネット マスク 82
 - セキュリティ 35
 - 接続機能 7
 - 設定 81
 - デフォルト ゲートウェイ 82
 - プリントサーバ内蔵 2
 - プロトコルの無効化 83
 - ネットワーク フォルダにスキャン 178
 - テスト
 - ネットワーク 35
 - ネットワーク
 - SMTP サーバ 170
 - SMTP 設定のテスト 171
 - ゲートウェイアドレスの設定 170
 - プロトコルの設定ページ、印刷 39
 - リンク速度設定 38
 - 診断
 - ネットワーク 35
 - 問題解決
 - ネットワーク 35
- ## の
- ノイズ仕様 326
- ## は
- パーソナル ジョブ 111
 - ハード ディスクの消去 202
 - ハード ディスク
 - 消去 202

- 排紙ビンの再取り付けのエラーメッセージ 247
- 排紙ビン
 - 位置 9
 - 再取り付けのエラーメッセージ 247
 - 選択 103
 - 満杯、エラーメッセージ 247
 - 容量 7
- バッファ オーバーフローのエラー 237
- パラレル設定 78
- パラレルポート
 - 位置 11
 - 機能 7
- 斑点、問題解決 289
- 斑点 289
- ひ**
- 日付、設定 205
- 時間、設定 27
- 標準排紙ビン
 - 位置 9
- 標準排紙ビン
 - 再取り付けのエラーメッセージ 247
 - 選択 103
 - 容量 7
- 表紙 120, 129
- 開いた排紙経路に関するエラーメッセージ 247
- 品質
 - トラブルシューティング 274
- ビン
 - 位置 9
 - 再取り付けのエラーメッセージ 247
 - 選択 103
 - 満杯、エラーメッセージ 247
 - 容量 7
- ふ**
- ファームウェア、アップグレード 208
- ファームウェアのアップグレード 208
- ファイル ディレクトリ、印刷 186
- スリープ復帰時刻、設定 27
- ファックス アクセサリ
 - 製品番号 311
 - 電話回線の接続 182
 - モデル 3
- ファックス使用状況ログ
 - 消去 55
- コントロール パネル
 - [ファックスセットアップ]メニュー 40
- メニュー、コントロール パネル
 - ファックス セットアップ 40
- ファックス、デジタル 184
- ファックス レポート、印刷 18, 187
- ファン、トラブルシューティング 232
- 封筒フィーダ
 - 仕様、物理 323
- 封筒
 - 紙詰まり 269
 - トレイ 1 にセット 93
- フォーマッタ カバー、位置 9
- フォーマッタのランプ 272
- フォルダにスキャン 178
- フォルダに送信 178
- フォルダ
 - エラーメッセージ 245
 - に送信 178
- フォント
 - リスト、印刷 187
- フォント
 - EPS ファイル、トラブルシューティング 304
 - 内蔵 6
 - リスト、印刷 19
- ブックレットの印刷 125
- ブックレットの設定
 - Windows 126
- 物理仕様 323
- フューザー
 - エラーメッセージ 239
- ブラウザ要件
 - HP Web Jetadmin 195
 - 内蔵 Web サーバー 188
- プラスチックのシート 265
- フラッシュ メモリ カード
 - 取り付ける 346
- プリンタ言語 6
- 設定ページ
 - [情報] メニュー 18
- プリント カートリッジ
 - HP 以外 213
 - HP 純正品 213
 - エラーメッセージ 234
 - 管理メニュー 29
 - 管理 213
 - 交換 219
 - 寿命 214
 - ステータス、内蔵 Web サーバーによる表示 189
 - 製品番号 311
 - 注文 316
 - トナー レベルの確認 214
 - 認証 213
 - 保管 214
 - 保証 318
- プリント カートリッジ
 - Macintosh ステータス 135
 - リサイクル 332
- プリントサーバー カード
 - 装着 352
- プロセッサ速度 5
- ブロックされたファックス リスト、印刷 187
- ネットワーク
 - プロトコルの設定ページ、印刷 39
- 文書のサイズ変更
 - Macintosh 129
- 文書の拡大縮小
 - Macintosh 129
- 文書のサイズを拡大する 121
- 文書のサイズを縮小拡大する 121
- 文書のサイズを縮小する 121
- 文書のサイズを変更する 121
- 文書フィーダ キット、交換 227
- 文書フィーダ
 - エラーメッセージ 247
 - 両面文書のコピー 162
- 文書を印刷する用紙 121
- へ**
- ページに何も印刷されない、トラブルシューティング 291
- 別の用紙/表紙を使用する 120
- [ヘルプ] ボタン、コントロール パネルのタッチスクリーン 16
- ヘルプ、コントロール パネル 16

- ほ
 - ポート
 - Macintosh のトラブルシューティング 304
 - 位置 11
 - 内蔵 7
 - 保管キャビネット
 - 仕様、物理 323
 - モデル 3
 - 保守キット 311
 - 保守契約 317, 321
 - 保証外サービス 317
 - 保障期間延長 321
 - 保証
 - カスタマ自己修理 315
 - 保証
 - 延長 321
 - 製品 313
 - プリントカートリッジ 318
 - 保証外 317
 - 保存ジョブ 114
 - 保存、ジョブ
 - 機能 109
 - クイックコピー 112
 - 試し刷り後に保留 109
 - パーソナル 111
 - 保存 114
 - 保持、ジョブ
 - アクセス 109
 - 保存、ジョブ
 - アクセス 109
 - ボタン、コントロールパネル
 - 位置 14
 - タッチスクリーン 16
 - 保留されたジョブ 109
 - 保留、ジョブ
 - クイックコピー 112
 - 保留、ジョブ
 - 機能 109
 - 試し刷り後に保留 109
 - パーソナル 111
 - 保存 114
 - 本
 - コピー 166
 - [ホーム] 画面、コントロールパネル 15
 - [ホーム] ボタン、コントロールパネルのタッチスクリーン 16
- ま
 - 毎分ページ数 5
 - マイラーストリップ
 - クリーニング 225
- め
 - メールボックス、3 ビン
 - 仕様、物理 323
 - メールボックス、3 ビン
 - 再取り付けのエラーメッセージ 247
 - 製品番号 311
 - 設定 104
 - 選択 103
 - モード 309
 - 容量 7
 - ランプのステータス 271
 - メールボックス、3 ビン
 - モデル 4
 - メールボックス モード 310
 - メッセージ
 - アルファベット順のリスト 234
 - 数値のリスト 234
 - 数値リスト 234
 - タイプ 233
 - メディアのセット
 - 設定 93
 - メディアの破損 288
 - メディア
 - カスタムサイズ、Macintosh の設定 129
 - カスタムサイズ、Windows の設定 119
 - 最初のページ 120, 129
 - 文書のサイズ、選択 121
 - 用紙あたりのページ数 121, 130
 - メディア
 - サポートされるサイズ 89
 - トレイ 2 のセット 97
 - トレイ 2、3、および 4 のセット 96
 - トレイ 2、3、または 4 のセット 94
 - メニュー、コントロールパネル
 - アクセスがキョヒサレマシタ 242
 - メニュー、コントロールパネル
 - ロック 204
- [メニュー] ボタン 14
- メニュー マップ
 - 印刷 186
 - [情報] メニュー 18
- [管理] メニュー 29
- [時刻/スケジューリング] メニュー、コントロールパネル 27
- メニュー、コントロールパネル
 - 管理 17
 - サービス 56
 - 情報 18
 - リセット 55
- メモリ不足 237, 245
- メモリ
 - 自動設定 64
 - 内蔵 70
- メモリ
 - 永久記憶装置のエラーメッセージ 241
 - 管理 212
 - 機能 5
 - サプライ品のエラー 234
 - 製品番号 312
 - 追加 212, 341
 - 内蔵 2
 - 不足 237, 245
 - 有効化 350
- も
 - モデル、機能 2
 - メディアの破損、問題解決 288
 - 問題解決
 - [エラー] ボタン、コントロールパネルのタッチスクリーン 16
 - 問題解決
 - 一定間隔で現れる不良 281
 - 色の位置ずれ 279
 - 色のかすれ 282, 283
 - 空白の領域 287
 - 指紋 284
 - 垂直方向の線 280
 - 水平方向の線 277
 - トナーが落ちやすい 285
 - トナーのにじみ 286
 - 斑点 289
 - メディアの破損 288
 - 問題の解決
 - メッセージ、タイプ 233

ゆ

- 優先オンサイト サービス 321
- 優先度、設定 66
- 歪んだページ、問題解決 290
- 歪んだページ 290, 293
- PCL ドライバ
 - ユニバーサル 64
- ドライバ
 - ユニバーサル 64
- Web サイト
 - ユニバーサル プリンタ ドライバ 64
- Windows
 - ユニバーサル プリンタ ドライバ 64

よ

- 用紙あたりのページ数 121, 130
- 用紙のセット
 - エラーメッセージ 245
 - 予期しないサイズまたはタイプのエラーメッセージ 238
- 用紙
 - カスタム サイズ、Macintosh の設定 129
 - カスタム サイズ、Windows の設定 119
 - 最初のページ 120, 129
 - 文書のサイズ、選択 121
 - 用紙あたりのページ数 121, 130
- 用紙
 - カスタム サイズ 91
 - サポートされるサイズ 89
 - セット 93
- 容量
 - 3 ビン メールボックス 7
 - ADF 6
 - ステイブラ/スタッカ 7
 - 排紙ビン 7
- 予期しないサイズまたはタイプのエラーメッセージ 238

ら

- ランプ
 - コントロール パネル 14
- ランプ
 - アクセサリ 271
 - フォーマッタ 272

り

- リアルタイム クロック 205
- リサイクル 332
- リサイクル
 - HP 印刷サプライ品回収および環境プログラム 333
- [リセット] ボタン 14
- [リセット] メニュー、コントロール パネル 55
- リモート ファームウェア アップデート (RFU) 208
- 両面印刷アクセサリ
 - 位置 9
 - エラーメッセージ 245, 248
 - 仕様、物理 323
 - 用紙のセット 124, 133
- 両面、印刷
 - エラーメッセージ 245, 248
- 両面印刷 134
- 両面印刷
 - エラーメッセージ 245, 248
 - コントロール パネル設定 123, 132
 - 手動 125, 134
 - 綴じ込みオプション 125, 134
- 両面コピー 162
- 両面、コピー 162
- 両面
 - 文書のコピー 162
- ネットワーク
 - リンク速度設定 38
- リンク
 - 内蔵 Web サーバー 191

れ

- 連続した欠陥のトラブルシューティング 296
- レーザー製品の安全性に関する規定 337

ろ

- ローラー
 - ADF のクリーニング 222
- ロック
 - コントロール パネル メニュー 204

わ

- デジタル送信
 - ワークフロー 179
- ワークフロー、送信 179
- FTP、送信 179
- ワークフローへのスキャン 179

© 2007 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

www.hp.com

